

## 横浜みどりアップ計画の推進について

本市では、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、平成21年度から横浜みどり税を財源の一部に活用し、樹林地の指定・買取りや水田の保全、地域緑のまちづくりなど、緑の保全・創出に向けた様々な事業・取組を進め、今年度から4期目となるみどりアップ計画[2024-2028]に取り組んでいます。

今回、昨年度終了した3期目のみどりアップ計画[2019-2023]の5か年の事業・取組の評価・検証についてご報告します。

### 1 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 5か年の事業・取組の評価・検証

#### 【別紙1】

横浜みどりアップ計画[2019-2023]

5か年（2019年度～2023年度）の事業・取組の評価・検証

#### 【別紙2】

横浜みどりアップ計画[2019-2023]

5か年の実績 概要（2019年度～2023年度の実績）リーフレット

#### 【参考】

横浜みどりアップ計画 [2024-2028]（概要版）

# 横浜みどりアップ計画

[2019 - 2023]



## 横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

# 5 か年 (2019 年度～2023 年度) の 事業・取組の評価・検証



2024 年 9 月  
みどり環境局

# 目次

<b>1 横浜みどりアップ計画の概要</b>	
横浜みどりアップ計画 [2019-2023]	1-2
計画の方針	1-3
計画の体系	1-4
計画を進めるための財源について	1-5
横浜みどりアップ計画市民推進会議	1-6
<b>2 5か年の主な成果</b>	
計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	2-2
計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる	2-5
計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	2-8
効果的な広報の展開	2-11
<b>3 事業・取組の実績と評価・検証</b>	
評価の考え方	3-2
5か年の事業・取組の評価一覧	3-3
各事業・取組の実績と評価・検証	3-5
5か年の事業・取組の実績一覧（実績累計）	3-86
5か年の事業・取組の実績一覧（事業費累計）	3-89
<b>4 横浜みどりアップ計画市民推進会議</b>	
2023年度の活動実績	4-2
評価と提案の概要	4-6
<b>5 各区の実績</b>	
鶴見区	5-3
神奈川区	5-11
西区	5-19
中区	5-25
南区	5-33
港南区	5-39
保土ヶ谷区	5-47
旭区	5-57

## 目次

磯子区	5-69
金沢区	5-77
港北区	5-87
緑区	5-97
青葉区	5-109
都筑区	5-119
戸塚区	5-131
栄区	5-143
泉区	5-153
瀬谷区	5-165

実績の面積、事業費については、端数処理により、合計が一致しないことがあります。

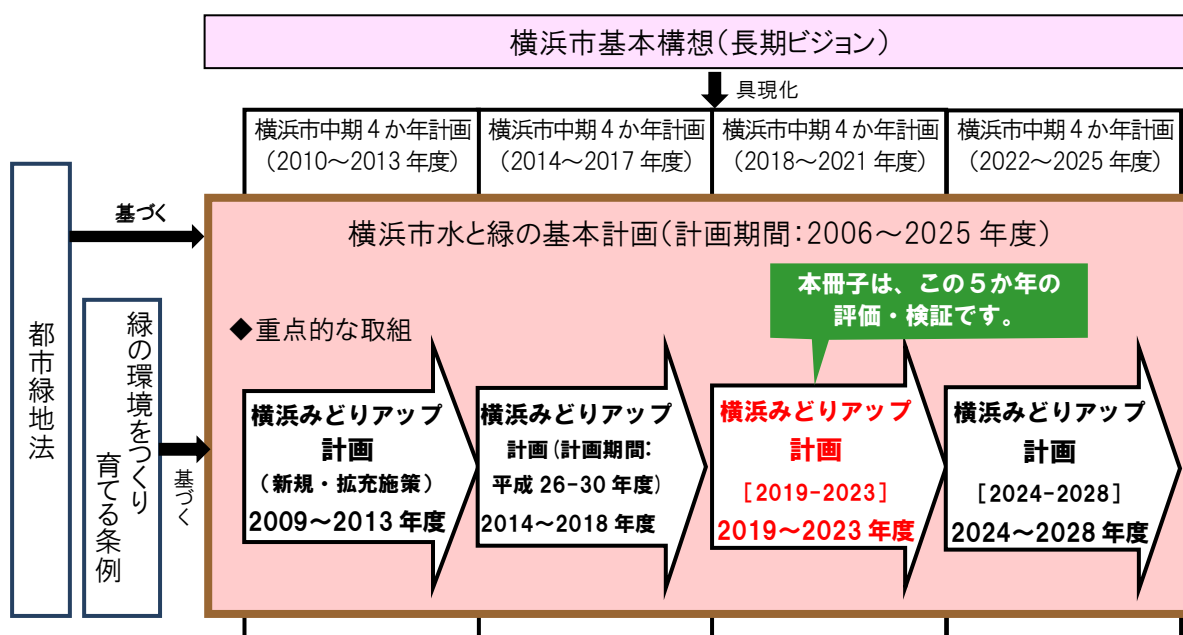
# 1

## 横浜みどりアップ計画の概要

## 横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

横浜市は大都市でありながら、市民生活の身近な場所に、多くの樹林地や農地などの多様な緑を有しています。これらの緑を次世代に引き継ぐため、「横浜市水と緑の基本計画」を2006年に策定し、2016年の改定で「多様なライフスタイルを実現できる水・緑豊かな都市環境」を目標像に掲げ、水と緑の環境を育む様々な取組を展開しています。2009年度からは、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部に活用した重点的な取組として「横浜みどりアップ計画」を推進しています。

緑の保全や創出は長い時間をかけて継続的に取り組むことが必要です。これまでの取組の成果や課題、この計画の素案に対する市民意見募集の結果などを踏まえ、2019年度から「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」に取り組んできました。また、2023年度には、2024年以降に重点的に取り組む「横浜みどりアップ計画 [2024-2028]」を策定しました。引き続き、市民や事業者の皆様とも連携しながら、計画の理念の実現や目標の達成を目指します。



【図】「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」の位置付け

## 計画の方針

### 計画の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

### 5か年の目標

計画の理念のもと、2019年度から2023年度までの5か年の目標を、次のとおりとします。

#### 1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

緑地保全制度による指定が進むことで樹林地の担保量が増加、水田の保全面積を維持、市街地で緑を創出する取組が進展 など

#### 2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

森の保全面積など緑の多様な機能や役割を発揮する取組の進展、緑や花の創出により街の魅力・賑わいが向上 など

#### 3 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

森に関わるイベントや農作物の収穫体験、地域の緑化活動など、市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など

### 計画の柱

5か年の目標の実現に向けて、「横浜みどりアップ計画」では、次の3つの計画の柱と、効果的な広報に重点的に取り組めます。

#### 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森（樹林地）の多様な機能や役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

#### 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での機能や役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

#### 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

効果的な  
広報の  
展開



## 計画の体系

### 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む



施策1  
樹林地の確実な保全の推進

事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

施策2  
良好な森を育成する取組の推進

事業② 良好な森の育成

事業③ 森を育む人材の育成

施策3  
森と市民とをつなげる取組の推進

事業④ 市民が森に関わるきっかけづくり

### 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる



施策1  
農に親しむ取組の推進

事業① 良好な農景観の保全

事業② 農とふれあう場づくり

施策2  
地産地消の推進

事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進

事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

### 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる



施策1  
市民が実感できる緑をつくり、  
育む取組の推進

事業① まちなかでの緑の創出・育成

施策2  
緑や花に親しむ取組の推進

事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり

事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成

事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

### 効果的な広報の展開

事業① 市民の理解を広げる広報の展開



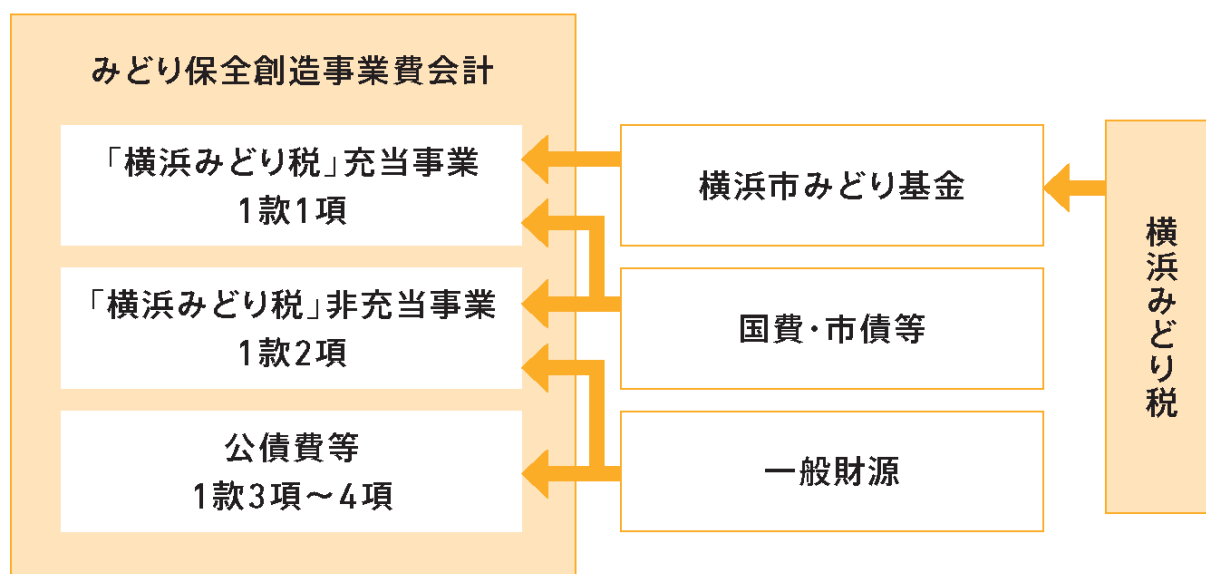
## 計画を進めるための財源について

横浜市では、緑の保全・創造に取り組むために必要な、安定的な財源を確保するため、2009年度から市民の皆様にご負担いただいている「横浜みどり税」について、2019年度から2023年度についてもご負担をお願いし、この計画の重要な財源の一部として活用しています。

対象	税率	期間	備考
個人	市民税の均等割に年間900円を上乗せ	2019年度から2023年度まで	所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方は課税対象から除く
法人	市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ	2019年4月1日から2024年3月31日までの間に開始する事業年度分	

横浜みどりアップ計画のうち、下記の横浜みどり税の使途に該当する事業へ横浜みどり税を充当します。

- ・ 樹林地・農地の確実な担保
- ・ 身近な緑化の推進
- ・ 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ・ ボランティアなど市民参画の促進につながる事業



## 横浜みどりアップ計画市民推進会議

「横浜みどりアップ計画」の推進に向け、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民の方への情報提供等を行うことを目的として、公募市民や学識経験者などからなる「横浜みどりアップ計画市民推進会議」を2009年に設置し、2012年からは横浜市附属機関設置条例に基づく附属機関に位置付けています。

市民推進会議では、全体会議や各種部会、現地調査などにより、みどりアップ計画の評価・提案に向けた議論を行っているほか、広報誌や報告書を発行し、市民推進会議の活動内容やみどりアップ計画の取組を紹介しています。

活動		取組内容
全体会議		みどりアップ計画の事業目標や事業進捗状況について意見交換し、報告書について検討
部会	施策別専門部会	みどりアップ計画の取組の柱ごとに、取組の内容と進捗状況について意見交換を行い、評価・提案について検討
	広報・見える化部会	広報誌の編集 みどり税やみどりアップ計画のわかりやすい伝え方の検討
	調査部会	みどりアップ計画の取組が進められている現場を調査
広報誌の発行		市民推進会議の活動内容や、みどりアップ計画の取組を紹介する広報誌を発行
報告書の発行		みどりアップ計画の評価・提案等を報告書として発行

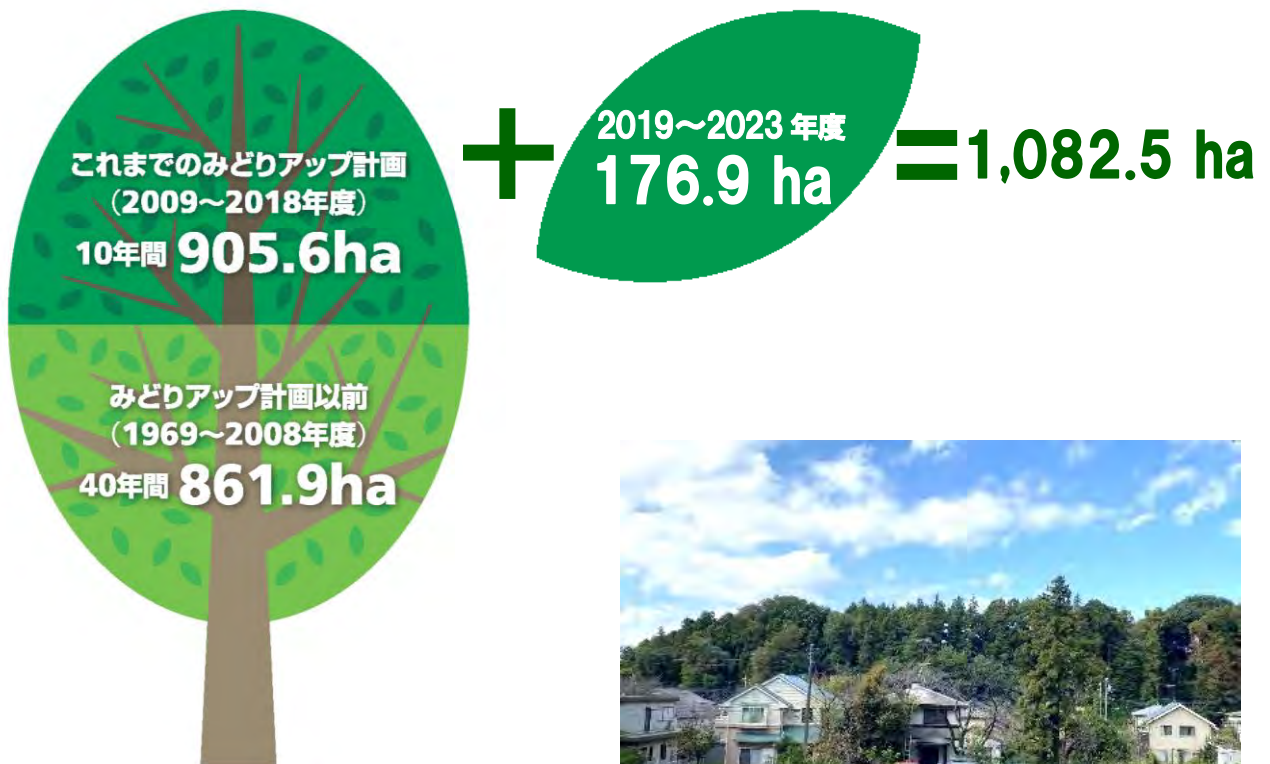
# 2 5か年の主な成果

計画の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

## 1. 樹林地の保全の進展



- 5か年で新たに 176.9ha の樹林地を緑地保全制度により指定しました。2009 年度のみどりアップ計画開始以降の 15 年間では、1,082.5ha を指定しています。これは、みどりアップ計画以前の 40 年間の 861.9ha を越える面積となります。



下瀬谷特別緑地保全地区(瀬谷区)



緑地保存地区(栄区)



緑地保存地区(神奈川区)



源流の森保存地区(青葉区)

### ■ 5か年の主な実績 (累計)

- 緑地保全制度による新規指定：176.9ha [5か年目標：300ha]
- 市による買取り：75.6ha [5か年想定：113ha]

## 計画の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

### 2. 市民が森に親しむための取組の展開



- 多くの市民が気軽に森を訪れ、森に親しむことができるように市民の森を4か所開園したほか、ガイドマップの作成や森での子ども向けのイベントなどを幅広く開催しました。



図書館の子ども向けのイベント  
(森の中のプレイパーク/中区)



よこはま森の楽校  
(横浜国立大学/保土ケ谷区)



間伐材クラフト  
(北山田地区センター/都筑区)

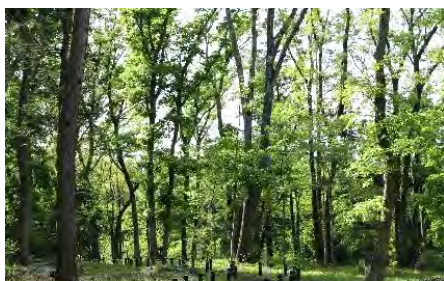
#### ■5か年の主な実績（累計）

- 保全した樹林地の整備：381 か所 [5 か年目標：推進]
- 市内大学や関係団体などと連携したイベントや、区主催による地域の森でのイベントの実施：382 回 [5 か年目標：180 回]

### 3. 保全した樹林地の良好な維持管理や安全の確保を市民協働で推進



- 市が管理する樹林地で、利用者や周囲の安全に配慮しながら、緑の機能を発揮できるような森づくりを進めました。また、土地所有者の維持管理の負担軽減のため、管理作業への費用助成や土砂流出防止のための土留め設置など助成内容を拡大して支援しました。
- 市民協働で良好な森づくりを推進するため、森づくり活動団体を支援したほか、新しく森の担い手を増やすために森づくりボランティア体験会を実施しました。



保全管理計画や森づくりガイドラインを  
活用した維持管理  
(古橋市民の森/泉区)



指定した樹林地における  
維持管理への支援  
左：作業前 右：作業後(都筑区)



横浜市の森づくり塾！  
(新治市民の森/緑区)

#### ■5か年の主な実績（累計）

- 森の維持管理：樹林地 811 か所、公園 196 か所 [5 か年目標：推進]
- 維持管理の助成：688 件 [5 か年目標：500 件]
- 森づくりを担う人材の育成：研修の実施 65 回、体験会の開催 44 回 [5 か年目標：推進]



## 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

## 1. 良好な農景観の保全の推進



- 市内の水田面積の約9割を保全しました。
- 農地縁辺部の草刈りや植栽の活動を支援し、良好な農景観を維持しました。
- 意欲ある農家等へ農地を貸し付けられるよう遊休化した農地の復元を支援することで、良好な農景観を保全しました。



水田の保全（泉区）



水田の保全（青葉区）



農地縁辺部への植栽（緑区）



牧草等による環境対策（都筑区）

## ■ 5か年の主な実績（累計）

- 水田保全面積：111.1ha [5か年目標：125ha]
- 集団農地維持面積：671.4ha [5か年目標：730ha]
- 井戸の改修：13地区 [5か年目標：5地区]
- 牧草等による環境対策：25.2ha [5か年目標：20ha]
- 遊休農地の復元支援：2.72ha [5か年目標：1.5ha]

※水田保全面積及び集団農地維持面積は、2023年度の保全面積及び維持面積を5か年の実績としています。

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

## 2. 農とふれあう場や機会の増加



- 市民が気軽に農とふれあうために様々なニーズに合わせた農園の開設を進めるとともに、市民が農について学ぶイベントや講座を実施しました。



認定市民菜園(磯子区)



体験水田・稲刈り(緑区)



トマトの植え付け(保土ヶ谷区)

### ■5か年の主な実績(累計)

- 様々なニーズに合わせた農園の開設：19.86ha [5か年目標：22.80ha]
- 横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施：422回 [5か年目標：450回]
- 市民農業大学講座の開催：110回 [5か年目標：100回]

## 3. 地産地消の拡大



- 市民が身近に地産地消を実感できるよう、直売所・青空市等の支援を行ったほか、地産地消を広げる人材「はまふうどコンシェルジュ」を育成し、その活動を支援しました。また、地産地消の情報をSNSも活用しながら発信しました。



横浜北仲マルシェ(中区)



はまふうどナビ



横浜農場 食と農のマルシェ

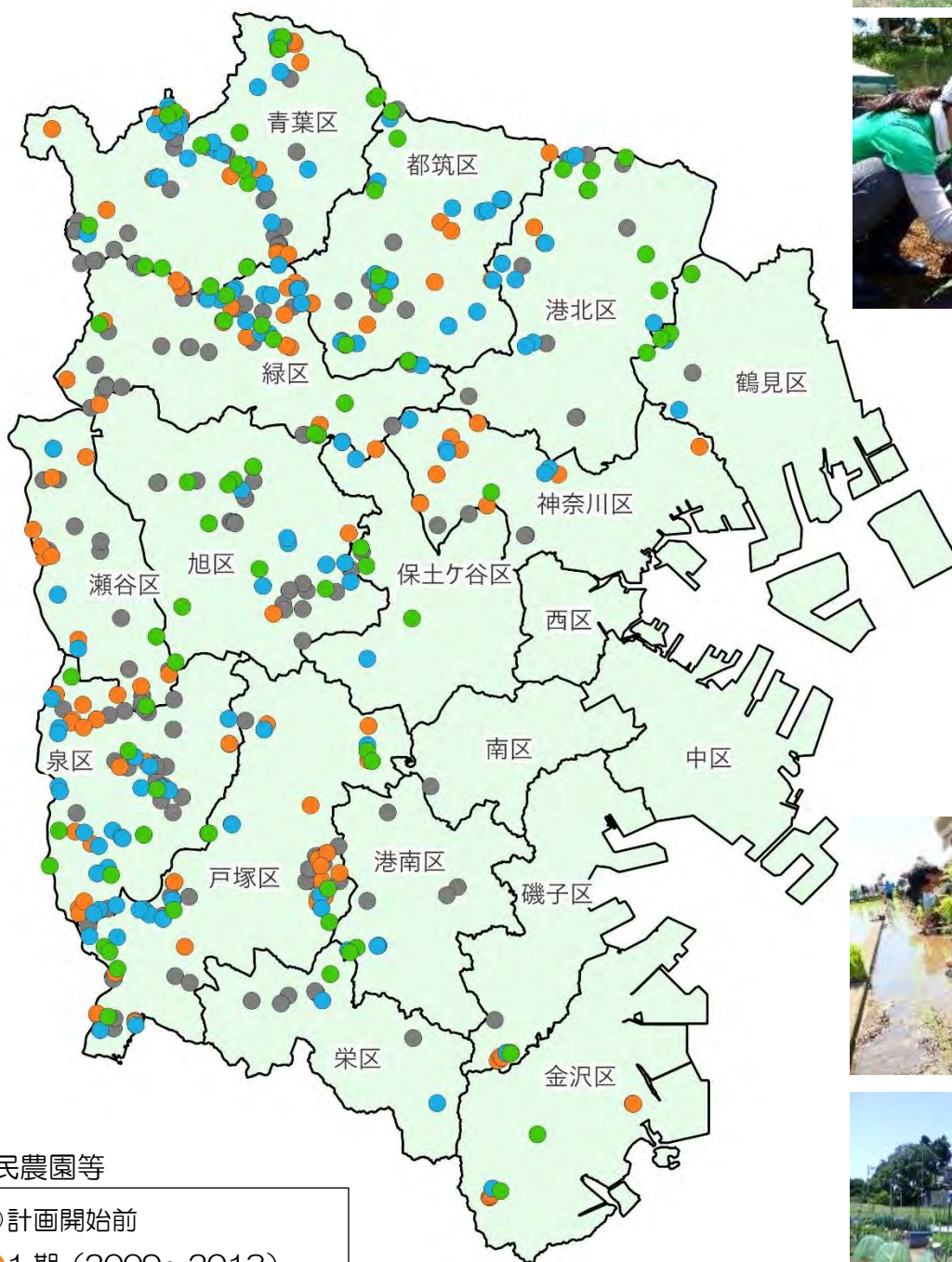
### ■5か年の主な実績(累計)

- 直売所・青空市等の支援：262件 [5か年目標：285件]
- 情報発信・PR活動：情報誌などの発行：30回 [5か年目標：30回]
- はまふうどコンシェルジュの活動支援等：163件 [5か年目標：150件]



○農とのふれあいの場や機会の増加

野菜の収穫などを気軽に体験できる収穫体験農園や、自由に栽培・収穫ができる認定市民菜園など、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設の支援や整備を進め、みどりアップ計画開始以降、300か所以上の農園が開設されました。また、子どもたちが楽しく農を学べるよう、家族で参加できる農体験講座を開催しました。



市民農園等

- 計画開始前
- 1期 (2009~2013)
- 2期 (2014~2018)
- 3期 (2019~2023)

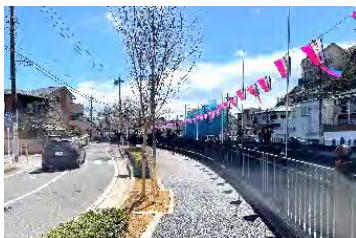


計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

## 1. 市民が実感できる緑と花の空間づくりの推進



- ・公共施設や公園など、多くの市民の目に触れる場所や保育園などの子どもが多くの時間を過ごす場所で、実感につながる緑を創出・育成しました。



大岡川プロムナード(南区)



横浜こども科学館(磯子区)



伊勢町もくせい公園(西区)



保育園のピオトープ(港北区)



保育園の花壇(青葉区)



つぎの丘小学校コミュニティハウス  
(都筑区)

## 2. 緑や花による街の賑わいづくりの推進



- ・多くの市民が訪れる都心臨海部の公共空間などで、緑や花による演出を集中的に展開し、街の賑わいづくりを進めました。



新港中央広場(中区)



グランモール公園(西区)



山下公園(中区)



日本大通り(中区)



横浜市児童遊園地(保土ヶ谷区)



新横浜駅周辺(港北区)

### ■ 5か年の主な実績 (累計)

- ・公共施設・公有地での緑の創出：39 か所 [5 か年目標：36 か所]
- ・並木の再生：9 路線 [5 か年目標：10 路線]
- ・公有地化によるシンボリックな緑の創出：創出1 か所、整備中2 か所 [5 か年目標：推進]
- ・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出：203 か所 [5 か年目標：100 か所]
- ・都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくりと維持管理：71 か所 [5 か年目標：推進]

※並木の再生は、整備完了または整備中の路線数を5か年の実績としています。

### 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

## 3. 全区での市民や企業との協働による緑と花の取組の展開



- ・地域緑のまちづくりを推進したほか、オープンガーデンなどの市民が緑や花に親しむ取組を各区で推進しました。地域で広がる緑や花の取組を、ガーデンネックレス横浜などの機会を発信し、市民や企業等の関心の高まりにつなげました。
- ・公園愛護会と連携した「地域の花いっぱいにつながる取組」などを全市的に展開し、2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）に向けた共感や機運を一層高めていきます。



#### ■ 5か年の主な実績（累計）

- ・地域緑のまちづくり：23 地区 [5か年目標：30 地区]
- ・緑や花を身近に感じる各区の取組：18 区で推進 [5か年目標：18 区で推進]
- ・地域の花いっぱいにつながる取組：推進 [5か年目標：推進]

○市民や企業と連携した緑のまちづくりが進展

地域が主体となり、その地域ならではの緑を創出する「地域緑のまちづくり」が、みどりアップ計画開始以降の15年間で70地区展開されたほか、各区ではオープンガーデンなどの地域に根差した緑や花の楽しみづくりを推進しました。



地域緑のまちづくり協定締結地区

- 1期 (2009～2013)
- 2期 (2014～2018)
- 3期 (2019～2023)

効果的な広報の展開

# 1.効果的な広報の展開

- 横浜みどりアップ計画の取組意義や成果、緑がもたらす効果を分かりやすく知っていただけるよう広報紙やSNS、市民向けイベントブースを出展しPRするなど、様々な手法を用いて、広報を展開しました。



広報よこはま市版



交通広告(桜木町駅 J・ADビジョン)



交通広告(市営地下鉄グリーンライン 車内デジタルサイネージ)



秋の里山ガーデンフェスタで苗木配布によるPR



農と緑のふれあい祭りで着ぐるみによるPR



X(旧 Twitter)を活用した広報



子どもタウンニュース

■ 5か年の主な実績

- 計画の周知や実績報告：推進 [5か年目標：推進]

## 2 5か年の主な成果



# 3

## 事業・取組の実績と評価・検証

## 評価の考え方

2019年度から2023年度までの事業・取組をふりかえり、5か年の事業・取組の実績・内容について、以下の方法により評価しました。

なお、評価にあたっては、横浜みどりアップ計画市民推進会議からの意見（P4-6）も参考にしています。

### ア 進捗状況の評価

全27の取組ごとの、5か年の目標及び計画事業費に対する5か年の進捗及び執行率を、次の評価基準により評価しました。

#### 〔進捗状況についての評価基準〕

◎:100%以上	○:70%以上～100%未満	△:70%未満
----------	----------------	---------

### イ 5か年の取組内容の評価・検証

アに加えて緑の総量の維持、緑の質の向上や緑と関わる機会の増加など、計画全体としての具体的な取組内容について評価・検証を行いました。

### ウ 5か年の総合評価

5か年の総合評価として、「ア」と「イ」を合わせて、各事業・取組の成果を5か年の総合的評価としています。

#### 〔5か年の総合評価〕

A:計画を上回る成果	B:概ね計画通りの成果	C:計画を下回る成果
------------	-------------	------------



### 5か年の目標（再掲）

- 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します  
緑地保全制度による指定が進むことで樹林地の担保量が増加、水田の保全面積を維持、市街地で緑を創出する取組が進展 など
- 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます  
森の保全面積など緑の多様な機能や役割を発揮する取組の進展、緑や花の創出により街の魅力・賑わいが向上 など
- 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します  
森に関わるイベントや農作物の収穫体験、地域の緑化活動など、市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など



## 5か年の事業・取組の評価一覧

事業・取組		総合評価	掲載ページ
<b>計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む</b>			
施策1 樹林地の確実な保全の推進			
事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り			
1	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	B	3-5
施策2 良好な森を育成する取組の推進			
事業② 良好な森の育成			
2	森の多様な機能に着目した森づくりの推進	B	3-9
3	指定した樹林地における維持管理の支援	A	3-12
事業③ 森を育む人材の育成			
4	森づくりを担う人材の育成	A	3-14
5	森づくり活動団体への支援	B	3-17
施策3 森と市民とをつなげる取組の推進			
事業④ 市民が森に関わるきっかけづくり			
6	森の楽しみづくり	A	3-20
7	森に関する情報発信	B	3-23
<b>計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる</b>			
施策1 農に親しむ取組の推進			
事業① 良好な農景観の保全			
8	水田の保全	B	3-25
9	特定農業用施設保全契約の締結	B	3-27
10	農景観を良好に維持する活動の支援	B	3-29
11	多様な主体による農地の利用促進	A	3-33
事業② 農とふれあう場づくり			
12	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	B	3-35
13	市民が農を楽しむ支援する取組の推進	A	3-38
施策2 地産地消の推進			
事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進			
14	地産地消にふれる機会の拡大	B	3-41
事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開			
15	地産地消を広げる人材の育成	B	3-46
16	市民や企業等との連携	A	3-49

### 3 事業・取組の実績と評価・検証

事業・取組		総合評価	掲載ページ
<b>計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる</b>			
施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進			
事業① まちなかでの緑の創出・育成			
17	公共施設・公有地での緑の創出・育成	B	3-52
18	街路樹による良好な景観の創出・育成	B	3-54
19	シンボリックな緑の創出・育成	B	3-57
20	建築物緑化保全契約の締結	B	3-60
21	名木古木の保存	B	3-62
施策2 緑や花に親しむ取組の推進			
事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり			
22	地域緑のまちづくり	B	3-64
23	地域に根差した緑や花の楽しみづくり	A	3-66
24	人生記念樹の配布	B	3-70
事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成			
25	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	A	3-72
事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成			
26	都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	A	3-75
<b>効果的な広報の展開</b>			
事業① 市民の理解を広げる広報の展開			
27	計画の周知や実績報告	B	3-77

#### ■柱別 総合評価の集計

	A	B	C
計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	3	4	0
計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる	3	6	0
計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	3	7	0
効果的な広報の展開	0	1	0
合計	9	18	0

## 各事業・取組の実績と評価・検証

### 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む



#### 1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

- ・ 土地所有者ができるだけ樹林地を持ち続けられるよう、固定資産税の減免などの優遇措置の適用や維持管理などの負担軽減が可能となる緑地保全制度による指定を進め、樹林地等を保全します。
- ・ 特別緑地保全地区の指定地等で、所有者に不測の事態等が発生し、市へ土地の買入れ申し出があった場合に、市が買取りに対応します。
- ・ 市民の森や市が取得した樹林地を良好に維持管理するため、管理に必要なスペースの確保、柵の設置やのり面の安全対策、越境している樹木等のせん定や間伐などを行います。また、市民の森では、散策路やトイレなどの市民が自然に親しむために必要な施設の整備を行います。

#### ■ 5か年の実績

##### □進捗状況

	緑地保全制度による 新規指定	市による買取り	保全した樹林地の 整備
2019年度実績	47.2ha	19.2ha	64か所
2020年度実績	28.9ha	18.9ha	77か所
2021年度実績	31.9ha	19.6ha	86か所
2022年度実績	36.8ha	9.3ha	85か所
2023年度実績	32.1ha	8.7ha	69か所
5か年累計(a)	176.9ha	75.6ha	381か所
5か年目標(b)	300ha	想定113ha	推進
進捗率(a/b)	58.9%	66.9%	—
評価	△	△	—

##### □事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	7,460百万円	1,767百万円
2020年度決算額	6,339百万円	1,002百万円
2021年度決算額	5,683百万円	944百万円
2022年度決算額	5,363百万円	1,182百万円
2023年度決算見込額	4,089百万円	756百万円
5か年累計(a)	28,934百万円	5,651百万円
5か年計画額(b)	32,682百万円	4,084百万円
執行率(a/b)	88.5%	138.4%
評価	○	◎

### ■ 5か年の評価・検証

- 今期のみどりアップ計画では、緑の10大拠点の樹林地や、市街化区域内の身近なまとまりのある樹林地の指定を重点的に推進し、5か年で176.9haを指定しています。
- 特別緑地保全地区の指定地等で、所有者に不測の事態等が発生し、市へ土地の買入れ申し出があった場合の対応として、5か年で75.6haを買取りました。
- これまでは、大規模な樹林地の土地所有者から順次指定にむけた働きかけを行い、指定にご協力いただけてきました。
- 保全した樹林地において、土地所有者のご協力により園路や柵などを整備し、5か年で4か所を市民の森として公開し、市民の皆様に散策や自然観察などを楽しんでいただいています。
- 樹林地外周部のがけ地に対しては、調査の結果、対策が必要と判断された場合に、のり面保護や土留めを設置して住宅地や道路への防災対策を行いました。
- 「身近な緑が減ってマンション等になる昨今、みどりアップ計画が周知・利用されることを願っている。」という声が聞かれました。
- 「樹林地の保全は地球温暖化の問題や自然環境を守る上でとても大切だと思います。」「個人で管理するのはとても大変なので助成制度が活用できればいいと思います。」、という声が聞かれました。

5か年の総合評価

B

■ 5か年の実績詳細

□ 緑地保全制度による新規指定

緑の10大拠点の樹林地や、市街化区域内の身近なまとまりのある樹林地の指定を重点的に推進し、5か年での指定目標300haのうち、5か年で176.9haを指定しました。



野庭・上永谷町特別緑地保全地区  
(港南区)



さちが丘特別緑地保全地区  
(旭区)



名瀬北特別緑地保全地区  
(戸塚区)



和泉町内林特別緑地保全地区  
(泉区)



下瀬谷特別緑地保全地区  
(瀬谷区)



新治市民の森  
(緑区)



緑地保存地区  
(神奈川区)



緑地保存地区  
(保土ケ谷区)



緑地保存地区  
(港北区)



緑地保存地区  
(栄区)



源流の森保存地区  
(青葉区)



源流の森保存地区  
(都筑区)

**□買入れ申し出への対応**

特別緑地保全地区の指定地等で、所有者に不測の事態等が発生し、市へ土地の買入れ申し出があった場合の対応として、5か年で75.6haを買取り、市内に残る緑地の保全を進めました。



富岡東三丁目特別緑地保全地区  
(金沢区)

**□保全した樹林地の整備**

市民の森において、樹林地の散策等を楽しめるよう、散策路や野外卓、案内板などの施設整備を行いました。また、樹林地の安全性を確保するため、防災工事や住宅隣接地の樹木の伐採作業を実施するとともに、良好に樹林地を維持管理するための柵、倉庫、管理車両用駐車スペースなどの整備を進めました。



【園路（階段）の整備】  
今井境木市民の森（保土ケ谷区）



【園路の整備】  
獅子ケ谷市民の森（鶴見区）



【外周柵の設置】  
寺山町本谷特別緑地保全地区（緑区）



【管理用駐車スペースの整備】  
六浦緑地（金沢区）



【法面の防災工事】  
上郷・中野特別緑地保全地区（栄区）



【フェンスの整備】  
元石川町平崎特別緑地保全地区（青葉区）



## 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

- 市民の森、ふれあいの樹林、市有緑地及び都市公園内のまとまった樹林を対象に、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災など森が持つ多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮しながら、良好な森づくりを進めます。
- 森づくりにあたっては、地域の特性等を踏まえて策定した管理計画に沿って、愛護会など多様な主体と連携しながら実施します。

### ■ 5か年の実績

#### □ 進捗状況

	森の維持管理			
	保安全管理計画の策定		保安全管理計画や森づくりガイドラインを活用した維持管理	
	樹林地	公園	樹林地	公園
2019年度実績	3か所	4か所	141か所	34か所
2020年度実績	1か所	2か所	160か所	40か所
2021年度実績	2か所	2か所	163か所	38か所
2022年度実績	0か所	0か所	172か所	38か所
2023年度実績	0か所	0か所	175か所	46か所
5か年累計(a)	6か所	8か所	811か所	196か所
5か年目標(b)	推進			
進捗率(a/b)	—			
評価	—			

#### □ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	524百万円	386百万円
2020年度決算額	615百万円	460百万円
2021年度決算額	577百万円	414百万円
2022年度決算額	565百万円	427百万円
2023年度決算見込額	603百万円	427百万円
5か年累計(a)	2,884百万円	2,114百万円
5か年計画額(b)	3,076百万円	2,313百万円
執行率(a/b)	93.8%	91.4%
評価	○	○

### ■ 5か年の評価・検証

- 多くの樹林地や公園で保全管理計画に沿った維持管理をすることができました。
- 市民の森や公園内のまとまった樹林などにおいて保全管理計画の策定が進み、樹林地の特性に応じた保全管理のあり方について、愛護会等と共通の認識を持ちながら、良好な森づくりを進めることができました。
- 保全管理計画や森づくりガイドラインを活用して森に手を入れることで、多様な環境が形成され、多くの生きものが確認できるなど、生物多様性の保全につながる成果が見られたほか、管理された樹林地外周部の斜面では、豪雨時の土砂流出が抑制されるなど森の防災・減災機能が向上しました。
- 「住宅や道路と接する樹林地の外周部を草刈りしてくれて、快適に過ごせるようになりました。」という声が聞かれました。

5か年の総合評価

B





## ■ 5か年の実績詳細

### □ 保全管理計画の策定

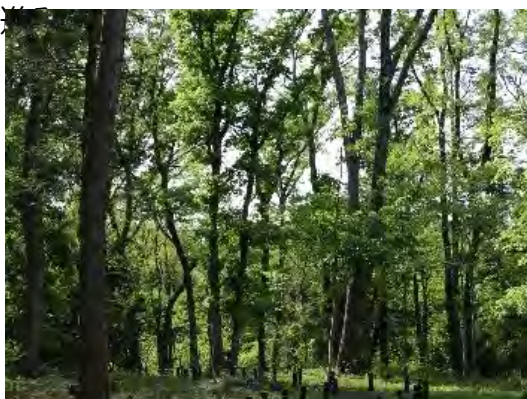
市民の森や都市公園内のまとまった樹林ごとに具体的な管理の計画を定めた「保全管理計画」を、愛護会などと連携して策定しました。



【保全管理計画の策定 検討会の様子】  
柏町市民の森（旭区）

### □ 保全管理計画や森づくりガイドラインを活用した維持管理

市民の森や都市公園内のまとまった樹林などを対象に、維持管理の技術的指針である「森づくりガイドライン」や森ごとに定めた「保全管理計画」に基づき、間伐や下草刈り等の維持管理を実施しました。



古橋市民の森（泉区）



峯市民の森（磯子区）



### 3 指定した樹林地における維持管理の支援

- 土地所有者の維持管理負担を軽減し、樹林地の安全性の向上などを図るため、緑地保全制度により指定した樹林地の外周部で土地所有者が行う危険・支障樹木のせん定・伐採や草刈りなどの維持管理作業や、樹林地内部の倒木や枯れ木の撤去処分などの費用の一部を助成します。これにより、緑地保全制度による指定を推進します。

#### ■ 5か年の実績

##### □ 進捗状況

	維持管理の助成
2019年度実績	122件
2020年度実績	162件
2021年度実績	130件
2022年度実績	111件
2023年度実績	163件
5か年累計(a)	688件
5か年目標(b)	500件
進捗率(a/b)	137.6%
評価	◎

##### □ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	97百万円	97百万円
2020年度決算額	142百万円	142百万円
2021年度決算額	120百万円	120百万円
2022年度決算額	93百万円	93百万円
2023年度決算見込額	140百万円	140百万円
5か年累計(a)	591百万円	591百万円
5か年計画額(b)	530百万円	530百万円
執行率(a/b)	111.5%	111.5%
評価	◎	◎

### ■ 5か年の評価・検証

- 緑地保全制度による指定の際の案内や、事業案内の送付により制度の認知度が向上したこと、また2019年の台風を機に土地所有者の樹林地管理への関心がより高まったことにより、目標を超える助成を実施しました。
- 緑地保全制度の指定地において土地所有者が行う外周部の危険木やナラ枯れなどの枯損木を含む危険木の除去の維持管理作業にかかる費用を助成することで、樹林地の保全と指定の拡大に寄与しました。
- 2019年に発生した台風では、外周部の維持管理作業に加えて、拡充したメニューである樹林地内部の倒木・枯れ木の撤去処分にかかる費用への助成も活用していただき、土地所有者の維持管理にかかる負担の軽減につなげました。
- 「自分の手では作業ができない箇所について制度を活用することで、維持管理がやりやすくなった。」という声が聞かれました。

5か年の総合評価

A

### ■ 5か年の実績詳細

#### □指定した樹林地における維持管理の支援

緑地保全制度により指定した私有樹林地の外周部において、隣接する住宅や道路等に対して危険な樹木や電線等の支障になっている樹木のせん定・伐採、火災や不法投棄等の恐れがある草地の草刈等の維持管理費用を助成しました。



【維持管理の支援】  
左：作業前 右：作業後（都筑区）

#### 4 森づくりを担う人材の育成

- ・ 森づくりボランティアの登録者や森づくり活動に取り組む団体を対象に、基本的な知識と安全確保を学ぶための研修や、活動のスキルアップのための研修を開催します。
- ・ ニュースレターやウェブサイトを活用し、森づくりに関する情報発信を行うほか、森づくりボランティアが団体の活動に参加できる取組を推進します。

#### ■ 5か年の実績

##### □ 進捗状況

	森づくりを担う人材の育成		広報紙等での森づくり活動に関する情報発信
	研修の実施	体験会の開催	
2019年度実績	17回	7回	4回
2020年度実績	10回	7回	4回
2021年度実績	11回	10回	4回
2022年度実績	13回	10回	4回
2023年度実績	14回	10回	4回
5か年累計(a)	65回	44回	20回
5か年目標(b)	推進		20回
進捗率(a/b)	—		100.0%
評価	—		◎

※森づくりを担う人材の育成（研修の実施）の実績数値については、過年度の報告書から修正しました。

##### □ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	10百万円	10百万円
2020年度決算額	16百万円	16百万円
2021年度決算額	7百万円	7百万円
2022年度決算額	8百万円	8百万円
2023年度決算見込額	10百万円	10百万円
5か年累計(a)	51百万円	51百万円
5か年計画額(b)	75百万円	75百万円
執行率(a/b)	68.0%	68.0%
評価	△	△

**■ 5か年の評価・検証**

- 森づくりボランティア登録者や森づくり活動に取り組む団体を対象に研修を実施し、森づくり活動を行う際の安全管理やスキルアップに寄与しました。
- 森づくりボランティア体験会の実施により、森づくりボランティアが団体の活動に参加できる機会が創出され、森づくりボランティア登録者や団体への入会が増え、森づくり活動が活性化されました。
- ニュースレターやウェブサイトを活用した森づくりに関する情報発信により、森づくりボランティアや森づくり活動団体の活動の円滑化や活性化につなげました。
- 新型コロナウイルス感染対策により、集合研修ができなかったため、動画やアンケート形式等、開催形式を工夫して人材育成を実施しました。集合研修を徐々に再開してからは、研修方法を工夫したことで、ボランティア同士の交流が促進されました。
- 体験会等を通じて、森づくりの活動への多様な関わり方が求められていることが分かりました。
- 森づくりを担う人材の育成体験会では、「地域の愛護会の方の思いを直接聞くことができとても貴重でした。」という声が聞かれ、「今後は、団体に帰属して活動がしたい。」という声が聞かれました。また、「森の植物や管理の方法について、とても楽しく知ることができた。」という声も聞かれました。

5か年の総合評価

A



## ■5か年の実績詳細

### □森づくりを担う人材の育成（研修の実施）

森づくりボランティアの登録者や森づくり活動に取り組む団体を対象に、基本的な知識と安全確保を学ぶための講習会・研修を開催しました。



【横浜市の森づくり塾！】（緑区）



【森づくりボランティア入門講座】（緑区）

### □森づくりを担う人材の育成（体験会の開催）

市内の市民の森やふれあいの樹林において、5か年で計44回、森づくりボランティアが個人で森づくりを体験する「森づくり体験会」を開催しました。



【森づくり体験会】（青葉区）

### □森づくり活動に関する情報発信

森づくりボランティアや森づくり活動団体に向けた森づくりに関する情報発信として、「よこはまの森ニュースレター」を年4回、計20回発行しました。



【よこはまの森ニュースレター】

## 5 森づくり活動団体への支援

- ・ 市民の森や都市公園内のまとまった樹林で活動する団体を対象に、森づくりに必要な道具の貸出しを行います。また、活動に対する助成や、専門家派遣による支援を行います。
- ・ 維持管理作業の際に発生した間伐材などを樹林地内でチップ化したり、樹名板を作成するなどの活用を推進します。

### ■ 5か年の実績

#### □ 進捗状況

	森づくり活動団体への支援		森づくり活動団体への専門家派遣		チップターの貸出し
	樹林地	公園	樹林地	公園	
2019年度実績	25団体	5団体	3回	1回	11か所
2020年度実績	27団体	6団体	3回	1回	11か所
2021年度実績	30団体	6団体	4回	0回	6か所
2022年度実績	27団体	6団体	4回	0回	8か所
2023年度実績	30団体	5団体	1回	0回	6か所
5か年累計(a)	167団体		15回		42か所
5か年目標(b)	150団体		20回		推進
進捗率(a/b)	111.3%		75.0%		—
評価	◎		○		—

※森づくり活動団体への支援（公園）及び、チップターの貸出の実績数値については、過年度の報告書から修正しました。

#### □ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	11百万円	10百万円
2020年度決算額	11百万円	10百万円
2021年度決算額	7百万円	7百万円
2022年度決算額	7百万円	7百万円
2023年度決算見込額	7百万円	6百万円
5か年累計(a)	43百万円	40百万円
5か年計画額(b)	55百万円	50百万円
執行率(a/b)	78.2%	80.0%
評価	○	○

### ■ 5か年の評価・検証

- 森づくり活動団体を対象に、研修の実施、ガイドブック作成への助成、イベントの開催に対する助成、道具の支援により、良好な森づくりを進めることができました。
- 課題を抱える森づくり活動団体に対して専門家（アドバイザー）派遣を行い、森に生育する植物を学ぶことや樹名板の取付けなどの管理方法のアドバイスを行うことで、希少種の保全や生物多様性に配慮した森づくりが促進され、団体の課題の解決や活動のスキルアップに寄与しました。
- 森づくり活動団体の維持管理活動により生じた間伐材を樹林地内でチップ化したリ樹名板を作成することで、間伐材の有効活用が促進されました。
- 活動団体から「散策路にチップを敷設したところ、来訪者からの評判が大変良かった。」という声が聞かれました。
- 今後も、安全かつ幅広い森づくり活動を行っていただくために、団体への研修等の支援を継続させていくことが必要です。

5か年の総合評価

B

### ■ 5か年の実績詳細

#### □森づくり活動団体への支援

来訪者の散策時に貴重な生育植物を紹介するためのガイドブック作成や森の観察や森づくり活動への関心を高めるイベントの開催に対して助成を行いました。また、カマやノコギリといった樹林地を管理するための道具、救急セットなどの安全対策用の道具、腕章や帽子などを貸し出して、活動への支援を行いました。

#### □森づくり活動団体への専門家派遣

森づくり活動団体が抱える課題解決に向け、専門家（アドバイザー）派遣による支援を行いました。



【アドバイザー派遣】（緑区）



### □チップターの貸出し

市民の森等で活動する森づくり活動団体の維持管理活動により生じた間伐材をチップ化して、園路に敷くなど有効活用を図るため、チップターの貸出しを行いました。



【チップ化作業支援】（戸塚区）



## 6 森の楽しみづくり

- 各区での催し等において、森に関わるきっかけとなり環境を学ぶ機会にもなるイベントや広報の取組を展開します。特に、森に関わる第一歩として、親子で参加できるイベントの充実などに取り組みます。
- 森を楽しむためのプログラムを自ら企画・運営できる人材を育成するための講座などを開催します。

### ■5か年の実績

#### □進捗状況

	市内大学や関係団体などと連携したイベントや、 区主催による地域の森でのイベントの実施
2019年度実績	75回
2020年度実績	34回
2021年度実績	42回
2022年度実績	98回
2023年度実績	133回
5か年累計(a)	382回
5か年目標(b)	180回
進捗率(a/b)	212.2%
評価	◎

※実績数値については、過年度の報告書から修正しました。

#### □事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	12百万円	12百万円
2020年度決算額	7百万円	7百万円
2021年度決算額	6百万円	6百万円
2022年度決算額	11百万円	11百万円
2023年度決算見込額	15百万円	15百万円
5か年累計(a)	51百万円	51百万円
5か年計画額(b)	100百万円	100百万円
執行率(a/b)	51.0%	51.0%
評価	△	△

**■ 5か年の評価・検証**

- 各区でのイベントや市内各所でのクラフト教室等、様々な企画が実施され、実施実績の目標を大きく超えることができました。
- 新型コロナウイルス感染対策を行いながら、子どもから大人まで楽しめる幅広いイベントを開催しました。
- 森の伝え手（インタープリター養成）講座では、森づくり活動をより充実させ、森の魅力を伝えるためのさまざまな手法を、座学と実習を通して習得してもらうことができました。また、「他の土地で活動している方達との交流は何にも替えがたい経験となった。」という声が聞かれました。
- 親子で参加できる森に親しむイベントでは、「普段なかなか経験できない貴重な経験ができた。またぜひ参加したい。」という声が聞かれました。

5か年の総合評価

A



## ■ 5か年の実績詳細

### □ 森の楽しみづくり

#### ● 親子で参加できる森に親しむイベントの開催

市内大学と連携した「よこはま森の楽校」など市民を対象としたイベントを開催しました。

連携大学：東京都市大学、東洋英和女学院大学、フェリス女学院大学、横浜創英大学、横浜市立大学、横浜国立大学



【よこはま森の楽校】  
横浜国立大学（保土ヶ谷区）

#### ● 間伐材を活用したクラフト教室の開催

市内の樹林地を手入れする際に発生した間伐材を活用したクラフトキットを作成し、市内各所でクラフト教室の開催や、各種イベントでの配布によって、木にふれあう機会をつくりました。



【間伐材クラフト】（都筑区）

#### ● 図書館と連携したイベントの開催

子どもたちが自然や生き物に対する理解を深め、横浜の森について考えることができるネイチャーゲームを組み入れたイベントを市内の8つの図書館（神奈川図書館、中図書館、南図書館、港南図書館、保土ヶ谷図書館、緑図書館、都筑図書館、瀬谷図書館）と連携して開催しました。



【図書館の子ども向けのイベント】  
「森の中のプレイパーク」（瀬谷区）

### □ 自然解説、プログラムリーダーの育成

#### ● 森の伝え手（インタープリター養成）講座の開催

市民が樹林地等に関心を持ち、保全へとつなげるために、自然を楽しみながら人々の関心を引き出し、自然と人との関わりや自然の大切さを伝える役割を担う人材である森の伝え手を養成する講座を開催しました。



【森の伝え手講座】（緑区）

## 7 森に関する情報発信

- ・ 市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップを作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進します。
- ・ ウェルカムセンターにおける展示解説や自然体験、環境学習の機会の提供等を、企業のCSR活動などと連携しながら実施し、市民が森について理解を深めるための取組を推進します。

### ■ 5か年の実績

#### □進捗状況

	ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等
2019年度実績	8回
2020年度実績	8回
2021年度実績	10回
2022年度実績	11回
2023年度実績	10回
5か年累計(a)	47回
5か年目標(b)	50回
進捗率(a/b)	94.0%
評価	○

#### □事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	40百万円	2百万円
2020年度決算額	43百万円	3百万円
2021年度決算額	39百万円	2百万円
2022年度決算額	39百万円	3百万円
2023年度決算見込額	40百万円	2百万円
5か年累計(a)	201百万円	13百万円
5か年計画額(b)	230百万円	30百万円
執行率(a/b)	87.4%	43.3%
評価	○	△

### ■ 5か年の評価・検証

- 森に関わる市民の裾野を広げるため、市内5か所あるウェルカムセンターでは、各館の特徴を生かしながら周辺の森に関するイベントや講座の開催などを行い、市民が森に関わるきっかけを提供することができました。
- 新規に指定された市民の森ではガイドマップを作成し、市民の皆様に横浜の森の魅力を発信することができました。
- 「横浜にたくさんの自然が残っていることの大切さを実感した。」という声が聞かれました。

5か年の総合評価	B
----------	---

### ■ 5か年の実績詳細

#### □ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等

市内5か所にあるウェルカムセンターでは、各館周辺にある緑の情報提供や、緑を知り、楽しむための講座等を開催し、緑の普及啓発・環境教育を行いました。



【ウェルカムセンターのイベント】  
野鳥観察会（港北区）



【ウェルカムセンターのイベント】  
トンボ塾（青葉区）

#### □ガイドマップの作成・リニューアル

市民が気軽に森を訪れるきっかけとなるよう、ウォーキング等の散策にも活用できるガイドマップを発行しており、5か年で、古橋市民の森、長津田宿市民の森、名瀬・上矢部市民の森のガイドマップの他、市民の森・ふれあいの樹林が市内のどこに位置しているかを示した、市民の森・ふれあいの樹林マップを新たに作成しました。



ガイドマップ 左：名瀬・上矢部市民の森ガイドマップ（戸塚区） 右：市民の森・ふれあいの樹林マップ

## 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる



### 8 水田の保全

- 土地所有者が水田を維持し、水田景観の保全や多様な機能が発揮できるよう、水稲の作付を10年間継続することを条件に、奨励金を交付します。
- 水田景観を保全するために、まとまりのある水田がある地区を対象に、水源や水路等の設置・改修等を支援します。

#### ■ 5か年の実績

##### □ 進捗状況

	水田保全	水源・水路の確保
2019年度実績	113.5ha	2か所
2020年度実績	113.3ha	3か所
2021年度実績	112.2ha	2か所
2022年度実績	111.9ha	3か所
2023年度実績	111.1ha	4か所
5か年累計(a)	111.1ha	14か所
5か年目標(b)	125ha	10か所
進捗率(a/b)	88.9%	140.0%
評価	○	◎

※水田保全の5か年累計は、2023年度の面積としています。

##### □ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	94百万円	31百万円
2020年度決算額	80百万円	31百万円
2021年度決算額	94百万円	32百万円
2022年度決算額	97百万円	32百万円
2023年度決算見込額	90百万円	32百万円
5か年累計(a)	454百万円	159百万円
5か年計画額(b)	490百万円	190百万円
執行率(a/b)	92.7%	83.7%
評価	○	○

### ■ 5か年の評価・検証

- 新規に保全された水田面積は、5か年で6.5haとなりました。市内の水田面積全体の約9割が保全されており、水田減少幅の縮小に効果があったと考えられます。
- 水源・水路の確保については5か年目標10か所に対して、14か所で支援を実施しました。水源や用水路の老朽化が進むなか、多くの地域で稲作の環境改善に寄与しました。
- 「水田は、田植えや稲刈り等、子どもの農体験の場として喜ばれている。」という声が聞かれました。また、「水田景観は和やかな雰囲気をもたらせてくれる。」という声も聞かれました。

5か年の総合評価	B
----------	---

### ■ 5か年の実績詳細

#### □水田保全面積

市内の水田自体は減少傾向にありますが、約9割の水田を保全しました。併せて新規申し出に向けた働きかけも粘り強く行い、5か年で新たに6.5haの水田の支援につながりました。



【保全された水田】（泉区）



【保全された水田】（青葉区）

#### □水源・水路の確保

水稻の栽培に不可欠な井戸や水路等の整備を支援しました。



【井戸のポンプ設備を更新】（戸塚区）



【用水路と給水栓を更新】（緑区）



## 9 特定農業用施設保全契約の締結

- 農地を10年間適正に管理することと、農地の保全に不可欠な農業用施設を10年間継続利用することを条件として、農家の住宅敷地内等にある農業用施設用地の固定資産税・都市計画税を10年間軽減することにより、農地所有者の負担軽減と農地の保全を図ります。

### ■ 5か年の実績

#### □ 進捗状況

	特定農業用施設保全契約の締結
2019年度実績	31件(0.36ha)
2020年度実績	27件(0.43ha)
2021年度実績	17件(0.27ha)
2022年度実績	34件(0.42ha)
2023年度実績	36件(0.50ha)
5か年累計(a)	145件(1.98ha)
5か年目標(b)	制度運用
進捗率(a/b)	—
評価	—

#### □ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	2百万円	0百万円
2020年度決算額	1百万円	0百万円
2021年度決算額	2百万円	0百万円
2022年度決算額	2百万円	0百万円
2023年度決算見込額	1百万円	0百万円
5か年累計(a)	8百万円	0百万円
5か年計画額(b)	10百万円	0百万円
執行率(a/b)	80.0%	—
評価	○	—

### ■ 5か年の評価・検証

- 概ね計画どおりの進捗となり、申し出に対して着実に対応しました。
- 農地の維持管理に不可欠な農業用施設に対する負担を軽減することで、農地の保全につながりました。



### ■ 5か年の実績詳細

#### □特定農業用施設保全契約の締結

新規及び更新あわせて 145 件の契約を結んだことで、農家の負担軽減ができ、営農の継続及び農地の保全につながりました。



【特定農業用施設の例】  
左：農機具格納庫 右：出荷調製施設他



## 10 農景観を良好に維持する活動の支援

- 良好な農景観を形成するため、水路等での清掃活動や農地縁辺部への植栽、水源の確保のための井戸の改修などに対して支援します。また、農地周辺の環境を良好に維持するため、土砂流出を防止する活動に対する支援や農地周辺の不法投棄対策を実施します。
- 農地周辺の環境に配慮して、農地からの土ぼこりの飛散を予防・解消するために牧草等を栽培する活動や、農作業等により生じるせん定枝などを野焼きできない場合等に、たい肥化する活動などに対して支援します。

## ■ 5か年の実績

## □ 進捗状況

	まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援			
	集団農地維持	農地縁辺部への植栽	井戸の改修	土砂流出防止対策
2019年度実績	641.7ha	15件	2地区	4件
2020年度実績	643.9ha	15件	4地区	5件
2021年度実績	679.0ha	18件	2地区	2件
2022年度実績	674.0ha	18件	2地区	2件
2023年度実績	671.4ha	21件	3地区	4件
5か年累計(a)	671.4ha	87件	13地区	17件
5か年目標(b)	730ha	55件	5地区	15件
進捗率(a/b)	92.0%	158.2%	260.0%	113.3%
評価	○	◎	◎	◎

※集団農地維持の5か年累計は、2023年度の面積としています。

	周辺環境に配慮した活動への支援	
	牧草等による環境対策	たい肥化設備等の支援
2019年度実績	4.25ha	3件
2020年度実績	4.36ha	3件
2021年度実績	5.87ha	2件
2022年度実績	4.83ha	0件
2023年度実績	5.89ha	6件
5か年累計(a)	25.2ha	14件
5か年目標(b)	20ha	25件
進捗率(a/b)	126.0%	56%
評価	◎	△

## □事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	91百万円	16百万円
2020年度決算額	96百万円	15百万円
2021年度決算額	89百万円	15百万円
2022年度決算額	88百万円	11百万円
2023年度決算見込額	111百万円	17百万円
5か年累計(a)	475百万円	74百万円
5か年計画額(b)	542百万円	111百万円
執行率(a/b)	87.6%	66.7%
評価	○	△

## ■5か年の評価・検証

- 集団農地維持は671.4haでした。活動を行う農業者団体を支援し、農地周辺の景観が良好に維持されました。
- 農地縁辺部への草花・花木などの景観植物の植栽は87件を支援し、市民から親しまれる農景観づくりが進みました。
- 井戸の改修は、施設の老朽化を背景に多くの要望があり、13地区で実施しました。
- 土砂流出防止対策は17件を支援し、概ね計画通りに取組が進みました。土留め柵等を設置した農地では、土砂流出の発生が軽減され、着実に効果があらわれています。
- 牧草等による環境対策については、継続的な取組により毎年目標以上の申請があり、農地での土ぼこり防止や、土砂流出対策に寄与しました。
- たい肥化設備等の支援については、せん定枝等を有効に活用することで、良好な農景観の維持につながります。より多くの農家が取り組めるよう、支援の対象を農家団体に加え、個人にも拡充しました。
- 「近所の農地周辺を散歩すると、いろいろな花などが植えられていて、ひとつの楽しみです。今後も楽しませてほしい。」という声が聞かれました。
- 「作付と作付の間に計画的に牧草類を栽培することで土ぼこりが減り、良質な野菜の栽培に役立っている。」という声が聞かれました。

5か年の総合評価

B

## ■ 5か年の実績詳細

### □ まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

#### ● 集団農地維持

まとまりのある農地の周辺で、道路や水路の清掃や草刈りを行う農家団体を支援しました。



【集団農地維持】（都筑区）

#### ● 農地縁辺部への植栽

農地の縁辺部で、草花や花木などの景観植物を栽培・管理する農家団体を支援しました。



【農地縁辺部への植栽】（緑区）

#### ● 井戸の改修

まとまりのある農地を維持するために必要な、畑地かんがい用の井戸施設の整備を支援しました。



【畑に水を送るポンプ更新】（戸塚区）

#### ● 土砂流出防止対策

傾斜のある農地などで、台風や集中豪雨などによって耕作土が流出することを防ぐため、法面の保護や土留め柵の設置を支援しました。



【土留め柵を設置した農地】（都筑区）

### □周辺環境に配慮した活動への支援

#### ●牧草等による環境対策

土砂流出と土ぼこりの飛散等を防ぐための対策として、牧草等を栽培する農家に対して支援を行いました。



【牧草等による環境対策】（都筑区）

#### ●たい肥化設備等の支援（共同利用設備の整備）

農業活動により生じるせん定枝や作物残さ等をたい肥化してリサイクルに取り組む団体や個人に対して、必要な機械や設備の購入を支援しました。



## 11 多様な主体による農地の利用促進

- 遊休化して荒れた農地は、貸し借りが進まず、良好な農景観が損なわれます。このため、意欲ある農家や新規に参入を希望する個人・法人など多様な主体へ農地を貸し付けられるよう遊休化した農地の復元を支援することで、良好な農景観を保全します。

### ■ 5か年の実績

#### □ 進捗状況

	遊休農地の復元支援
2019年度実績	0.84ha
2020年度実績	0.28ha
2021年度実績	0.26ha
2022年度実績	0.44ha
2023年度実績	0.90ha
5か年累計(a)	2.72ha
5か年目標(b)	1.5ha
進捗率(a/b)	181.3%
評価	◎

#### □ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	26百万円	26百万円
2020年度決算額	22百万円	22百万円
2021年度決算額	21百万円	21百万円
2022年度決算額	16百万円	16百万円
2023年度決算見込額	12百万円	12百万円
5か年累計(a)	97百万円	96百万円
5か年計画額(b)	153百万円	153百万円
執行率(a/b)	63.4%	62.7%
評価	△	△

### ■ 5か年の評価・検証

- JA 横浜等との情報共有・連携により効果的な事業推進が図られたこともあり、5か年で2.72haの遊休農地が解消し意欲ある農家等により有効利用されました。
- 「制度利用により借り手も見付き、広大な面積をきれいな農地に復元することができた。」という声が聞かれました。



### ■ 5か年の実績詳細

#### □ 遊休化した農地の復元を支援

遊休化して荒れた農地を、規模拡大を希望する農家等に貸し付けることを条件に、土地所有者等が農地を良好な状態に復元する取組を支援しました。



【遊休農地の復元】  
左：復元前 右：復元後（都筑区）





## 12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

- 野菜の収穫や果物のもぎとりなどを気軽に体験することができる収穫体験農園の開設に必要な施設整備等を支援します。
- 農作業の経験がない人でも農家から指導を受けることで栽培から収穫までを楽しめる農園や、利用者が自由に農作業を楽しめる農園など、土地所有者等が農園を開設するための支援を行います。また、農園の開設のノウハウを持った市民農園コーディネーターの活用などにより、円滑な農園開設に向けた支援を行います。

### ■ 5か年の実績

□進捗状況

	様々なニーズに合わせた農園の開設		
	収穫体験農園	市民農園	農園付公園
2019年度実績	2.06ha	1.32ha	0.55ha
2020年度実績	2.87ha	1.11ha	0.00ha
2021年度実績	3.99ha	0.60ha	0.00ha
2022年度実績	3.35ha	1.65ha	0.00ha
2023年度実績	1.62ha	0.74ha	0.00ha
5か年累計(a)	19.86ha		
5か年目標(b)	22.80ha		
進捗率(a/b)	87.1%		
評価	○		

## □事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	295百万円	37百万円
2020年度決算額	150百万円	56百万円
2021年度決算額	321百万円	41百万円
2022年度決算額	54百万円	43百万円
2023年度決算見込額	118百万円	45百万円
5か年累計(a)	938百万円	222百万円
5か年計画額(b)	2,453百万円	829百万円
執行率(a/b)	38.2%	26.8%
評価	△	△

## ■5か年の評価・検証

- 収穫体験農園の開設支援を行った農園での果物のもぎとりや市民農園での野菜の栽培など、市民が農を楽しむ場が多く作られました。
- 農園付公園の整備では、公園として開設するための用地取得や、農園だけでなく周辺のインフラ等の施設整備が必要となり、事業を行う土地の条件によって供用までに長期間を要することが多くなっています。
- 最も新しく整備を行った阿久和富士見小金台公園では、協働農園を活用した収穫体験イベントを指定管理者が開催し、地域住民が参加しています。
- 「作物の成長過程を観察し作業することで、食の大切さ、水田の必要性、生物多様性等を学習できた。」という声が聞かれました。

5か年の総合評価

B

## ■ 5か年の実績詳細

### □ 収穫体験農園

ナシ、ブドウなどの果樹園の整備支援を行い、農家が栽培した旬の果物を収穫体験できる農園が増えました（農園開設整備の支援、13.89ha）。



【収穫体験農園】（緑区）

### □ 市民農園

土地所有者等が認定市民菜園や環境学習農園を開設するための支援を実施し、5か年で5.42haの農園が開設されました。

市内で開設されている主な市民農園

- ・ 認定市民菜園

農園利用者が農地の一部の区画を借りて、農作物を自由に耕作する農園

- ・ 環境学習農園

児童や生徒などが農家と一緒に種まき、収穫などの農作業の一部を継続して体験できる農園



【認定市民菜園】（磯子区）

### □ 農園付公園

阿久和富士見小金台公園（瀬谷区）の整備を完了し、2020年4月1日に開園しました。利用者が自由に耕作できる区画貸しの分区園や協働農園のほか、広場や遊具などを設置した都市公園として、地域の憩いの場としてご利用いただいています。分区園では、指定管理者による利用者に向けた栽培相談会や、協働農園での収穫体験イベントが開催されています。

現在整備中の農園付公園予定地（4.4ha）においては、周辺のインフラに関する協議や、測量、設計等を実施しました。引き続き、開園に向けて取り組みます。

### 13 市民が農を楽しむ支援する取組の推進

- 横浜ふるさと村や恵みの里等で、苗の植え付けや農産物の収穫などを行う農体験教室、横浜の農を知ってもらうアグリツーリズムの推進など、市民が農とふれあう機会を提供します。
- 市民農業大学講座や農体験講座を開催し、市民が栽培技術などを学ぶ場を提供しました。子どもたちが楽しく農を学べるよう、家族で参加できる農体験講座の充実に取り組みます。また、援農コーディネーター等を活用し、市民農業大学講座修了生などによる農家への援農活動を支援します。

#### ■ 5か年の実績

##### □進捗状況

	横浜ふるさと村、 恵みの里等で 農体験教室などの実施	市民農業大学講座の 開催	農体験講座の開催
2019年度実績	91回	20回	6回
2020年度実績	50回	0回	6回
2021年度実績	86回	20回	5回
2022年度実績	94回	35回	6回
2023年度実績	101回	35回	6回
5か年累計(a)	422回	110回	29回
5か年目標(b)	450回	100回	30回
進捗率(a/b)	93.8%	110.0%	96.7%
評価	○	◎	○

##### □事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	8百万円	0百万円
2020年度決算額	14百万円	0百万円
2021年度決算額	19百万円	0百万円
2022年度決算額	28百万円	0百万円
2023年度決算見込額	31百万円	0百万円
5か年累計(a)	100百万円	0百万円
5か年計画額(b)	61百万円	0百万円
執行率(a/b)	163.9%	—
評価	◎	—

### ■ 5か年の評価・検証

- 横浜ふるさと村、恵みの里での米作りやみそ造り等の教室、野菜や果物の収穫体験等の農体験教室などは、新型コロナウイルス感染症の影響で2020年度には開催数が大きく減りました。一方で、2022年度以降は複数地区で新規の収穫体験が実施されるなど、以前よりも活動が活発化し、市民の方に農とふれあっていただく機会を増やすことができ、身近に収穫体験できる場所があることを知っていただけました。
- 市民農業大学講座では、市民の皆様が農作業の基礎を学ぶ機会を提供し、援農や緑化ボランティア等で活躍する人材育成を行いました。
- 農体験講座では、小学生が家族と一緒に作物の植え付けから収穫までを体験することで、農とふれあう機会を提供しました。収穫に至るまでの様々な農作業を通じて、楽しみながら農を身近に感じる体験の取組を進めました。
- 「普段なかなか体験する機会がないことを体験でき、農を身近に感じられた。」  
「また、収穫体験をやってみたい。」という声が聞かれました。

5か年の総合評価

A



## ■ 5か年の実績詳細

### □農体験教室などの実施

横浜ふるさと村や恵みの里において、農家団体が実施する農体験教室等のイベントの開催を支援しました。また、2020年4月に緑区北八朔地区を市内5地区目の恵みの里として指定しました。



【体験水田・稲刈り】  
(北八朔恵みの里 緑区)



【ジャガイモ掘り】  
(柴シーサイド恵みの里 金沢区)

### □市民農業大学講座の開催

野菜・果樹や花等の栽培管理の基礎について実習を中心として学び、修了後に農家での農作業のお手伝い（援農）や公園、緑地等でのボランティア活動など、地域で活躍していただく人材育成講座を環境活動支援センター（保土ケ谷区）内の畑を中心に開催しました。



【花壇の手入れ】



【トマトの植え付け】

### □農体験講座の開催

小学生が家族と一緒に作物の植え付けから収穫までを体験する連続講座を環境活動支援センター（保土ケ谷区）内の畑で開催しました。



【サツマイモの植え付け】



【ダイコンの収穫】

## 14 地産地消にふれる機会の拡大

- ・ 直売所や加工所に必要な設備の導入等を支援します。また、市民が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市やマルシェの開催等を支援します。
- ・ 市内の植木農家や花き農家が生産した苗木や花苗を、市民への配布や公共施設、農地の縁辺部への植栽等に活用し、市民が市内産の植木や草花に親しめる機会を創出します。
- ・ 情報誌などの制作・発行や SNS 等の活用、地産地消に関する各区局の取組により、地産地消の取組の PR を推進します。また、「横浜農場※」を活用した市内産農畜産物のブランド化に向けたプロモーションの強化を図ります。

※横浜農場：食や農に関わる多様な人々、農畜産物、農景観など  
横浜らしい農業全体を一つの農場に見立てた言葉。

## ■ 5か年の実績

## □進捗状況

	直売所・青空市等の支援	緑化用苗木の配布	情報発信・PR活動：情報誌などの発行
2019年度実績	43件	25,727本	6回
2020年度実績	41件	25,000本	6回
2021年度実績	49件	22,505本	6回
2022年度実績	63件	25,574本	6回
2023年度実績	66件	25,700本	6回
5か年累計(a)	262件	124,506本	30回
5か年目標(b)	285件	125,000本	30回
進捗率(a/b)	91.9%	99.6%	100.0%
評価	○	○	◎

## □事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	42百万円	0百万円
2020年度決算額	47百万円	0百万円
2021年度決算額	43百万円	0百万円
2022年度決算額	49百万円	0百万円
2023年度決算見込額	55百万円	0百万円
5か年累計(a)	236百万円	0百万円
5か年計画額(b)	293百万円	0百万円
執行率(a/b)	80.5%	—
評価	○	—

### ■ 5か年の評価・検証

- 直売所・加工所の設置に必要な機械・設備・備品等の導入支援のほか、新たに加工に取り組みたい生産者やSNSで発信を行いたい生産者にアドバイスをを行い、充実した直売所・加工所の運営につなげました。
- 市内の生産者等がマルシェに出店するための支援を行うことにより、市民が新たに地産地消を知るきっかけとなっただけでなく、身近な場所で市内産農畜産物を購入できる機会を提供しました。また、市内各地の直売団体の青空市等の運営を支援するため、直売に活用できる物品を提供しました。
- 市民協働による緑化や市の主催するイベント等で、市内産の苗木を市民に配布したり、公共施設の緑化に役立てたりすることで、市民が市内産の植木や草花に親しめる機会を創出しました。途中、新型コロナウイルス感染症対策に伴うイベント等の開催中止により配布本数が伸び悩みましたが、5か年を通じてほぼ目標配布本数を達成することができました。
- 横浜の農を身近に感じていただくため、地産地消の情報誌である「はまふうどナビ」やマルシェ情報等を掲載したマルシェカレンダーの発行、Instagramアカウントを活用した情報発信、11月の地産地消月間におけるプレゼントキャンペーンを展開し、横浜の農業や農畜産物の魅力を発信しました。

5か年の総合評価

B





## ■ 5か年の実績詳細

### □直売所・青空市等の支援

#### ●直売所・加工所整備の支援

直売所や加工所の整備支援として、自動販売機や冷蔵ショーケース、食品乾燥機等の導入に対して支援しました。

また、直売所・加工所を運営している生産者に、新たに加工に取り組む際の関係法令の説明や注意点、SNS を活用した PR 方法のアドバイス、販売方法の事例紹介などを行い、より良い運営ができるよう支援しました。



【焼き芋機の導入】（都筑区）

#### ●青空市・マルシェ等への支援

市内の生産者等がマルシェに出店するための出店料支援のほか、直売団体に「横浜農場」ののぼり旗やプライスカード等の物品を提供し、青空市等の運営支援を行いました。



【みなとみらい農家朝市】（西区）



【横浜北仲マルシェ】（中区）

### □緑化用苗木の配布

市内産の苗木を公共施設の緑化や、市民への配布、公園などに市民と協働で植樹することで、市民が市内産の植木や草花に親しめる機会を創出しました。



【市民による植樹風景】（緑区）

□情報発信・PR 活動

市民が農を身近に感じるための取組として、5か年を通して地産地消の情報誌「はまふうどナビ」を年に3回発行しました。また、令和2年度より Instagram に横浜農場アカウントを開設し、農風景や農畜産物の写真、各地で開催されている農のイベント情報や地産地消の取組などの情報発信を行いました。令和6年2月時点で5,500名を超える方にフォローしていただき、情報発信の媒体として大きな役割を果たしています。加えて11月の地産地消月間に合わせて「横浜農場 食と農のマルシェ」や「横浜農場エコバッグプレゼントキャンペーン(2022年度)」、「よこはま地産地消サポート店レシートキャンペーン(2023年度)」、Instagramでの「フォロー&いいね!」キャンペーン等、様々なイベント・キャンペーンを実施し、横浜の農を身近に感じていただける取組を展開しました。

・はまふうどナビ



【はまふうどナビ】

・横浜農場 Instagram



左：【横浜農場 Instagram 公式アカウント】  
右：【フォロー&いいね! キャンペーン】

・横浜農場 食と農のマルシェ

日時：2023年11月21日(火) 11時~15時

場所：横浜市役所アトリウム・北プラザ

内容：市内事業者(野菜、ビール、ドレッシング等)の販売

株式会社ミツハシによる市内産米のPR販売

JA 横浜青壮年部による直売会を同時開催

計12店舗による物販

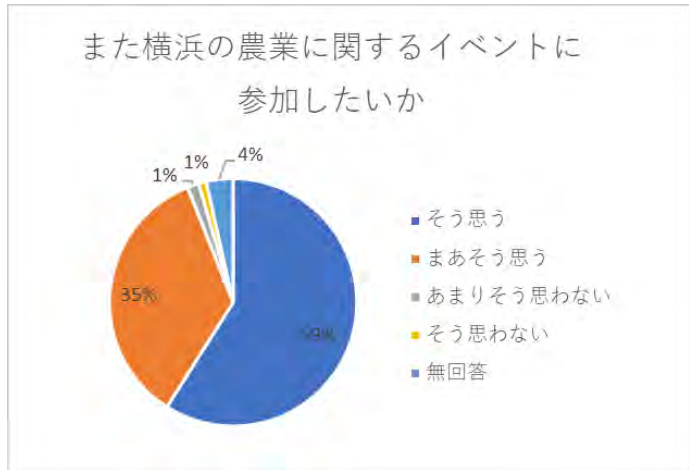
地産地消メニューを提供するキッチンカー3台の出店



【横浜農場 食と農のマルシェの開催の様子】



【横浜農場 食と農のマルシェのチラシ】



【横浜の農業に関するイベント 来場者アンケート】  
94%が・そう思う・まあそう思うと回答

- よこはま地産地消サポート店レシートキャンペーン  
店舗利用期間：2023年11月1日～11月30日  
申込期間：2023年11月1日～12月8日



【よこはま地産地消サポート店レシートキャンペーンのチラシ】



## 15 地産地消を広げる人材の育成

- ・ はまふうどコンシェルジュの育成講座の開催により、地産地消を広げるはまふうどコンシェルジュを育成しました。また、コンシェルジュの自発的な活動を支援します。
- ・ 生産者やよこはま地産地消サポート店、はまふうどコンシェルジュ、地産地消に取り組む市民・企業等をつなげる交流会等を開催し、ネットワークづくりを支援します。

## ■ 5か年の実績

## □進捗状況

	はまふうどコンシェルジュの活動支援等	地産地消ネットワーク交流会の開催
2019年度実績	28件	1回
2020年度実績	27件	1回
2021年度実績	32件	1回
2022年度実績	36件	1回
2023年度実績	40件	1回
5か年累計(a)	163件	5回
5か年目標(b)	150件	5回
進捗率(a/b)	108.7%	100.0%
評価	◎	◎

## □事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	2百万円	0百万円
2020年度決算額	1百万円	0百万円
2021年度決算額	2百万円	0百万円
2022年度決算額	3百万円	0百万円
2023年度決算見込額	3百万円	0百万円
5か年累計(a)	11百万円	0百万円
5か年計画額(b)	25百万円	0百万円
執行率(a/b)	44.0%	—
評価	△	—

## ■ 5か年の評価・検証

- はまふうどコンシェルジュの育成は着実に進んでおり、市民向けのマルシェ、農作業体験教室等の活動が活発になっています。
- 5か年を通して、ネットワーク交流会として「横浜 食と農のフォーラム」を開催しました。地産地消に関わる又は関心のある異業種の方が集まり、交流を深めることにより、地産地消に係るネットワークを強化することができ、連携・協働により地産地消を推進することができました。
- 他業種との交流により、マルシェに生かせるアイデアもうまれ、それを活かすことができました。

5か年の総合評価

B

## ■ 5か年の実績詳細

### □はまふうどコンシェルジュの活動支援等

地産地消を広げる人材である、はまふうどコンシェルジュ\*の育成講座については、新型コロナウイルス感染症対策により 2020 年度は中止、2021 年度及び 2022 年度は規模を縮小して開催しました。コンシェルジュが開催するマルシェなどの活動に支援するほか、公共機関で実施する地産地消の講座や料理教室の講師としてコンシェルジュを派遣するなどの支援も行っています。

5か年で、奨励事業 136 件、補助事業 2 件、講師派遣制度 25 件の計 163 件の活動支援を行いました。

\*はまふうどコンシェルジュ：横浜の「食」と「農」をつなぎ地産地消を広めるための活動を行い、市が主催する講座を修了された方をはまふうどコンシェルジュとして認定しています。



【コンシェルジュの活動支援】  
農作業体験（保土ケ谷区）

・はまふうどコンシェルジュ育成講座

※講座内容

- ①横浜の「農」と地産地消  
…市の農業の概要と地産地消の取組についての講義
- ②横浜の「農」を味わう  
…中央卸売市場の見学と横浜野菜を使った調理実習等
- ③横浜の「農」を体験する  
…生産者と一緒に収穫や直売の体験
- ④横浜の「農」を巡る  
…市内の生産現場を見学するバスツアー
- ⑤これからの地産地消  
…今後の活動を考えるワークショップ



【はまふうどコンシェルジュ育成講座】

●はまふうどコンシェルジュ講座参加者の声

- ・横浜の農業が素晴らしいということが分かったので、それを広げていける一員になりたいと思いました。
- ・今回ははまふうどコンシェルジュ講座を受講できて得るものがたくさんでした。五感を通して、横浜の農を体感できました。
- ・横浜の農について知らないことが多かったですが、講座を通して色々知ることができました。
- ・横浜の農、地産地消をすべて見せて、体験させてくださるメニューが素晴らしいと思いました。異業種の同期の皆様と新しい「仲間」になれたのは自分の大きな財産になると思います。

□地産地消ネットワーク交流会の開催

地産地消に取り組む人材の交流や情報交換等を行う「横浜 食と農のフォーラム」を、市民・企業と連携して開催しました。



【マルシェ運営事業者等による事例紹介の様子】



【参加者によるグループワークの様子】



【横浜 食と農のフォーラムのチラシ】

## 16 市民や企業等との連携

- ・ 地産地消を広げるため、生産者と企業等とのマッチングなどにより、連携を推進します。
- ・ 地産地消に貢献する新たなビジネスに取り組む意欲のある市民や市内中小企業等を対象に、ビジネスプランを策定するための講座を開催し、選定されたプランを支援します。
- ・ 小学校の給食メニューにおける市内産農産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業などと連携し、学校給食での市内産農産物の一斉供給や、小学生を対象とした料理コンクールを開催します。

## ■ 5か年の実績

## □進捗状況

	市民や企業等との連携	地産地消ビジネス創出支援	学校給食での市内産農産物の一斉供給	料理コンクールの開催
2019年度実績	13件	—	327校	1回
2020年度実績	15件	3件	316校	1回
2021年度実績	13件	5件	311校	1回
2022年度実績	15件	6件	316校	1回
2023年度実績	15件	1件	316校	1回
5か年累計(a)	71件	15件	1,586校	5回
5か年目標(b)	50件	16件	推進	5回
進捗率(a/b)	142.0%	93.8%	—	100.0%
評価	◎	○	—	◎

※地産地消ビジネス創出支援は、1年目は育成講座、2年目から事業支援の実施となります。

## □事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	5百万円	0百万円
2020年度決算額	4百万円	0百万円
2021年度決算額	6百万円	0百万円
2022年度決算額	6百万円	0百万円
2023年度決算見込み額	4百万円	0百万円
5か年累計(a)	25百万円	0百万円
5か年計画額(b)	42百万円	0百万円
執行率(a/b)	59.5%	—
評価	△	—

## ■ 5か年の評価・検証

- 地産地消に関心のある企業等との連携により、市内産農畜産物やそれらを使用した加工品を販売するマルシェを開催しました。また、多くの市民が利用するスーパーマーケットの直売コーナーへ「横浜農場」のPR資材を提供し、日常生活で市民が気軽に市内産農産物を購入できる場所があることを積極的に訴求しました。5か年の取組で企業等との連携により、より多くの市民に市内産農畜産物の魅力を発信できました。
- 地産地消ビジネスの創出支援を通じて、市内産農畜産物を使用した様々な加工品やサービスが生まれました。企業等の主体的な取組により、市民が農を味わう多様な機会を創出しました。
- 小学校給食での市内産農産物（ダイコン、キャベツなど）の一斉供給を行うとともに、小学生が市内産農産物を使用した学校給食のメニューを提案する「はま菜ちゃん料理コンクール」の取組でも年々参加者が増加し、子どもたちに地産地消の重要性が浸透しています。

5か年の総合評価

A

## ■ 5か年の実績詳細

### □市民や企業等との連携

企業と連携し、市内産農畜産物を使用した新商品の開発やマルシェの開催等を行い、市内産農畜産物のPRを図りました。



左：【ユニクロ PARK 横浜ベイサイド店と連携した横浜農場 PR イベントの実施】（金沢区）

右：【株式会社ダイエー横浜西口店と港南台店における市内産農畜産物販売スペースの常設】（西区、港南区）

### □地産地消ビジネス創出支援

市内産農畜産物を用いた新たな商品やサービスの開発などのビジネスプランを持っている方を対象に、プランの充実を図るための育成講座を実施しました。開催に当たっては、オンラインを活用するなど、受講生の受講のしやすさ・感染症対策に留意しました。

また、育成講座後に支援の対象となるプランを選定し、市内産の野菜を使用した商品開発等に対して、事業開始にかかる初期費用の補助や経営に関する相談対応を行いました。



【地産地消ビジネス創出支援事業】  
「こめノーラ」



**□学校給食での市内産農産物の一斉供給利用促進**

横浜市教育委員会、(公財)よこはま学校食育財団、JA横浜及び市内の生産者等と連携し、市内の小学校・特別支援学校に、給食で使用するダイコンやキャベツを届け、子ども達に提供しました。

**□料理コンクールの開催（はま菜ちゃん料理コンクール）**

市内の小学生を対象に、市内産農産物を使用した学校給食のメニューを募集する「はま菜ちゃん料理コンクール」を開催しました。横浜市教育委員会、(公財)よこはま学校食育財団、JA横浜等の協力のもと、応募作品の書類審査を行い、各年6作品ずつ選出しました。

2020年度からは入選作品の考案者を集めて実際に調理・試食を行う本選は中止しましたが、レシピ集等を作成し、ホームページに掲載しました。また、2022年度からは、入賞した6作品の料理にアレンジを加えたメニューを、市庁舎2階の「TSUBAKI食堂」で提供しました。



【入賞作品レシピ集】

**●はま菜ちゃん料理コンクール参加者の声**

- 横浜産の野菜を使って料理をしてみたいと思ったから参加しました。おばあちゃんとお母さんと一緒に色々考えながら作れたので楽しかったです。
- 給食が好きで、給食のような料理を作ってみたくて、はま菜ちゃんコンクールに応募しました。料理をすることに自信ができました。



【入賞作品のアレンジメニュー】



## 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる



### 17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

- 各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進します。また、充実を図った公共施設・公有地の緑を良好に維持管理します。

#### ■ 5か年の実績

##### □進捗状況

	緑の創出	緑の維持管理
2019年度実績	4か所	63か所
2020年度実績	12か所	50か所
2021年度実績	5か所	47か所
2022年度実績	13か所	44か所
2023年度実績	5か所	41か所
5か年累計(a)	39か所	245か所
5か年目標(b)	36か所	推進
進捗率(a/b)	108%	—
評価	◎	—

##### □事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	80百万円	0百万円
2020年度決算額	91百万円	0百万円
2021年度決算額	86百万円	0百万円
2022年度決算額	86百万円	0百万円
2023年度決算見込額	45百万円	0百万円
5か年累計(a)	389百万円	0百万円
5か年計画額(b)	690百万円	0百万円
執行率(a/b)	56.4%	—
評価	△	—

## ■ 5か年の評価・検証

- 多くの市民が利用する各区の公共施設や公有地で緑化整備を行いました。
- 各施設では、花壇整備、屋上や壁面での緑化など、多様な緑化を進めました。
- 今後も、多くの市民が利用する公共施設を率先して緑化することで、市民が実感できる緑を創出するとともに創出した緑を良好に維持管理することが必要です。

5か年の総合評価

B

## ■ 5か年の実績詳細

### □緑の創出

横浜こども科学館、中本牧コミュニティハウス敷地内こどもの遊び場、金沢地区センター、港北区庁舎、緑区庁舎など、多くの市民が利用する施設等を緑化しました。



つづきの丘小学校コミュニティハウス  
(都筑区)



横浜こども科学館（磯子区）

### □緑の維持管理

創出した緑を良好に維持するために、各施設において適切な維持管理を行いました。



ふるさと尾根道緑道（旭区）



緑区庁舎（緑区）

## 18 街路樹による良好な景観の創出・育成

- ・ 老木化した桜並木などの地域で愛されている並木の再生や、空いている植栽柵への補植など、街路樹による良好な景観づくりを進めます。
- ・ 駅周辺や各区の主要な路線など、多くの市民の目にふれ、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成します。

## ■ 5か年の実績

## □ 進捗状況

	並木の再生	空き樹の補植	良好な維持管理
2019年度実績	8路線	高木0本 低木889本	18,428本
2020年度実績	6路線	高木180本 低木1,080本	17,710本
2021年度実績	4路線	高木29本 低木788本	16,993本
2022年度実績	3路線	高木23本 低木1,369本	15,545本
2023年度実績	2路線	高木62本 低木1,613本	14,873本
5か年累計(a)	9路線	高木294本 低木5,739本	83,549本
5か年目標(b)	10路線	推進	18区で推進
進捗率(a/b)	90.0%	—	—
評価	○	—	—

※並木の再生の累計は、2023年度末時点で整備完了または整備中の路線数です。

## □ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	477百万円	477百万円
2020年度決算額	502百万円	502百万円
2021年度決算額	458百万円	458百万円
2022年度決算額	436百万円	436百万円
2023年度決算見込額	483百万円	483百万円
5か年累計(a)	2357百万円	2357百万円
5か年計画額(b)	2,910百万円	2,910百万円
執行率(a/b)	81.0%	81.0%
評価	○	○

## ■ 5か年の評価・検証

- 地域に愛されている桜並木などの街路樹を再生し、7路線で整備を完了しました。
- 空いている植栽樹に補植することで、良好な景観づくりを進めました。
- 市民が目にする機会が多い街路樹を計画的にせん定することで、枝を広げた健全な樹形が維持され、良好な街並みを形成しました。
- 「夏の高温時には街路樹の木陰を利用している、春の新芽の緑や、秋の紅葉で季節を感じている。」という声が聞かれました。

5か年の総合評価

B

## ■ 5か年の実績詳細

### □ 並木の再生

大岡川プロムナード、環状4号線などの地域で愛されている桜並木を再生しました。



大岡川プロムナード／桜（ジンダイアケボノ）  
（南区）



環状4号線／桜（ヨウコウ）（緑区）

### □ 空き樹の補植

枯損等で空いていた植栽樹に高木、低木を補植しました。



いたち川プロムナード／桜（ウミネコ）  
（栄区）



石崎川プロムナード／桜（オカメザクラ、  
ヨコハマヒザクラ）（西区）

### □良好な維持管理

街路樹を良好に育成するために、樹種や路線の特性を考慮しながら、目標とする樹形とせん定方法をあらかじめ定め、街路樹せん定士の指導のもと、計画的なせん定をしています。

全ての区の街路樹で毎年事業を実施したことで、街路樹の健全な育成が進み、良好な景観を創出しました。



保土ヶ谷駅浅間線／ユリノキ（保土ヶ谷区）



ギャラリーロード／ホルトノキ（神奈川区）



## 19 シンボリックな緑の創出・育成

- 多くの市民の目にふれる場所で、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな空間を創出することで、街の魅力や賑わいづくりにつなげます。
- 花畑や名所など、地域に親しまれている緑のオープンスペースが、所有者の不測の事態等により、存続が困難となった場合に用地を取得し、緑や花による地域のシンボリックな空間として保全します。
- 多くの人が訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します。

## ■ 5か年の実績

## □ 進捗状況

	公有地化によるシンボリックな 緑の創出・管理	公開性のある緑空間の創出支援
2019年度実績	緑の創出：1か所 整備完了 1か所 整備中 緑の管理：2か所	1か所
2020年度実績	緑の創出：1か所 整備中 緑の管理：2か所	2か所
2021年度実績	緑の創出：1か所 整備中 緑の管理：2か所	1か所
2022年度実績	緑の創出：2か所 整備中 緑の管理：2か所	2か所
2023年度実績	緑の創出：2か所 整備中 緑の管理：2か所	0か所
5か年累計(a)	緑の創出：1か所 整備完了 2か所 整備中 緑の管理：10か所	6か所
5か年目標(b)	推進	推進
進捗率(a/b)	—	—
評価	—	—

## □事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	559百万円	185百万円
2020年度決算額	91百万円	25百万円
2021年度決算額	97百万円	19百万円
2022年度決算額	147百万円	111百万円
2023年度決算見込額	46百万円	27百万円
5か年累計(a)	940百万円	367百万円
5か年計画額(b)	1,789百万円	497百万円
執行率(a/b)	52.5%	73.8%
評価	△	○

## ■5か年の評価・検証

- 公有地化によるシンボリックな緑の創出では、1か所の公園を整備し公開しました。また、2箇所の予定地において、開園に向けた整備工事などを進めています。
- これまで本事業で、地域のシンボリックな緑となる公園として整備した箇所では、質の高い維持管理を行いました。
- 公開性のある緑空間の創出支援では、助成を受けることで、負担軽減につながり、目にする人に魅力的に感じてもらえる緑化を行うことができました。

5か年の総合評価

B



## ■ 5か年の実績詳細

### □ 公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理

シンボリックな緑の創出については、神奈川区において、廃止された国家公務員宿舎の跡地を市が用地取得し、六角橋四丁目公園が開園しました。また中区では、横浜税関山手宿舎の跡地を取得、地域のシンボルらしい、風格ある豊かな空間の創造をめざして公園整備を進めています。さらに鶴見区では、「まちのはらっぱ」として市民に親しまれてきた貴重な緑地を次世代に残すよう公園整備を進めており、5か年の累計で3か所の実績となりました。

シンボリックな緑の管理については、これまでに本事業で整備し開園した下野谷町三丁目公園（鶴見区）、伊勢町もくせい公園（西区）において、緑豊かな空間を維持するために、草刈り等の頻度を上げた維持管理を毎年行い、5か年で10か所の実績となりました。



【シンボリックな緑の創出】  
六角橋四丁目公園（神奈川区）



【シンボリックな緑の管理】  
伊勢町もくせい公園（西区）

### □ 公開性のある緑空間の創出支援

多くの人を訪れる公開性のある民有地において、地面や屋上、壁面などに法令等で定める基準以上の緑化を行う市民、事業者に対し、その費用の一部を助成し緑化にかかる経費負担を軽減しました。5か年で、鶴見区、西区、中区、港南区（2件）、緑区で支援を実施し、緑化創出面積は、859.5㎡となりました。

助成を受けることで、負担軽減につながり、目にする人に魅力的に感じてもらえる緑化を行うことができました。



公開性のある緑空間の創出支援（西区）

## 20 建築物緑化保全契約の締結

- ・ 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い、保全することに対し、建築物所有者（管理者）の建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税を一部軽減します。

## ■ 5か年の実績

## □ 進捗状況

	建築物緑化保全契約の締結
2019年度実績	35件（22.0ha）
2020年度実績	15件（66.1ha）
2021年度実績	2件（8.2ha）
2022年度実績	7件（10.8ha）
2023年度実績	0件（0ha）
5か年累計(a)	59件（107.1ha）
5か年目標(b)	制度運用
進捗率(a/b)	—
評価	—

## □ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	2百万円	0百万円
2020年度決算額	1百万円	0百万円
2021年度決算額	1百万円	0百万円
2022年度決算額	0百万円	0百万円
2023年度決算見込額	0百万円	0百万円
5か年累計(a)	4百万円	0百万円
5か年計画額(b)	5百万円	0百万円
執行率(a/b)	80.0%	—
評価	○	—

### ■ 5か年の評価・検証

- 市民や事業者が主体的に緑を維持することで、地域の緑の保全につながっています。
- この制度の活用により街なかの緑化推進に貢献できています。

5か年の総合評価	B
----------	---

### ■ 5か年の実績詳細

#### □建築物緑化保全契約の締結

5か年で、集合住宅 17 件、個人宅 37 件、事業所 5 件について保全契約を締結し、約 107.1ha の緑地が 10 年間保全されることになりました。



【建築物緑化保全契約を締結した緑地】  
(鶴見区)



## 21 名木古木の保存

- ・ 地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を、保存すべき樹木として指定します。
- ・ 指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。

## ■ 5か年の実績

## □ 進捗状況

	名木古木の保存	
2019年度実績	新規指定：27本	維持管理の助成：40本
2020年度実績	新規指定：28本	維持管理の助成：72本
2021年度実績	新規指定：11本	維持管理の助成：82本
2022年度実績	新規指定：1本	維持管理の助成：74本
2023年度実績	新規指定：2本	維持管理の助成：43本
5か年累計(a)	新規指定：69本	維持管理の助成：311本
5か年目標(b)	推進	
進捗率(a/b)	—	
評価	—	

※1 維持管理の助成の実績数値については、過年度の報告書から修正しました。

※2 一指定を1本として換算しています。

## □ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	14百万円	10百万円
2020年度決算額	17百万円	14百万円
2021年度決算額	18百万円	16百万円
2022年度決算額	18百万円	17百万円
2023年度決算見込額	12百万円	11百万円
5か年累計(a)	79百万円	68百万円
5か年計画額(b)	88百万円	74百万円
執行率(a/b)	89.8%	91.9%
評価	○	○

## ■ 5か年の評価・検証

- 制度の周知が図られ、5か年で新たに69本を名木古木に指定したほか、維持管理等にかかる助成金は311本に対して行うなど、緑の保全が進みました。名木古木に指定されていることで、地域の方から樹木の保存に対して関心をもってもらえるようになりました。
- 指定された名木古木には、定期的に調査を実施し、樹木の専門家である樹木医が育成状況を確認するとともに、所有者に対して、維持管理に関する助言などの支援を行いました。

5か年の総合評価

B

## ■ 5か年の実績詳細

### □名木古木の保存

名木古木指定のご希望がある樹木所有者から指定申請をいただき、書類審査や樹木医による調査を経て、基準に該当する樹木が名木古木に指定されました。指定には、単指定（1本）と群指定（複数本）があります。

名木古木の枯損防止や病害虫の駆除、良好な育成の管理に助成金をご活用いただきました。5か年で新たに69本を名木古木に指定したほか、311本に対して維持管理等にかかる助成を行い、名木古木の保存を推進しました。



【名木古木指定樹木】ヒマラヤスギ（中区）



## 22 地域緑のまちづくり

- ・ 「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の思いを実現するため、計画づくり、花や木の植栽、維持管理など、緑のまちづくりに協働で取り組みます。
- ・ ご近所同士や集合住宅の管理組合でも気軽に取り組める仕組みを継続しながら、地域での緑化整備や維持管理活動を支援します。
- ・ 2018年度までに地域緑化計画を策定した地区については、継続して支援を行います。

## ■ 5か年の実績

## □ 進捗状況

	地域緑のまちづくり
2019年度実績	4地区
2020年度実績	4地区
2021年度実績	7地区
2022年度実績	5地区
2023年度実績	3地区
5か年累計(a)	23地区
5か年目標(b)	30地区
進捗率(a/b)	76.6%
評価	○

## □ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	54百万円	54百万円
2020年度決算額	40百万円	40百万円
2021年度決算額	53百万円	53百万円
2022年度決算額	49百万円	49百万円
2023年度決算見込額	60百万円	60百万円
5か年累計見込(a)	257百万円	256百万円
5か年計画額(b)	446百万円	446百万円
執行率(a/b)	57.6%	57.4%
評価	△	△

## ■ 5か年の評価・検証

- 地域の緑化計画に基づく緑化活動により、住宅地から商業・工業地域まで、その地区ならではの緑のまちづくりが進むとともに、緑をテーマとした地域コミュニティ活動も盛んになりました。緑の少なかった商店街にプランターを置いたことで、まちを訪れた人たちも季節の花を楽しむことができました。
- 市の助成が終了した後も、地域で自立的な緑化活動が継続できるように、団体同士の交流会などの支援の取組を、今後も継続する必要があります。
- 緑化活動を通じて、地域に草花へ興味を持つ人が増えてきました。

5か年の総合評価

B

## ■ 5か年の実績詳細

### □ 地域緑のまちづくり事業

「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の皆様から、緑化計画の提案を公募し、緑化やまちづくりの専門家による提案計画づくりの支援を行い、5か年で23地区の団体と新たに協定を締結しました。

商業・住居系の地区では、少ないスペースを活用して、多くの方が目にする店先や沿道にプランターなどを用いて緑化することで、地区の緑化が進みました。

各地区では、緑化整備や緑の活動が行われ、地域の緑化推進に大きな成果を上げています。



緑園都市地区（泉区）



野庭団地地区（港南区）

## 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

- ・ 緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成していくため、地域をはじめとする多様な主体と連携した緑や花に関するイベントの開催や、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組や公園等での地域の花いっぱいにつながる取組を推進します。

## ■ 5か年の実績

## □進捗状況

	緑や花を身近に感じる 各区の取組	地域の花いっぱいにつながる 取組
2019年度実績	18区で推進	推進
2020年度実績	18区で推進	推進
2021年度実績	18区で推進	推進
2022年度実績	18区で推進	推進
2023年度実績	18区で推進	推進
5か年累計(a)	18区で推進	推進
5か年目標(b)	18区で推進	推進
進捗率(a/b)	—	—
評価	—	—

## □事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	39百万円	0百万円
2020年度決算額	46百万円	0百万円
2021年度決算額	51百万円	0百万円
2022年度決算額	47百万円	0百万円
2023年度決算見込額	52百万円	0百万円
5か年累計見込(a)	235百万円	0百万円
5か年計画額(b)	209百万円	0百万円
執行率(a/b)	112.4%	—
評価	◎	—



**■ 5か年の評価・検証**

- 緑や花に関するイベントの開催、駅前での花壇整備、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組やそれを担う人材育成等を推進しました。
- 緑や花への関心や市民参加の広がりを全市的に展開することで、2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）に向けた緑や花による機運醸成につながっています。
- 公園愛護会を対象とした花壇講習会を実施し、球根・花苗等を公園愛護会に毎年配布しました。各区の公園花壇に植えていただき、地域の花いっぱいにつなげました。また、球根ミックス花壇講座を山下公園等で行いました。その結果、「公園に足を運ぶ機会が増えた、子どもたちが喜んでいる。」という声も聞かれました。

5か年の総合評価

A



### ■ 5か年の実績詳細

#### □ 緑や花を身近に感じる各区の取組



【花苗支援】(旭区)



【和田町駅前における花壇整備】(保土ケ谷区)



【花と緑に関するウォーキングイベント】  
(都筑区)



【オープンガーデン】  
(栄区)

#### □ 地域の花いっぱいにつながる取組

公園愛護会を対象に山下公園や各区での花壇講習会などの開催、花苗の配布などを実施しました。



【球根ミックス花壇講座】山下公園(中区)



左：球根の植付け講習 右：開花の観察と手入れ講習



【各区の公園での花壇づくり講習会】  
 左上：大倉山公園（港北区） 右上：しらゆり公園（泉区）  
 左下：洋光台一丁目公園（磯子区） 中央下：弘法池公園（戸塚区） 右下：開港広場公園（中区）



【球根の配布】  
 左：東伸ふれあい公園（保土ケ谷区） 中央：六ツ川中央公園（南区） 右：楓公園（青葉区）



【球根の配布】  
 みなみが丘公園（港南区）



【堆肥の配布】  
 左：小坪公園（港南区） 右：永田南二丁目（南区）



## 24 人生記念樹の配布

- 多くの市民の皆様に緑をつくり、育むきっかけとなるよう、出生や入学、住宅の新築などの人生の節目の記念に、希望した市民に、苗木を無料で配布します。

## ■ 5か年の実績

## □ 進捗状況

	人生記念樹の配布
2019年度実績	6,403本
2020年度実績	6,284本
2021年度実績	7,423本
2022年度実績	6,912本
2023年度実績	5,882本
5か年累計(a)	32,904本
5か年目標(b)	40,000本
進捗率(a/b)	82.2%
評価	○

## □ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	6百万円	2百万円
2020年度決算額	8百万円	3百万円
2021年度決算額	9百万円	3百万円
2022年度決算額	7百万円	5百万円
2023年度決算見込額	8百万円	8百万円
5か年累計見込(a)	38百万円	21百万円
5か年計画額(b)	58百万円	15百万円
執行率(a/b)	65.5%	140.0%
評価	△	◎

## ■ 5か年の評価・検証

- 横浜市内産苗木を活用し、みどりアップ計画の一環である地産地消の推進に取り組みました。
- 区役所でのリーフレット配架や、市内郵便局へのチラシ配架などにより周知を行いました。
- 電子申請システムによる受付やホームページの更新など、利用しやすい制度となるよう改善に取り組みました。
- より多くの方にこの制度を活用し、苗木を育てていただけるよう、ホームページ等での周知を充実させるとともに、鉢植えでも育てやすい樹種等も対象にするなど、工夫をしていきます。

5か年の総合評価

B

## ■ 5か年の実績詳細

### □ 人生記念樹の配布

市民参加による緑の育成と推進を図るため、人生の節目の記念に希望した苗木を無料で配布し、広く民有地に植樹されることで、都市緑化の推進に寄与しました。



【人生記念樹配布】（金沢区）



【人生記念樹配布】（栄区）

## 25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

- 子どもを育む空間である保育園、幼稚園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化や生き物とふれあい学べるビオトープの整備、花壇づくり、屋上や壁面の緑化など、多様な緑を創出する取組を推進します。
- 創出した緑を良好に維持するとともに、芝生やビオトープに関する技術支援を行います。

## ■ 5か年の実績

## □ 進捗状況

	緑の創出	緑の維持管理
2019年度実績	43 か所	115 か所
2020年度実績	41 か所	120 か所
2021年度実績	47 か所	102 か所
2022年度実績	37 か所	130 か所
2023年度実績	35 か所	111 か所
5か年累計(a)	203 か所	578 か所
5か年目標(b)	100 か所	推進
進捗率(a/b)	203.0%	—
評価	◎	—

## □ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	62 百万円	7 百万円
2020年度決算額	59 百万円	3 百万円
2021年度決算額	48 百万円	6 百万円
2022年度決算額	48 百万円	5 百万円
2023年度決算見込額	46 百万円	2 百万円
5か年累計見込(a)	264 百万円	24 百万円
5か年計画額(b)	414 百万円	67 百万円
執行率(a/b)	63.8%	35.8%
評価	△	△

## ■ 5か年の評価・検証

- 保育園、幼稚園、小中学校において、PRにより制度の周知が進んだことから、5か年目標値を達成し、多様な緑を創出しました。
- ビオトープアドバイザーに相談することで、子どもたちと一緒に活用できていなかったビオトープを再生することができました。
- 小学校の桜が老木化し、本数が少なくなってきていましたが、この取組で、新たに植えることができました。

5か年の総合評価

A

## ■ 5か年の実績詳細

### □緑の創出

校庭・園庭の芝生化、ビオトープや花壇、樹木による植栽など、子どもたちが多くの時間を過ごす場所で、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑が増えました。

ビオトープの整備に関するアドバイスを求める声に応じるため、専門家の派遣も実施しました。



【園庭の芝生化】（栄区）



【保育園でのビオトープ整備】（港北区）

### □緑の維持管理

みどりアップ計画に基づき緑化した芝生や植栽の維持管理について、費用の一部を支援するとともに、芝生の維持管理についての技術講習会や訪問指導、ビオトープの維持管理の訪問指導を実施しました。



【校庭・園庭芝生の育て方講座】  
(神奈川区)



【小学校へのビオトープアドバイザー派遣】  
(都筑区)





## 26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

- ・ みなとみらい 21 地区などの都心臨海部や、第 33 回全国都市緑化よこはまフェアの開催により多くの人で賑わった里山ガーデン（よこはま動物園ズーラシア隣接）など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。
- ・ こども自然公園などの都市公園において、桜などの花木による花の名所づくりを進めます。
- ・ いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます。

## ■ 5か年の実績

## □進捗状況

	緑花による空間づくりと維持管理
2019年度実績	15か所
2020年度実績	15か所
2021年度実績	14か所
2022年度実績	14か所
2023年度実績	13か所
5か年累計(a)	71か所
5か年目標(b)	推進
進捗率(a/b)	—
評価	—

## □事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	800百万円	322百万円
2020年度決算額	721百万円	329百万円
2021年度決算額	683百万円	306百万円
2022年度決算額	694百万円	317百万円
2023年度決算見込額	754百万円	322百万円
5か年累計見込(a)	3,652百万円	1,596百万円
5か年計画額(b)	2,712百万円	1,119百万円
執行率(a/b)	134.7%	142.6%
評価	◎	◎

### ■ 5か年の評価・検証

- 都市公園や港湾緑地、街路樹などにおいて緑のネットワーク形成が進み、季節の花による空間演出が行われ、都心臨海部の季節の景観として定着しました。
- 山下公園や港の見える丘公園などでは、バラ園や美しい花壇が整備され、いつ訪れても緑や花が楽しめる質の高い管理が行われています。
- こども自然公園、横浜市児童遊園地などで桜などの花木による花の名所づくりが進み、里山ガーデンでは緑や花で会場を彩りました。
- 多くの市民や観光客が訪れるエリアである都心臨海部などにおいて、質の高い維持管理を進めながら、緑や花により魅力を高めることが重要です。

5か年の総合評価

A

### ■ 5か年の実績詳細

#### □ 緑花による空間づくりと維持管理

みなとみらい21地区から山下地区を中心とした都心臨海部や、こども自然公園、横浜市児童遊園地、里山ガーデン、新横浜駅周辺などで空間づくりと維持管理を進めました。



港の見える丘公園（中区）



山下公園（中区）



新横浜駅周辺（港北区）



里山ガーデン（旭区）

## 効果的な広報の展開

### 27 計画の周知や実績報告

- ・ 広報よこはま等の広報紙への記事掲載
- ・ 実績リーフレット作成、自治会・町内会への説明
- ・ 広告、動画等の各種メディアを活用したPR
- ・ ホームページの充実
- ・ メールマガジンやソーシャルメディア等による情報発信
- ・ 緑に関するイベントでのPR
- ・ 取組に基づいて実施したことを示す現地掲示（プレート）

#### ■ 5か年の実績

##### □進捗状況

	計画の周知や実績報告
2019年度実績	推進
2020年度実績	推進
2021年度実績	推進
2022年度実績	推進
2023年度実績	推進
5か年累計(a)	推進
5か年目標(b)	推進
進捗率(a/b)	—
評価	—

##### □事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	14百万円	0百万円
2020年度決算額	11百万円	0百万円
2021年度決算額	17百万円	0百万円
2022年度決算額	14百万円	0百万円
2023年度決算見込額	15百万円	0百万円
5か年累計見込(a)	72百万円	0百万円
5か年計画額(b)	80百万円	0百万円
執行率(a/b)	90.0%	—
評価	○	—

### ■ 5か年の評価・検証

- 広報よこはまへの記事掲載、実績リーフレットの自治会・町内会への配布など、広報効果の高い取組を毎年度実施し、取組及び事業実績の周知を着実に進めました。
- 財政局や各区役所と連携し、市連会・区連会での実績説明や、庁舎内のデジタルサイネージでの動画放映、市民向けイベントブースを出展してのPR等を行い、横浜みどりアップ計画及び横浜みどり税の周知を進めました。
- 視覚的に横浜の緑の魅力や横浜みどりアップ計画の取組が伝わるよう、SNSや交通広告、市役所アトリウム等で写真や映像によるPRを実施しました。
- 2019～2023年度に実施したアンケート調査の結果、横浜みどりアップ計画を知っている人の割合は40%前後、横浜みどり税を知っている割合は50%前後でした。

5か年の総合評価

B



■ 5か年の実績詳細

□ 広報よこはま等の広報紙への記事掲載

市民・事業者の皆様へ、横浜みどりアップ計画の取組の成果や効果、事業実績を広くPRするため、広報よこはまをはじめとする広報紙に記事掲載を行いました。

- ・ 広報よこはま 市版：5か年 15回
- ・ 広報よこはま 区版：5か年 33回
- ・ その他広報紙：5か年 17回



広報よこはま市版（2024年3月号）



エコチル横浜版（2023年10月号）

### □実績リーフレット作成、自治会・町内会への説明

市民の皆様へ、横浜みどりアップ計画の事業の成果や効果、実績を分かりやすく伝えるため、毎年度、事業報告書及び実績リーフレットを作成し、市連会・区連会への実績説明と、公共施設等への配架を行いました。

#### ＜5か年実施＞

- ・市連会・区連会への実績説明
- ・事業報告書の公共施設での配架
- ・実績リーフレットの自治会・町内会、駅 PR ボックス等での配布



横浜みどりアップ計画4か年の実績概要リーフレット

### □広告、動画等の各種メディアを活用した PR

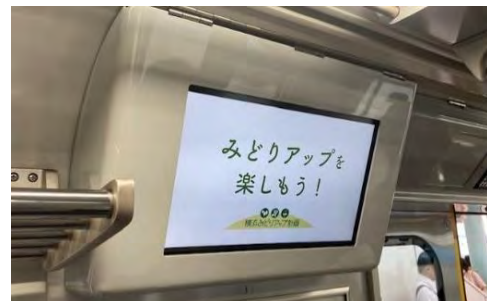
視覚的に横浜みどりアップ計画をアピールするため、プロモーション動画やマスコットキャラクター「横浜みどりアップ葉っぱー」が計画を解説するアニメーションを作成し、市役所や交通広告での放映、YouTube での動画配信を行いました。

#### ＜動画関連＞

- ・横浜市役所アトリウム及び市役所デジタルサイネージ動画放映：4か年実施
- ・18区役所で動画放映：5か年実施
- ・交通広告での放映：市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン：4か年実施  
JR 横浜線、市営バス 3 営業所：2か年実施  
J・AD ビジョン（桜木町駅）、相鉄線：1か年実施
- ・YouTube 動画配信：4か年実施

#### ＜ポスター等＞

- ・地域情報 web への記事掲載：2か年実施
- ・市営バス・公用車等への PR 用ステッカーの貼付掲載：5か年実施
- ・電車内ポスター掲出（京浜急行電鉄、東急東横線、相鉄線、みなとみらい線）：1か年実施
- ・日産スタジアムへの PR 看板の掲出：5か年実施
- ・横断幕の掲出（動物園、水再生センター、ウェルカムセンター等に掲出）：5か年実施



交通広告（市営地下鉄車内動画放映）

### □ホームページの充実

横浜みどりアップ計画の取組をご覧いただける、動画ページの充実や市民の皆様が参加できるイベントや体験スポット、制度を紹介するページを更新し、分かりやすい情報発信に努めました。

また、ホームページへ誘導するため、二次元コード入りのカードやリーフレットを作成し、イベント等で広く配布を行いました。

- ・横浜市ホームページの更新  
(実績報告書、計画関連動画の掲載等)



イベント等で配布した二次元コード入りカード

### □メールマガジンやソーシャルメディア等による情報発信

横浜みどりアップ計画メールマガジンの発行や、X (旧 Twitter) を活用し、幅広く情報発信を行いました。

- ・横浜みどりアップ計画メールマガジンの発行  
(毎月1日の発行)
- ・X (旧 Twitter) を活用した広報  
(「#みんなでみどりアップ」を使用した投稿)
- ・市公式LINEアカウントを活用した広報
- ・イベント会場でのX (旧 Twitter) フォロワーキャンペーンの実施



2023年12月 X (旧 Twitter)

### □緑に関するイベントでのPR

農と緑のふれあい祭りや里山ガーデンフェスタ等、市民向けイベントにブースを出展し、横浜みどりアップ計画についてPR活動を行いました。

(5か年 21回)



【秋の里山ガーデン】苗木配付時のPRの様子(旭区)

**□取組に基づいて実施したことを示す現地掲示（プレート）**

多くの市民の方が訪れる里山ガーデンや公園花壇などの取組実施箇所での現地表示看板の設置や、工事看板へのロゴマーク等の表示、市民の森・ふれあいの樹林の案内板へのロゴマークステッカーの掲示を行いました。

- 取組実施箇所での現地表示看板の設置  
（公園愛護会の取組と連携した公園花壇に約 1,300 枚の現地表示プレートの設置等）
- 公園緑地整備工事看板への表示
- 市民の森・ふれあいの樹林の案内板へのロゴマークステッカーの掲示等



里山ガーデンの現地表示



工事現場の現地表示





**□横浜みどり税の広報（財政局）**

市民の皆様にご負担いただいている横浜みどり税について、実績説明や PR チラシの配布等を行いました。

- ・「広報よこはま」に記事掲載
- ・市連会・区連会での説明
- ・個人住民税納税通知書、税額決定通知書に案内掲載
- ・固定資産税納税通知書発送用封筒への案内掲載
- ・法人市民税申告書送付時にチラシ同封
- ・横浜市ホームページへの案内掲載
- ・X（旧 Twitter）「横浜市税の案内人」への投稿
- ・交通広告（市営地下鉄 LCD(テロップ) 広告・市営バス車内モニター）に案内掲載
- ・横浜市へ転入された方へのチラシ配布
- ・法人会・青色申告会・間税会・東京地方税理士会の会報誌へ記事掲載
- ・各区区民まつり等イベントでのブース出展及びチラシ配布
- ・市庁舎・区庁舎のデジタルサイネージ等に案内掲載
- ・冊子「税の知識」に案内掲載
- ・「あなたと創る横浜の財政」へ記事掲載



横浜みどり税のチラシ

**□ロゴ・マスコットキャラクターを活用した PR**

**<ロゴマークを活用した広報>**

2019 年度から横浜みどりアップ計画の 3 期目がスタートするのに合わせ、計画のロゴマークを更新し、幅広く広報に活用しました。

**<マスコットキャラクターを活用した広報>**

市民の皆様により横浜みどりアップに親しんでいただくため、2015 年度に作成したマスコットキャラクター「横浜みどりアップ葉っぴー」をイベント等で活用し、より幅広い層に横浜みどりアップ計画を PR しました。

また、SNS や現地表示板、地域情報誌等にキャラクターのイラストを使用し、より市民の皆様目に留まる工夫をしました。



横浜みどりアップ葉っぴー

□「横浜みどりアップ計画認知度調査」の実施

実施した広報手法を検証し、より効果的に広報を展開していくため、「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査を毎年実施しています。

(1) 調査の概要 (2019~2023年度の5年間)

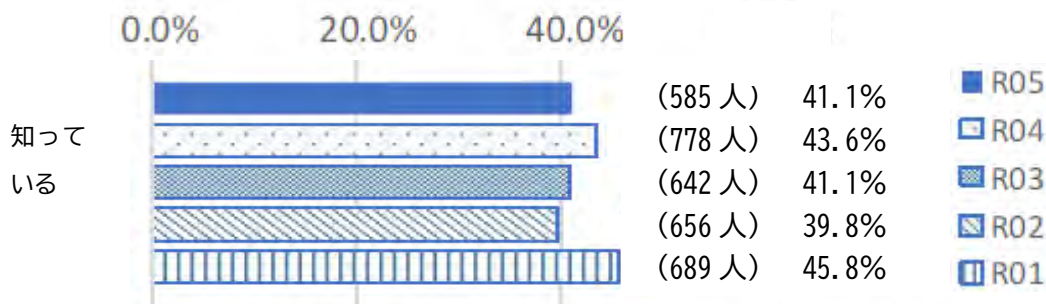
	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度
調査対象	市民 5,000 人 (住民基本台帳から無作為に抽出した満 20 歳以上の市民)			市民 5,000 人(住民基本台帳から無作為に抽出した満 18 歳以上の市民)	
調査方法	郵送配布、郵送回収			郵送調査・インターネット回答方式併用(調査票を郵送、回答は郵送またはインターネット)	
実施期間	2019年10月21日~11月11日	2020年10月21日~11月11日	2021年6月14日~7月5日	2022年6月13日~6月28日	2023年2月5日~2月26日
回収数	1,504 票 (回収率 30.1%)	1,647 票 (回収率 32.9%)	1,564 票 (回収率 31.3%)	1,785 票 (回収率 35.7%)	1,423 票 (回収率 28.5%)

(2) 主な調査結果 (2019~2023年度の5年間)

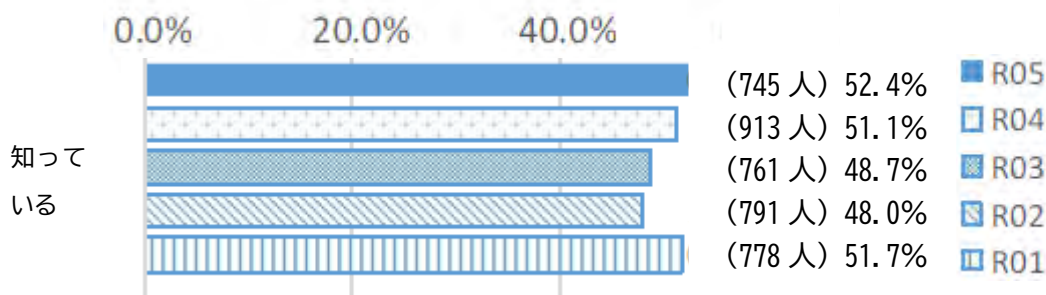
(ア)あなたは「横浜みどりアップ計画」「横浜みどり税」をご存知ですか？

→計画を知っている人の割合は約 40%、税を知っている人の割合は 50%前後とほぼ横ばい。

あなたは「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？



あなたは「横浜みどり税」をご存知ですか？

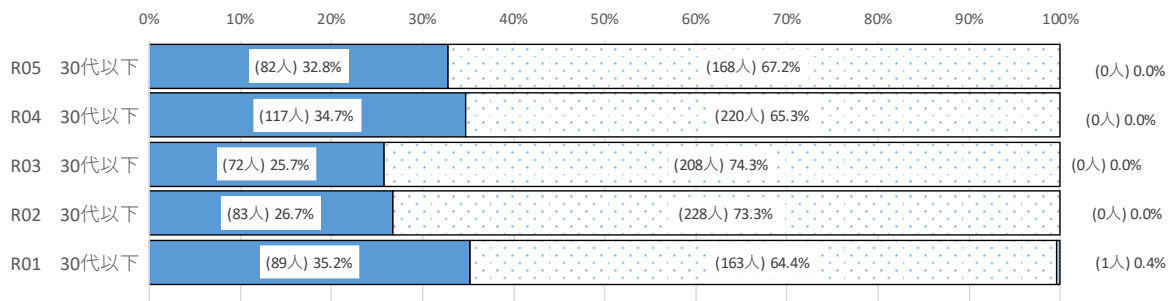


(イ)年代別の傾向

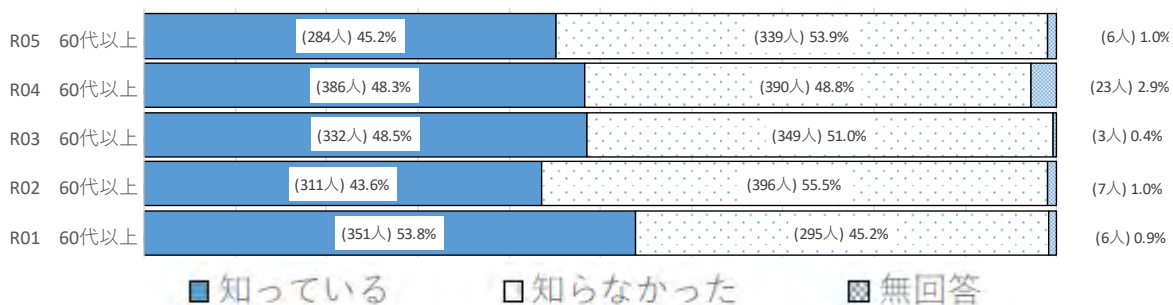
→計画を知っている人の割合※は、高年齢層で高く、若年層で低い傾向が続いている。

(※「知らなかった」と回答した人及び無回答の人を除く人の割合)

<若年層>



<高年齢層>



■ 知っている □ 知らなかった ▨ 無回答



## 5か年の事業・取組の実績一覧（実績累計）

事業・取組／取組内容		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	5か年 累計	5か年 目標
<b>計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む</b>								
施策1 樹林地の確実な保全の推進								
事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り								
1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り								
緑地保全制度による新規指定 (ha)		47.2	28.9	31.9	36.8	32.1	176.9	300
市による買取り (ha)		19.2	18.9	19.6	9.3	8.7	75.6	113 (想定)
保全した樹林地の整備 (か所)		64	77	86	85	69	381	推進
施策2 良好な森を育成する取組の推進								
事業② 良好な森の育成								
2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進								
森の維持管理	保安全管理計画の策定 (か所)	7	3	4	0	0	14	推進
	保安全管理計画や森づくりガイドラインを活用した維持管理 (か所)	175	200	201	210	221	1007	
3 指定した樹林地における維持管理の支援								
維持管理の助成 (件)		122	162	130	111	163	688	500
事業③ 森を育む人材の育成								
4 森づくりを担う人材の育成								
森づくりを担う人材の育成	研修の実施 (回)	17	10	11	13	14	65	推進
	体験会の開催 (回)	7	7	10	10	10	44	
広報誌等での森づくり活動に関する情報発信 (回)		4	4	4	4	4	20	20
5 森づくり活動団体への支援								
森づくり活動団体への支援 (団体)		30	33	36	33	35	167	150
森づくり活動団体への専門家派遣 (回)		4	4	4	4	1	15	20
チッパーの貸出し (か所)		11	11	6	8	6	42	推進
施策3 森と市民とをつなげる取組の推進								
事業④ 市民が森に関わるきっかけづくり								
6 森の楽しみづくり								
市内大学や関係団体などと連携したイベントや、区主催による地域の森でのイベントの実施 (回)		75	34	42	98	133	382	180
7 森に関する情報発信								
ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等 (回)		8	8	10	11	10	47	50

## 累計について

累計(5か年)は、各年度の実績を合計した数値としています。

※「8 水田の保全」の水田保全面積は、2023年度の保全面積を累計としています。

「10 農景観を良好に維持する活動の支援」の集団農地維持は、2023年度の維持面積を累計としています。

「18 街路樹による良好な景観の創出・育成」の並木の再生は、整備完了または整備中の路線数を累計としています。

「19 シンボリックな緑の創出・育成」の公有地化によるシンボリックな緑の創出は、整備完了または整備中のか所数を累計としています。

事業・取組／取組内容	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	5か年 累計	5か年 目標	
<b>計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる</b>								
<b>施策1 農に親しむ取組の推進</b>								
<b>事業① 良好な農景観の保全</b>								
8 水田の保全								
水田保全面積(ha)	113.5	113.3	112.2	111.9	111.1	111.1	125	
水源・水路の確保(か所)	2	3	2	3	4	14	10	
9 特定農業用施設保全契約の締結								
特定農業用施設保全契約の締結(件)	31	27	17	34	36	145	制度運用	
10 農景観を良好に維持する活動の支援								
まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援	集団農地維持面積(ha)	641.7	643.9	679.0	674.0	674.1	674.1	730
	農地縁辺部への植栽(件)	15	15	18	18	21	87	55
	井戸の改修(地区)	2	4	2	2	3	13	5
	土砂流出防止対策(件)	4	5	2	2	4	17	15
周辺環境に配慮した活動への支援	牧草等による環境対策(ha)	4.25	4.36	5.87	4.83	5.89	25.20	20
	たい肥化設備等の支援(件)	3	3	2	0	6	14	25
11 多様な主体による農地の利用促進								
遊休農地の復元支援(ha)	0.84	0.28	0.26	0.44	0.90	2.72	1.5	
<b>事業② 農とふれあう場づくり</b>								
12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設								
様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	収穫体験農園(ha)	2.06	2.87	3.99	3.35	1.62	19.86	22.80
	市民農園(ha)	1.32	1.11	0.60	1.65	0.74		
	農園付公園(ha)	0.55	0	0	0	0		
13 市民が農を楽しむ支援する取組の推進								
横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施(回)	91	50	86	94	101	422	450	
市民農業大学講座の開催(回)	20	0	20	35	35	110	100	
農体験講座の開催(回)	6	6	5	6	6	29	30	
<b>施策2 地産地消の推進</b>								
<b>事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進</b>								
14 地産地消にふれる機会の拡大								
直売所・青空市等の支援(件)	43	41	49	63	66	262	285	
緑化用苗木の配布(本)	25,727	25,000	22,505	25,574	25,700	124,506	125,000	
情報発信・PR活動:情報誌などの発行(回)	6	6	6	6	6	30	30	
<b>事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開</b>								
15 地産地消を広げる人材の育成								
はまふうどコンシェルジュの活動支援等(件)	28	27	32	36	40	163	150	
地産地消ネットワーク交流会の開催(回)	1	1	1	1	1	5	5	
16 市民や企業等との連携								
市民や企業等との連携(件)	13	15	13	15	15	71	50	
ビジネス創出支援(件)	—	3	5	6	1	15	16	
学校給食での市内産農産物の一斉供給(校)	327	316	311	316	316	1,586	推進	
料理コンクールの開催(回)	1	1	1	1	1	5	5	

3 事業・取組の実績と評価・検証

事業・取組／取組内容	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	5か年 累計	5か年 目標
<b>計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる</b>							
<b>施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進</b>							
<b>事業① まちなかでの緑の創出・育成</b>							
17 公共施設・公有地での緑の創出・育成							
緑の創出(か所)	4	12	5	13	5	39	36
緑の維持管理(か所)	63	50	47	44	41	245	推進
18 街路樹による良好な景観の創出・育成							
並木の再生(路線)	8	6	4	3	2	9	10
空き樹の補植 高木(本)・低木(本)	0・ 889	180・ 1,080	29・ 788	23・ 1,369	62・ 1,613	294・ 5,739	推進
良好な維持管理(本)	18,428	17,710	16,993	15,545	14,873	83,549	18区で推進
19 シンボリックな緑の創出・育成							
公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理 創出(か所)・管理(か所)	2・2	1・2	1・2	2・2	2・2	3・10	推進
公開性のある緑空間の創出支援(か所)	1	2	1	2	0	6	推進
20 建築物緑化保全契約の締結							
建築物緑化保全契約の締結(件)	35	15	2	7	0	59	制度運用
21 名木古木の保存							
新規指定(本)・維持管理の助成(本)	27・40	28・72	11・82	1・74	2・43	69・311	推進
<b>施策2 緑や花に親しむ取組の推進</b>							
<b>事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり</b>							
22 地域緑のまちづくり							
地域緑のまちづくり(地区)	4	4	7	5	3	23	30
23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり							
緑や花を身近に感じる各区の取組	18区で推進	18区で推進	18区で推進	18区で推進	18区で推進	18区で推進	18区で推進
地域の花いっぱいにつながる取組	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進
24 人生記念樹の配布							
人生記念樹の配布(本)	6,403	6,284	7,423	6,912	5,882	32,904	40,000
<b>事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成</b>							
25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成							
緑の創出(か所)	43	41	47	37	35	203	100
緑の維持管理(か所)	115	120	102	130	111	578	推進
<b>事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成</b>							
26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり							
都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり (か所)	15	15	14	14	13	71	推進

**効果的な広報の展開**

**事業① 市民の理解を広げる広報の展開**

27 計画の周知や実績報告

計画の周知や実績報告	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進
------------	----	----	----	----	----	----	----

## 5か年の事業・取組の実績一覧（事業費累計）

事業費の欄の見方

上段:事業費  
下段:うちみどり税

単位:百万円

事業・取組／取組内容	2019年度 決算額	2020年度 決算額	2021年度 決算額	2022年度 決算額	2023年度 決算見込額	5か年 累計	5か年 計画事業費
<b>計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む</b>							
<b>施策1 樹林地の確実な保全の推進</b>							
<b>事業①</b> 緑地保全制度による指定の 拡大・市による買取り	7,460 1,767	6,339 1,002	5,683 944	5,363 1,182	4,089 756	28,934 5,651	32,682 4,084
1 緑地保全制度による指定の 拡大・市による買取り	7,460 1,767	6,339 1,002	5,683 944	5,363 1,182	4,089 756	28,934 5,651	32,682 4,084
<b>施策2 良好な森を育成する取組の推進</b>							
<b>事業②</b> 良好な森の育成	621 482	757 602	698 534	657 520	742 567	3,475 2,705	3,606 2,843
2 森の多様な機能に着目した 森づくりの推進	524 386	615 460	577 414	565 427	603 427	2,884 2,114	3,076 2,313
3 指定した樹林地における 維持管理の支援	97 97	142 142	120 120	93 93	140 140	591 591	530 530
<b>事業③</b> 森を育む人材の育成	21 20	27 26	14 14	15 15	17 17	94 91	130 125
4 森づくりを担う人材の 育成	10 10	16 16	7 7	8 8	10 10	51 51	75 75
5 森づくり活動団体への 支援	11 10	11 10	7 7	7 7	7 6	43 40	55 50
<b>施策3 森と市民とをつなげる取組の推進</b>							
<b>事業④</b> 市民が森に関わるきっかけ づくり	53 15	50 10	45 8	50 14	55 18	252 64	330 130
6 森の楽しみづくり	12 12	7 7	6 6	11 11	15 15	51 51	100 100
7 森に関する情報発信	40 2	43 3	39 2	39 3	40 2	201 13	230 30
<b>計画の柱1 合計</b>	<b>8,154 2,285</b>	<b>7,173 1,639</b>	<b>6,440 1,500</b>	<b>6,085 1,730</b>	<b>4,903 1,358</b>	<b>32,755 8,511</b>	<b>36,747 7,181</b>

3 事業・取組の実績と評価・検証

事業費の欄の見方

上段:事業費  
下段:うちみどり税

単位:百万円

事業・取組／取組内容		2019年度 決算額	2020年度 決算額	2021年度 決算額	2022年度 決算額	2023年度 決算見込額	5か年 累計	5か年 計画事業費
<b>計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる</b>								
<b>施策1 農に親しむ取組の推進</b>								
<b>事業① 良好な農景観の保全</b>		212 73	199 68	206 68	203 59	214 62	1,034 329	1,194 454
8	水田の保全	94 31	80 31	94 32	97 32	90 32	454 159	490 190
9	特定農業用施設保全契約の締結	2 0	1 0	2 0	2 0	1 0	8 0	10 0
10	農景観を良好に維持する活動の支援	91 16	96 15	89 15	88 11	111 17	475 74	542 111
11	多様な主体による農地の利用促進	26 26	22 22	21 21	16 16	12 12	97 96	153 153
<b>事業② 農とふれあう場づくり</b>		303 37	164 56	340 41	82 43	149 45	1,038 222	2,513 829
12	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	295 37	150 56	321 41	54 43	118 45	938 222	2,453 829
13	市民が農を楽しみ支援する取組の推進	8 0	14 0	19 0	28 0	31 0	100 0	61 0
<b>施策2 地産地消の推進</b>								
<b>事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進</b>		42 0	47 0	43 0	49 0	55 0	236 0	293 0
14	地産地消にふれる機会の拡大	42 0	47 0	43 0	49 0	55 0	236 0	293 0
<b>事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開</b>		7 0	5 0	8 0	9 0	7 0	36 0	66 0
15	地産地消を広げる人材の育成	2 0	1 0	2 0	3 0	3 0	11 0	25 0
16	市民や企業等との連携	5 0	4 0	6 0	6 0	4 0	25 0	42 0
<b>計画の柱2 合計</b>		563 110	415 124	598 109	343 102	426 106	2,344 551	4,067 1,283



事業費の欄の見方

上段:事業費  
下段:うちみどり税

単位:百万円

事業・取組/取組内容		2019年度 決算額	2020年度 決算額	2021年度 決算額	2022年度 決算額	2023年度 決算見込額	5か年 累計	5か年 計画事業費
<b>計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる</b>								
<b>施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進</b>								
事業① まちなかでの緑の創出・育成		1,132 672	703 541	660 493	688 565	586 521	3,768 2,792	5,481 3,481
17	公共施設・公有地での 緑の創出・育成	80 0	91 0	86 0	86 0	45 0	389 0	690 0
18	街路樹による良好な景 観の創出・育成	477 477	502 502	458 458	436 436	483 483	2,357 2,357	2,910 2,910
19	シンボリックな緑の創出・ 育成	559 185	91 25	97 19	147 111	46 27	940 367	1,789 497
20	建築物緑化保全契約の 締結	2 0	1 0	1 0	0 0	0 0	4 0	5 0
21	名木古木の保存	14 10	17 14	18 16	18 17	12 11	79 68	88 74
<b>施策2 緑や花に親しむ取組の推進</b>								
事業② 市民や企業と連携した緑の まちづくり		99 56	95 43	113 56	103 54	120 68	530 277	713 461
22	地域緑のまちづくり	54 54	40 40	53 53	49 49	60 60	257 256	446 446
23	地域に根差した緑や花 の楽しみづくり	39 0	46 0	51 0	47 0	52 0	235 0	209 0
24	人生記念樹の配布	6 2	8 3	9 3	7 5	8 8	38 21	58 15
事業③ 子どもを育む空間での緑の 創出・育成		62 7	59 3	48 6	48 5	46 2	264 24	414 67
25	保育園・幼稚園・小中学 校での緑の創出・育成	62 7	59 3	48 6	48 5	46 2	264 24	414 67
事業④ 緑や花による魅力・賑わいの 創出・育成		800 322	721 329	683 306	694 317	754 322	3,652 1,596	2,712 1,119
26	都心臨海部等の緑花に よる魅力ある空間づくり	800 322	721 329	683 306	694 317	754 322	3,652 1,596	2,712 1,119
計画の柱3 合計		2,093 1,057	1,577 917	1,504 860	1,533 942	1,507 913	8,214 4,689	9,320 5,128

3 事業・取組の実績と評価・検証

事業費の欄の見方

上段:事業費  
下段:うちみどり税

単位:百万円

事業・取組/取組内容	2019年度 決算額	2020年度 決算額	2021年度 決算額	2022年度 決算額	2023年度 決算見込額	5か年 累計	5か年 計画事業費
<b>効果的な広報の展開</b>							
事業① 市民の理解を広げる広報の展開	14 0	11 0	17 0	14 0	15 0	72 0	80 0
27 計画の周知や実績報告	14 0	11 0	17 0	14 0	15 0	72 0	80 0
広報 合計	14 0	11 0	17 0	14 0	15 0	72 0	80 0

事業費総計	10,824 3,451	9,176 2,680	8,558 2,469	7,975 2,774	6,850 2,377	43,385 13,751	50,214 13,592
-------	-----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	------------------	------------------

※端数調整により、合計値は一致しないことがあります。

計画の柱別 5か年の事業費総額 (百万円)

	執行額	うち横浜みどり 税充当額
計画の柱1 市民とともに次世代につ なぐ森を育む	32,755	8,511
計画の柱2 市民が身近に農を感じる 場をつくる	2,344	551
計画の柱3 市民が実感できる緑や 花をつくる	8,214	4,689
効果的な広報の展開	72	0
合計	43,385	13,751

※端数処理により、合計値は一致しないことがあります。

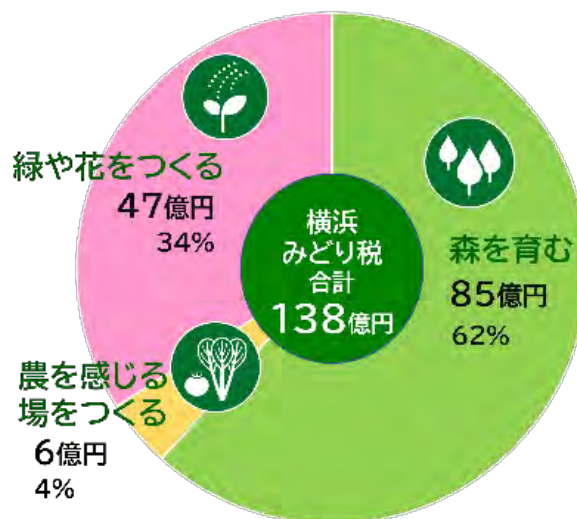
横浜市みどり基金残高の推移 (百万円)

	みどり基金積立金	執行額	基金残高(累計)
2018年度末			903
2019年度	2,848	3,471	281
2020年度	2,897	2,680	498
2021年度	2,798	2,469	827
2022年度	2,920	2,774	972
2023年度	2,967	2,377	1,562
合計	14,430	13,771	-

※横浜市みどり基金について

緑の保全及び創造に資する事業の充実を図るために設置された基金で、横浜みどり税の税収相当額を積み立てて一般財源との分離を図ることで、税収の使途を明らかにするとともに、年度間の財源調整を行っています。

計画の柱ごと 横浜みどり税 の活用額



2018年度分繰越を含む

# 4

## 横浜みどリアップ計画市民推進会議

## 2023 年度の活動実績

「横浜みどりアップ計画」の推進に向け、市民参加の組織により、横浜みどりアップ計画の評価・提案、市民の方への情報提供等を行うことを目的として、公募市民や学識経験者などからなる「横浜みどりアップ計画市民推進会議」を設置しています。

2023 年度は第3期みどりアップ計画の最終年度であり、現地調査も交えながら森・農・緑化という分野の垣根を超えた幅広い意見交換を行い、5か年の評価提案をまとめました。

また、広報誌「Yokohama みどりアップ Action」を発行しました。

### (1) 全体会議

部会の構成や調査の実施など、年間の活動内容を確認するとともに、横浜みどりアップ計画の内容、進捗状況について質疑応答、意見交換をし、市民推進会議 2022 年度報告書の発行及び 2023 年度報告書案の検討を行いました。

	開催日	主な討議内容
第 39 回会議	5月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜みどりアップ計画 4か年の進捗状況について</li> <li>横浜みどりアップ計画市民推進会議 2022 年度報告書（案）について</li> </ul>
第 40 回会議	1月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜みどりアップ計画 5か年の進捗状況について</li> <li>市民推進会議 2023 年度報告書骨子案について</li> </ul>
第 41 回会議	3月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜みどりアップ計画 5か年進捗状況および</li> <li>横浜みどりアップ計画市民推進会議 2023 年度報告書（案）について</li> <li>横浜みどりアップ計画市民推進会議 座長選出について</li> </ul>

### (2) 部会

#### 《施策別専門部会》

計画の柱ごとに施策別専門部会を設置し、事業分野ごとに、実績の説明を受け、意見交換、提案の検討を行いました。

	開催日	主な討議内容
第 17 回「森を育む」施策を検討する部会	2月 5 日	横浜みどりアップ計画「森を育む」施策の評価・提案について
第 17 回「農を感じる」施策を検討する部会	2月 7 日	横浜みどりアップ計画「農を感じる」施策の評価・提案について
第 17 回「緑をつくる」施策を検討する部会	2月 29 日	横浜みどりアップ計画「緑をつくる」施策の評価・提案について

《広報・見える化部会》

市民推進会議の広報誌「Yokohama みどりアップ Action」の編集を行いました。  
市民の視点から、横浜みどりアップ計画と横浜みどり税を市民の皆様へわかりやすく伝える方法について引き続き検討しました。

	開催日	主な討議内容
第54回会議	7月26日	・Yokohama みどりアップ Action 9号記事内容について
第55回会議	10月24日	・Yokohama みどりアップ Action 9号原稿案について
第56回会議	1月30日	・「効果的な広報の展開」事業の評価・提案について

■ 広報誌の発行

「Yokohama みどりアップ Action 9号」を3月に発行しました。



Yokohama みどりアップ Action Vol.9

《調査部会》

横浜みどりアップ計画の取組を実感し、現場で活動する方々の声を直接聞くため、現地調査を実施しました。

	開催日	主な内容
第23回会議	10月31日	<p>＜場所＞</p> <p>①洋光台五街区みどりアップ委員会（磯子区）</p> <p>②上郷市民の森（栄区）</p> <p>③環状3号線（栄区、戸塚区）</p> <p>④ハマヤク農園（戸塚区）</p> <p>＜内容＞</p> <p>磯子区洋光台五街区周辺地区で、市民との協働により緑化を進めている現場を見学しました。取組を進めた洋光台五街区みどりアップ委員会の方々から、緑化計画や活動の概要、これまでの取組などについて説明を受けました。</p> <p>続いて、栄区東部に位置する上郷市民の森を徒歩で視察し、市担当者から森の整備や管理等の説明を受けました。</p> <p>次に、環状3号線の街路樹が良好に維持管理されている様子を車窓から見学しました。</p> <p>最後に、戸塚区深谷町に位置する農園付公園の現場を見学し、園内の分区園の仕組みや、近隣の大学との協働について説明を受けました。</p>



【現地調査】洋光台五街区みどりアップ委員会活動場所（磯子区）



【現地調査】ハマヤク農園（農園付公園）（戸塚区）

## (3) 報告書の発行

横浜みどりアップ計画市民推進会議 2023 年度報告書を発行します。

## (4) 委員

氏名	所属部会	区分	備考
池島 祥文	・「農を感じる」施策を検討する部会委員	学識経験者	横浜国立大学大学院 准教授
池邊 このみ	・「緑をつくる」施策を検討する部会部会長	学識経験者	千葉大学グランドフェロー
石原 信也	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員	関係団体	横浜商工会議所 産業振興部長
今関 美津枝	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員	関係団体	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長
岩本 誠	・「森を育む」施策を検討する部会委員	関係団体	三保市民の森愛護会 会長
内海 宏	・副座長 ・「農を感じる」施策を検討する部会部会長	学識経験者	(株) 地域計画研究所代表取締役
奥井 奈都美	・「森を育む」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
小野 英明	・「農を感じる」施策を検討する部会委員	関係団体	横浜農業協同組合 組織部長
国吉 純	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
進士 五十八	・座長	学識経験者	東京農業大学名誉教授・元学長
関根 宏一	・「森を育む」施策を検討する部会委員	関係団体	横浜市町内会連合会 幹事
高田 房枝	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会部会長	公募市民	
高橋 秀忠	・「森を育む」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
野路 幸子	・「農を感じる」施策を検討する部会委員	関係団体	横浜中央農業委員会 委員
村松 晶子	・「農を感じる」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
望月 正光	・「森を育む」施策を検討する部会部会長 ・広報・見える化部会委員	学識経験者	関東学院常務理事、 関東学院大学名誉教授

(50音順・敬称略、2023年12月時点)

## 評価と提案の概要

※「横浜みどりアップ計画4か年の評価・提案」より抜粋

「計画の柱1：市民とともに次世代につなぐ森を育む」について

- ・土地所有者への働きかけが難しい状況が続く中、関係者を対象とした説明会を実施するなど、工夫しながら粘り強い働きかけを続けたことを評価します。
- ・森を訪れる市民が増えた一方、利用マナーが新たな課題となっています。「横浜の森ファン」を増やすことは、市民に森との関わり方を知っていただくためにも重要であるため、引き続き、様々な発信の方法を検討しながら、子どもをはじめ、多くの市民に森の楽しみを伝えていくことを期待します。

「計画の柱2：市民が身近に農を感じる場をつくる」について

- ・農とふれあう場づくりでは、今後は、身近な場所に農地の少ない地域でも農とふれあうことができるようになることを期待します。横浜の市民力を生かし身近な場所で農を楽しみながら農を支援する取組をさらに進めてください。
- ・多様な地産地消の市民ニーズに応えるために、はまふうどコンシェルジュ同士や、地域の拠点となる地産地消サポート店などが相互に連携を深めることで、地域に密着した地産地消の取組が増えることを期待します。

「計画の柱3：市民が実感できる緑や花をつくる」について

- ・公有地・公共施設での緑化や、公有地によるシンボリックな緑の創出など、多くの市民の目にふれる場所での緑の創出・育成が進んでいます。また、保育園・幼稚園・小学校などでは、子どもたちが身近に緑に親しむ空間づくりが広がり、緑や花、生き物とふれあう体験につながっています。
- ・緑や花に親しむ取組では、地域緑のまちづくりをはじめ、地域活動による緑の取組が着実に広がっています。また、各区で市民・企業等と連携した様々な取組が進められ、緑や花への関心や市民参加が全市的に広がっており、緑あふれる魅力的なまちづくりに欠かせない市民力が育まれています。

「効果的な広報の展開」について

- ・計画を知っている割合は前年度から伸びており、これまでの広報の効果を感じられます。市民の関心が高い地産地消や農の取組にスポットをあてた広報や様々な年代にあわせた広報に取り組むことで更なる認知度向上を期待します。
- ・みどりアップ計画の広報の事例や実績は積みあがってきており、今後は、2027年国際園芸博覧会関連イベントなどを利用し、市内外に向けた広報も検討してください。



# 5

## 各区の実績

2019年度から2023年度までの実績を区ごとにまとめています。

取組ごとに実績累計を示しており、実績累計は、各年度の実績を合計した数値としています。

※「8 水田の保全」の水田保全面積は、2023年度の保全面積を実績累計としています。

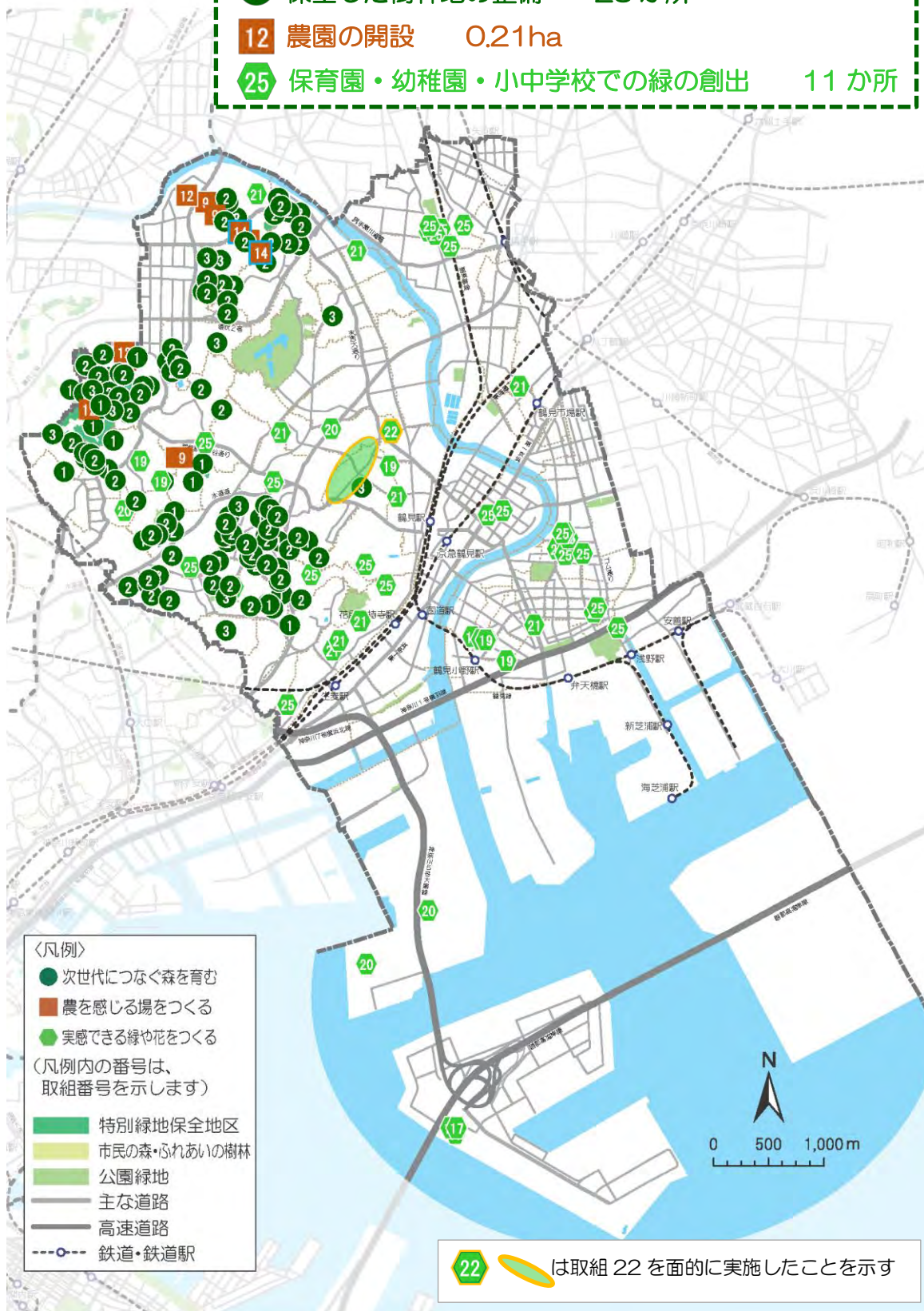
「10 農景観を良好に維持する活動の支援」の集団農地維持は、2023年度の維持面積を実績累計としています。

なお、市域全体から広く参加者を募ったイベントや講座など、全市的に効果が及ぶものは各区の実績には含めていません。

## 鶴見区

### 主な実績

- ① 保全した樹林地の整備 23 か所
- ⑫ 農園の開設 0.21ha
- ⑫⑤ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 11 か所



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 0.14ha

・市民の森等

2021年度 0.04ha 獅子ヶ谷市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2021年度 0.1ha 北寺尾七丁目

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 2地区 獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区、馬場五丁目特別緑地保全地区

2020年度 1地区 東寺尾六丁目特別緑地保全地区

2021年度 1地区 獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区

・公園樹林部

2019年度 1地区 馬場二丁目公園

○保全した樹林地の整備 23か所

2019年度 2か所 北寺尾七丁目特別緑地保全地区、獅子ヶ谷市民の森

2020年度 8か所 北寺尾七丁目特別緑地保全地区、馬場五丁目特別緑地保全地区、東寺尾六丁目特別緑地保全地区、東寺尾六丁目南特別緑地保全地区、獅子ヶ谷市民の森（2か所）、二本木第二公園、馬場二丁目公園

2021年度 6か所 東寺尾六丁目特別緑地保全地区、北寺尾七丁目特別緑地保全地区、獅子ヶ谷市民の森（2か所）、東寺尾ふれあいの樹林、馬場二丁目公園

2022年度 4か所 北寺尾七丁目特別緑地保全地区、獅子ヶ谷市民の森（2か所）、東寺尾ふれあいの樹林

2023年度 3か所 獅子ヶ谷市民の森（2か所）、東寺尾ふれあいの樹林

## 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

## ○森の維持管理 66 か所

## ・保安全管理計画の策定（公園）

2020年度 1 か所 白幡公園

## ・維持管理（樹林地）

2019年度 6 か所 駒岡・梶山特別緑地保全地区、獅子ケ谷・師岡特別緑地保全地区、駒岡中郷市民の森、獅子ケ谷市民の森、かぶと塚ふれあいの樹林、東寺尾ふれあいの樹林

2020年度 7 か所 駒岡・梶山特別緑地保全地区、獅子ケ谷・師岡特別緑地保全地区、馬場二丁目特別緑地保全地区、駒岡中郷市民の森、獅子ケ谷市民の森、東寺尾ふれあいの樹林、かぶと塚ふれあいの樹林

2021年度 8 か所 駒岡・梶山特別緑地保全地区、獅子ケ谷・師岡特別緑地保全地区、馬場二丁目特別緑地保全地区、東寺尾六丁目南特別緑地保全地区、駒岡中郷市民の森、獅子ケ谷市民の森、かぶと塚ふれあいの樹林、東寺尾ふれあいの樹林

2022年度 9 か所 駒岡・梶山特別緑地保全地区、獅子ケ谷・師岡特別緑地保全地区、馬場二丁目特別緑地保全地区、東寺尾六丁目南特別緑地保全地区（2 か所）、駒岡中郷市民の森、獅子ケ谷市民の森、かぶと塚ふれあいの樹林、東寺尾ふれあいの樹林

2023年度 9 か所 駒岡・梶山特別緑地保全地区、獅子ケ谷・師岡特別緑地保全地区、馬場二丁目特別緑地保全地区、東寺尾六丁目特別緑地保全地区、東寺尾六丁目南特別緑地保全地区、駒岡中郷市民の森、獅子ケ谷市民の森、かぶと塚ふれあいの樹林、東寺尾ふれあいの樹林

## ・維持管理（公園）

2019年度 5 か所 駒岡堂ノ前公園、白幡公園、二本木第二公園、馬場町公園、二ツ池公園

2020年度 3 か所 白幡公園、馬場町公園、二ツ池公園

2021年度 6 か所 駒岡堂ノ前公園、白幡公園、二本木第二公園、馬場町公園、二ツ池公園、北寺尾七丁目緑地

2022年度 6 か所 駒岡堂ノ前公園、白幡公園、二本木第二公園、馬場町公園、二ツ池公園、北寺尾七丁目緑地

2023年度 6 か所 駒岡堂ノ前公園、白幡公園、二本木第二公園、馬場町公園、二ツ池公園、北寺尾七丁目緑地

## 3 指定した樹林地における維持管理の支援

## ○維持管理の助成 9 件

2019年度 4 件 上末吉一丁目、駒岡一丁目、駒岡三丁目、寺谷一丁目

2021年度 3 件 駒岡三丁目、東寺尾二丁目、東寺尾三丁目

2022年度 1 件 上の宮二丁目

2023年度 1 件 馬場四丁目

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 4件

2019年度 2件 北寺尾五丁目、駒岡四丁目

2022年度 2件 北寺尾五丁目、駒岡四丁目

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.21ha

・市民農園

2019年度 0.06ha 獅子ケ谷三丁目

2020年度 0.09ha 駒岡五丁目、獅子ケ谷三丁目

2022年度 0.06ha 獅子ケ谷三丁目

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 2件

・青空市・マルシェ等

2021年度 1件 JA 横浜鶴見支店駐車場直売所

2023年度 1件 JA 横浜鶴見支店駐車場直売所

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の維持管理 3か所

2019年度 1か所 大黒ふ頭西緑地

2020年度 1か所 大黒ふ頭西緑地

2021年度 1か所 大黒ふ頭西緑地

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○良好な維持管理

2019年度 小野末広線（末広町通り）・末広水際線プロムナード、平安町栄町公園通りほか 計1,159本

2020年度 小野末広線（末広町通り）・末広水際線プロムナード、平安町栄町公園通りほか 計1,065本

2021年度 小野末広線（末広町通り）・末広水際線プロムナード、平安町栄町公園通りほか 計995本

2022年度 小野末広線（末広町通り）・末広水際線プロムナード、平安町栄町公園通りほか 計975本

2023年度 小野末広線（末広町通り）・末広水際線プロムナード、ゴム通りほか 計900本

## 19 シンボリックな緑の創出・育成

### ○公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理

2019年度 1 箇所 下野谷町三丁目公園（管理）

2020年度 1 箇所 下野谷町三丁目公園（管理）

2021年度 1 箇所 下野谷町三丁目公園（管理）

2022年度 2 箇所 北寺尾六丁目（整備中）、下野谷町三丁目公園（管理）

2023年度 2 箇所 北寺尾六丁目（整備中）、下野谷町三丁目公園（管理）

### ○公開性のある緑空間の創出支援 1 箇所

2019年度 1 箇所 佃野町

## 20 建築物緑化保全契約の締結

### ○建築物緑化保全契約の締結 5 件

2019年度 4 件 諏訪坂（2件）、大黒町、馬場七丁目

2020年度 1 件 大黒町

## 21 名木古木の保存

### ○名木古木の保存

#### ・新規指定

2020年度 6 本 寺谷一丁目（3本）、東寺尾一丁目（3本）

#### ・維持管理の助成

2019年度 1 本 駒岡三丁目

2020年度 1 本 上末吉一丁目

2021年度 10 本 市場上町、岸谷一丁目（2本）、岸谷四丁目（4本）、仲通（3本）

2022年度 5 本 北寺尾二丁目（5本）

## 22 地域緑のまちづくり

### ○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 1 地区

#### ・新規

2022年度 1 地区 寺谷地区

#### ・継続

2023年度 1 地区 寺谷地区

### 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

#### ○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	JR鶴見線で巡る 緑のスタンプラリー
2020年度	JR鶴見線で巡る 緑のスタンプラリー
2021年度	JR鶴見線で巡る 緑のスタンプラリー
2022年度	JR鶴見線で巡る 緑のスタンプラリー
2023年度	JR鶴見線で巡る 緑のスタンプラリー

#### ○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗などの配布（汐入公園ほか 10 か所）
2020年度	球根などの配布（江ヶ崎町公園ほか 1 か所）
2021年度	花壇講習会（中町公園）、球根などの配布（芦穂崎公園ほか 55 か所）
2022年度	球根などの配布（市場公園ほか 53 か所）
2023年度	球根などの配布（江ヶ崎町公園ほか 56 か所）

### 24 人生記念樹の配布

#### ○人生記念樹の配布 1,778 本

2019年度	343 本
2020年度	327 本
2021年度	347 本
2022年度	396 本
2023年度	365 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

### 25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

#### ○緑の創出 11 か所

2019年度	4 か所	潮田小学校、岸谷小学校、鶴見小学校、矢向小学校
2020年度	3 か所	鶴見小学校、寺尾小学校、東高等学校
2021年度	1 か所	フラフイー小規模保育園
2022年度	2 か所	旭小学校、東台小学校
2023年度	1 か所	三松幼稚園

#### ○緑の維持管理 12 か所

2019年度	2 か所	潮田小学校、新鶴見小学校
2020年度	2 か所	潮田小学校、新鶴見小学校
2021年度	2 か所	潮田小学校、新鶴見小学校
2022年度	3 か所	入船小学校、潮田小学校、新鶴見小学校
2023年度	3 か所	入船小学校、潮田小学校、新鶴見小学校





1 緑地保全制度による新規指定  
緑地保存地区（北寺尾七丁目）



1 保全した樹林地の整備  
（馬場二丁目公園）



14 青空市・マルシェ等  
（JA 横浜鶴見支店駐車場直売所）



19 シンボリックな緑の創出・育成  
（下野谷町三丁目公園）



24 人生記念樹の配布  
（鶴見区庁舎）



25 幼稚園での緑の創出・育成  
（区内幼稚園）

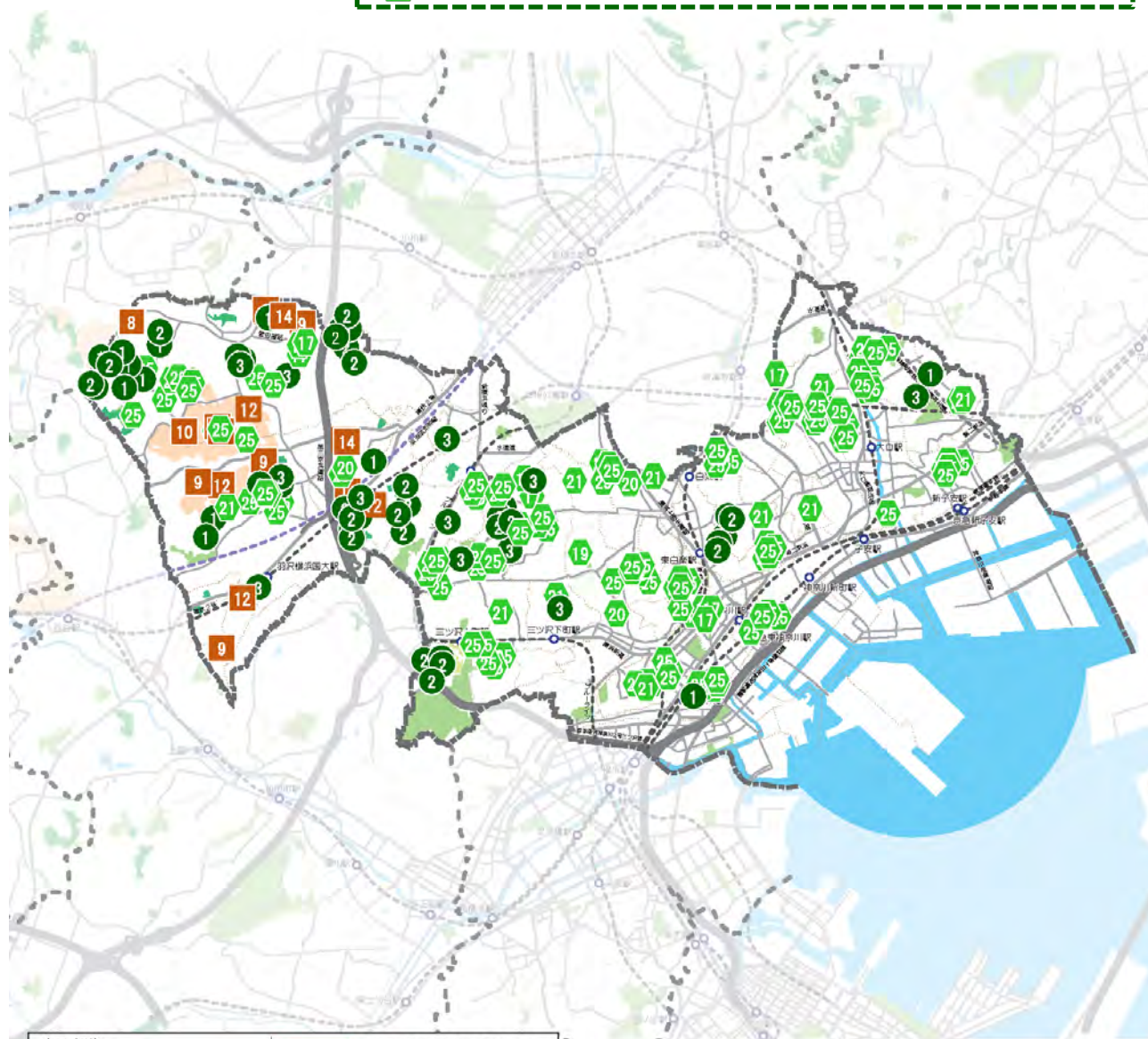
5 各区の実績  
鶴見区



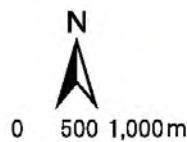
## 神奈川区

### 主な実績

- 1** 緑地保全制度による新規指定 2.81ha
- 8** 水田の保全 0.12ha
- 25** 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 10か所



〈凡例〉	
● 次世代につなぐ森を育む	■ 特別緑地保全地区
■ 農を感じる場をつくる	■ 市民の森・ふれあいの樹林
● 実感できる緑や花をつくる	■ 公園緑地
(凡例内の番号は、 取組番号を示します)	■ 農業専用地区
	— 主な道路
	— 高速道路
	—○— 鉄道・鉄道駅
	— 新幹線



## 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

### 1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 2.81ha

・緑地保存地区

2021年度 0.01ha 西寺尾三丁目

2022年度 0.2ha 青木町、菅田町

2023年度 1.2ha 神大寺二丁目、羽沢町

・源流の森保存地区

2019年度 0.4ha 羽沢町

2022年度 0.5ha 羽沢町

2023年度 0.3ha 羽沢町

・その他

2020年度 0.2ha 羽沢町

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020年度 1地区 菅田町赤坂特別緑地保全地区

2021年度 2地区 菅田町赤坂特別緑地保全地区、菅田町堀上特別緑地保全地区

2023年度 1地区 羽沢町綿打特別緑地保全地区

○保全した樹林地の整備 7か所

2019年度 2か所 神大寺二丁目特別緑地保全地区、三枚町矢崎特別緑地保全地区

2020年度 2か所 神大寺二丁目特別緑地保全地区、菅田町出戸谷特別緑地保全地区

2021年度 1か所 菅田町赤坂特別緑地保全地区

2022年度 1か所 菅田町赤坂特別緑地保全地区

2023年度 1か所 菅田町赤坂特別緑地保全地区

## 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

## ○森の維持管理 32 箇所

## ・維持管理（樹林地）

2019 年度	4 箇所	三枚町牛道根特別緑地保全地区、菅田町堀上特別緑地保全地区、豊頭寺市民の森、白幡西緑地
2020 年度	6 箇所	三枚町特別緑地保全地区、三枚町牛道根特別緑地保全地区、菅田町出戸谷特別緑地保全地区、菅田町堀上特別緑地保全地区、豊頭寺市民の森、白幡西緑地
2021 年度	7 箇所	神大寺二丁目特別緑地保全地区、三枚町特別緑地保全地区、三枚町牛道根特別緑地保全地区、菅田町出戸谷特別緑地保全地区、菅田町堀上特別緑地保全地区、豊頭寺市民の森、白幡西緑地
2022 年度	7 箇所	神大寺二丁目特別緑地保全地区、三枚町特別緑地保全地区、三枚町牛道根特別緑地保全地区、菅田町出戸谷特別緑地保全地区、菅田町堀上特別緑地保全地区、豊頭寺市民の森、白幡西緑地
2023 年度	8 箇所	神大寺二丁目特別緑地保全地区、三枚町特別緑地保全地区、三枚町牛道根特別緑地保全地区、菅田町赤坂特別緑地保全地区、菅田町出戸谷特別緑地保全地区、菅田町堀上特別緑地保全地区、豊頭寺市民の森、白幡西緑地

## 3 指定した樹林地における維持管理の支援

## ○維持管理の助成 24 件

2019 年度	2 件	菅田町（2件）
2020 年度	5 件	片倉三丁目、神大寺二丁目、菅田町（2件）、羽沢町
2021 年度	6 件	神大寺四丁目、菅田町、西寺尾三丁目（2件）、羽沢町（2件）
2022 年度	2 件	菅田町、羽沢町
2023 年度	9 件	片倉三丁目、神大寺三丁目、三枚町、菅田町（4件）、羽沢町、三ツ沢下町

## 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

## 8 水田の保全

## ○水田保全面積 0.12ha

2019 年度	0.12ha	菅田町
2020 年度	0.12ha	菅田町
2021 年度	0.12ha	菅田町
2022 年度	0.12ha	菅田町
2023 年度	0.12ha	菅田町

## 9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 6件

2019年度 1件 羽沢町

2020年度 3件 菅田町（2件）、羽沢南二丁目

2021年度 2件 羽沢町（2件）

## 10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 31.4ha

2019年度 32.1ha 神奈川農地整備組合

2020年度 32.1ha 神奈川農地整備組合

2021年度 31.5ha 神奈川農地整備組合

2022年度 32.1ha 神奈川農地整備組合

2023年度 31.4ha 神奈川農地整備組合

・農地縁辺部への植栽 5件

2019年度 1件 神奈川農地整備組合

2020年度 1件 神奈川農地整備組合

2021年度 1件 神奈川農地整備組合

2022年度 1件 神奈川農地整備組合

2023年度 1件 神奈川農地整備組合

・井戸の改修 1地区

2020年度 1地区 神奈川農地整備組合

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 2.63ha

2019年度 0.41ha 羽沢町（2か所）

2020年度 0.65ha 羽沢町（4か所）

2021年度 0.28ha 羽沢町

2022年度 0.52ha 羽沢町（2か所）

2023年度 0.77ha 羽沢町（4か所）

・たい肥化設備等の支援 1件

2021年度 1件 菅田町

## 12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.52ha

・収穫体験農園

2020年度 0.02ha 羽沢町

2022年度 0.09ha 菅田町

2023年度 0.10ha 羽沢南二丁目

・市民農園

2022年度 0.31ha 三枚町

#### 14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 4件

・直売所・加工所

2019年度 1件 羽沢町

2023年度 1件 菅田町

・青空市・マルシェ等

2022年度 1件 きよ・マルシェ

2023年度 1件 きよ・マルシェ

### 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

#### 17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 1か所

2022年度 1か所 神奈川区庁舎

○緑の維持管理 14か所

2019年度 4か所 神奈川区庁舎、砂田川、神奈川土木事務所、片倉消防出張所

2020年度 3か所 神奈川区庁舎、神奈川土木事務所、砂田川

2021年度 3か所 神奈川区庁舎、砂田川、松見町二丁目子どもの遊び場

2022年度 2か所 神奈川区庁舎、砂田川

2023年度 2か所 神奈川区庁舎、砂田川

#### 18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○良好な維持管理

2019年度 鶴見三ツ沢線、栄本町線ほか 計548本

2020年度 鶴見三ツ沢線、ギャラリーロードほか 計488本

2021年度 鶴見三ツ沢線、栄本町線ほか 計421本

2022年度 新横浜通り、ギャラリーロードほか 計420本

2023年度 新横浜通り、ギャラリーロードほか 計495本

#### 19 シンボリックな緑の創出・育成

○公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理

2019年度 1か所 六角橋四丁目公園（整備完了）

#### 20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 3件

2019年度 2件 栗田谷、六角橋二丁目

2020年度 1件 羽沢町

## 21 名木古木の保存

### ○名木古木の保存

#### ・新規指定

2019年度 1本 三ツ沢中町

2021年度 2本 松見町（2本）

#### ・維持管理の助成

2020年度 2本 西寺尾三丁目（2本）

2021年度 4本 羽沢町、三ツ沢下町、六角橋二丁目（2本）

2022年度 8本 白幡南町（2本）、高島台、松見町（2本）、六角橋二丁目（3本）

2023年度 2本 白幡南町、高島台

## 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

### ○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度 反町公園でのモッコウバラ等つる性植物の植栽

2020年度 反町公園等における花壇整備

2021年度 東横フラワー緑道における花壇整備

2022年度 神奈川区庁舎におけるシンボル花壇の設置

2023年度 神奈川内の花と緑のスポットマップ作成、たねダンゴ作り体験イベント、東神奈川駅前円形花壇の整備にかかるキックオフイベント

### ○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度 花の種の配布、花苗などの配布（三枚町第一公園ほか6か所）

2020年度 球根などの配布（浦島公園ほか37か所）

2021年度 球根などの配布（赤坂公園ほか103か所）

2022年度 球根などの配布（三ツ沢南町公園ほか141か所）

2023年度 球根などの配布（赤坂公園ほか120か所）

## 24 人生記念樹の配布

### ○人生記念樹の配布 1,486本

2019年度 297本

2020年度 255本

2021年度 361本

2022年度 299本

2023年度 274本

※過年度の報告書から本数を修正しました。



## 25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

## ○緑の創出 10か所

2019年度	2か所	なないろきつど保育園、浦島小学校
2020年度	2か所	白幡小学校、三ツ沢小学校
2021年度	2か所	浦島小学校、三ツ沢小学校
2022年度	3か所	幸ヶ谷小学校、西寺尾小学校、三ツ沢小学校
2023年度	1か所	松見保育園

## ○緑の維持管理 110か所

2019年度	24か所	神大寺保育園、西菅田保育園、松見保育園、青木小学校、池上小学校、浦島小学校、大口台小学校、神奈川小学校、神橋小学校、神大寺小学校、幸ヶ谷小学校、子安小学校、斎藤分小学校、白幡小学校、菅田小学校、捜真小学校、中丸小学校、西寺尾小学校、西寺尾第二小学校、羽沢小学校、二谷小学校、三ツ沢小学校、南神大寺小学校、盲特別支援学校
2020年度	23か所	神大寺保育園、西菅田保育園、松見保育園、青木小学校、池上小学校、浦島小学校、大口台小学校、神奈川小学校、神橋小学校、神大寺小学校、幸ヶ谷小学校、子安小学校、斎藤分小学校、白幡小学校、菅田小学校、中丸小学校、西寺尾小学校、西寺尾第二小学校、羽沢小学校、二谷小学校、三ツ沢小学校、南神大寺小学校、盲特別支援学校
2021年度	19か所	神大寺保育園、西菅田保育園、松見保育園、青木小学校、浦島小学校、大口台小学校、神大寺小学校、幸ヶ谷小学校、子安小学校、斎藤分小学校、白幡小学校、菅田の丘小学校、中丸小学校、西寺尾第二小学校、羽沢小学校、二谷小学校、三ツ沢小学校、南神大寺小学校、盲特別支援学校
2022年度	22か所	神大寺保育園、西菅田保育園、松見保育園、青木小学校、浦島小学校、大口台小学校、神奈川小学校、神橋小学校、神大寺小学校、幸ヶ谷小学校、子安小学校、斎藤分小学校、白幡小学校、菅田の丘小学校、中丸小学校、西寺尾小学校、西寺尾第二小学校、羽沢小学校、二谷小学校、三ツ沢小学校、南神大寺小学校、盲特別支援学校
2023年度	22か所	神大寺保育園、西菅田保育園、松見保育園、青木小学校、浦島小学校、大口台小学校、神奈川小学校、神橋小学校、神大寺小学校、幸ヶ谷小学校、子安小学校、斎藤分小学校、白幡小学校、菅田の丘小学校、中丸小学校、西寺尾小学校、西寺尾第二小学校、羽沢小学校、二谷小学校、三ツ沢小学校、南神大寺小学校、盲特別支援学校

5 各区の実績  
神奈川県



1 緑地保全制度による新規指定  
緑地保存地区（羽沢町）



2 森の維持管理  
（神大寺二丁目特別緑地保全地区）



12 様々なニーズに合わせた農園の開設  
（羽沢南二丁目）



14 青空市・マルシェ等  
（きよ・マルシェ）

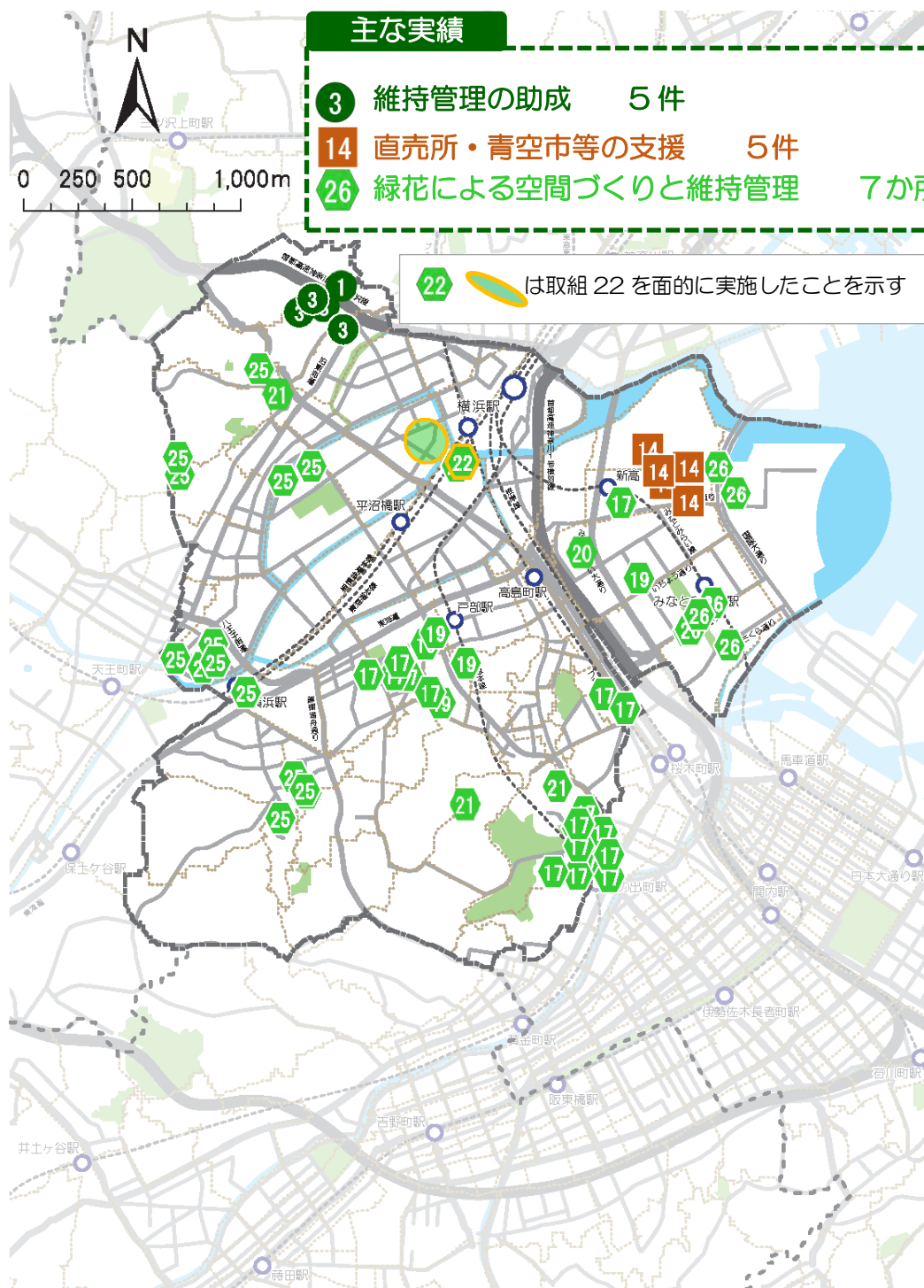


18 街路樹による良好な景観の創出・育成  
（ギャラリーロード）



19 シンボリックな緑の創出・育成  
（六角橋四丁目公園）

西区



〈凡例〉	特別緑地保全地区
● 次世代につなぐ森を育む	市民の森・ふれあいの樹林
■ 農を感じる場をつくる	公園緑地
◆ 実感できる緑や花をつくる	主な道路
(凡例内の番号は、 取組番号を示します)	高速道路
	鉄道・鉄道駅

## 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

### 1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 0.6ha

・緑地保存地区

2022年度	0.6ha	南軽井沢
--------	-------	------

### 3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 5件

2019年度	1件	南軽井沢
--------	----	------

2020年度	1件	南軽井沢
--------	----	------

2022年度	1件	南軽井沢
--------	----	------

2023年度	2件	南軽井沢（2件）
--------	----	----------

## 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

### 14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 5件

・青空市・マルシェ等

2019年度	1件	みなとみらい農家朝市
--------	----	------------

2020年度	1件	みなとみらい農家朝市
--------	----	------------

2021年度	1件	みなとみらい農家朝市
--------	----	------------

2022年度	1件	みなとみらい農家朝市
--------	----	------------

2023年度	1件	みなとみらい農家朝市
--------	----	------------

## 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

### 17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の維持管理 18か所

2019年度	4か所	西区庁舎、新高島駅周辺暫定通路、中央図書館、市長公舎
--------	-----	----------------------------

2020年度	4か所	西区庁舎、東横線廃線跡地（未供用区間）、中央図書館、市長公舎
--------	-----	--------------------------------

2021年度	3か所	西区庁舎、中央図書館、市長公舎
--------	-----	-----------------

2022年度	4か所	西区庁舎、東横線廃線跡地（未供用区間）、中央図書館、市長公舎
--------	-----	--------------------------------

2023年度	3か所	西区庁舎、中央図書館、市長公舎
--------	-----	-----------------

## 18 街路樹による良好な景観の創出・育成

## ○空き樹の補植

2019年度	低木 439 本
2020年度	低木 65 本
2023年度	高木 27 本、低木 42 本

## ○良好な維持管理

2019年度	すすかけ通り、いちよう通りほか 計414本
2020年度	栄本町線、桜川新道ほか 計865本
2021年度	栄本町線、桜川新道ほか 計1,136本
2022年度	青木浅間線、すすかけ通りほか 計690本
2023年度	青木浅間線、桜川新道ほか 計868本

## 19 シンボリックな緑の創出・育成

## ○公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理

2019年度	1 場所	伊勢町もくせい公園（管理）
2020年度	1 場所	伊勢町もくせい公園（管理）
2021年度	1 場所	伊勢町もくせい公園（管理）
2022年度	1 場所	伊勢町もくせい公園（管理）
2023年度	1 場所	伊勢町もくせい公園（管理）

## ○公開性のある緑空間の創出支援 1 場所

2020年度	1 場所	みなとみらい四丁目
--------	------	-----------

## 20 建築物緑化保全契約の締結

## ○建築物緑化保全契約の締結 1 件

2022年度	1 件	みなとみらい四丁目
--------	-----	-----------

## 21 名木古木の保存

## ○名木古木の保存

## ・新規指定

2019年度	1 本	老松町
2022年度	1 本	浅間町

## ・維持管理の助成

2022年度	1 本	西戸部町
2023年度	1 本	老松町

## 22 地域緑のまちづくり

## ○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 1 地区

## ・新規

2023年度	1 地区	南幸地区
--------	------	------

**23** 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	西区庁舎での植栽帯の整備
2020年度	回遊性向上を目的としたガーデンベアフォトスポット及びハンギングバスケット設置（2か所）、フジの管理作業を学ぶ講習会の実施
2021年度	回遊性向上を目的としたガーデンベアフォトスポット及びハンギングバスケット設置、フジの管理作業を学ぶ講習会の実施、バラ育成講座の開催
2022年度	回遊性向上を目的としたガーデンベアフォトスポットの設置、フジの管理作業を学ぶ講習会の実施、バラ育成講座の開催、にしく緑花サポーター制度登録者への花苗配布
2023年度	回遊性向上を目的としたガーデンベアフォトスポットの設置、フジの管理作業を学ぶ講習会の実施、バラ育成講座の開催、にしく緑花サポーター制度登録者への花苗配布

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布
2020年度	球根などの配布（池ノ上公園ほか 21 か所）
2021年度	球根などの配布（池ノ上公園ほか 10 か所）
2022年度	球根などの配布（池ノ上公園ほか 28 か所）
2023年度	球根などの配布（池ノ上公園ほか 29 か所）

**24** 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 971 本

2019年度	181 本
2020年度	133 本
2021年度	188 本
2022年度	287 本
2023年度	182 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

**25** 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 5 か所

2019年度	1 か所	南浅間保育園
2020年度	1 か所	浅間台小学校
2021年度	1 か所	宮谷小学校
2022年度	2 か所	稲荷台小学校、浅間台小学校

○緑の維持管理 11 か所

2019年度	3 か所	南浅間保育園、稲荷台小学校、岡野中学校
2020年度	3 か所	南浅間保育園、稲荷台小学校、岡野中学校
2021年度	2 か所	南浅間保育園、稲荷台小学校
2022年度	2 か所	南浅間保育園、稲荷台小学校
2023年度	1 か所	南浅間保育園

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

○緑花による空間づくりと維持管理 7か所

2019年度 2か所 グランモール公園、キングモール橋

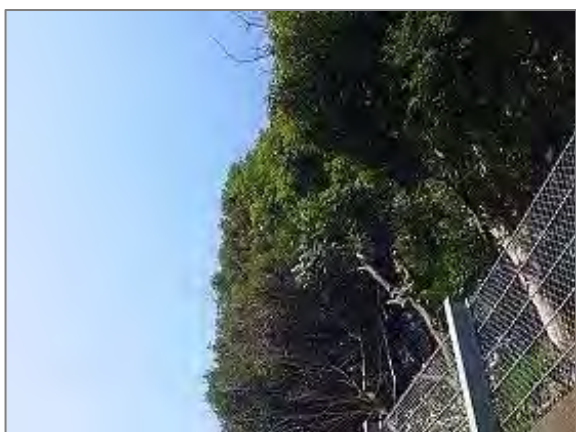
2020年度 2か所 グランモール公園、キングモール橋

2021年度 1か所 グランモール公園

2022年度 1か所 グランモール公園

2023年度 1か所 グランモール公園

5 各区の実績  
西区



3 樹林地の維持管理の助成  
(南軽井沢)



14 青空市・マルシェ等  
(みなとみらい農家朝市)



18 街路樹による良好な景観の創出・育成  
(石崎川プロムナード)



19 シンボリックな緑の創出・育成  
(伊勢町もくせい公園)



25 保育園での緑の創出・育成  
(区内保育園)



26 都心臨海部等の緑花による魅力ある  
空間づくり(グランモール公園)



# 中区

**主な実績**

- 2 森の維持管理 21 か所
- 14 直売所・青空市等の支援 81 件
- 22 地域緑のまちづくり（新規） 3 地区



〈凡例〉

● 次世代につなぐ森を育む	特別緑地保全地区
■ 農を感じる場をつくる	市民の森・心れあいの樹林
● 実感できる緑や花をつくる	公園緑地
(凡例内の番号は、取組番号を示します)	主な道路
	高速道路
	鉄道・鉄道駅

18	は取組 18 を線的に実施したことを示す
22	は取組 22 を面的に実施したことを示す

## 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

### 1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 0.23ha

・緑地保存地区

2019年度 0.1ha 北方町、竹之丸

2020年度 0.1ha 本牧町、山手町

2022年度 0.03ha 池袋

○保全した樹林地の整備 3か所

2020年度 1か所 本牧間門緑地

2021年度 1か所 三溪園緑地

2022年度 1か所 本牧荒井緑地

### 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 21か所

・維持管理（樹林地）

2019年度 4か所 加曽台緑地、三溪園緑地、本牧荒井緑地、本牧間門緑地

2020年度 4か所 加曽台緑地、三溪園緑地、本牧荒井緑地、本牧間門緑地

2021年度 4か所 加曽台緑地、三溪園緑地、本牧荒井緑地、本牧間門緑地

2022年度 4か所 加曽台緑地、三溪園緑地、本牧荒井緑地、本牧間門緑地

2023年度 4か所 加曽台緑地、三溪園緑地、本牧荒井緑地、本牧間門緑地

・維持管理（公園）

2023年度 1か所 本牧十二天緑地

### 3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 13件

2019年度 5件 北方町（2件）、竹之丸、本牧町、本牧間門

2020年度 1件 池袋

2021年度 2件 北方町、本牧町

2022年度 2件 北方町、本牧間門

2023年度 3件 池袋（2件）、竹之丸

## 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

## 14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 81件

・直売所・加工所

2021年度 1件 日ノ出町

・青空市・マルシェ等

2019年度 16件 横浜北仲マルシェ（16件）

2020年度 5件 横浜北仲マルシェ（4件）、戸塚4Hクラブ協議会よこはま野菜販売

2021年度 11件 横浜北仲マルシェ（10件）、戸塚4Hクラブ協議会よこはま野菜販売

2022年度 24件 横浜北仲マルシェ（24件）

2023年度 24件 横浜北仲マルシェ（24件）

## 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

## 17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 4か所

2019年度 1か所 ハンマーヘッドパーク

2020年度 1か所 ハンマーヘッドパーク

2022年度 2か所 中本牧コミュニティハウス敷地内こどもの遊び場、柏葉公園

○緑の維持管理 10か所

2019年度 3か所 旧市庁舎、中本牧コミュニティハウス、野毛地区センター

2020年度 3か所 旧市庁舎、野毛地区センター、ハンマーヘッドパーク

2021年度 1か所 ハンマーヘッドパーク

2022年度 1か所 ハンマーヘッドパーク

2023年度 2か所 中本牧コミュニティハウス敷地内子供の遊び場、ハンマーヘッドパーク

### 18 街路樹による良好な景観の創出・育成

#### ○並木の再生

2019年度	3路線	本牧通り（整備中）、本牧桜道（整備完了）、谷戸坂（整備完了）
2020年度	1路線	本牧通り（整備完了）

#### ○空き樹の補植

2023年度	高木	3本
--------	----	----

#### ○良好な維持管理

2019年度	豊浦町第52号線、山下本牧磯子線（本牧通り）ほか	計1,286本
2020年度	山下本牧磯子線（本牧通り）、山下本牧磯子線（新山下通り）ほか	計1,138本
2021年度	山下本牧磯子線（新山下通り）、山下高砂線（大棧橋浦舟線）ほか	計858本
2022年度	山下本牧磯子線（新山下通り）、国道133号・新港第79号線（本町通り）ほか	計846本
2023年度	山下本牧磯子線（本牧通り）、山下本牧磯子線（新山下通り）ほか	933本

### 19 シンボリックな緑の創出・育成

#### ○公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理

2019年度	1か所	山手町（整備中）
2020年度	1か所	山手町（整備中）
2021年度	1か所	山手町（整備中）
2022年度	1か所	山手町（整備中）
2023年度	1か所	山手町（整備中）

#### ○公開性のある緑空間の創出支援 1か所

2022年度	1か所	山下町
--------	-----	-----

### 20 建築物緑化保全契約の締結

#### ○建築物緑化保全契約の締結 3件

2019年度	2件	本牧元町、山手町
2022年度	1件	山手町

## 21 名木古木の保存

## ○名木古木の保存

## ・新規指定

2019年度 3本 山手町(3本)

2020年度 1本 滝之上

2023年度 1本 山手町

## ・維持管理の助成

2019年度 11本 日本大通、豆口台、山手町(4本)、山元町(5本)

2020年度 15本 滝之上、仲尾台、西之谷町、山手町(7本)、山元町(5本)

2021年度 10本 根岸旭台(3本)、豆口台、山手町、山元町(5本)

2022年度 13本 柏葉、根岸旭台、元町(2本)、山手町(4本)、山元町(5本)

2023年度 13本 西之谷町(2本)、日本大通、山手町(5本)、山元町五丁目(5本)

## 22 地域緑のまちづくり

## ○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 3地区

## ・新規

2020年度 1地区 元町河岸通り地区

2021年度 1地区 関内桜通り地区

2023年度 1地区 野毛本通り地区

## ・継続

2019年度 1地区 山下公園通り地区

2020年度 1地区 山下公園通り地区

2021年度 1地区 元町河岸通り地区

2022年度 2地区 元町河岸通り地区、関内桜通り地区

2023年度 2地区 元町河岸通り地区、関内桜通り地区

## 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

### ○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	市民参加型イベント等における「ガーデンネックレス横浜2019」PR、「ガーデンネックレス横浜2019」PR写真・絵画展、「ガーデンネックレス横浜2019」ウォーキングツアー
2020年度	市民参加型イベント等における「ガーデンネックレス横浜2020」PR、「秋のローズ&ガーデンマーケット」連携イベント、「ガーデンネックレス横浜2020」ウォーキングツアー
2021年度	市民参加型イベント等における「ガーデンネックレス横浜2021」PR（開港記念会館イベントなど）、「ガーデンネックレス横浜2021」ウォーキングツアー
2022年度	市民参加型イベント等における「ガーデンネックレス横浜2022」PR、「ガーデンネックレス横浜2022」ウォーキングツアー、花と緑の作品展の開催
2023年度	市民参加型イベント等における「ガーデンネックレス横浜2023」PR、「ガーデンネックレス横浜2023」ウォーキングツアー、チューリップ植付けと公園内の木々の観察イベントの開催

### ○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	球根ミックス花壇講座（山下公園）、花の種の配布
2020年度	球根ミックス花壇講座（山下公園）、公園愛護会を対象とした「球根ミックス花壇の作り方」動画作成（山下公園）、球根などの配布（山手町公園ほか36か所）
2021年度	球根ミックス花壇講座（山下公園）、球根などの配布（石川町五丁目公園ほか34か所）
2022年度	球根ミックス花壇講座（山下公園）、球根などの配布（石川町五丁目公園ほか35か所）
2023年度	球根ミックス花壇講座（山下公園）、花壇講習会（開港広場公園）、球根などの配布（石川町五丁目公園ほか34か所）

## 24 人生記念樹の配布

### ○人生記念樹の配布 892本

2019年度	157本
2020年度	180本
2021年度	209本
2022年度	183本
2023年度	163本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

## 25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

## ○緑の創出 7か所

2019年度	2か所	立野小学校、仲尾台中学校
2021年度	1か所	本牧南小学校
2022年度	2か所	本牧南小学校、仲尾台中学校
2023年度	2か所	和光幼稚園、仲尾台中学校

## ○緑の維持管理 14か所

2019年度	4か所	竹之丸保育園、錦保育園、間門小学校、横浜吉田中学校
2020年度	3か所	竹之丸保育園、錦保育園、間門小学校
2021年度	3か所	竹之丸保育園、錦保育園、間門小学校
2022年度	2か所	錦保育園、間門小学校
2023年度	2か所	錦保育園、間門小学校

## 26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

## ○緑花による空間づくりと維持管理 42か所

2019年度	8か所	港の見える丘公園、山下公園、山手イタリア山庭園、横浜公園、日本大通り、山下公園通り、新港中央広場、横浜ハンマーヘッド周辺
2020年度	8か所	港の見える丘公園、山下公園、山手イタリア山庭園、横浜公園、日本大通り、山下公園通り、新港中央広場、横浜ハンマーヘッド周辺
2021年度	8か所	港の見える丘公園、山下公園、山手イタリア山庭園、横浜公園、日本大通り、山下公園通り、新港中央広場、横浜ハンマーヘッド周辺
2022年度	9か所	港の見える丘公園、元町公園、山下公園、山手イタリア山庭園、横浜公園、日本大通り、山下公園通り、新港中央広場、横浜ハンマーヘッド周辺
2023年度	9か所	港の見える丘公園、元町公園、山下公園、山手イタリア山庭園、横浜公園、日本大通り、山下公園通り、新港中央広場、横浜ハンマーヘッド周辺

5 各区の実績  
中区



1 緑地保全制度による新規指定  
緑地保存地区（本牧町）



2 森の維持管理  
（本牧十二天緑地）



14 青空市・マルシェ等  
（横浜北仲マルシェ）



19 シンボリックな緑の創出・育成  
（山手町（整備中））



23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり  
（開港広場公園）



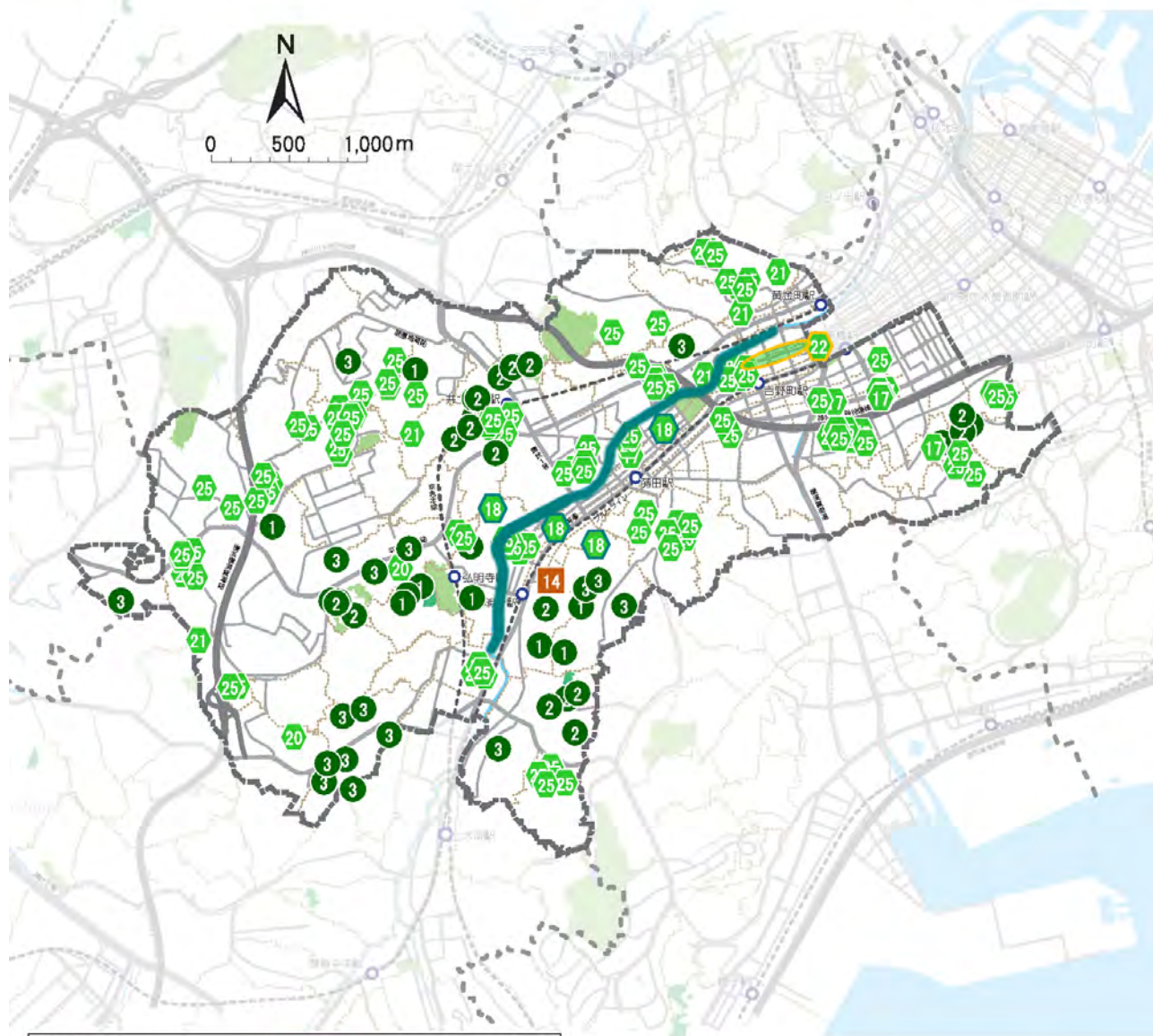
26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり  
（山下公園）



## 南区

### 主な実績

- 1** 緑地保全制度による新規指定 2.1ha
- 14** 直売所・青空市等の支援 1件
- 25** 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 20か所



〈凡例〉	
● 次世代につなぐ森を育む	■ 特別緑地保全地区
■ 農を感じる場をつくる	■ 市民の森・心れあいの樹林
● 実感できる緑や花をつくる	■ 公園緑地
(凡例内の番号は、 取組番号を示します)	— 主な道路
	— 高速道路
	— 鉄道・鉄道駅

- 18** は取組 18 を線的に実施したことを示す
- 22** は取組 22 を面的に実施したことを示す

## 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

### 1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 2.1ha

- ・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2021年度 1.4ha 中里三丁目特別緑地保全地区

- ・緑地保存地区

2019年度 0.3ha 弘明寺町、六ツ川一丁目

2020年度 0.1ha 永田東二丁目

2021年度 0.1ha 大岡一丁目

- ・その他

2020年度 0.2ha 別所五丁目

○保全した樹林地の整備 5か所

2019年度 2か所 大岡三丁目緑地（2か所）

2020年度 1か所 大岡特別緑地保全地区

2022年度 1か所 中里三丁目特別緑地保全地区

2023年度 1か所 中里三丁目特別緑地保全地区

### 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 23か所

- ・維持管理（樹林地）

2019年度 2か所 大岡三丁目緑地、永田東緑地

2020年度 2か所 大岡三丁目緑地、永田東緑地

2021年度 2か所 大岡三丁目緑地、永田東緑地

2022年度 2か所 大岡三丁目緑地、永田東緑地

2023年度 2か所 大岡三丁目緑地、永田東緑地

- ・維持管理（公園）

2019年度 2か所 唐沢公園、六ツ川中央公園

2020年度 2か所 唐沢公園、南太田四丁目公園

2021年度 3か所 唐沢公園、南太田四丁目公園、六ツ川中央公園

2022年度 3か所 唐沢公園、南太田四丁目公園、六ツ川中央公園

2023年度 3か所 唐沢公園、南太田四丁目公園、六ツ川中央公園

### 3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 16件

2019年度 5件 大岡五丁目、永田北二丁目（2件）、別所三丁目、六ツ川一丁目

2020年度 3件 弘明寺町、別所二丁目、別所三丁目

2021年度 3件 南太田一丁目、六ツ川一丁目、六ツ川四丁目

2022年度 2件 大岡一丁目、六ツ川一丁目

2023年度 3件 大岡一丁目、別所二丁目、別所三丁目

## 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

## 14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 1件

・直売所・加工所

2020年度 1件 大岡町

## 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

## 17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の維持管理 7か所

2019年度 3か所 南区庁舎、中村地区センター、蒔田消防出張所

2020年度 1か所 南区庁舎

2021年度 1か所 南区庁舎

2022年度 1か所 南区庁舎

2023年度 1か所 南区庁舎

## 18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○並木の再生

2019年度 1路線 大岡川プロムナード（整備中）

2020年度 1路線 大岡川プロムナード（整備中）

2021年度 1路線 大岡川プロムナード（整備中）

2022年度 1路線 大岡川プロムナード（整備中）

2023年度 1路線 大岡川プロムナード（整備中）

○空き樹の補植

2022年度 低木 808本

2023年度 低木 902本

○良好な維持管理

2019年度 県道横浜鎌倉（鎌倉街道）、中村川プロムナードほか 計628本

2020年度 県道横浜鎌倉（鎌倉街道）、平戸桜木線ほか 計614本

2021年度 県道横浜鎌倉（鎌倉街道）、平戸桜木線ほか 計746本

2022年度 平戸桜木線、永楽町一丁目通り・永真北通り・永真仲通りほか 計640本

2023年度 平戸桜木線、中村川プロムナードほか 計586本

5 各区の実績  
南区

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 2件

2019年度 1件 六ツ川一丁目

2020年度 1件 別所五丁目

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2020年度 1本 三春台

2021年度 4本 山王町(2本)、三春台、六ツ川四丁目

2023年度 1本 永田東一丁目

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 1地区

・新規

2021年度 1地区 お三の宮通り周辺地区

・継続

2022年度 1地区 お三の宮通り周辺地区

2023年度 1地区 お三の宮通り周辺地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度 大岡公園での桜の更新、公園愛護会活動周知看板の設置、公園愛護会への花苗の支援

2020年度 阪東橋公園・餅井坂公園での桜の更新、公園愛護会活動周知看板の設置、公園愛護会への花苗の支援

2021年度 公園愛護会活動周知看板の設置、公園愛護会への花苗の支援

2022年度 公園愛護会活動周知看板の設置、公園愛護会への花苗の支援

2023年度 区役所周辺の緑化・PRパネルによる魅力アップ、公園愛護会への花苗の支援

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度 花の種の配布、花苗などの配布(蒔田公園ほか6か所)

2020年度 球根などの配布(東橋公園ほか78か所)

2021年度 球根などの配布(池下橋公園ほか86か所)

2022年度 球根などの配布(池下橋公園ほか74か所)

2023年度 球根などの配布(東橋公園ほか95か所)

## 24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 1,019本

2019年度 175本

2020年度 187本

2021年度 252本

2022年度 200本

2023年度 205本

## 25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 20か所

2019年度 3か所 日枝小学校、南吉田小学校、六つ川小学校

2020年度 5か所 井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、日枝小学校、六つ川台小学校

2021年度 6か所 青山学院横浜英和小学校、石川小学校、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、日枝小学校、南小学校

2022年度 3か所 大岡小学校、永田台小学校、南中学校

2023年度 3か所 清水ヶ丘保育園、中村小学校、六つ川中学校

○緑の維持管理 89か所

2019年度 16か所 井土ヶ谷保育園、清水ヶ丘保育園、しろばら保育園、永田保育園、三春台保育園、石川小学校、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、永田小学校、永田台小学校、藤の木小学校、蒔田小学校、南太田小学校、六つ川西小学校、平楽中学校

2020年度 18か所 井土ヶ谷保育園、しろばら保育園、永田保育園、三春台保育園、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、永田小学校、永田台小学校、藤の木小学校、別所小学校、蒔田小学校、南小学校、南太田小学校、六つ川小学校、六つ川西小学校、共進中学校、蒔田中学校

2021年度 16か所 井土ヶ谷保育園、しろばら保育園、永田保育園、三春台保育園、石川小学校、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、永田小学校、永田台小学校、藤の木小学校、蒔田小学校、南太田小学校、六つ川西小学校、永田中学校、平楽中学校

2022年度 16か所 しろばら保育園、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、中村小学校、永田小学校、永田台小学校、日枝小学校、藤の木小学校、蒔田小学校、南小学校、南太田小学校、六つ川小学校、六つ川西小学校、平楽中学校、南中学校

2023年度 23か所 しろばら保育園、井土ヶ谷保育園、永田保育園、石川小学校、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、日枝小学校、蒔田小学校、中村小学校、永田小学校、永田台小学校、藤の木小学校、別所小学校、南小学校、南太田小学校、六つ川小学校、六つ川西小学校、共進中学校、永田中学校、平楽中学校、蒔田中学校、南中学校

5 各区の実績  
南区



1 緑地保全制度による新規指定  
(中里三丁目特別緑地保全地区)



2 森の維持管理  
(大岡三丁目緑地)



17 公共施設・公有地での緑の創出・育成  
(南区庁舎)



18 街路樹による良好な景観の創出・育成  
(大岡川プロムナード)



23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり  
(永田南二丁目公園)

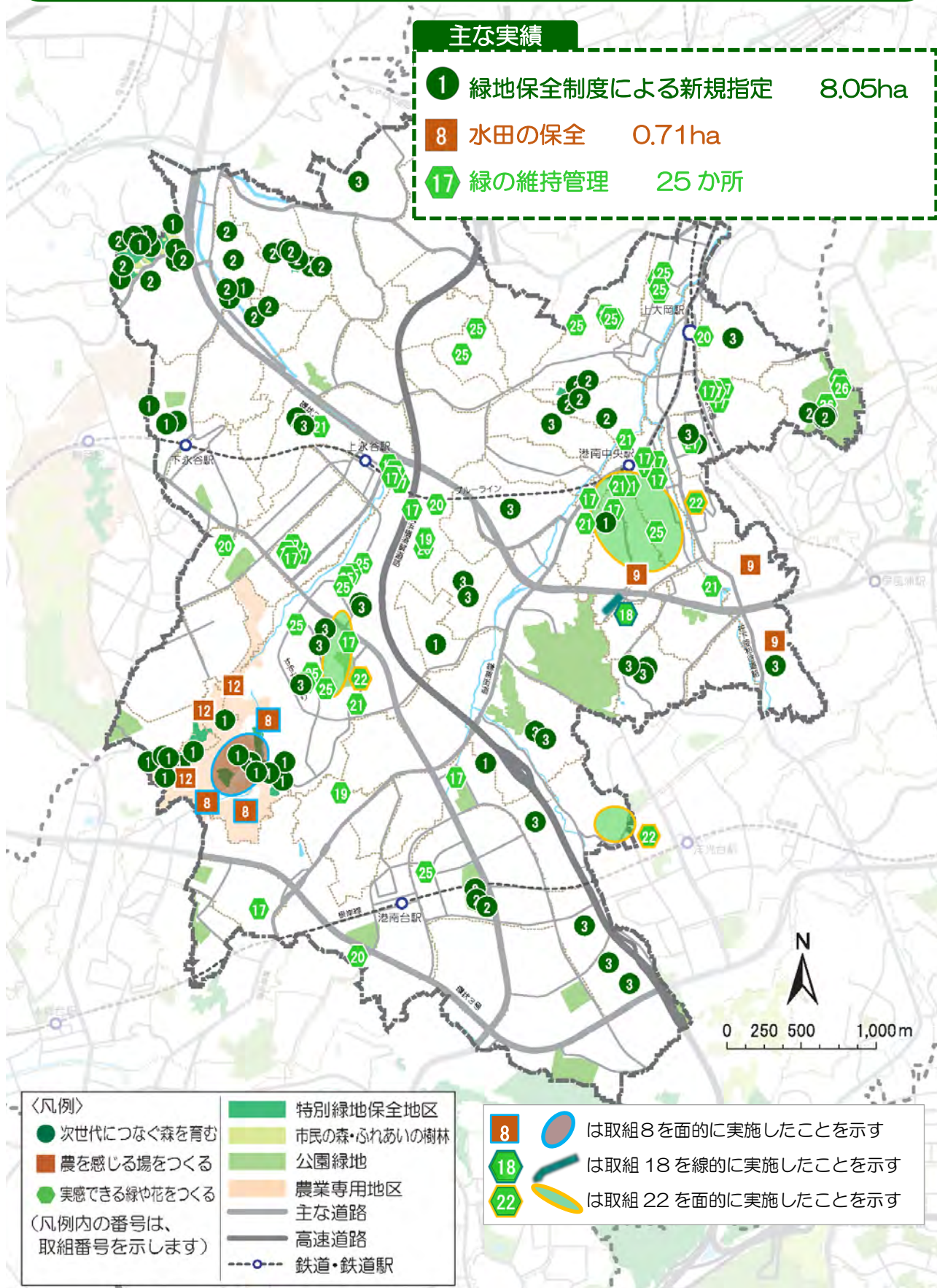


25 保育園での緑の創出・育成  
(区内保育園)

## 港南区

### 主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 8.05ha
- ⑧ 水田の保全 0.71ha
- ⑰ 緑の維持管理 25か所



〈凡例〉

- 次世代につなぐ森を育む
  - 農を感じる場をつくる
  - 実感できる緑や花をつくる
- (凡例内の番号は、  
取組番号を示します)

- 特別緑地保全地区
- 市民の森・心れあいの樹林
- 公園緑地
- 農業専用地区
- 主な道路
- 高速道路
- 鉄道・鉄道駅

- ⑧ は取組8を面的に実施したことを示す
- ⑱ は取組18を線的に実施したことを示す
- ⑳ は取組22を面的に実施したことを示す

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 8.05ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 1.1ha 野庭・上永谷町特別緑地保全地区（指定拡大）

2022年度 3.6ha 日野中央特別緑地保全地区、下永谷四丁目特別緑地保全地区

2023年度 1.0ha 野庭・上永谷町特別緑地保全地区（指定拡大）

・市民の森等

2020年度 0.02ha 下永谷市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2020年度 0.8ha 上大岡西三丁目、港南六丁目、下永谷四丁目、日野六丁目

・源流の森保存地区

2020年度 0.6ha 下永谷四丁目、野庭町

2021年度 0.03ha 野庭町

2022年度 0.6ha 野庭町

2023年度 0.3ha 野庭町

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 1地区 野庭町特別緑地保全地区

2020年度 2地区 野庭町特別緑地保全地区、野庭・上永谷町特別緑地保全地区

2023年度 1地区 下永谷四丁目特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 1地区 下永谷市民の森

○保全した樹林地の整備 14か所

2019年度 3か所 下永谷市民の森（3か所）

2020年度 2か所 下永谷市民の森、下永谷長町緑地

2021年度 4か所 野庭町特別緑地保全地区、野庭・上永谷町特別緑地保全地区、下永谷市民の森、下永谷長町緑地

2022年度 4か所 野庭町特別緑地保全地区、野庭・上永谷町特別緑地保全地区、下永谷市民の森（2か所）

2023年度 1か所 下永谷市民の森



## 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

### ○森の維持管理 27 箇所

#### ・維持管理（樹林地）

2019 年度 4 箇所 下永谷市民の森、港南一丁目緑地、下永谷長町緑地、芹が谷五丁目緑地

2020 年度 4 箇所 下永谷市民の森、港南一丁目緑地、下永谷長町緑地、芹が谷五丁目緑地

2021 年度 4 箇所 港南一丁目特別緑地保全地区、芹が谷五丁目特別緑地保全地区、下永谷市民の森、下永谷長町緑地

2022 年度 4 箇所 港南一丁目特別緑地保全地区、芹が谷五丁目特別緑地保全地区、下永谷市民の森、下永谷長町緑地

2023 年度 4 箇所 港南一丁目特別緑地保全地区、芹が谷五丁目特別緑地保全地区、下永谷市民の森、下永谷長町緑地

#### ・維持管理（公園）

2019 年度 1 箇所 港南台中央公園

2020 年度 2 箇所 久良岐公園、港南台中央公園

2021 年度 2 箇所 久良岐公園、港南台中央公園

2022 年度 1 箇所 久良岐公園

2023 年度 1 箇所 久良岐公園

## 3 指定した樹林地における維持管理の支援

### ○維持管理の助成 40 件

2019 年度 7 件 上大岡東一丁目、上永谷五丁目、笹下六丁目、野庭町（3件）、日野二丁目

2020 年度 9 件 港南台七丁目、笹下三丁目、芹が谷二丁目、野庭町（4件）、日野四丁目、日野中央二丁目

2021 年度 5 件 港南台一丁目、芹が谷五丁目、野庭町（2件）、日野中央二丁目

2022 年度 7 件 上大岡西三丁目、笹下六丁目、野庭町（5件）

2023 年度 12 件 上永谷五丁目、港南二丁目（2件）、港南台七丁目、笹下六丁目（3件）、野庭町（4件）、日野四丁目

## 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

### 8 水田の保全

○水田保全面積 0.71ha

2019年度 0.71ha 野庭町

2020年度 0.71ha 野庭町

2021年度 0.71ha 野庭町

2022年度 0.71ha 野庭町

2023年度 0.71ha 野庭町

### 9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 3件

2020年度 2件 笹下二丁目、笹下三丁目

2023年度 1件 笹下二丁目

### 12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.40ha

・市民農園

2020年度 0.06ha 野庭町

2021年度 0.34ha 野庭町（2か所）

## 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

### 17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 1か所

2019年度 1か所 港南台北公園こどもログハウス

○緑の維持管理 25か所

2019年度 9か所 港南区庁舎、上大岡コミュニティハウス、桜道コミュニティハウス、日野南コミュニティハウス、港南地区センター、野庭地区センター、下野庭スポーツ会館、横浜藤沢線、港南図書館

2020年度 4か所 港南区庁舎、上大岡コミュニティハウス、横浜藤沢線、港南図書館

2021年度 4か所 港南区庁舎、上大岡コミュニティハウス、横浜藤沢線、港南図書館

2022年度 4か所 港南区庁舎、上大岡コミュニティハウス、横浜藤沢線、港南図書館

2023年度 4か所 港南区庁舎、上大岡コミュニティハウス、横浜藤沢線、港南図書館

## 18 街路樹による良好な景観の創出・育成

### ○並木の再生

2019年度 1路線 港南桜道（整備中）

2020年度 1路線 港南桜道（整備完了）

### ○良好な維持管理

2019年度 舞岡上郷線（北部）、舞岡上郷線（南部）ほか 計1,271本

2020年度 環状2号線（下永谷）、県道横浜鎌倉（鎌倉街道）ほか 計1,132本

2021年度 環状2号線、舞岡上郷線ほか 計633本

2022年度 県道横浜鎌倉線（鎌倉街道）、環状2号線ほか 計868本

2023年度 舞岡上郷線（北部）、県道横浜鎌倉線（鎌倉街道）ほか 計959本

## 19 シンボリックな緑の創出・育成

### ○公開性のある緑空間の創出支援 2か所

2020年度 1か所 日野南四丁目

2021年度 1か所 野庭町

## 20 建築物緑化保全契約の締結

### ○建築物緑化保全契約の締結 5件

2019年度 2件 野庭町（2件）

2020年度 1件 丸山台四丁目

2021年度 1件 港南台九丁目

2022年度 1件 上大岡東一丁目

## 21 名木古木の保存

### ○名木古木の保存

#### ・新規指定

2020年度 4本 大久保二丁目、港南五丁目（3本）

2021年度 3本 上大岡西三丁目、港南六丁目（2本）

#### ・維持管理の助成

2020年度 2本 港南三丁目、笹下四丁目

2021年度 3本 上永谷五丁目、港南六丁目、野庭町

2022年度 1本 上永谷町五丁目

2023年度 1本 港南六丁目

## 22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 1 地区

・新規

2021 年度 1 地区 野庭団地地区

・継続

2019 年度 2 地区 中之丸地区、日野団地地区

2022 年度 1 地区 野庭団地地区

2023 年度 1 地区 野庭団地地区

## 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019 年度 港南区役所で区制50周年記念特設花壇の設置、港南区役所・港南中央駅でのカウントダウンボックスの設置、区制50周年を記念した秋のひまわりプロジェクト、平戸永谷川での花の植え付け、いけばなワークショップの実施、下永谷第二公園での花壇整備

2020 年度 上永谷第二公園、上永谷六丁目公園における公園愛護会の活動PR花壇の整備

2021 年度 地域住民とのひまわり栽培、港南台北公園における花壇整備

2022 年度 地域住民とのひまわり栽培、六反田公園・籠森公園・上永谷第二公園における花壇の設置

2023 年度 保育園と地域住民と連携したひまわり栽培、東永谷地区センターの植栽、公園愛護会への花苗の配布

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019 年度 花の種の配布、花苗などの配布（下永谷八木第三公園ほか 13 か所）

2020 年度 球根などの配布（榎戸公園ほか 56 か所）

2021 年度 球根などの配布（臼杵公園ほか 64 か所）

2022 年度 球根などの配布（港南台北公園ほか 56 か所）

2023 年度 球根などの配布（榎戸公園ほか 99 か所）

## 24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 1,981 本

2019 年度 388 本

2020 年度 356 本

2021 年度 429 本

2022 年度 453 本

2023 年度 355 本

**25** 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 4 箇所

2020 年度 1 箇所 下永谷小学校

2021 年度 1 箇所 下永谷小学校

2022 年度 2 箇所 関東学院のびのびのば園、南台小学校

○緑の維持管理 20 箇所

2019 年度 3 箇所 野庭第二保育園、野庭聖佳幼稚園、桜岡小学校

2020 年度 4 箇所 大久保保育園、野庭第二保育園、野庭聖佳幼稚園、桜岡小学校

2021 年度 4 箇所 大久保保育園、野庭第二保育園、野庭聖佳幼稚園、桜岡小学校

2022 年度 5 箇所 大久保保育園、野庭第二保育園、野庭聖佳幼稚園、港南台第三小学校、桜岡小学校

2023 年度 4 箇所 大久保保育園、野庭第二保育園、野庭聖佳幼稚園、桜岡小学校

**26** 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

○緑花による空間づくりと維持管理 3 箇所

2019 年度 1 箇所 久良岐公園

2020 年度 1 箇所 久良岐公園

2021 年度 1 箇所 久良岐公園

5 各区の実績  
港南区



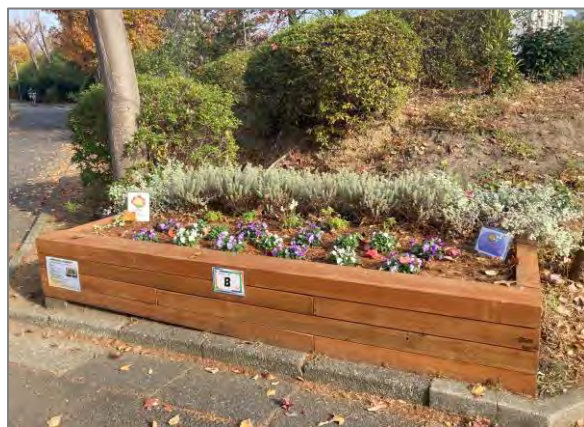
1 緑地保全制度による新規指定  
(野庭・上永谷町特別緑地保全地区)



2 森の維持管理  
(下永谷市民の森)



8 水田の保全  
(野庭町)



22 地域緑のまちづくり  
(野庭団地地区)

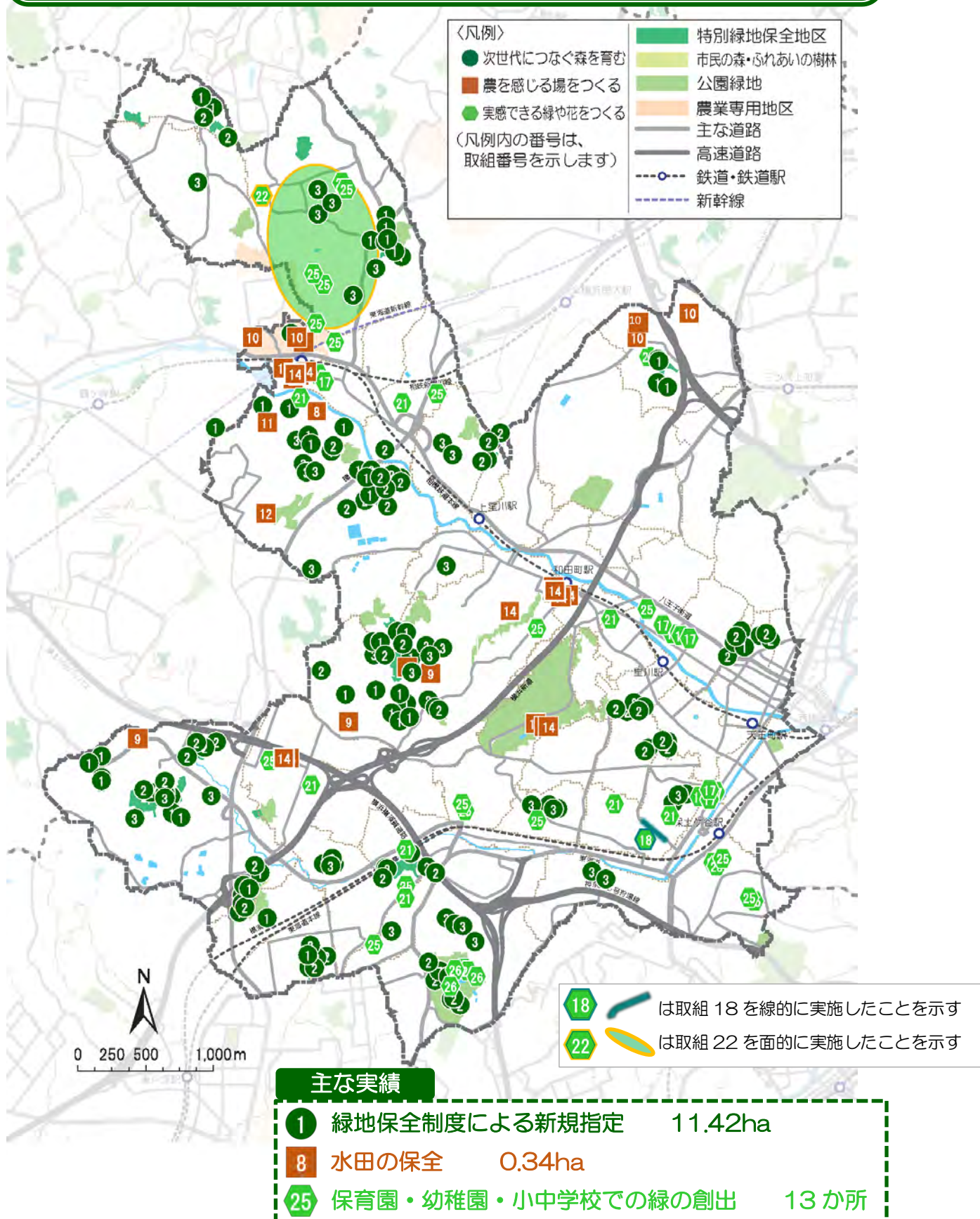


23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり  
(みなみが丘公園)



25 保育園での緑の創出・育成  
(区内保育園)

## 保土ヶ谷区



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 11.42ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020年度 1.4ha 仏向町横谷特別緑地保全地区、峰沢町特別緑地保全地区

2021年度 0.1ha 仏向町特別緑地保全地区（指定拡大）

2022年度 1.4ha 仏向町横谷北特別緑地保全地区

・緑地保存地区

2019年度 0.5ha 仏向町

2023年度 0.8ha 神戸町

・源流の森保存地区

2019年度 0.7ha 川島町、仏向町

2020年度 2.8ha 川島町

2021年度 0.3ha 川島町

2022年度 2.4ha 仏向町

2023年度 1.0ha 今井町、岡沢町、上菅田町、狩場町

・その他

2022年度 0.02ha 上菅田町緑地

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 4地区 今井町美立橋特別緑地保全地区、上菅田町寺下橋特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、仏向町特別緑地保全地区

2020年度 2地区 今井町特別緑地保全地区、上菅田町寺下橋特別緑地保全地区

2021年度 1地区 峰沢町特別緑地保全地区

2022年度 1地区 仏向町横谷特別緑地保全地区

2023年度 1地区 仏向町特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 1地区 （仮称）今井・境木市民の森

2020年度 1地区 （仮称）今井・境木市民の森



○保全した樹林地の整備 37 か所

2019年度	5か所	川島特別緑地保全地区、権太坂特別緑地保全地区、(仮称)今井・境木市民の森、仏向町市有緑地、宮田緑地
2020年度	8か所	今井町美立橋特別緑地保全地区、上菅田町金草沢東特別緑地保全地区、上菅田町寺下橋特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、権太坂特別緑地保全地区、仏向町特別緑地保全地区、(仮称)今井・境木市民の森、宮田緑地
2021年度	9か所	今井町特別緑地保全地区、今井町美立橋特別緑地保全地区、上菅田町金草沢東特別緑地保全地区、上菅田町寺下橋特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区(2か所)、仏向町特別緑地保全地区、(仮称)今井・境木市民の森、宮田緑地
2022年度	7か所	今井町特別緑地保全地区、今井町美立橋特別緑地保全地区、上菅田町寺下橋特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区(2か所)、峰沢町特別緑地保全地区、今井・境木市民の森
2023年度	8か所	今井町美立橋特別緑地保全地区、上菅田町寺下橋特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、境木ふれあいの樹林、仏向町横谷特別緑地保全地区、峰沢町特別緑地保全地区、今井・境木市民の森、桜ヶ丘緑地

※市による買取りの特別緑地保全地区・近郊緑地特別緑地保全地区について、過年度の報告書から実施箇所を修正しました。

## 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

### ○森の維持管理 61 か所

#### ・維持管理（樹林地）

2019 年度 7 か所 上星川一丁目特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、境木ふれあいの樹林、川島向台緑地、神戸緑地、桜ヶ丘緑地、宮田緑地

2020 年度 10 か所 今井町大久保特別緑地保全地区、上星川一丁目特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、権太坂特別緑地保全地区、境木ふれあいの樹林、川島向台緑地、神戸緑地、桜ヶ丘緑地、仏向町緑地、宮田緑地

2021 年度 11 か所 今井町大久保特別緑地保全地区、今井町美立橋美立橋特別緑地保全地区、上星川一丁目特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、権太坂特別緑地保全地区、境木ふれあいの樹林、川島向台緑地、神戸緑地、桜ヶ丘緑地、仏向町緑地、宮田緑地

2022 年度 14 か所 今井町大久保特別緑地保全地区、今井町美立橋美立橋特別緑地保全地区、上菅田町金草沢東特別緑地保全地区、上星川一丁目特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、権太坂特別緑地保全地区、仏向町特別緑地保全地区、今井・境木市民の森、境木ふれあいの樹林、川島向台緑地、神戸緑地、桜ヶ丘緑地、仏向町緑地、宮田緑地

2023 年度 14 か所 今井町大久保特別緑地保全地区、今井町美立橋美立橋特別緑地保全地区、上菅田町金草沢東特別緑地保全地区、上星川一丁目特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、権太坂特別緑地保全地区、仏向町特別緑地保全地区、今井・境木市民の森、境木ふれあいの樹林、川島向台緑地、神戸緑地、桜ヶ丘緑地、仏向町緑地、宮田緑地

#### ・維持管理（公園）

2019 年度 1 か所 横浜市児童遊園地

2020 年度 1 か所 横浜市児童遊園地

2021 年度 1 か所 横浜市児童遊園地

2022 年度 1 か所 横浜市児童遊園地

2023 年度 1 か所 横浜市児童遊園地

### 3 指定した樹林地における維持管理の支援

#### ○維持管理の助成 52件

2019年度	11件	新井町、今井町（2件）、岩崎町、上菅田町、川島町（3件）、月見台、仏向町、法泉三丁目
2020年度	13件	今井町、岩崎町、上菅田町、上星川一丁目、狩場町、川島町、瀬戸ヶ谷町（2件）、月見台、西谷町、仏向町（2件）、法泉三丁目
2021年度	8件	今井町、上菅田町、上星川二丁目、狩場町、川島町（2件）、坂本町、仏向町
2022年度	10件	岩崎町、上菅田町、狩場町、川島町（2件）、権太坂二丁目、月見台（2件）、仏向町、法泉三丁目
2023年度	10件	今井町、岩崎町、上菅田町（2件）、狩場町、川島町（2件）、瀬戸ヶ谷町、仏向町、法泉三丁目

### 7 森に関する情報発信

#### ○ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等

2019年度	環境活動支援センター交流スペース
2020年度	環境活動支援センター交流スペース
2021年度	環境活動支援センター交流スペース
2022年度	環境活動支援センター交流スペース
2023年度	環境活動支援センター交流スペース

## 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

### 8 水田の保全

#### ○水田保全面積 0.34ha

2019年度	0.24ha	川島町
2020年度	0.24ha	川島町
2021年度	0.34ha	川島町
2022年度	0.34ha	川島町
2023年度	0.34ha	川島町

### 9 特定農業用施設保全契約の締結

#### ○特定農業用施設保全契約の締結 4件

2020年度	3件	今井町、仏向町（2件）
2021年度	1件	仏向町

## 10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 11.3ha

2019年度 11.5ha 西谷農業専用地区協議会（保土ヶ谷区・旭区）、峰沢地区農地保全協議会

2020年度 11.5ha 西谷農業専用地区協議会（保土ヶ谷区・旭区）、峰沢地区農地保全協議会

2021年度 11.5ha 西谷農業専用地区協議会（保土ヶ谷区・旭区）、峰沢地区農地保全協議会

2022年度 11.4ha 西谷農業専用地区協議会（保土ヶ谷区・旭区）、峰沢地区農地保全協議会

2023年度 11.3ha 西谷農業専用地区協議会（保土ヶ谷区・旭区）、峰沢地区農地保全協議会

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 1.13ha

2019年度 0.15ha 上菅田町

2020年度 0.15ha 上菅田町

2021年度 0.25ha 上菅田町、法泉二丁目

2022年度 0.43ha 上菅田町、仏向町

2023年度 0.15ha 上菅田町

## 11 多様な主体による農地の利用促進

○遊休農地の復元支援 0.11ha

2021年度 0.11ha 川島町

## 12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.03ha

・収穫体験農園

2020年度 0.03ha 川島町

## 14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 17件

・直売所・加工所

2023年度 1件 仏向町

・青空市・マルシェ等

2019年度 3件 西谷朝市会、横浜中部地区市民朝市、和田町駅前直売会

2020年度 3件 西谷朝市会、横浜中部地区市民朝市、和田町駅前直売会

2021年度 3件 西谷朝市会、横浜中部地区市民朝市、和田町駅前直売会

2022年度 4件 西谷朝市会、横浜中部地区市民朝市、和田町駅前直売会、新桜ヶ丘直売所

2023年度 3件 西谷朝市会、和田町駅前直売会、新桜ヶ丘直売所

## 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

### 17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

#### ○緑の創出 2か所

2020年度	1か所	西谷地区センター
2023年度	1か所	峰岡公園

#### ○緑の維持管理 10か所

2019年度	2か所	保土ヶ谷区庁舎、保土ヶ谷バイオガーデン
2020年度	2か所	保土ヶ谷区庁舎、保土ヶ谷バイオガーデン
2021年度	2か所	保土ヶ谷区庁舎、保土ヶ谷バイオガーデン
2022年度	2か所	保土ヶ谷区庁舎、保土ヶ谷バイオガーデン
2023年度	2か所	保土ヶ谷区庁舎、保土ヶ谷バイオガーデン

### 18 街路樹による良好な景観の創出・育成

#### ○並木の再生

2019年度	1路線	月見台（整備完了）
--------	-----	-----------

#### ○空き樹の補植

2020年度		高木5本
--------	--	------

#### ○良好な維持管理

2019年度		菅田第181号線（笹山団地前）、保土ヶ谷駅浅間線ほか 計233本
2020年度		保土ヶ谷駅浅間線、今井町第321号線（境木本町）ほか 計181本
2021年度		菅田第181号線（笹山団地前）、保土ヶ谷駅浅間線ほか 計235本
2022年度		保土ヶ谷駅浅間線、環状2号線（今井町）ほか 計244本
2023年度		菅田第181号線（笹山団地前）、保土ヶ谷駅浅間線ほか 計256本

### 21 名木古木の保存

#### ○名木古木の保存

##### ・維持管理の助成

2020年度	2本	権太坂二丁目、峰沢町
2021年度	7本	霞台（4本）、上星川町、権太坂二丁目、峰沢町
2022年度	4本	今井町（2本）、霞台（2本）
2023年度	1本	川島町

### 22 地域緑のまちづくり

#### ○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結

##### ・継続

2019年度	1地区	上菅田地区
2020年度	1地区	上菅田地区

**23** 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	星川中央公園での「ほどがや花フェスタ」の実施
2020年度	和田町駅前の花壇整備
2021年度	区庁舎における花時計設置
2022年度	星川中央公園での「ほどがや花フェスタ」の実施、区庁舎花時計花壇等への植栽
2023年度	星川中央公園での「ほどがや花フェスタ」の実施、区庁舎花時計花壇、星川中央公園花壇の植栽

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗などの配布（帷子公園ほか8か所）
2020年度	球根などの配布（南原ふれあい公園ほか25か所）
2021年度	球根などの配布（岩井町第三公園ほか32か所）
2022年度	球根などの配布（峰沢町北公園ほか29か所）
2023年度	球根などの配布（岩間町公園ほか44か所）

**24** 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 1,561本

2019年度	282本
2020年度	276本
2021年度	340本
2022年度	345本
2023年度	318本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

**25** 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 13か所

2019年度	6か所	えがお園、えびち保育園、初音丘学園PICCOLINO、みんなのみらい星川園、藤塚小学校、上菅田中学校
2020年度	2か所	権太坂小学校、上菅田中学校
2021年度	2か所	権太坂小学校、新井中学校
2022年度	1か所	新井中学校
2023年度	2か所	上星川小学校、藤塚小学校

○緑の維持管理 10か所

2019年度	2か所	岩井保育園、上菅田小学校
2020年度	3か所	岩井保育園、初音丘学園 PICCOLINO、上菅田小学校
2021年度	1か所	岩井保育園
2022年度	2か所	岩井保育園、仏向小学校
2023年度	2か所	岩井保育園、仏向小学校

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

○緑花による空間づくりと維持管理

2019年度	1 箇所	横浜市児童遊園地
2020年度	1 箇所	横浜市児童遊園地
2021年度	1 箇所	横浜市児童遊園地
2022年度	1 箇所	横浜市児童遊園地
2023年度	1 箇所	横浜市児童遊園地

5 各区の実績  
保土ヶ谷区



1 緑地保全制度による新規指定  
源流の森保存地区（狩場町）



2 森の維持管理  
（川島向台緑地）



14 青空市・マルシェ等  
（和田町駅前直売会）



18 街路樹による良好な景観の創出・育成  
（環状2号線）



23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり  
（帷子公園）



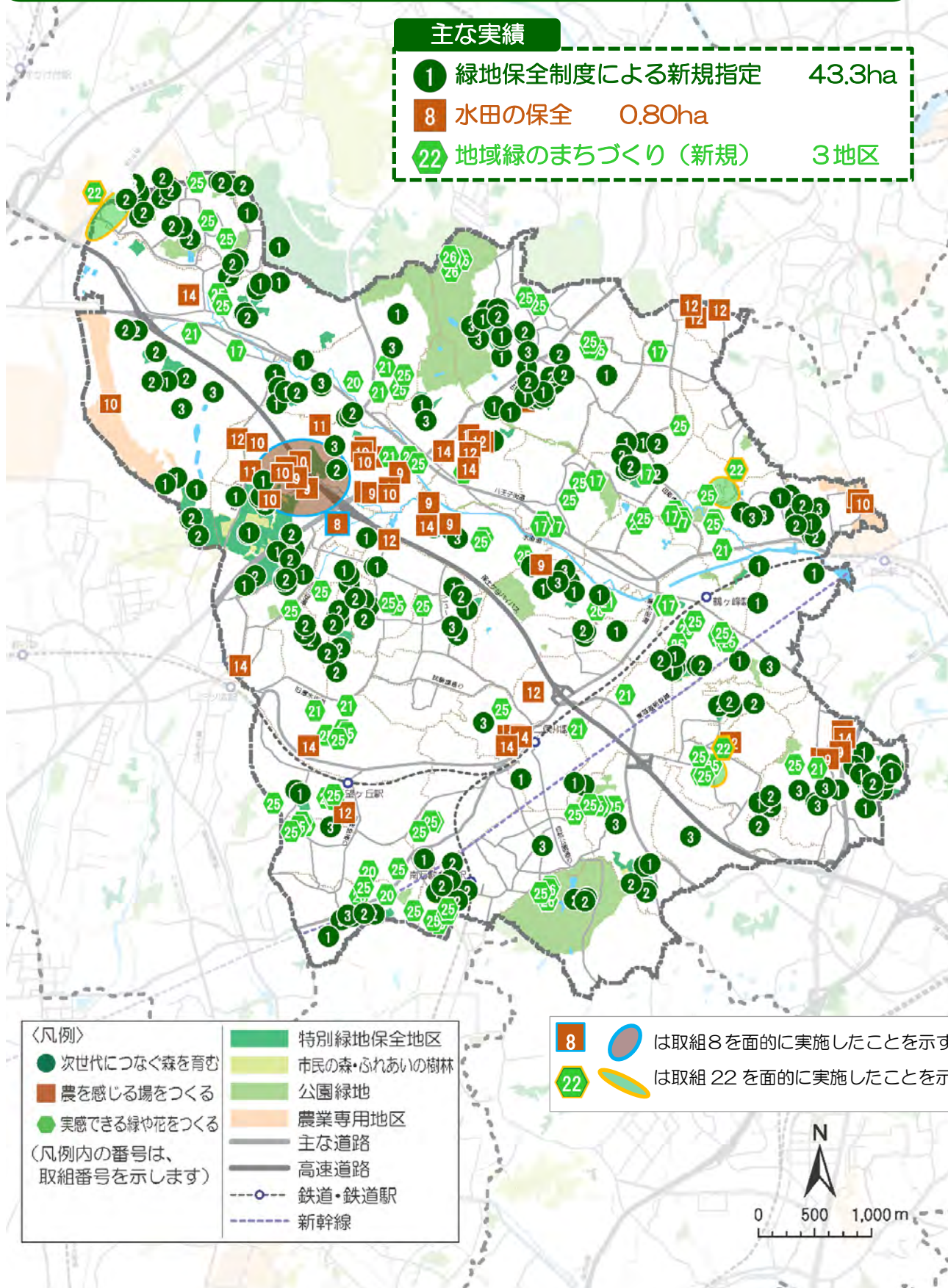
26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり  
（横浜市児童遊園地）



# 旭区

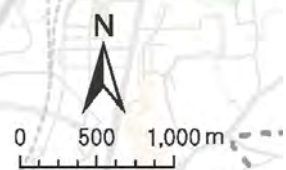
## 主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 43.3ha
- ⑧ 水田の保全 0.80ha
- ②② 地域緑のまちづくり（新規） 3地区



- 〈凡例〉
- 次世代につなぐ森を育む
  - 農を感じる場をつくる
  - 実感できる緑や花をつくる
- (凡例内の番号は、  
取組番号を示します)
- 特別緑地保全地区
  - 市民の森・ふれあいの樹林
  - 公園緑地
  - 農業専用地区
  - 主な道路
  - 高速道路
  - 鉄道・鉄道駅
  - 新幹線

- ⑧ は取組8を面的に実施したことを示す
- ②② は取組22を面的に実施したことを示す



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 43.3ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 17.1ha 今宿西町特別緑地保全地区、市沢町特別緑地保全地区（指定拡大）、追分特別緑地保全地区（指定拡大）、上白根町小池特別緑地保全地区（指定拡大）、白根五丁目特別緑地保全地区

2020年度 0.5ha 上白根町後谷特別緑地保全地区（指定拡大）

2021年度 4.8ha 上白根町小池特別緑地保全地区（指定拡大）、川井本町特別緑地保全地区（指定拡大）、中希望が丘特別緑地保全地区

2022年度 0.3ha 上白根町小池特別緑地保全地区（指定拡大）

2023年度 0.4ha さちが丘特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 1.2ha （仮称）市沢市民の森（指定拡大）、追分市民の森（指定拡大）

2023年度 0.2ha 追分市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2020年度 0.8ha 今宿町、今宿二丁目、白根二丁目、中希望が丘

2021年度 0.2ha 川島町

2022年度 0.2ha 今川町

2023年度 0.2ha 白根五丁目

・源流の森保存地区

2019年度 2.0ha 上川井町、上白根町、川島町、西川島町

2020年度 2.5ha 今川町、今宿一丁目、上川井町、上白根町、川井本町

2021年度 10.1ha 今川町、上白根町、川井宿町、善部町

2022年度 1.9ha 今川町、上川井町、川井宿町

・その他

2019年度 0.4ha 市沢町緑地

2021年度 0.3ha 今宿1号緑地、今宿7号緑地

2022年度 0.2ha 今宿3号緑地

## ○市による買取り

## ・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 5地区 市沢町特別緑地保全地区、今川町特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、上川井町露木谷特別緑地保全地区、上白根町後谷特別緑地保全地区

2020年度 4地区 市沢町特別緑地保全地区、追分特別緑地保全地区、上川井町露木谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区

2021年度 2地区 市沢町特別緑地保全地区、追分特別緑地保全地区

2022年度 2地区 市沢町特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区

2023年度 5地区 市沢町特別緑地保全地区、上川井町中田谷特別緑地保全地区、上白根町後谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、中希望が丘特別緑地保全地区

## ・市民の森等

2021年度 2地区 追分市民の森、南本宿市民の森

## ・公園樹林部

2019年度 1地区 南本宿公園

2020年度 2地区 四季美台ふれあい公園、南本宿公園

## ○保全した樹林地の整備 50か所

2019年度 11か所 上川井町堂谷特別緑地保全地区、下川井町特別緑地保全地区、都岡町特別緑地保全地区、中沢二丁目特別緑地保全地区、三保特別緑地保全地区（旭区内）、（仮称）市沢市民の森、追分市民の森、柏町市民の森（2か所）、白根ふれあいの樹林、上白根二丁目緑地

2020年度 9か所 今川町特別緑地保全地区、上川井町堂谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区、鶴ヶ峰二丁目特別緑地保全地区、中沢二丁目特別緑地保全地区、市沢市民の森、柏町市民の森、白根ふれあいの樹林

2021年度 6か所 上白根町後谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、市沢市民の森、猪子山緑地

2022年度 11か所 今川町特別緑地保全地区、上白根町後谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、市沢市民の森、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、南本宿市民の森、白根ふれあいの樹林

2023年度 13か所 上白根後谷特別緑地保全地区、市沢市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林（2か所）、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、笹野台三丁目緑地、若葉台一丁目緑地、今川町特別緑地保全地区、上白根町後谷特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区、今宿町市有緑地

## 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 150 か所

・保全管理計画の策定（樹林地）

2019年度 1 か所 柏町市民の森

2021年度 2 か所 上川井市民の森、鶴ヶ峰ふれあいの樹林

・維持管理（樹林地）

2019年度 19 か所 猪子山特別緑地保全地区、川井特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿第二緑地、上白根南の森、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

2020年度 22 か所 上川井町中田谷特別緑地保全地区、上川井町堀谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、善部町特別緑地保全地区、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、上川井市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿第二緑地、上白根南の森、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

2021年度 25 か所 猪子山特別緑地保全地区、上川井町中田谷特別緑地保全地区、上川井町堀谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井町特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、善部町特別緑地保全地区、中沢二丁目特別緑地保全地区、市沢市民の森、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、上川井市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、今宿第二緑地、上白根南の森、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

2022年度 28 か所 猪子山特別緑地保全地区、上川井町堂谷特別緑地保全地区、上川井町中田谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、下川井町特別緑地保全地区、善部町特別緑地保全地区、中沢二丁目特別緑地保全地区、市沢市民の森、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、上川井市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿第二緑地、上白根南の森、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

2023年度 28 か所 猪子山特別緑地保全地区、上川井町堂谷特別緑地保全地区、上川井町中田谷特別緑地保全地区、上川井町堀谷特別緑地保全地区、上白根町後谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、下川井町

特別緑地保全地区、善部町特別緑地保全地区、中沢二丁目特別緑地保全地区、市沢市民の森、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、上川井市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿第二緑地、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

・維持管理（公園）

2019年度	5か所	大貫谷公園、こども自然公園、四季美台ふれあい公園、桧山公園、若葉台公園
2020年度	5か所	大貫谷公園、こども自然公園、四季美台ふれあい公園、桧山公園、若葉台公園
2021年度	5か所	大貫谷公園、こども自然公園、四季美台ふれあい公園、桧山公園、若葉台公園
2022年度	4か所	希望が丘水の森公園、こども自然公園、四季美台ふれあい公園、若葉台公園
2023年度	6か所	大貫谷公園、希望が丘水の森公園、こども自然公園、四季美台ふれあい公園、桧山公園、若葉台公園

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 53件

2019年度	9件	市沢町、今宿西町、今宿南町、上白根町、川島町、桐が作、白根二丁目、善部町（2件）
2020年度	11件	市沢町、今宿南町（2件）、上川井町、上白根町、川井本町、下川井町（3件）、都岡町、中希望が丘
2021年度	10件	市沢町、今川町、上白根町、川井本町、川島町（2件）、白根二丁目、善部町、二俣川一丁目、万騎が原
2022年度	12件	今川町、今宿西町、今宿南町（2件）、上川井町、上白根町、川井本町、川島町、桐が作、下川井町、中希望が丘、万騎が原
2023年度	11件	今川町、今宿南町、市沢町、上川井町（2件）、上白根町（2件）、川井宿町、下川井町、中沢二丁目、南本宿町

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 0.80ha

2019年度	0.79ha	下川井町、矢指町
2020年度	0.79ha	下川井町、矢指町
2021年度	0.79ha	下川井町、矢指町
2022年度	0.79ha	下川井町、矢指町
2023年度	0.80ha	下川井町、矢指町

5 各区の実績  
旭区

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 15件

2019年度 2件 市沢町、下川井町

2020年度 1件 下川井町

2022年度 2件 上川井町、下川井町

2023年度 10件 市沢町(2件)、今川町、今宿南町(2件)、下川井町(5件)

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 15.1ha

2019年度 21.7ha 西谷農業専用地区協議会(保土ヶ谷区・旭区)、上川井農業専用地区協議会

2020年度 21.3ha 西谷農業専用地区協議会(保土ヶ谷区・旭区)、上川井農業専用地区協議会

2021年度 31.9ha 西谷農業専用地区協議会(保土ヶ谷区・旭区)、上川井農業専用地区協議会、下川井農地整備組合

2022年度 31.6ha 西谷農業専用地区協議会(保土ヶ谷区・旭区)、上川井農業専用地区協議会、下川井農地整備組合

2023年度 15.1ha 西谷農業専用地区協議会(保土ヶ谷区・旭区)、下川井農地整備組合

・農地縁辺部への植栽 5件

2019年度 1件 都岡地区恵みの里運営協議会

2020年度 1件 都岡地区恵みの里運営協議会

2021年度 1件 都岡地区恵みの里運営協議会

2022年度 1件 都岡地区恵みの里運営協議会

2023年度 1件 都岡地区恵みの里運営協議会

・土砂流出防止対策 3件

2020年度 1件 下川井農地整備組合

2023年度 2件 下川井農地整備組合、西谷農業専用地区協議会

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 2.10ha

2019年度 1.03ha 今宿南町(2か所)、下川井町、矢指町(2か所)

2020年度 0.65ha 上白根町、川井本町、下川井町(2か所)

2021年度 0.42ha 上白根町、川井本町、下川井町、矢指町

・たい肥化設備等の支援 3件

2020年度 2件 市沢町、下川井町

2023年度 1件 東希望が丘

11 多様な主体による農地の利用促進

○遊休農地の復元支援 0.88ha

2019年度 0.64ha 今宿西町、下川井町(2か所)

2022年度 0.24ha 川島町

**12** 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 1.82ha

## ・収穫体験農園

2019年度	0.27ha	下川井町
2020年度	0.07ha	今宿西町
2021年度	0.09ha	今宿一丁目、今宿西町
2022年度	0.02ha	今宿一丁目
2023年度	0.06ha	今宿一丁目、下川井町

## ・市民農園

2020年度	0.66ha	小高町、上白根町、白根町、本村町
2021年度	0.13ha	下川井町、白根町（2か所）
2022年度	0.08ha	善部町
2023年度	0.44ha	今宿西町、中希望が丘

**14** 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 17件

## ・直売所・加工所

2019年度	1件	市沢町
2020年度	1件	今宿西町
2021年度	2件	市沢町、笹野台一丁目
2022年度	4件	今宿西町、柏町、上川井町（2件）
2023年度	4件	今宿西町、今宿南町、上川井町、東希望が丘

## ・青空市・マルシェ等

2019年度	1件	横浜農協二俣川直売所
2020年度	1件	横浜農協二俣川直売所
2021年度	1件	横浜農協二俣川直売所
2022年度	1件	横浜農協二俣川直売所
2023年度	1件	横浜農協二俣川直売所

### 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

#### 17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

##### ○緑の創出 4 箇所

2020 年度 3 箇所 旭台中央公園、帷子川親水護岸、ふるさと尾根道緑道

2021 年度 1 箇所 ふるさと尾根道緑道

##### ○緑の維持管理 16 箇所

2019 年度 3 箇所 旭区庁舎、旭土木事務所、旭図書館

2020 年度 3 箇所 旭区庁舎、旭図書館、旭土木事務所

2021 年度 4 箇所 旭区庁舎、旭図書館、旭土木事務所、ふるさと尾根道緑道

2022 年度 3 箇所 旭区庁舎、旭図書館、ふるさと尾根道緑道

2023 年度 3 箇所 旭区庁舎、旭図書館、ふるさと尾根道緑道

#### 18 街路樹による良好な景観の創出・育成

##### ○良好な維持管理

2019 年度 県道丸子中山茅ヶ崎（中原街道）、水道道プロムナードほか  
計720本

2020 年度 今宿南郵便局通り、ニュータウン通りほか 計665本

2021 年度 ニュータウン通り、県道丸子中山茅ヶ崎（中原街道）ほか  
計535本

2022 年度 今宿南郵便局通り、ニュータウン通りほか 計594本

2023 年度 ニュータウン通り、自然公園通りほか 計506本

#### 20 建築物緑化保全契約の締結

##### ○建築物緑化保全契約の締結 5 件

2019 年度 5 件 川井本町、四季美台、善部町（3件）

#### 21 名木古木の保存

##### ○名木古木の保存

###### ・新規指定

2020 年度 7 本 川井宿町（7本）

2021 年度 2 本 東希望が丘（2本）

###### ・維持管理の助成

2019 年度 1 本 下川井町

2020 年度 8 本 今宿西町（2本）、上川井町、白根六丁目（3本）、本宿町（2本）

2021 年度 8 本 今川町、川井宿町（3本）、下川井町（3本）、本宿町

2022 年度 3 本 川井本町（3本）

2023 年度 3 本 市沢町、東希望が丘（2本）



## 22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 3 地区

・新規

2019 年度 1 地区 若葉台もみじ自治会周辺地区

2021 年度 1 地区 白根二丁目地区

2023 年度 1 地区 左近山地区

・継続

2020 年度 1 地区 若葉台もみじ自治会周辺地区

2021 年度 1 地区 若葉台もみじ自治会周辺地区

2022 年度 2 地区 白根二丁目地区、若葉台もみじ自治会周辺地区、

2023 年度 1 地区 白根二丁目地区

## 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019 年度 里山ガーデンでのあさひくん花壇づくり

2020 年度 区民利用施設（13か所）における花壇整備、区内公園の花壇整備及び花苗支援

2021 年度 区内公園における花壇・プランターの設置

2022 年度 笹野台北公園・大原西公園における花壇の植栽、区民まつりににおける花苗の配布

2023 年度 旭オープンガーデンの開催、さちが丘蔵屋敷公園・鶴ヶ峰公園・善部町公園・柵谷公園・笹野台第二公園・中希望が丘第五公園における花壇の植栽、区民まつりににおける花苗の配布

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019 年度 花苗などの配布（鶴ヶ峰公園ほか 13 か所）

2020 年度 球根などの配布（二俣川二丁目第三公園ほか 38 か所）

2021 年度 球根などの配布（旭台中央公園ほか 93 か所）

2022 年度 球根などの配布（旭台中央公園ほか 85 か所）

2023 年度 球根などの配布（旭台中央公園ほか 90 か所）

## 24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 2,156 本

2019 年度 444 本

2020 年度 471 本

2021 年度 535 本

2022 年度 355 本

2023 年度 351 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

**25** 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 16 箇所

2019 年度	3 箇所	鶴ヶ峯幼稚園、柏保育園、中沢小学校
2020 年度	3 箇所	笹野台小学校、白根小学校、万騎が原中学校
2021 年度	2 箇所	柏保育園、不動丸小学校
2023 年度	8 箇所	上白根小学校、川井小学校、笹野台小学校、都岡小学校、東希望が丘小学校、若葉台小学校、南希望が丘中学校、若葉台特別支援学校

○緑の維持管理 80 箇所

2019 年度	17 箇所	柏保育園、左近山保育園、市沢小学校、今宿小学校、今宿南小学校、上白根小学校、川井小学校、希望ヶ丘小学校、さちが丘小学校、善部小学校、鶴ヶ峯小学校、東希望が丘小学校、二俣川小学校、南本宿小学校、旭中学校、上白根中学校、南希望が丘中学校
2020 年度	13 箇所	柏保育園、左近山保育園、鶴ヶ峯幼稚園、今宿小学校、今宿南小学校、希望ヶ丘小学校、さちが丘小学校、善部小学校、鶴ヶ峯小学校、東希望が丘小学校、不動丸小学校、南本宿小学校、南希望が丘中学校
2021 年度	16 箇所	柏保育園、左近山保育園、中希望が丘保育園、鶴ヶ峯幼稚園、今宿小学校、今宿南小学校、上白根小学校、川井小学校、希望ヶ丘小学校、さちが丘小学校、善部小学校、鶴ヶ峯小学校、東希望が丘小学校、不動丸小学校、南本宿小学校、南希望が丘中学校
2022 年度	21 箇所	柏保育園、左近山保育園、中希望が丘保育園、今宿小学校、今宿南小学校、上白根小学校、川井小学校、希望ヶ丘小学校、笹野台小学校、さちが丘小学校、善部小学校、都岡小学校、鶴ヶ峯小学校、中沢小学校、東希望が丘小学校、不動丸小学校、本宿小学校、万騎が原小学校、南本宿小学校、上白根中学校、南希望が丘中学校
2023 年度	13 箇所	柏保育園、左近山保育園、若葉台こども園、今宿小学校、希望ヶ丘小学校、さちが丘小学校、鶴ヶ峯小学校、不動丸小学校、南本宿小学校、万騎が原小学校、旭中学校、都岡中学校、本宿中学校

**26** 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

○緑花による空間づくりと維持管理 9 箇所

2019 年度	2 箇所	こども自然公園、里山ガーデン
2020 年度	2 箇所	こども自然公園、里山ガーデン
2021 年度	2 箇所	こども自然公園、里山ガーデン
2022 年度	2 箇所	こども自然公園、里山ガーデン
2023 年度	1 箇所	里山ガーデン



1 緑地保全制度による新規指定  
(さちが丘特別緑地保全地区)



1 緑地保全制度による新規指定  
(追分市民の森)



8 水田の保全  
(矢指町)



12 収穫体験農園の開設  
(今宿一丁目)



17 公共施設・公有地での緑の創出・育成  
(ふるさと尾根道緑道)

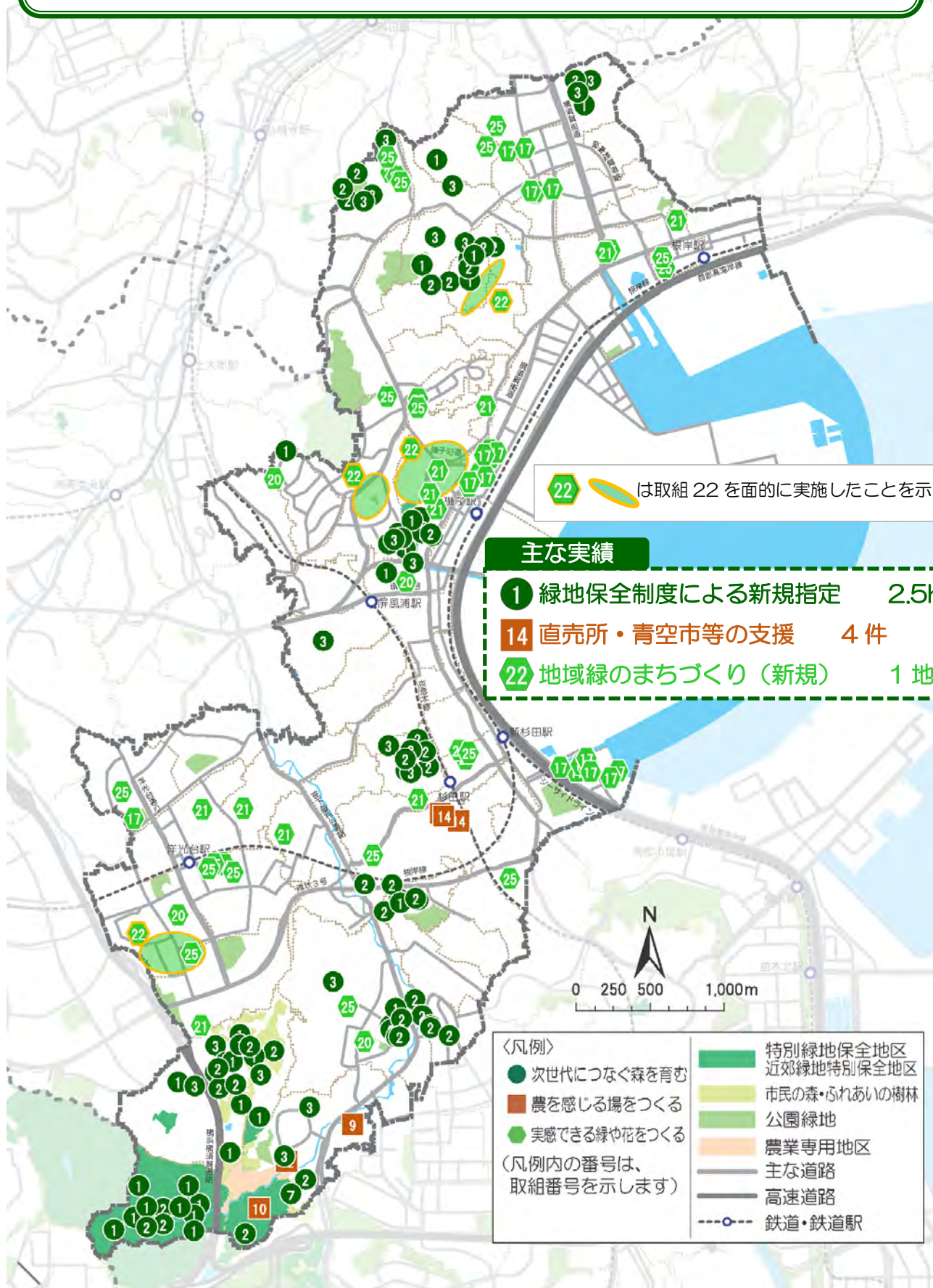


26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり  
(里山ガーデン)

5 各区の実績  
旭区



磯子区



22 は取組 22 を面的に実施したことを示す

主な実績	
1	緑地保全制度による新規指定 2.5ha
14	直売所・青空市等の支援 4件
22	地域緑のまちづくり（新規） 1地区

〈凡例〉	
● 次世代につなぐ森を育む	特別緑地保全地区
■ 農を感じる場をつくる	近郊緑地特別保全地区
● 実感できる緑や花をつくる	市民の森・ふれあいの樹林
(凡例内の番号は、取組番号を示します)	公園緑地
	農業専用地区
	主な道路
	高速道路
	鉄道・鉄道駅

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 2.5ha

・市民の森等

2020年度 0.3ha 氷取沢市民の森（指定拡大）

2023年度 1.2ha 氷取沢市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.1ha 上町

2020年度 0.2ha 岡村二丁目、滝頭一丁目

2021年度 0.1ha 森二丁目

2022年度 0.1ha 森二丁目

・源流の森保存地区

2022年度 0.2ha 峰町

・その他

2019年度 0.1ha 汐見台

2021年度 0.2ha 洋光台五丁目

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 2地区 円海山近郊緑地特別保全地区、氷取沢町特別緑地保全地区

2020年度 1地区 円海山近郊緑地特別保全地区

2023年度 1地区 円海山近郊緑地特別保全地区

・市民の森等

2019年度 1地区 峯市民の森

2020年度 1地区 峯市民の森

○保全した樹林地の整備 22か所

2019年度 5か所 峯市民の森（2か所）、杉田坪呑緑地、中原四丁目緑地、森浅間社緑地

2020年度 3か所 氷取沢市民の森（2か所）、岡村一丁目緑地

2021年度 6か所 氷取沢市民の森（3か所）、峯市民の森、岡村一丁目緑地、森浅間社緑地

2022年度 4か所 峯市民の森（2か所）、上中里緑地、杉田坪呑緑地

2023年度 4か所 峯市民の森（3か所）、岡村一丁目緑地

**2** 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

## ○森の維持管理 44 か所

## ・維持管理（樹林地）

2019年度	8か所	氷取沢市民の森、峯市民の森、岡村一丁目緑地、上中里緑地、杉田九丁目緑地、杉田坪呑緑地、中原四丁目緑地、森浅間社緑地
2020年度	9か所	氷取沢市民の森、峯市民の森、岡村一丁目緑地、岡村四丁目緑地、上中里緑地、杉田九丁目緑地、杉田坪呑緑地、中原四丁目緑地、森浅間社緑地
2021年度	9か所	氷取沢市民の森、峯市民の森、岡村一丁目緑地、岡村四丁目緑地、上中里緑地、杉田九丁目緑地、杉田坪呑緑地、中原四丁目緑地、森浅間社緑地
2022年度	9か所	氷取沢市民の森、峯市民の森、岡村一丁目緑地、岡村四丁目緑地、上中里緑地、杉田九丁目緑地、杉田坪呑緑地、中原四丁目緑地、森浅間社緑地
2023年度	9か所	森浅間社特別緑地保全地区、氷取沢市民の森、峯市民の森、岡村一丁目緑地、岡村四丁目緑地、杉田九丁目緑地、杉田坪呑緑地、上中里緑地、中原四丁目緑地

**3** 指定した樹林地における維持管理の支援

## ○維持管理の助成 25 件

2019年度	4件	岡村四丁目、中原四丁目、氷取沢町、峰町
2020年度	4件	岡村三丁目、上町、峰町、森二丁目
2021年度	7件	岡村一丁目、岡村二丁目（2件）、上町、上中里町、峰町、森五丁目
2022年度	5件	中原四丁目、氷取沢町（2件）、森二丁目（2件）
2023年度	5件	岡村四丁目、上町、峰町（2件）、森二丁目

## 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

**9** 特定農業用施設保全契約の締結

## ○特定農業用施設保全契約の締結 1 件

2020年度	1件	氷取沢町
--------	----	------

**10** 農景観を良好に維持する活動の支援

## ○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

## ・農地縁辺部への植栽 5 件

2019年度	1件	氷取沢畑地かんがい組合
2020年度	1件	氷取沢畑地かんがい組合
2021年度	1件	氷取沢畑地かんがい組合
2022年度	1件	氷取沢畑地かんがい組合
2023年度	1件	氷取沢畑地かんがい組合

5 各区の実績  
磯子区

・土砂流出防止対策 1件

2020年度 1件 氷取沢畑地かんがい組合

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.03ha

・市民農園

2019年度 0.03ha 氷取沢町

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 4件

・青空市・マルシェ等

2020年度 1件 杉田野菜直売所

2021年度 1件 杉田野菜直売所

2022年度 1件 杉田野菜直売所

2023年度 1件 杉田野菜直売所

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 3か所

2020年度 2か所 洋光台西公園、横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

2023年度 1か所 横浜こども科学館

○緑の維持管理 25か所

2019年度 5か所 磯子区庁舎、市道新杉田第117号線、滝頭コミュニティハウス、横浜市社会教育コーナー、杉田臨海緑地

2020年度 4か所 磯子区庁舎、市道新杉田第117号線、滝頭コミュニティハウス、横浜市社会教育コーナー

2021年度 6か所 磯子区庁舎、市道新杉田第117号線、滝頭コミュニティハウス、横浜市社会教育コーナー、杉田臨海緑地、横浜市脳卒中・神経脊椎センター

2022年度 5か所 磯子区庁舎、市道新杉田第117号線、滝頭コミュニティハウス、横浜市社会教育コーナー、杉田臨海緑地

2023年度 5か所 磯子区庁舎、市道新杉田第117号線、滝頭コミュニティハウス、横浜市社会教育コーナー、杉田臨海緑地



## 18 街路樹による良好な景観の創出・育成

### ○良好な維持管理

2019年度	磯子産業道路、横浜逗子線（栗木-釜利谷）ほか 計1,128本
2020年度	洋光台第5号線（洋光台六丁目第三公園東側）、洋光台通り（洋光台南公園西側）ほか 計1,109本
2021年度	洋光台第183号線（上中里団地）、環状3号線ほか 計906本
2022年度	中原第288・459号線（洋光台入口～洋光台5丁目交差点）、洋光台通り（洋光台団地1号線）ほか 計829本
2023年度	洋光台通り（洋光台団地1号線）、洋光台第183号線（上中里団地）ほか 計934本

## 20 建築物緑化保全契約の締結

### ○建築物緑化保全契約の締結 4件

2019年度	3件	上中里町、汐見台、森二丁目
2021年度	1件	洋光台五丁目

## 21 名木古木の保存

### ○名木古木の保存

#### ・新規指定

2019年度	11本	磯子三丁目（3本）、峰町（8本）
2021年度	2本	森二丁目（2本）

#### ・維持管理の助成

2019年度	4本	杉田二丁目（2本）、原町（2本）
2020年度	1本	磯子三丁目
2021年度	4本	栗木二丁目、西町（3本）
2022年度	3本	磯子三丁目、栗木（2本）
2023年度	4本	原町（2本）、洋光台三丁目（2本）

## 22 地域緑のまちづくり

### ○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 1地区

#### ・新規

2019年度	1地区	磯子3丁目地区
--------	-----	---------

#### ・継続

2019年度	3地区	磯子・岡村地区、汐見台2丁目地区、洋光台五街区周辺地区
2020年度	2地区	磯子3丁目地区、洋光台五街区周辺地区
2021年度	1地区	磯子3丁目地区
2022年度	1地区	磯子3丁目地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	はまぎんこども宇宙科学館でのガーデンベア立体花壇の設置
2020年度	JR洋光台駅前における立体花壇の設置
2021年度	公園愛護会周知サインの設置、区の花PRを目的とした区内の公園愛護会及び指定管理者への種配布
2022年度	公園愛護会周知サインの設置、区の花PRを目的とした区内の公園愛護会及び指定管理者への種配布
2023年度	公園愛護会周知サインの設置、区の花コスモスのPRを目的とした区内の公園愛護会及び指定管理者への種配布

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗などの配布（坪呑公園ほか17か所）
2020年度	球根などの配布（泉谷公園ほか27か所）
2021年度	球根などの配布（泉谷第二公園ほか29か所）
2022年度	花壇講習会（汐見台二丁目公園）、球根などの配布（栗木花園緑地ほか16か所）
2023年度	花壇講習会（洋光台一丁目公園）、球根などの配布（磯子台紅取第二公園ほか37か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 1,537本

2019年度	388本
2020年度	261本
2021年度	340本
2022年度	304本
2023年度	244本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

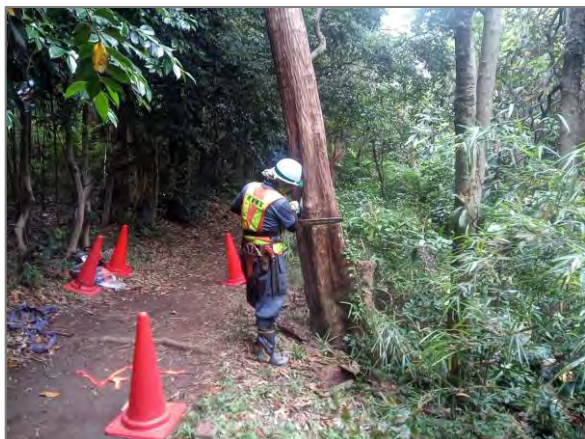
25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 10か所

2019年度	2か所	浜小学校、汐見台中学校
2020年度	2か所	さわの里小学校、浜小学校
2021年度	3か所	杉田小学校、梅林小学校、洋光台第四小学校
2022年度	2か所	杉田小学校、浜中学校
2023年度	1か所	洋光台第三小学校

○緑の維持管理 15か所

2019年度	4か所	滝頭保育園、洋光台第二保育園、岡村小学校、根岸中学校
2020年度	4か所	滝頭保育園、洋光台第二保育園、岡村小学校、根岸中学校
2021年度	2か所	洋光台第二保育園、岡村小学校
2022年度	2か所	洋光台第二保育園、岡村小学校
2023年度	3か所	洋光台第二保育園、岡村小学校、杉田小学校



2 森の維持管理  
(氷取沢市民の森)



2 森の維持管理  
(峯市民の森)



12 市民農園の開設  
(氷取沢町)



14 青空市・マルシェ等  
(杉田野菜直売所)



17 公共施設・公有地での緑の創出・育成  
(横浜こども科学館)



23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり  
(洋光台一丁目公園)

5 各区の実績  
磯子区



# 金沢区

## 主な実績

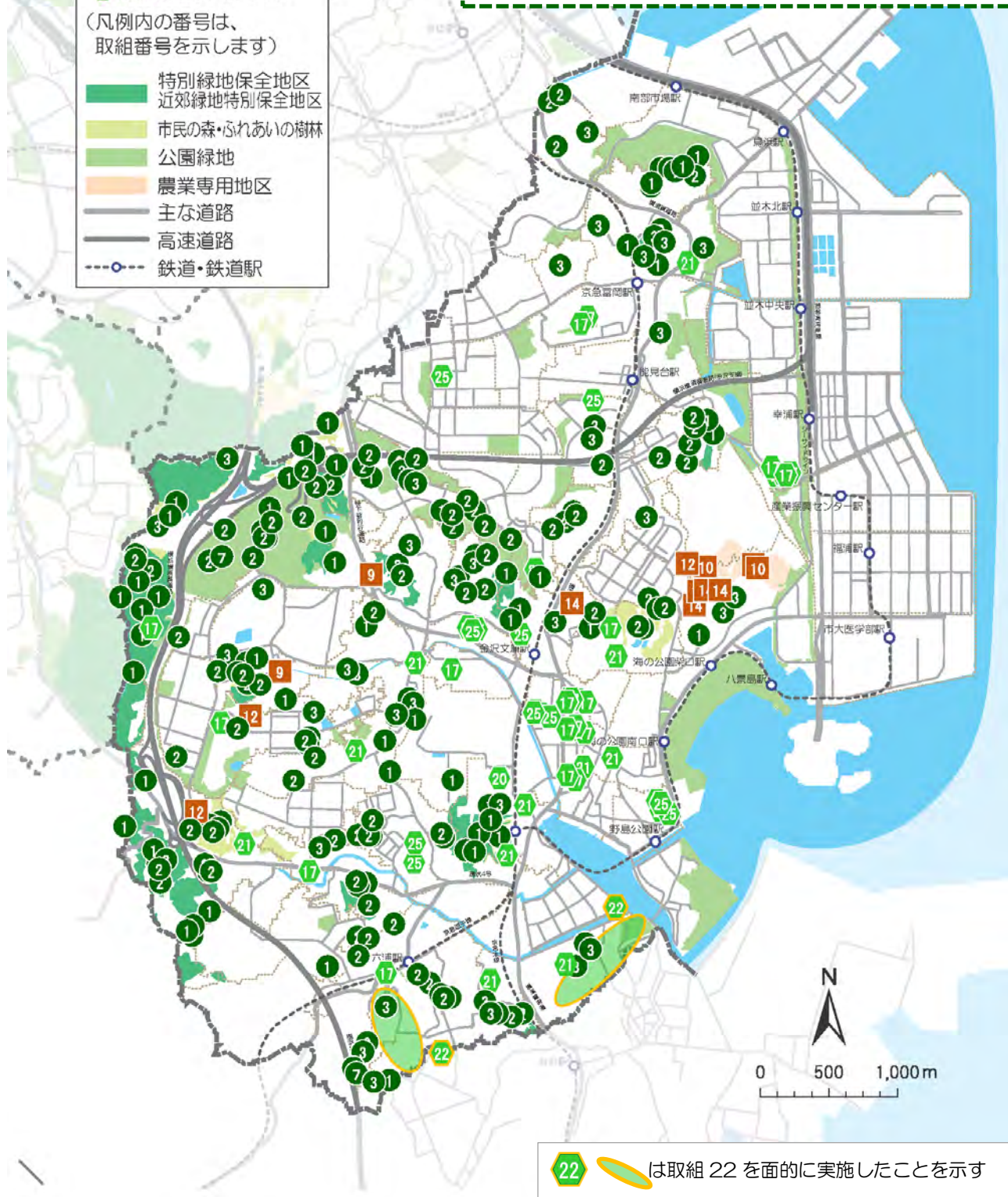
- 1** 緑地保全制度による新規指定 28.4ha
- 14** 直売所・青空市等の支援 6件
- 22** 地域緑のまちづくり（新規） 2地区

### 〈凡例〉

- 次世代につなぐ森を育む
- 農を感じる場をつくる
- 実感できる緑や花をつくる

（凡例内の番号は、  
取組番号を示します）

- 特別緑地保全地区
- 近郊緑地特別保全地区
- 市民の森・ふれあいの樹林
- 公園緑地
- 農業専用地区
- 主な道路
- 高速道路
- 鉄道・鉄道駅



**22** は取組 22 を面的に実施したことを示す

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 28.4ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 8.3ha 朝比奈特別緑地保全地区（指定拡大）、円海山近郊緑地特別保全地区（指定拡大）

2022年度 0.1ha 富岡東三丁目特別緑地保全地区（指定拡大）

2023年度 1.4ha 富岡東三丁目特別緑地保全地区（指定拡大）

・市民の森等

2019年度 0.8ha （仮称）御伊勢山・権現山市民の森（指定拡大）、（仮称）富岡東三丁目市民の森（指定拡大）

2021年度 1.8ha 金沢市民の森（指定拡大）、（仮称）富岡東三丁目市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.5ha 釜利谷東六丁目、瀬戸、大道二丁目、能見台六丁目

2020年度 0.2ha 柴町、富岡東五丁目、六浦東三丁目

2022年度 3.8ha 大川、釜利谷南一丁目、六浦三丁目、六浦南四丁目

・源流の森保存地区

2019年度 0.8ha 釜利谷町

2020年度 2.8ha 朝比奈町

2023年度 0.9ha 朝比奈町、釜利谷町

・その他

2022年度 7.0ha 氷取沢市民の森、富岡東五丁目緑地

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 1地区 大丸山近郊緑地特別保全地区

2020年度 3地区 釜利谷特別緑地保全地区、釜利谷東五丁目特別緑地保全地区、大丸山近郊緑地特別保全地区

2021年度 3地区 朝比奈特別緑地保全地区管理用地、釜利谷東五丁目特別緑地保全地区、大丸山近郊緑地特別保全地区

2022年度 2地区 御伊勢山・権現山特別緑地保全地区、大丸山近郊緑地特別保全地区

2023年度 2地区 御伊勢山・権現山特別緑地保全地区、富岡東三丁目特別緑地保全地区

・市民の森等

2021年度 1地区 称名寺市民の森管理用地

○保全した樹林地の整備 27 か所

2019年度	7か所	金沢市民の森（2か所）、釜利谷市民の森、関ヶ谷市民の森（2か所）、柴・長浜緑地、六浦五丁目緑地
2020年度	7か所	朝比奈特別緑地保全地区、釜利谷特別緑地保全地区（2か所）、柴・長浜特別緑地保全地区、大丸山近郊緑地特別保全地区、釜利谷市民の森、関ヶ谷市民の森
2021年度	5か所	朝比奈特別緑地保全地区、釜利谷特別緑地保全地区、釜利谷東五丁目特別緑地保全地区、称名寺市民の森、関ヶ谷市民の森
2022年度	3か所	朝比奈特別緑地保全地区、釜利谷特別緑地保全地区、（仮称）御伊勢山・権現山市民の森
2023年度	5か所	朝比奈特別緑地保全地区（2か所）、（仮称）御伊勢山・権現山市民の森、関ヶ谷市民の森、（仮称）富岡東三丁目市民の森

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 101 か所

・保安全管理計画の策定（公園）

2019年度	1か所	金沢自然公園
2021年度	1か所	能見堂緑地

・維持管理（樹林地）

2019年度	16か所	朝比奈北市民の森、金沢市民の森、釜利谷市民の森、称名寺市民の森、関ヶ谷市民の森、朝比奈緑地、片吹緑地、釜利谷緑地、釜利谷南二丁目緑地、柴・長浜緑地、富岡東一丁目緑地、能見台六丁目緑地、六浦緑地、六浦三艘緑地、六浦東三丁目緑地、六浦五丁目緑地
2020年度	18か所	朝比奈北市民の森、金沢市民の森、釜利谷市民の森、称名寺市民の森、関ヶ谷市民の森、（仮称）富岡東三丁目市民の森、朝比奈緑地、片吹緑地、釜利谷緑地、釜利谷東三丁目緑地、釜利谷南二丁目緑地、柴・長浜緑地、富岡東一丁目緑地、能見台六丁目緑地、六浦緑地、六浦三艘緑地、六浦東三丁目緑地、六浦五丁目緑地
2021年度	17か所	朝比奈北市民の森、金沢市民の森、釜利谷市民の森、称名寺市民の森、関ヶ谷市民の森、朝比奈緑地、片吹緑地、釜利谷緑地、釜利谷東三丁目緑地、釜利谷南二丁目緑地、柴・長浜緑地、大道二丁目緑地、富岡東一丁目緑地、能見台六丁目緑地、六浦緑地、六浦三艘緑地、六浦五丁目緑地
2022年度	18か所	朝比奈北市民の森、金沢市民の森、釜利谷市民の森、称名寺市民の森、関ヶ谷市民の森、朝比奈緑地、片吹緑地、釜利谷緑地、釜利谷東三丁目緑地、釜利谷南二丁目緑地、柴・長浜緑地、大道二丁目緑地、富岡東一丁目緑地、能見台六丁目緑地、六浦緑地、六浦三艘緑地、六浦二丁目緑地、六浦五丁目緑地
2023年度	19か所	朝比奈特別緑地保全地区、朝比奈北市民の森、金沢市民の森、釜利谷市民の森、称名寺市民の森、関ヶ谷市民の森、片吹緑地、釜利谷緑地、釜利谷東三丁目緑地、釜利谷南二丁目緑地、柴・長浜緑地、大道二丁目緑地、富岡東一丁目緑地、能見台六丁目緑地、

5 各区の実績  
金沢区

六浦緑地、六浦三艘緑地、六浦二丁目緑地、六浦五丁目(協働の森)、六浦東三丁目緑地

・維持管理(公園)

2019年度	3か所	金沢自然公園、釜利谷五号緑地、能見堂緑地
2020年度	2か所	金沢自然公園、能見堂緑地
2021年度	2か所	金沢自然公園、能見堂緑地
2022年度	2か所	金沢自然公園、能見堂緑地
2023年度	2か所	金沢自然公園、能見堂緑地

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 51件

2019年度	8件	釜利谷町、釜利谷東七丁目、釜利谷南一丁目(2件)、釜利谷南四丁目、富岡東一丁目、西柴二丁目、六浦南四丁目
2020年度	11件	釜利谷町、釜利谷三丁目、釜利谷東三丁目、釜利谷東七丁目、釜利谷南一丁目、柴町(2件)、富岡東五丁目、能見台六丁目、六浦東三丁目、六浦南四丁目
2021年度	12件	朝比奈町、釜利谷東三丁目、釜利谷東四丁目、釜利谷南一丁目、柴町(2件)、富岡東五丁目(2件)、富岡西二丁目、富岡東六丁目、六浦東一丁目、六浦南四丁目
2022年度	8件	釜利谷南一丁目、瀬戸、大道一丁目、富岡東三丁目、富岡東五丁目、能見台東、六浦東一丁目、谷津町
2023年度	12件	釜利谷町、釜利谷東三丁目、釜利谷南一丁目、富岡西三丁目、富岡東四丁目、富岡東五丁目、能見台東、能見台六丁目、六浦東一丁目、六浦東三丁目(2件)、六浦南四丁目

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 2件

2019年度	2件	釜利谷東四丁目、釜利谷東八丁目
--------	----	-----------------

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 9.9ha

2019年度	9.8ha	柴農業機械利用組合
2020年度	9.9ha	柴農業機械利用組合
2021年度	9.8ha	柴農業機械利用組合
2022年度	9.9ha	柴農業機械利用組合
2023年度	9.9ha	柴農業機械利用組合



・農地縁辺部への植栽 5件

2019年度	1件	柴農業機械利用組合
2020年度	1件	柴農業機械利用組合
2021年度	1件	柴農業機械利用組合
2022年度	1件	柴農業機械利用組合
2023年度	1件	柴農業機械利用組合

・井戸の改修 1地区

2019年度	1地区	横浜市金沢区柴土地改良区
--------	-----	--------------

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 0.10ha

2021年度	0.10ha	朝比奈町
--------	--------	------

**12** 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.24ha

・収穫体験農園

2019年度	0.14ha	釜利谷東八丁目
2021年度	0.02ha	柴町

・市民農園

2021年度	0.08ha	朝比奈町
--------	--------	------

**14** 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 6件

・直売所・加工所

2023年度	1件	矢津町
--------	----	-----

・青空市・マルシェ等

2019年度	1件	柴シーサイド恵みの里直売所
2020年度	1件	柴シーサイド恵みの里直売所
2021年度	1件	柴シーサイド恵みの里直売所
2022年度	1件	柴シーサイド恵みの里直売所
2023年度	1件	柴シーサイド恵みの里直売所

### 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

#### 17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

##### ○緑の創出 8か所

2020年度	1か所	富岡緑地
2021年度	1か所	富岡緑地
2022年度	4か所	金沢地区センター、金沢町公園、釜利谷第二公園、釜利谷緑道
2023年度	2か所	杉の崎公園、南川緑地

##### ○緑の維持管理 17か所

2019年度	4か所	金沢区庁舎、泥亀公園、長浜水路、釜利谷消防出張所
2020年度	3か所	金沢区庁舎、泥亀公園、長浜水路
2021年度	3か所	金沢区庁舎、泥亀公園、長浜水路
2022年度	3か所	金沢区庁舎、泥亀公園、長浜水路
2023年度	4か所	金沢区庁舎、金沢地区センター、泥亀公園、長浜水路

#### 18 街路樹による良好な景観の創出・育成

##### ○空き樹の補植

2020年度	高木 140本、低木 852本
--------	-----------------

##### ○良好な維持管理

2019年度	洋光台第384号線（能見台）、杉田第590号線（並木）ほか 計 2,318本
2020年度	杉田第590号線（並木）、洋光台第384号線（能見台）ほか 計 2,473本
2021年度	杉田第590号線（並木）、洋光台第384号線（能見台）ほか 計 2,614本
2022年度	杉田第590号線（並木）、パークタウン団地周辺ほか 計1,905本
2023年度	パークタウン団地周辺、杉田第590号線（並木）ほか 計2,069本

#### 20 建築物緑化保全契約の締結

##### ○建築物緑化保全契約の締結 2件

2019年度	2件	瀬戸、能見台五丁目
--------	----	-----------

## 21 名木古木の保存

## ○名木古木の保存

## ・新規指定

2020年度 3本 町屋町（3本）

## ・維持管理の助成

2019年度 2本 六浦東二丁目（2本）

2020年度 5本 釜利谷南一丁目（2本）、瀬戸（3本）

2021年度 9本 朝比奈町、釜利谷南一丁目（4本）、瀬戸、町屋町（3本）

2022年度 5本 金沢町、富岡東四丁目、六浦東一丁目（2本）、六浦東二丁目

※維持管理の助成について、過年度の報告書から実施箇所を修正しました。

## 22 地域緑のまちづくり

## ○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 2地区

## ・新規

2019年度 1地区 六浦台地区

2022年度 1地区 六浦東地区

## ・継続

2020年度 1地区 六浦台地区

2021年度 1地区 六浦台地区

2022年度 1地区 六浦台地区

2023年度 1地区 六浦東地区

## 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

## ○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度 旧川合玉堂別邸（二松庵）庭園のリーフレット・ポスター作成、区の花「ボタン」の苗木配布、谷津坂第一公園におけるプロのガーデナーによる維持管理講習会の実施

2020年度 区内公園における区の花「ボタン」の植栽、谷津坂第一公園における維持管理講習会の実施、金沢八景駅前におけるプランター緑化

2021年度 区内27公園における区の花「ボタン」の植栽、「黒梅」の苗木購入、金沢土木事務所フラワーセンターにおけるボランティア活動支援

2022年度 公園愛護会による花苗の生産

2023年度 公園愛護会による花苗の生産・区内公園への配布、区の花「牡丹」PR

## ○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度 花の種の配布、花苗などの配布（片吹公園ほか20か所）

2020年度 球根などの配布（北谷公園ほか115か所）

2021年度 球根などの配布（北谷公園ほか113か所）

2022年度 花壇講習会（能見台中央公園）、球根などの配布（阿王ヶ台公園ほか115か所）

2023年度 球根などの配布（阿王ヶ台公園ほか120か所）

5 各区の実績  
金沢区

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 2,297 本

2019 年度 420 本

2020 年度 415 本

2021 年度 514 本

2022 年度 556 本

2023 年度 392 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 9 か所

2019 年度 1 か所 聖星保育園

2020 年度 4 か所 聖星保育園、釜利谷東小学校、六浦小学校、富岡中学校

2021 年度 1 か所 きらら保育園

2022 年度 2 か所 釜利谷東小学校、六浦小学校

2023 年度 1 か所 金沢小学校

○緑の維持管理 13 か所

2019 年度 2 か所 釜利谷東小学校、八景小学校

2020 年度 1 か所 八景小学校

2021 年度 3 か所 聖星保育園、釜利谷東小学校、八景小学校

2022 年度 4 か所 聖星保育園、釜利谷東小学校、八景小学校、六浦小学校

2023 年度 3 か所 聖星保育園、八景小学校、六浦小学校



**1** 緑地保全制度による新規指定  
(富岡東三丁目特別緑地保全地区)



**1** 市による買取り  
(富岡東三丁目特別緑地保全地区)



**10** 農景観を良好に維持する活動  
(柴農業機械利用組合)



**14** 青空市・マルシェ等  
(柴シーサイド恵みの里直売所)



**17** 公共施設・公有地での緑の創出・育成  
(泥亀公園)

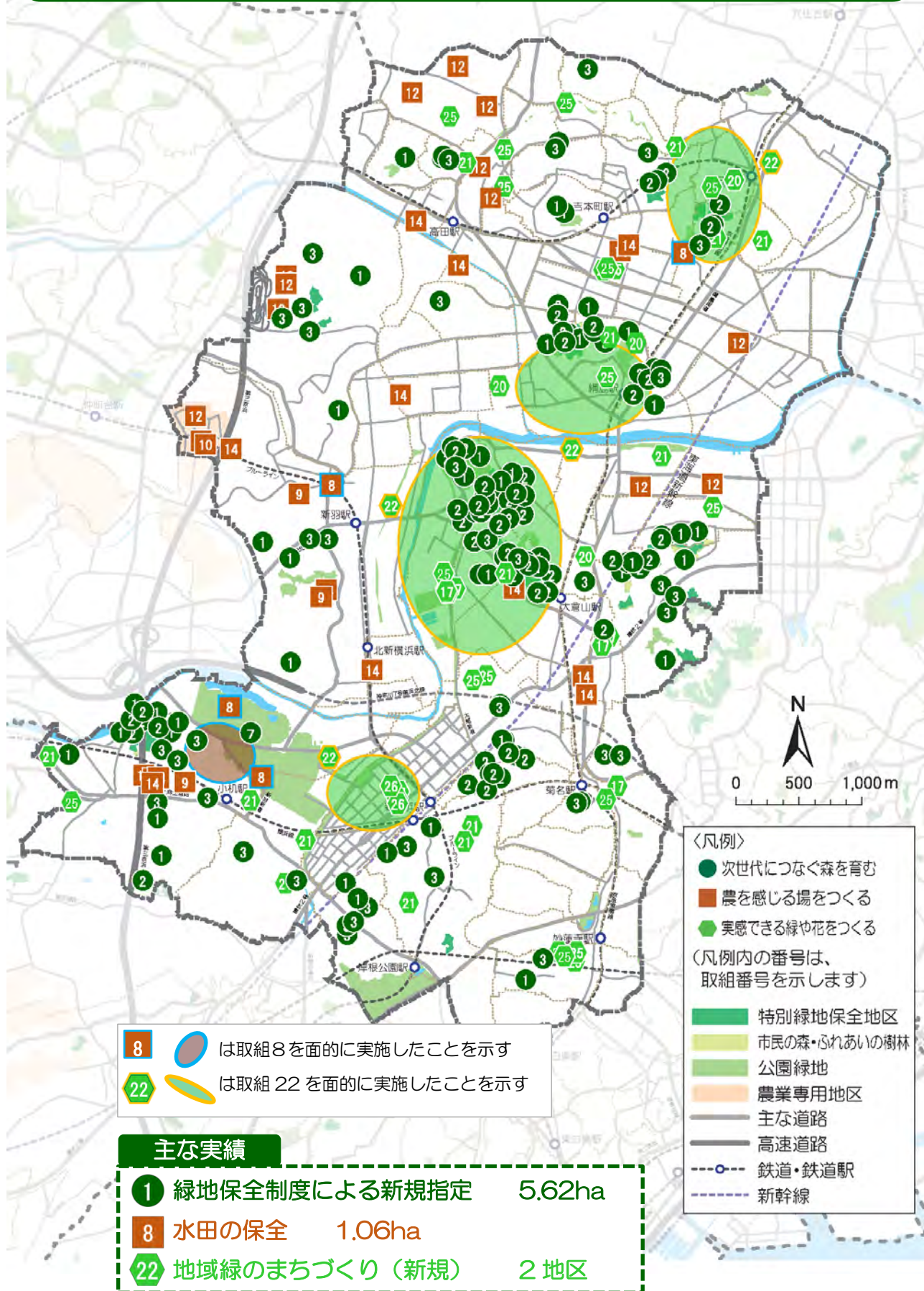


**25** 保育園での緑の創出・育成  
(区内保育園)

5 各区の実績  
金沢区



港北区



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 5.62ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020年度 0.6ha 大倉山特別緑地保全地区（指定拡大）、綱島特別緑地保全地区（指定拡大）

・市民の森等

2020年度 0.004ha 綱島市民の森（指定拡大）

2021年度 0.02ha 熊野神社市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.2ha 大倉山六丁目、岸根町、小机町、師岡町

2020年度 1.2ha 小机町、篠原町

2022年度 2.0ha 岸根町、小机町、篠原町、綱島台、仲手原二丁目、大豆戸町、師岡町

2023年度 0.4ha 大倉山六丁目、小机町

・源流の森保存地区

2019年度 0.1ha 新吉田町

2020年度 0.3ha 新羽町（2か所）

2022年度 0.1ha 新吉田町

2023年度 0.2ha 新羽町

・その他

2021年度 0.5ha 熊野神社市民の森

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 2地区 熊野神社特別緑地保全地区、小机城址特別緑地保全地区

2021年度 1地区 大倉山特別緑地保全地区

2023年度 1地区 小机城址特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 1地区 綱島市民の森

・公園樹林部

2019年度 1地区 高田西公園

○保全した樹林地の整備 20か所

2019年度 4か所 大曽根台特別緑地保全地区、綱島市民の森、綱島東二丁目緑地、大豆戸緑地

2020年度 4か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、小机城址市民の森、綱島東二丁目緑地

2021年度 4か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森

2022年度 5か所 日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森（4か所）

2023年度 3か所 大倉山特別緑地保全地区、小机城址市民の森（2か所）



## 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

## ○森の維持管理 65 か所

## ・維持管理（樹林地）

2019年度	13 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地
2020年度	13 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地
2021年度	13 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地
2022年度	13 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地
2023年度	13 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地

## 3 指定した樹林地における維持管理の支援

## ○維持管理の助成 74 件

2019年度	11 件	菊名五丁目、岸根町（2件）、小机町（2件）、下田町三丁目、綱島台、錦が丘、新羽町、大豆戸町、師岡町
2020年度	14 件	大倉山二丁目、岸根町（3件）、小机町、篠原町、新吉田町（4件）、鳥山町、日吉本町六丁目、箕輪町三丁目（2件）
2021年度	14 件	大倉山二丁目、菊名五丁目、小机町、新吉田町（8件）、新吉田東一丁目、高田西三丁目、師岡町
2022年度	18 件	岸根町（3件）、小机町（4件）、篠原町、下田町三丁目、新吉田町（3件）、高田西三丁目、綱島台、錦が丘、新羽町（2件）、師岡町
2023年度	17 件	大倉山二丁目、大倉山六丁目、鳥山町、岸根町（4件）、小机町（2件）、新吉田町、高田西三丁目、綱島東二丁目、仲手原二丁目、日吉本町六丁目、大豆戸町、箕輪町三丁目、師岡町

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 1.06ha

2019年度	1.05ha	小机町、新羽町、箕輪町三丁目
2020年度	1.05ha	小机町、新羽町、箕輪町三丁目
2021年度	1.05ha	小机町、新羽町、箕輪町三丁目
2022年度	1.05ha	小机町、新羽町、箕輪町三丁目
2023年度	1.06ha	小机町、新羽町、箕輪町三丁目

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 3件

2019年度	1件	新羽町
2021年度	1件	小机町
2022年度	1件	新羽町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 11.0ha

2019年度	10.9ha	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2020年度	11.0ha	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2021年度	11.0ha	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2022年度	11.0ha	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2023年度	11.0ha	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）

・農地縁辺部への植栽 5件

2019年度	1件	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2020年度	1件	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2021年度	1件	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2022年度	1件	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）
2023年度	1件	新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 1.40ha

2020年度	0.32ha	新羽町（3か所）
2021年度	0.33ha	新羽町（2か所）、日吉本町六丁目
2022年度	0.10ha	新羽町
2023年度	0.65ha	小机町（2か所）、新羽町（2か所）

・たい肥化設備等の支援 2件

2023年度	2件	新吉田東一丁目、新羽町
--------	----	-------------

## 12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.89ha

・収穫体験農園

2019年度 0.03ha 新吉田町

2020年度 0.11ha 新吉田町（2件）

2022年度 0.14ha 高田町

2023年度 0.04ha 新羽町

・市民農園

2019年度 0.17ha 高田町、樽町三丁目

2020年度 0.16ha 高田町、高田東三丁目

2022年度 0.08ha 高田東三丁目

2023年度 0.16ha 樽町一丁目、綱島東二丁目

## 14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 15件

・直売所・加工所

2020年度 5件 大倉山三丁目、新吉田町、新吉田東八丁目、新羽町（2件）

2022年度 1件 新吉田東三丁目

2023年度 1件 北新横浜一丁目

・青空市・マルシェ等

2019年度 1件 JA小机農産物直売所

2020年度 1件 JA小机農産物直売所

2021年度 1件 JA小机農産物直売所

2022年度 2件 日吉朝市の会、港北支店 朝市

2023年度 3件 JA小机農産物直売所、港北支店 朝市、日吉朝市の会

## 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

## 17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 2か所

2020年度 1か所 菊名コミュニティハウス

2021年度 1か所 港北区庁舎

○緑の維持管理 8か所

2019年度 2か所 港北区庁舎、港北土木事務所

2020年度 2か所 港北区庁舎、港北土木事務所

2021年度 1か所 港北土木事務所

2022年度 2か所 港北区庁舎、港北土木事務所

2023年度 1か所 港北土木事務所

5 各区の実績  
港北区

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○空き樹の補植

2019年度	低木 450 本
2020年度	高木 3 本、低木 50 本
2021年度	低木 735 本

○良好な維持管理

2019年度	環状2号線（鳥山町～大豆戸町）、環状2号線（大豆戸町～師岡町）ほか 計752本
2020年度	環状2号線（師岡町～鳥山町）、宮内新横浜線ほか 計796本
2021年度	太尾新道、早渕川左岸（高田西）ほか 計992本
2022年度	環状2号線（大豆戸町～師岡町）、宮内新横浜線ほか 計492本
2023年度	環状2号線（大豆戸町～師岡町）、環状2号線（新横浜～菊名）ほか 計910本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 4件

2019年度	2件	大曽根一丁目、日吉本町一丁目
2022年度	2件	綱島上町、綱島台

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2020年度	8本	小机町（2本）、樽町四丁目、鳥山町（3本）、箕輪町一丁目（2本）
2021年度	7本	小机町、篠原町、下田町三丁目、高田町（2本）、鳥山町、箕輪町三丁目
2022年度	2本	篠原町、綱島台
2023年度	4本	大倉山二丁目、篠原町（3本）

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 2地区

・新規

2019年度	1地区	綱島西地区
2020年度	1地区	日吉地区

・継続

2019年度	2地区	大倉山地区、新横浜二丁目地区
2020年度	3地区	大倉山地区、新横浜二丁目地区、綱島西地区
2021年度	2地区	綱島西地区、日吉地区
2022年度	2地区	綱島西地区、日吉地区
2023年度	1地区	日吉地区

## 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

### ○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	オープンガーデンの開催支援（新型コロナウイルス感染症の影響でイベント中止）、大倉山観梅会
2020年度	オープンガーデンの開催支援、花と木のウォーキングマップ制作
2021年度	オープンガーデンの開催支援
2022年度	オープンガーデンの開催支援、花と木のウォーキングマップ制作、大倉山観梅会
2023年度	オープンガーデンの開催支援、花と木のウォーキングツアー開催、大倉山観梅会

### ○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗などの配布（新吉田第一公園ほか8か所）
2020年度	球根などの配布（市ノ坪公園ほか81か所）
2021年度	花壇づくり講習会（太尾堤緑道）、球根などの配布（市ノ坪公園ほか78か所）
2022年度	球根などの配布（大曽根第三公園ほか80か所）
2023年度	花壇づくり講習会（大倉山公園）、球根などの配布（市ノ坪公園ほか72か所）

## 24 人生記念樹の配布

### ○人生記念樹の配布 2,598本

2019年度	454本
2020年度	531本
2021年度	539本
2022年度	565本
2023年度	509本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

## 25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

### ○緑の創出 14か所

2019年度	2か所	港北保育園、大豆戸小学校
2020年度	2か所	高田東小学校、樽町中学校
2021年度	2か所	港北保育園、大豆戸小学校
2022年度	4か所	菊名保育園、港北保育園、小机幼稚園、南日吉保育園
2023年度	4か所	南日吉保育園、下田小学校、高田小学校、日吉台小学校

### ○緑の維持管理 9か所

2019年度	3か所	港北保育園、第二尚花愛児園、高田東小学校
2020年度	1か所	高田東小学校
2021年度	1か所	南日吉保育園
2022年度	2か所	港北保育園、太尾小学校
2023年度	2か所	港北保育園、南日吉保育園

5 各区の実績  
港北区

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

○緑花による空間づくりと維持管理 5か所

2019年度 1か所 新横浜駅周辺

2020年度 1か所 新横浜駅周辺

2021年度 1か所 新横浜駅周辺

2022年度 1か所 新横浜駅周辺

2023年度 1か所 新横浜駅周辺



1 緑地保全制度による新規指定  
緑地保存地区（小机町）



3 樹林地の維持管理の助成  
（鳥山町）



8 水田の保全  
（新羽町）



14 青空市・マルシェ等  
（港北支店 朝市）



25 保育園での緑の創出・育成  
（区内保育園）



26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり  
（新横浜駅周辺）

5 各区の実績  
港北区

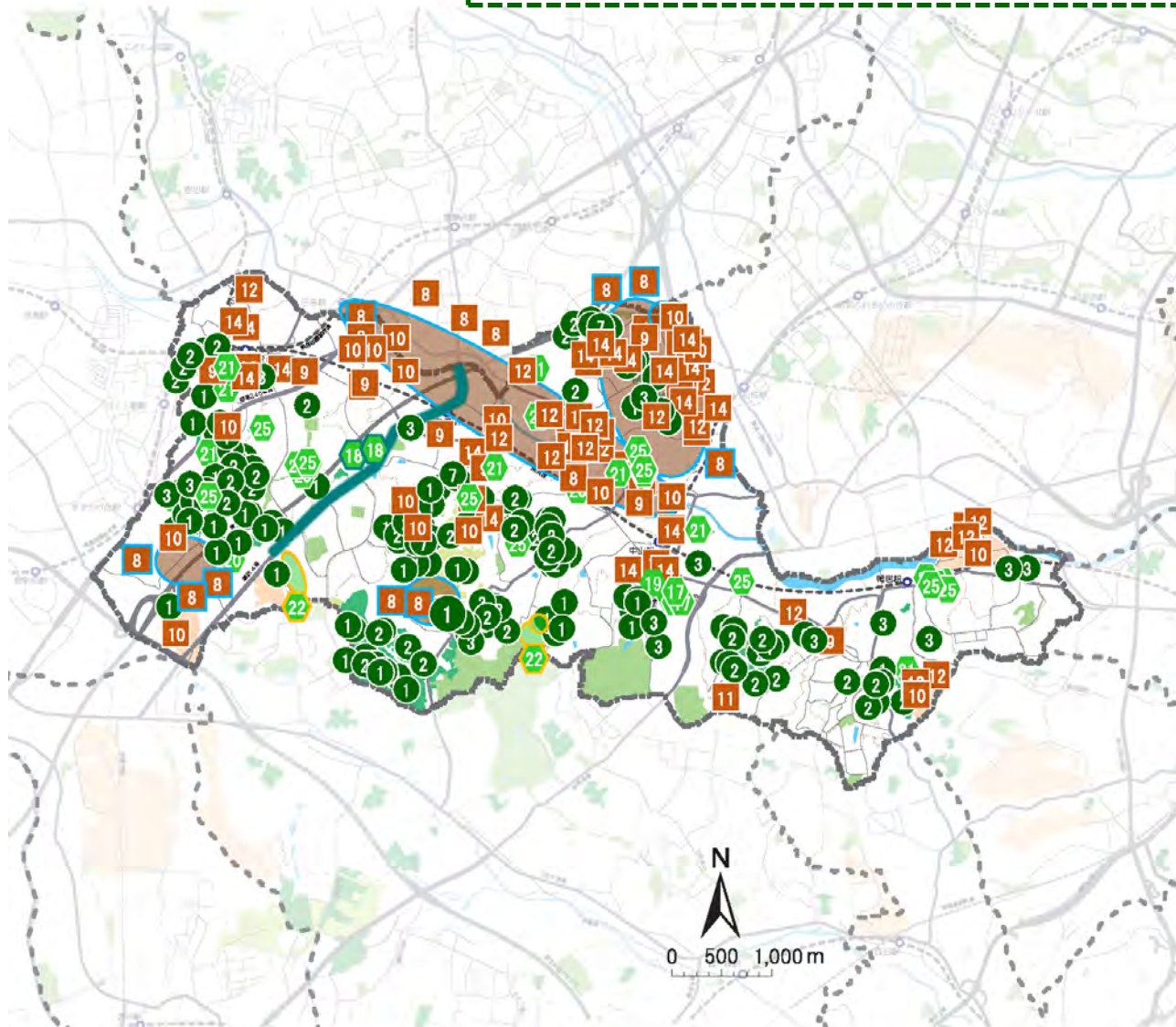




# 緑区

## 主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 22.32ha
- ⑧ 水田の保全 33.68ha
- ②⑤ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 9か所



<p>〈凡例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 次世代につなぐ森を育む</li> <li>■ 農を感じる場をつくる</li> <li>● 実感できる緑や花をつくる</li> </ul> <p>(凡例内の番号は、取組番号を示します)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 特別緑地保全地区</li> <li>■ 市民の森・ふれあいの樹林</li> <li>■ 公園緑地</li> <li>■ 農業専用地区</li> <li>— 主な道路</li> <li>— 高速道路</li> <li>— 鉄道・鉄道駅</li> </ul>
--	--

⑧		は取組8を面的に実施したことを示す
⑱		は取組18を線的に実施したことを示す
②⑤		は取組22を面的に実施したことを示す

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 22.32ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 0.7ha 長津田町長月特別緑地保全地区（指定拡大）

2020年度 1.4ha 長津田町長月特別緑地保全地区（指定拡大）

・市民の森等

2019年度 0.2ha 新治市民の森（指定拡大）

2021年度 0.6ha 新治市民の森（指定拡大）

2023年度 2.0ha 新治市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.2ha 北八朔町

2021年度 0.1ha 白山三丁目

2022年度 0.02ha 白山三丁目

・源流の森保存地区

2019年度 0.9ha 寺山町、長津田町

2020年度 0.2ha 長津田町

2022年度 6.0ha 長津田町（4件）

2023年度 10.0ha 北八朔町、寺山町、長津田町、三保町

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 3地区 台村町特別緑地保全地区、長津田町深田特別緑地保全地区、三保特別緑地保全地区

2021年度 1地区 三保特別緑地保全地区

2022年度 1地区 台村町特別緑地保全地区

2023年度 3地区 上山・白山特別緑地保全地区、長津田町深田特別緑地保全地区、西八朔町藤林特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 1地区 新治市民の森

2020年度 1地区 新治市民の森

2022年度 2地区 （仮称）台村市民の森、新治市民の森

2023年度 1地区 新治市民の森

## ○保全した樹林地の整備 36 か所

2019年度	3か所	長津田宿市民の森、長津田長月特別緑地保全地区、新治市民の森
2020年度	9か所	上山・白山特別緑地保全地区、北八朔町中特別緑地保全地区、北八朔町南特別緑地保全地区、台村町特別緑地保全地区、寺山町本谷特別緑地保全地区、三保特別緑地保全地区、新治市民の森、三保市民の森、長津田みなみ台二丁目緑地
2021年度	9か所	北八朔中特別緑地保全地区、北八朔南特別緑地保全地区、寺山町本谷特別緑地保全地区、鴨居原市民の森、新治市民の森（3か所）、三保市民の森（2か所）
2022年度	10か所	長津田町馬ノ背特別緑地保全地区、長津田宿市民の森、新治市民の森（6か所）、三保市民の森、三保不動緑地
2023年度	5か所	北八朔南特別緑地保全地区、寺山町本谷特別緑地保全地区、長津田町馬ノ背特別緑地保全地区、鴨居原市民の森、上山ふれあいの樹林

## 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

## ○森の維持管理 69 か所

## ・維持管理（樹林地）

2019年度	9か所	上山・白山特別緑地保全地区、天神の杜特別緑地保全地区、鴨居原市民の森、新治市民の森、三保市民の森、上山ふれあいの樹林、長津田みなみ台二丁目緑地、三保中道緑地、三保不動緑地
2020年度	12か所	上山・白山特別緑地保全地区、天神の杜特別緑地保全地区、三保特別緑地保全地区、三保町東谷特別緑地保全地区、鴨居原市民の森、長津田宿市民の森、新治市民の森、三保市民の森、上山ふれあいの樹林、長津田みなみ台二丁目緑地、三保中道緑地、三保不動緑地
2021年度	14か所	上山・白山特別緑地保全地区、天神の杜特別緑地保全地区、西八朔町藤林特別緑地保全地区、（仮称）三保町杉沢特別緑地保全地区、三保町杉沢堰特別緑地保全地区、三保町東谷特別緑地保全地区、鴨居原市民の森、長津田宿市民の森、新治市民の森、三保市民の森、上山ふれあいの樹林、長津田みなみ台二丁目緑地、三保中道緑地、三保不動緑地
2022年度	12か所	上山・白山特別緑地保全地区、天神の杜特別緑地保全地区、三保特別緑地保全地区、三保町東谷特別緑地保全地区、鴨居原市民の森、長津田宿市民の森、新治市民の森、三保市民の森、上山ふれあいの樹林、長津田みなみ台二丁目緑地、三保中道緑地、三保不動緑地
2023年度	12か所	上山・白山特別緑地保全地区、天神の杜特別緑地保全地区、三保特別緑地保全地区、三保町東谷特別緑地保全地区、鴨居原市民の森、長津田宿市民の森、新治市民の森、三保市民の森、上山ふれあいの樹林、長津田みなみ台二丁目緑地、三保中道緑地、三保不動緑地

5 各区の実績  
緑区

・維持管理（公園）

2019年度	2か所	北八朔公園、玄海田公園
2020年度	2か所	北八朔公園、玄海田公園
2021年度	2か所	北八朔公園、玄海田公園
2022年度	2か所	北八朔公園、玄海田公園
2023年度	2か所	北八朔公園、玄海田公園

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 42件

2019年度	7件	北八朔町（2件）、長津田町（2件）、中山四丁目、三保町（2件）
2020年度	8件	鴨居四丁目（2件）、寺山町、長津田町（2件）、東本郷六丁目、三保町（2件）
2021年度	9件	北八朔町、長津田町（2件）、長津田七丁目、白山二丁目、三保町（4件）
2022年度	5件	長津田町（2件）、新治町、三保町（2件）
2023年度	13件	鴨居三丁目、北八朔町（2件）、寺山町・森の台、十日市場町、長津田町（3件）、白山二丁目、東本郷六丁目、三保町（3件）

7 森に関する情報発信

○ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等

2019年度	新治里山公園にいはる里山交流センター
2020年度	新治里山公園にいはる里山交流センター
2021年度	新治里山公園にいはる里山交流センター
2022年度	新治里山公園にいはる里山交流センター
2023年度	新治里山公園にいはる里山交流センター

## 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

## 8 水田の保全

○水田保全面積 33.68ha

2019年度	34.65ha	いぶき野、北八朔町、小山町、十日市場町、長津田町、新治町、西八朔町、三保町
2020年度	34.43ha	いぶき野、北八朔町、小山町、十日市場町、長津田町、新治町、西八朔町、三保町
2021年度	34.75ha	いぶき野、北八朔町、小山町、十日市場町、長津田町、新治町、西八朔町、三保町
2022年度	33.94ha	いぶき野、北八朔町、小山町、十日市場町、長津田町、新治町、西八朔町
2023年度	33.68ha	いぶき野、北八朔町、小山町、十日市場町、長津田町、新治町、西八朔町、三保町

○水源・水路の確保 5か所

2020年度	1か所	十日市場農業専用地区協議会
2021年度	2か所	新治町水利組合、小山西八朔用水組合
2023年度	2か所	田奈地区水利・耕作組合連絡協議会（柳町水利組合）、十日市場農業専用地区協議会

## 9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 11件

2019年度	3件	北八朔町（2件）、十日市場町
2020年度	2件	いぶき野、鴨居六丁目
2021年度	2件	北八朔町、新治町
2022年度	4件	いぶき野、小山町、長津田町、長津田五丁目

**10** 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 136.3ha

2019年度 128.2ha 御嶽堂水利組合、向原地区畑地かんがい組合、長津田後谷戸耕作組合、新林水利組合、柳町水利組合、新治町水利組合、十日市場農業専用地区協議会、鴨居東本郷農業専用地区協議会、長津田台農業専用地区協議会、小山西八朔用水組合、北八朔農業専用地区協議会、岡部谷戸水利組合

2020年度 129.3ha 御嶽堂水利組合、向原地区畑地かんがい組合、長津田後谷戸耕作組合、新林水利組合、柳町水利組合、新治町水利組合、十日市場農業専用地区協議会、鴨居東本郷農業専用地区協議会、長津田台農業専用地区協議会、小山西八朔用水組合、北八朔農業専用地区協議会、岡部谷戸水利組合

2021年度 129.3ha 御嶽堂水利組合、向原地区畑地かんがい組合、長津田後谷戸耕作組合、新林水利組合、柳町水利組合、新治町水利組合、十日市場農業専用地区協議会、鴨居東本郷農業専用地区協議会、長津田台農業専用地区協議会、小山西八朔用水組合、北八朔農業専用地区協議会、岡部谷戸水利組合

2022年度 129.3ha 御嶽堂水利組合、向原地区畑地かんがい組合、長津田後谷戸耕作組合、新林水利組合、柳町水利組合、新治町水利組合、十日市場農業専用地区協議会、鴨居東本郷農業専用地区協議会、長津田台農業専用地区協議会、小山西八朔用水組合、北八朔農業専用地区協議会、岡部谷戸水利組合

2023年度 136.3ha 御嶽堂水利組合、向原地区畑地かんがい組合、長津田後谷戸耕作組合、新林水利組合、柳町水利組合、新治町水利組合、十日市場農業専用地区協議会、鴨居東本郷農業専用地区協議会、長津田台農業専用地区協議会、小山西八朔用水組合、北八朔農業専用地区協議会、岡部谷戸水利組合、横浜市緑区鴨居原土地改良区

・農地縁辺部への植栽 13件

2019年度 2件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）、新治恵みの里発展会

2020年度 2件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）、新治恵みの里発展会

2021年度 3件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）、新治恵みの里発展会、北八朔恵みの里連絡会

2022年度 3件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）、新治恵みの里発展会、北八朔恵みの里連絡会

2023年度 3件 横浜市緑区鴨居原土地改良区、北八朔恵みの里連絡会、新治恵みの里発展会

・土砂流出防止対策 2件

2019年度 1件 長津田台農業専用地区協議会

2023年度 1件 横浜市緑区鴨居原土地改良区

## ○周辺環境に配慮した活動への支援

## ・牧草等による環境対策 3.86ha

2019年度 0.83ha 長津田町（5か所）、長津田三丁目

2020年度 0.29ha 長津田町（5か所）

2021年度 0.79ha 長津田町（7か所）、長津田三丁目

2022年度 0.89ha 鴨居町、長津田町（6か所）、長津田三丁目

2023年度 1.06ha 鴨居町、小山町、長津田町（8か所）、長津田三丁目

## ・たい肥化設備等の支援 4件

2019年度 2件 北八朔町、長津田町

2020年度 1件 新治町

2023年度 1件 小山町

※農地縁辺部への植栽について、過年度の報告書から実施箇所を修正しました。

**11** 多様な主体による農地の利用促進

## ○遊休農地の復元支援 0.76ha

2023年度 0.76ha 白山四丁目

**12** 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

## ○様々なニーズに合わせた農園の開設 3.18ha

## ・収穫体験農園

2019年度 0.64ha 鴨居町、北八朔町（3か所）、東本郷町

2020年度 0.66ha 北八朔町（2か所）、小山町（2か所）、東本郷町

2021年度 0.41ha 小山町（3か所）、長津田三丁目、東本郷町

2022年度 0.20ha 小山町（2か所）

2023年度 0.85ha 鴨居町、北八朔町、小山町（3か所）、新治町

## ・市民農園

2020年度 0.16ha 白山二丁目、西八朔町

2022年度 0.22ha 東本郷町

2023年度 0.04ha 十日市場町

**14** 地産地消にふれる機会の拡大

## ○直売所・青空市等の支援 29件

## ・直売所・加工所

2019年度 1件 十日市場町

2021年度 4件 北八朔町、長津田四丁目（3件）

2022年度 3件 北八朔町（3件）

2023年度 1件 北八朔町

5 各区の実績  
緑区

・青空市・マルシェ等

2019年度	3件	長津田支店前野菜直売会、みどり地場野菜の直売会、北八朔日曜朝市
2020年度	4件	長津田支店前野菜直売会、みどり地場野菜の直売会、北八朔日曜朝市、北八朔農産物直売所
2021年度	3件	長津田支店前野菜直売会、北八朔日曜朝市、北八朔農産物直売所
2022年度	5件	長津田支店前野菜直売会、北八朔農産物直売所、にいほる長屋門朝市、みどり地場野菜の直売会、中山駅前梨直売所
2023年度	5件	北八朔日曜朝市、北八朔農産物直売所、中山駅前梨直売所、長津田支店前野菜直売会、にいほる長屋門朝市

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 1か所

2022年度	1か所	緑区庁舎
--------	-----	------

○緑の維持管理 5か所

2019年度	1か所	緑区庁舎
2020年度	1か所	緑区庁舎
2021年度	1か所	緑区庁舎
2022年度	1か所	緑区庁舎
2023年度	1か所	緑区庁舎

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○並木の再生

2019年度	1路線	環状4号線（整備中）
2020年度	1路線	環状4号線（整備中）
2021年度	1路線	環状4号線（整備中）
2022年度	1路線	環状4号線（整備中）
2023年度	1路線	環状4号線（整備中）

○空き樹の補植

2021年度	高木 8本、低木 45本
2022年度	高木 12本、低木 24本
2023年度	高木 8本、低木 651本



## ○良好な維持管理

2019年度	環状4号線（霧が丘～十日市場町）、霧が丘長津田線（長津田みなみ台地区）ほか 計799本
2020年度	環状4号線（長津田町）、竹山中公園通りほか 計880本
2021年度	環状4号線（霧が丘～十日市場町）、白山高校通り 計846本
2022年度	白山高校通り、十日市場団地通りほか 計919本
2023年度	環状4号線（十日市場町～長津田町）、霧が丘バス通りほか 計573本

## 19 シンボリックな緑の創出・育成

## ○公開性のある緑空間の創出支援 1 か所

2022年度	1 か所	中山五丁目
--------	------	-------

## 20 建築物緑化保全契約の締結

## ○建築物緑化保全契約の締結 3 件

2020年度	3 件	長津田町、白山三丁目、三保町
--------	-----	----------------

## 21 名木古木の保存

## ○名木古木の保存

## ・新規指定

2019年度	1 本	鴨居町
2020年度	1 本	長津田町

## ・維持管理の助成

2019年度	6 本	小山町、長津田町（4本）、西八朔町
2020年度	1 本	西八朔町
2021年度	1 本	長津田町
2022年度	3 本	小山町、長津田町（2本）
2023年度	5 本	中山三丁目、長津田町（2本）、新治町（2本）

## 22 地域緑のまちづくり

## ○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結

## ・継続

2019年度	2 地区	霧が丘六丁目地区、武蔵中山台地区
--------	------	------------------

## 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

### ○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	みどりオープンガーデンに向けた寄せ植え講座、区内公園愛護会への花苗支援・寄せ植え講座
2020年度	区内公園愛護会への花苗支援（春57公園、秋67公園）
2021年度	区内公園愛護会への花苗支援、寄せ植え講座の動画配信
2022年度	区内公園愛護会への花苗支援
2023年度	区内公園愛護会への花苗支援

### ○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗などの配布（森の台中ノ谷公園ほか 14 か所）
2020年度	球根などの配布（東本郷公園ほか 67 か所）
2021年度	球根などの配布（北八朔公園ほか 68 か所）
2022年度	球根などの配布（鴨居西河内第二公園ほか 73 か所）
2023年度	球根などの配布（鴨居西河内第二公園ほか 70 か所）

## 24 人生記念樹の配布

### ○人生記念樹の配布 1,587 本

2019年度	315 本
2020年度	323 本
2021年度	340 本
2022年度	331 本
2023年度	278 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

## 25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

### ○緑の創出 9 か所

2019年度	2 か所	みなみ台保育園アネックス、新治小学校
2020年度	3 か所	みもざ保育園、新治小学校、三保小学校
2021年度	3 か所	小山保育園、みもざ保育園、中山小学校
2022年度	1 か所	もりの風保育園

### ○緑の維持管理 11 か所

2019年度	1 か所	鴨居保育園
2020年度	1 か所	鴨居保育園
2021年度	1 か所	鴨居保育園
2022年度	3 か所	鴨居保育園、小山保育園、みもざ保育園
2023年度	5 か所	鴨居保育園、小山保育園、みもざ保育園、もりの風保育園、新治小学校



1 緑地保全制度による新規指定  
源流の森保存地区（長津田町）



2 森の維持管理  
（三保不動緑地）



8 水源・水路の確保  
（田奈地区水利・耕作組合連絡協議会（柳町水利組合））



12 収穫体験農園の開設  
（鴨居町）



17 公共施設・公有地での緑の創出・育成  
（緑区庁舎）



25 保育園での緑の創出・育成  
（区内保育園）

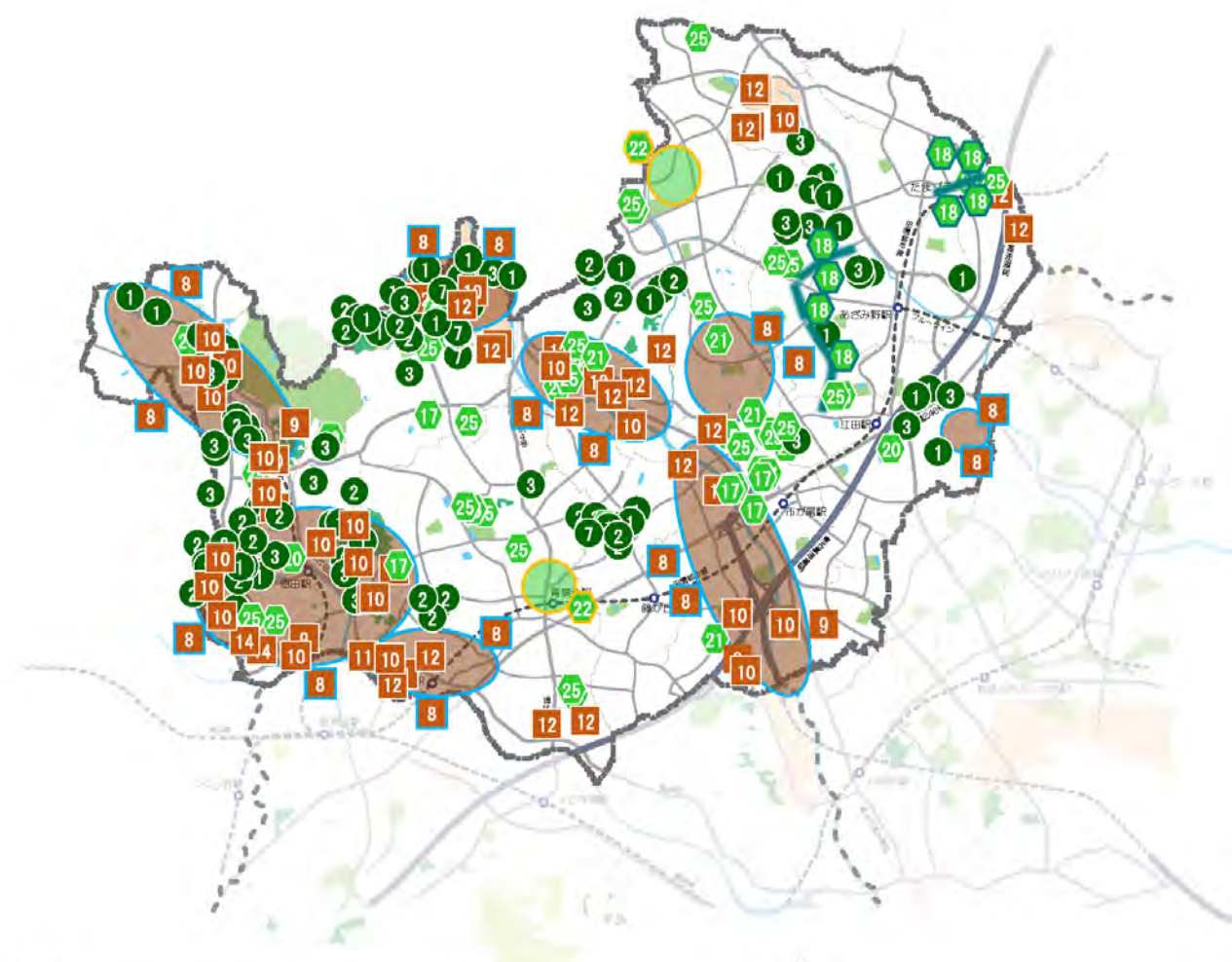
5 各区の実績  
緑区



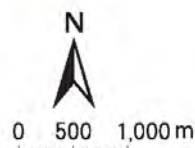
## 青葉区

### 主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 12.05ha
- ⑧ 水田の保全 39.03ha
- ②⑤ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 23か所



〈凡例〉	
● 次世代につなぐ森を育む	特別緑地保全地区
■ 農を感じる場をつくる	市民の森・ふれあいの樹林
● 実感できる緑や花をつくる	公園緑地
(凡例内の番号は、 取組番号を示します)	農業専用地区
	— 主な道路
	— 高速道路
	--- 鉄道・鉄道駅



- ⑧ は取組8を面的に実施したことを示す
- ⑱ は取組18を線的に実施したことを示す
- ⑳ は取組22を面的に実施したことを示す

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 12.05ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020年度 2.7ha 恩田町特別緑地保全地区（指定拡大）、寺家町居谷戸特別緑地保全地区

2021年度 2.5ha 寺家町居谷戸特別緑地保全地区（指定拡大）

2022年度 0.1ha 奈良町西ノ谷特別緑地保全地区（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.03ha あざみ野四丁目、新石川二丁目

2020年度 0.02ha あざみ野四丁目

2021年度 1.5ha あざみ野一丁目、あざみ野二丁目

・源流の森保存地区

2019年度 0.3ha 鉄町

2020年度 0.9ha 荏田町（2か所）、恩田町、寺家町

2022年度 0.3ha 荏田町

2023年度 0.1ha 奈良町

・その他

2021年度 3.6ha 青葉鴨志田西地区

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 2地区 恩田東部特別緑地保全地区、奈良町西ノ谷特別緑地保全地区

2020年度 6地区 恩田町特別緑地保全地区、恩田東部特別緑地保全地区、鉄町下ノ谷戸特別緑地保全地区、寺家特別緑地保全地区、寺家町居谷戸特別緑地保全地区、元石川町平崎北特別緑地保全地区

2021年度 1地区 寺家町居谷戸特別緑地保全地区

2023年度 1地区 奈良町西ノ谷特別緑地保全地区

○保全した樹林地の整備 15か所

2019年度 1か所 恩田東部特別緑地保全地区

2020年度 3か所 恩田東部特別緑地保全地区、元石川町平崎特別緑地保全地区、もえぎ野ふれあいの樹林

2021年度 4か所 恩田東部特別緑地保全地区、鉄町富士塚台特別緑地保全地区、寺家町居谷戸特別緑地保全地区、もえぎ野ふれあいの樹林

2022年度 3か所 恩田町特別緑地保全地区、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林

2023年度 4か所 恩田町特別緑地保全地区、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、元石川町平崎特別緑地保全地区

## 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

### ○森の維持管理 38 か所

#### ・維持管理（樹林地）

2019年度	5か所	寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地
2020年度	7か所	鉄町富士塚台特別緑地保全地区、（仮称）恩田市民の森、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地
2021年度	7か所	鉄町富士塚台特別緑地保全地区、（仮称）恩田市民の森、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地
2022年度	7か所	鉄町富士塚台特別緑地保全地区、（仮称）恩田市民の森、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地
2023年度	7か所	鉄町富士塚台特別緑地保全地区、（仮称）恩田市民の森、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地

#### ・維持管理（公園）

2019年度	1か所	奈良山公園
2020年度	1か所	奈良山公園
2021年度	1か所	奈良山公園
2022年度	1か所	鴨志田公園
2023年度	1か所	奈良山公園

## 3 指定した樹林地における維持管理の支援

### ○維持管理の助成 39 件

2019年度	9件	あざみ野四丁目、恩田町、寺家町、すみよし台、たちばな台二丁目、奈良町（3件）、奈良町四丁目
2020年度	12件	あざみ野四丁目、荏田町（4件）、恩田町、鴨志田町、寺家町、奈良四丁目、奈良町（2件）、元石川町
2021年度	3件	あざみ野四丁目、恩田町、鉄町
2022年度	7件	荏田町、荏田北二丁目、恩田町、すみよし台、奈良町（2件）、奈良四丁目
2023年度	8件	あざみ野四丁目、寺家町（3件）、奈良四丁目（2件）、奈良町（2件）

7 森に関する情報発信

○ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等

2019年度	寺家ふるさと村四季の家
2020年度	寺家ふるさと村四季の家
2021年度	寺家ふるさと村四季の家
2022年度	寺家ふるさと村四季の家
2023年度	寺家ふるさと村四季の家

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 39.03ha

2019年度	37.96ha	市ヶ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、下谷本町、田奈町、奈良町
2020年度	38.27ha	市ヶ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、下谷本町、田奈町、奈良町
2021年度	38.49ha	市ヶ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、下谷本町、田奈町、奈良町
2022年度	39.19ha	市ヶ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、下谷本町、田奈町、奈良町
2023年度	39.03ha	市ヶ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、下谷本町、田奈町、奈良町

○水源・水路の確保 4か所

2019年度	2か所	苗万坂水利組合、恩田水利組合
2020年度	1か所	田奈地区水利・耕作組合連絡協議会（杉山耕作組合）
2023年度	1か所	寺家水利組合

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 4件

2019年度	2件	恩田町、奈良町
2022年度	2件	市ヶ尾町、千草台



## 10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

## ・集団農地維持 128.9ha

2019年度	120.6ha	杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、鴨志田町上耕地水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農用地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合
2020年度	121.9ha	杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農用地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合
2021年度	127.9ha	杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農用地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合
2022年度	129.2ha	杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農用地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合、奈良土橋水利組合
2023年度	128.9ha	杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合、奈良土橋水利組合

※過年度報告書から面積を修正しました

## ・農地縁辺部への植栽 5件

2019年度	1件	田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）
2020年度	1件	田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）
2021年度	1件	田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）
2022年度	1件	田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）
2023年度	1件	田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）

5 各区の実績  
青葉区

・土砂流出防止対策 1件

2019年度 1件 保木農用地利用改善組合

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 1.26ha

2019年度 0.08ha 恩田町

2020年度 0.37ha 元石川町（2か所）

2021年度 0.45ha 恩田町、元石川町（2か所）

2022年度 0.22ha 恩田町（2か所）、田奈町

2023年度 0.14ha 恩田町、田奈町

・たい肥化設備等の支援 1件

2023年度 1件 あざみ野南一丁目

**11** 多様な主体による農地の利用促進

○遊休農地の復元支援 0.20ha

2019年度 0.20ha 恩田町

**12** 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 1.96ha

・収穫体験農園

2020年度 0.29ha 鉄町、元石川町

2021年度 0.45ha 市ヶ尾町、鴨志田町、元石川町

2022年度 0.26ha 上谷本町、鉄町、元石川町

2023年度 0.04ha 寺家町

・市民農園

2019年度 0.08ha あかね台一丁目

2020年度 0.29ha 上谷本町、鉄町（2か所）、新石川四丁目（2か所）

2021年度 0.14ha 田奈町、元石川町

2022年度 0.41ha 梅が丘、鉄町、さつきが丘、寺家町、田奈町

**14** 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 4件

・直売所・加工所

2021年度 2件 恩田町（2件）

2022年度 1件 恩田町

2023年度 1件 下谷本町

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 3か所

2021年度 2か所 市ヶ尾第三公園、松風台第三公園

2022年度 1か所 青葉消防署

○緑の維持管理 9か所

2019年度 3か所 青葉区庁舎、青葉消防署、鴨志田消防出張所

2020年度 1か所 青葉区庁舎

2021年度 1か所 青葉区庁舎

2022年度 2か所 青葉区庁舎、青葉消防署

2023年度 2か所 青葉区庁舎、青葉消防署

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○並木の再生

2019年度 1路線 あざみ野中学校通り（整備中）

2020年度 2路線 あざみ野中学校通り（整備中）、たまプラーザ駅周辺（整備中）

2021年度 2路線 あざみ野中学校通り（整備中）、たまプラーザ駅周辺（整備完了）

2022年度 1路線 あざみ野中学校通り（整備完了）

○空き樹の補植

2020年度 高木32本、低木113本

2021年度 高木21本、低木8本

2022年度 高木11本、低木537本

2023年度 高木14本、低木18本

○良好な維持管理

2019年度 美しが丘西第296号線・黒須田第199号線（すすき野）、美しが丘第162号線（山内地区センター通り）ほか 計2,075本

2020年度 黒須田第133号線・寺家第7号線（もみの木台～あざみ野駅）、新横浜元石川線（美しが丘公園～あざみ野駅）ほか 計1,765本

2021年度 美しが丘西第296号線・黒須田第199号線（すすき野）、美しが丘第162号線（山内地区センター通り）ほか 計2,082本

2022年度 黒須田第133号線・寺家第7号線（もみの木台～あざみ野駅）、鴨志田第240号線（藤が丘消防署通り）ほか 計1,928本

2023年度 美しが丘西第296号線・黒須田第199号線・黒須田第238号線（すすき野）、美しが丘第162号線（山内地区センター通り）ほか 計1,749本

## 20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 4件

2019年度	2件	あかね台一丁目、奈良町
2020年度	1件	鉄町
2022年度	1件	荏田西二丁目

## 21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2021年度	2本	鉄町、千草台
2022年度	7本	鉄町、もえぎ野（6本）
2023年度	2本	鉄町（2本）

## 22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 2地区

・新規

2020年度	1地区	すすき野三丁目地区
2021年度	1地区	青葉台地区

・継続

2021年度	1地区	すすき野三丁目地区
2022年度	2地区	青葉台地区、すすき野三丁目地区
2023年度	2地区	青葉台地区、すすき野三丁目地区

## 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	地元NPOと連携した花と緑の風土づくり・普及啓発（フラワーダイアログ）に関するプログラム
2020年度	地元NPOと連携した花と緑の風土づくり・普及啓発（フラワーダイアログ）に関するプログラム
2021年度	地元NPOと連携した花と緑の風土づくり・普及啓発（フラワーダイアログ）に関するプログラム
2022年度	オープンガーデンの開催と花苗配布等支援、公園愛護会のピブス制作と配布
2023年度	あおば花・緑・農めぐりマップの作成・配布、花苗配布等支援、公園愛護会対象の講演会

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗などの配布（みたけ台公園ほか17か所）
2020年度	球根などの配布（青葉台第三公園ほか93か所）
2021年度	球根などの配布（青葉台公園ほか106か所）
2022年度	球根などの配布（青葉台公園ほか98か所）
2023年度	球根などの配布（青葉台公園ほか101か所）

## 24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 4,177 本

2019 年度 845 本

2020 年度 888 本

2021 年度 937 本

2022 年度 894 本

2023 年度 613 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

## 25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 23 か所

2019 年度 4 か所 荇田保育園、青葉台小学校、あざみ野第一小学校、黒須田小学校

2020 年度 5 か所 荇田北保育園、青葉台小学校、市ケ尾小学校、奈良の丘小学校、あかね台中学校

2021 年度 7 か所 荇田北保育園、すすき野保育園、青葉台小学校、あざみ野第一小学校、市ケ尾小学校、青葉台中学校、あかね台中学校

2022 年度 3 か所 荇田北保育園、美しが丘西小学校、鉄小学校

2023 年度 4 か所 美しが丘保育園、奈良の丘小学校、山内小学校、谷本小学校

○緑の維持管理 27 か所

2019 年度 6 か所 美しが丘保育園、荇田保育園、奈良保育園、鉄小学校、つつしが丘小学校、鴨志田中学校

2020 年度 4 か所 荇田保育園、鉄小学校、つつしが丘小学校、鴨志田中学校

2021 年度 5 か所 美しが丘保育園、荇田保育園、奈良保育園、鉄小学校、鴨志田中学校

2022 年度 6 か所 美しが丘保育園、荇田保育園、荇田北保育園、すすき野保育園、奈良保育園、鴨志田中学校

2023 年度 6 か所 美しが丘保育園、荇田北幼保連携型認定こども園、すすき野保育園、奈良保育園、市ケ尾小学校、鴨志田中学校

5 各区の実績  
青葉区



1 緑地保全制度による新規指定  
源流の森保存地区（奈良町）



1 保全した樹林地の整備  
（元石川町平崎特別緑地保全地区）



8 水田の保全  
（市ケ尾町）



12 収穫体験農園の開設  
（寺家町）



23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり  
（美しが丘西滝の沢公園）

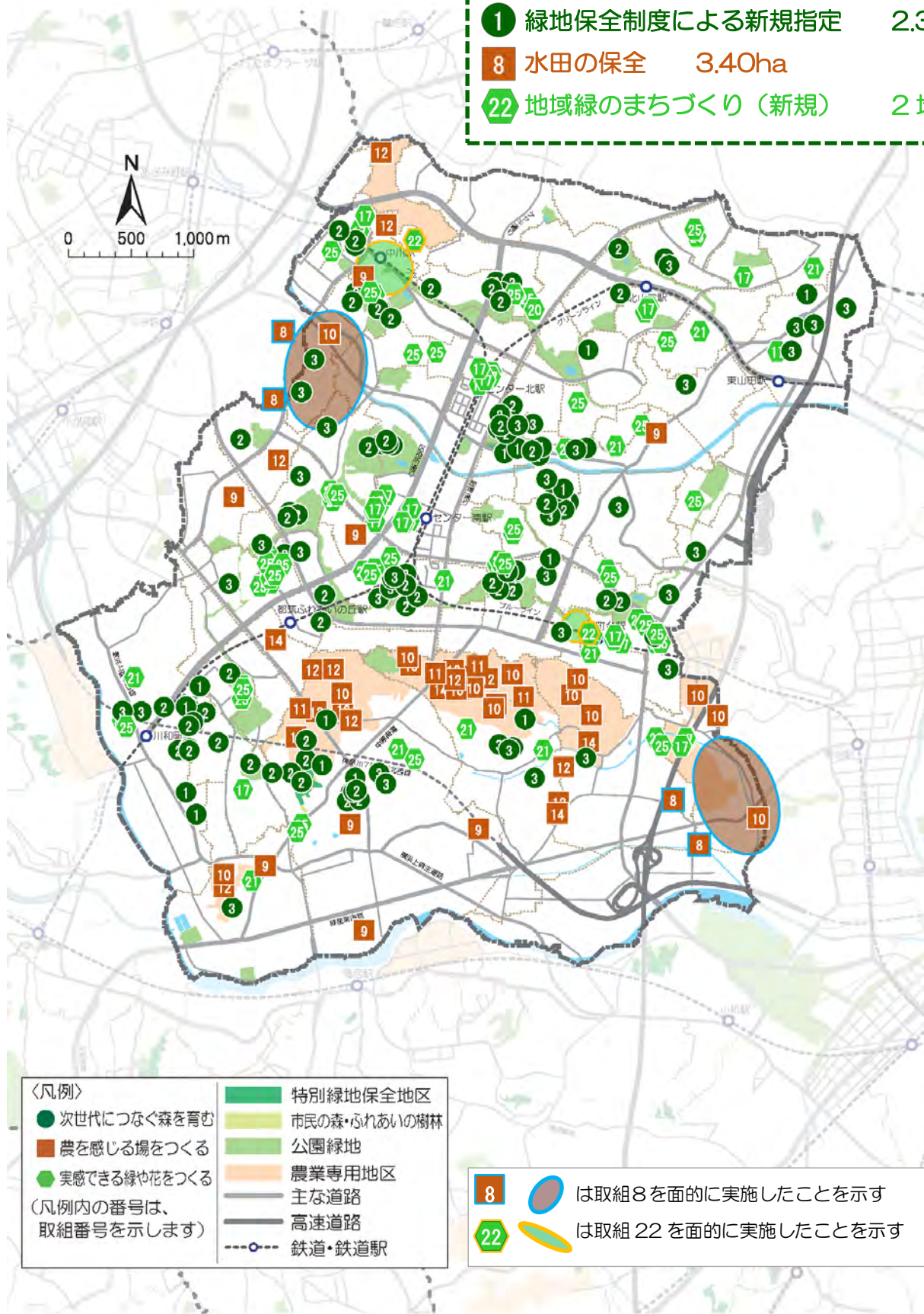


25 保育園での緑の創出・育成  
（区内保育園）

# 都筑区

## 主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 2.3ha
- ⑧ 水田の保全 3.40ha
- ②② 地域緑のまちづくり（新規） 2 地区



## 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

### 1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

#### ○緑地保全制度による新規指定 2.3ha

##### ・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 0.4ha 大棚町特別緑地保全地区（指定拡大）

##### ・緑地保存地区

2020年度 0.1ha 川和町

2021年度 0.1ha 南山田二丁目

2022年度 0.6ha 川和町、茅ヶ崎南一丁目

##### ・源流の森保存地区

2019年度 0.2ha 東方町（2件）

2020年度 0.4ha 東山田町

2022年度 0.2ha 大棚町

2023年度 0.3ha 茅ヶ崎東五丁目

#### ○市による買取り

##### ・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020年度 2地区 池辺町滝ヶ谷戸特別緑地保全地区、大棚町特別緑地保全地区

2021年度 3地区 池辺町八所谷戸特別緑地保全地区、大棚町特別緑地保全地区、川和特別緑地保全地区

#### ○保全した樹林地の整備 4か所

2020年度 2か所 大棚町特別緑地保全地区、池辺市民の森

2022年度 2か所 川和市民の森、大棚町緑地



## 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

## ○森の維持管理 70 箇所

## ・保安全管理計画の策定（公園）

2019 年度 1 箇所 牛久保公園

2021 年度 1 箇所 烏山公園

## ・維持管理（樹林地）

2019 年度 5 箇所 池辺町八所谷戸特別緑地保全地区、池辺市民の森、川和市民の森、川和緑地、茅ヶ崎緑地

2020 年度 5 箇所 池辺町八所谷戸特別緑地保全地区、池辺市民の森、川和市民の森、川和緑地、茅ヶ崎緑地

2021 年度 5 箇所 池辺町八所谷戸特別緑地保全地区、池辺市民の森、川和市民の森、川和緑地、茅ヶ崎緑地

2022 年度 6 箇所 池辺町八所谷戸特別緑地保全地区、大棚町特別緑地保全地区、池辺市民の森、川和市民の森、川和緑地、茅ヶ崎緑地

2023 年度 6 箇所 池辺町八所谷戸特別緑地保全地区、大棚町特別緑地保全地区、池辺市民の森、川和市民の森、川和緑地、茅ヶ崎緑地

## ・維持管理（公園）

2019 年度 6 箇所 大塚・歳勝土遺跡公園、鴨池公園、葛ヶ谷公園、茅ヶ崎公園、都筑中央公園、山崎公園

2020 年度 8 箇所 牛久保公園、大塚・歳勝土遺跡公園、大原みねみち公園、鴨池公園、せせらぎ公園、月出松公園、都筑中央公園、山崎公園

2021 年度 7 箇所 牛久保公園、大塚・歳勝土遺跡公園、茅ヶ崎公園、都筑中央公園、山崎公園、くさぶえのみち、ふじやとのみち

2022 年度 9 箇所 牛久保公園、大塚・歳勝土遺跡公園、大原みねみち公園、鴨池公園、烏山公園、茅ヶ崎公園、都筑中央公園、山崎公園、山田富士公園

2023 年度 11 箇所 牛久保公園、大塚・歳勝土遺跡公園、大原みねみち公園、折田不動公園、鴨池公園、烏山公園、葛ヶ谷公園、茅ヶ崎公園、都筑中央公園、山崎公園、ゆうばえのみち

5 各区の実績  
都筑区

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 52件

2019年度	8件	池辺町、佐江戸町（2件）、茅ヶ崎南一丁目、茅ヶ崎南四丁目、東方町、東山田町、南山田町
2020年度	15件	荏田東四丁目、荏田南町、荏田南一丁目（2件）、大棚西、大丸（2件）、川和町、北山田七丁目、新栄町、茅ヶ崎南四丁目（2件）、仲町台三丁目、東方町、東山田町
2021年度	7件	池辺町、荏田東二丁目、荏田東三丁目、折本町（2件）、茅ヶ崎南四丁目、東方町
2022年度	6件	勝田町、茅ヶ崎東一丁目、茅ヶ崎南一丁目、茅ヶ崎南四丁目、東方町、東山田町
2023年度	16件	荏田南町、荏田南一丁目（2件）、大棚町、大棚西、川和町（2件）、北山田七丁目、茅ヶ崎東五丁目、茅ヶ崎南一丁目、茅ヶ崎南四丁目（2件）、仲町台三丁目、仲町台五丁目、早淵二丁目、東山田町

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 3.40ha

2019年度	3.44ha	荏田東町、荏田南町、大熊町、中川四丁目
2020年度	3.44ha	荏田東町、荏田南町、大熊町、中川四丁目
2021年度	3.31ha	荏田東町、荏田南町、大熊町、中川四丁目
2022年度	3.39ha	荏田南町、大熊町、中川四丁目
2023年度	3.40ha	荏田東町、荏田南町、大熊町、中川四丁目

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 8件

2019年度	1件	池辺町
2020年度	1件	佐江戸町
2021年度	1件	池辺町
2022年度	3件	池辺町、中川四丁目、荏田南二丁目
2023年度	2件	荏田南一丁目、大棚町

## 10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

## ・集団農地維持 108.1ha

2019年度 106.1ha 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）、大熊下水利組合、荏田中川水利組合、佐江戸宮原農用地利用改善組合、横浜市都筑区東方西部土地改良区、折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区、横浜市都筑区都田第一土地改良区、折本農業専用地区観音山協議会

2020年度 105.8ha 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）、大熊下水利組合、荏田中川水利組合、佐江戸宮原農用地利用改善組合、横浜市都筑区東方西部土地改良区、折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区、横浜市都筑区都田第一土地改良区、折本農業専用地区観音山協議会

2021年度 106.5ha 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）、大熊下水利組合、荏田中川水利組合、佐江戸宮原農用地利用改善組合、横浜市都筑区東方西部土地改良区、折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区、横浜市都筑区都田第一土地改良区、折本農業専用地区観音山協議会

2022年度 106.3ha 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）、大熊下水利組合、荏田中川水利組合、佐江戸宮原農用地利用改善組合、横浜市都筑区東方西部土地改良区、折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区、横浜市都筑区都田第一土地改良区、折本農業専用地区観音山協議会

2023年度 108.1ha 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）、大熊下水利組合、荏田中川水利組合、佐江戸宮原農用地利用改善組合、横浜市都筑区東方西部土地改良区、折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区、横浜市都筑区都田第一土地改良区、折本農業専用地区観音山協議会

## ・農地縁辺部への植栽 14件

2019年度 3件 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）、折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区

2020年度 3件 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）、折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区

2021年度 2件 折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区

2022年度 2件 折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区

2023年度 4件 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）、折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区、折本農業専用地区観音山協議会

5 各区の実績  
都筑区

・井戸の改修 4地区

2019年度 1地区 横浜市都筑区東方北部土地改良区

2020年度 2地区 横浜市都筑区東方西部土地改良区、横浜市都筑区東方北部土地改良区

2023年度 1地区 折本農業専用地区観音山協議会

・土砂流出防止対策 9件

2019年度 2件 横浜市都筑区東方西部土地改良区、折本農業専用地区観音山協議会

2020年度 2件 佐江戸宮原農用地利用改善組合、横浜市都筑区東方西部土地改良区

2021年度 2件 折本農業専用地区観音山協議会、横浜市都筑区東方西部土地改良区

2022年度 2件 折本農業専用地区観音山協議会、横浜市都筑区都田第一土地改良区

2023年度 1件 横浜市都筑区東方西部土地改良区

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 4.44ha

2019年度 0.37ha 池辺町、大熊町、佐江戸町（2か所）

2020年度 1.13ha 池辺町（4か所）、折本町（5か所）、東方町（3か所）

2021年度 0.65ha 池辺町（2か所）、折本町（3か所）

2022年度 1.18ha 池辺町（3か所）、大熊町、折本町（5か所）、東方町（2か所）

2023年度 1.10ha 大熊町、折本町（6か所）、東方町（4か所）

・たい肥化設備等の支援 1件

2019年度 1件 東方町

**11** 多様な主体による農地の利用促進

○遊休農地の復元支援 0.61ha

2020年度 0.28ha 池辺町

2021年度 0.14ha 東方町

2022年度 0.05ha 東方町

2023年度 0.14ha 東方町

**12** 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 2.00ha

・収穫体験農園

2019年度 0.42ha 池辺町（3か所）、折本町、東方町

2020年度 0.87ha 池辺町、折本町、東方町

2021年度 0.25ha 池辺町（2か所）、東方町

2022年度 0.08ha 東方町

2023年度 0.09ha 東方町

・市民農園

2020年度	0.07ha	牛久保町
2021年度	0.04ha	荏田南町
2022年度	0.13ha	池辺町、佐江戸町
2023年度	0.05ha	牛久保町

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 5件

・直売所・加工所

2019年度	1件	折本町
2021年度	3件	高山(2件)、東方町
2023年度	1件	折本町

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 7か所

2019年度	1か所	センター北広場
2020年度	2か所	東山田地域ケアプラザ、東山田中学校コミュニティハウス
2022年度	3か所	仲町台地区センター、北山田地区センター、加賀原地域ケアプラザ
2023年度	1か所	つつきの丘小学校コミュニティハウス

○緑の維持管理 24か所

2019年度	6か所	都筑区庁舎、センター南広場、北山田地区センター、中川西地区センター、仲町台地区センター、大熊スポーツ会館
2020年度	7か所	都筑区庁舎、センター北広場、センター南広場、北山田地区センター、中川西地区センター、仲町台地区センター、大熊スポーツ会館
2021年度	5か所	都筑区庁舎、センター北広場、センター南広場、北山田地区センター、大熊スポーツ会館
2022年度	3か所	都筑区庁舎、センター北広場、センター南広場
2023年度	3か所	都筑区庁舎、センター北広場、センター南広場

5 各区の実績  
都筑区

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○空き樹の補植

2023年度	高木8本
--------	------

○良好な維持管理

2019年度	佐江戸北山田線（歴博通り）、新横浜元石川線ほか 計2,962本
--------	---------------------------------

2020年度	佐江戸北山田線（歴博通り）、中山北山田線ほか 計2,397本
--------	--------------------------------

2021年度	横浜上麻生線、佐江戸北山田線（歴博通り）ほか 計2,246本
--------	--------------------------------

2022年度	新横浜元石川線、中山北山田線ほか 計2,003本
--------	--------------------------

2023年度	佐江戸北山田線（歴博通り）、新羽荏田線（新栄町～荏田南）ほか 計1,627本
--------	--

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 1件

2022年度	1件	北山田四丁目
--------	----	--------

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・新規指定

2019年度	9本	南山田町（9本）
--------	----	----------

2021年度	1本	大棚町
--------	----	-----

・維持管理の助成

2019年度	6本	佐江戸町（6本）
--------	----	----------

2020年度	11本	池辺町（4本）、大棚町（2本）、茅ヶ崎南三丁目、仲町台四丁目、東方町（3本）
--------	-----	--

2021年度	3本	大棚町（2本）、東山田四丁目
--------	----	----------------

2022年度	3本	大棚町（2本）、川和町
--------	----	-------------

2023年度	3本	東方町（3本）
--------	----	---------

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 2地区

・新規

2021年度	1地区	中川西地区
--------	-----	-------

2022年度	1地区	仲町台駅前地区
--------	-----	---------

・継続

2022年度	1地区	中川西地区
--------	-----	-------

2023年度	2地区	中川西地区、仲町台駅前地区
--------	-----	---------------

## 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

### ○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	区内市立保育園におけるプランターの維持管理（中川西保育園ほか）、花と緑に関するウォーキングイベント、センター南すきっぷ広場・センター北駅前広場の花壇整備、江川せせらぎ緑道における花壇の植栽
2020年度	区内市立保育園におけるプランターの維持管理、花と緑に関するウォーキングイベント、区庁舎・センター南すきっぷ広場・センター北駅前広場の花壇整備、江川せせらぎ緑道における花壇の植栽
2021年度	区内市立保育園におけるプランターの維持管理、花と緑に関するウォーキングイベント、区役所・センター南すきっぷ広場・センター北駅前広場の花壇整備、江川せせらぎ緑道における花壇の植栽、早渕川・老馬谷ガーデンへの散水設備の設置
2022年度	区内市立保育園におけるプランターの維持管理、花と緑に関するウォーキングイベント、江川せせらぎ緑道における花壇の植栽
2023年度	区内市立保育園におけるプランターの維持管理、花と緑に関するウォーキングイベント、江川せせらぎ緑道における花壇の植栽

### ○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗などの配布（吾妻山公園ほか 12 か所）
2020年度	球根などの配布（吾妻山公園ほか 56 か所）
2021年度	球根などの配布（吾妻山公園ほか 41 か所）
2022年度	球根などの配布（吾妻山公園ほか 55 か所）
2023年度	球根などの配布（あゆみが丘公園ほか 60 か所）

## 24 人生記念樹の配布

### ○人生記念樹の配布 2,454 本

2019年度	469 本
2020年度	441 本
2021年度	590 本
2022年度	527 本
2023年度	427 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 32 箇所

2019 年度	5 箇所	茅ヶ崎南保育園、都田幼稚園、川和東小学校、茅ヶ崎東小学校、中川中学校
2020 年度	3 箇所	大熊保育園、茅ヶ崎東小学校、都筑小学校
2021 年度	12 箇所	シープ保育所、みどり保育園、荏田南小学校、折本小学校、川和小学校、北山田小学校、茅ヶ崎小学校、都筑小学校、つづきの丘小学校、都田西小学校、中川西小学校、山田小学校
2022 年度	5 箇所	荏田南小学校、茅ヶ崎小学校、つづきの丘小学校、中川小学校、東山田小学校
2023 年度	7 箇所	川和小学校、川和東小学校、茅ヶ崎小学校、都田西小学校、つづきの丘小学校、東山田小学校、早淵中学校

○緑の維持管理 23 箇所

2019 年度	4 箇所	大熊保育園、茅ヶ崎南保育園、中川西保育園、みどり保育園
2020 年度	3 箇所	大熊保育園、茅ヶ崎南保育園、みどり保育園
2021 年度	3 箇所	大熊保育園、茅ヶ崎南保育園、みどり保育園
2022 年度	10 箇所	大熊保育園、シープ保育所、茅ヶ崎南保育園、みどり保育園、折本小学校、川和小学校、北山田小学校、都田西小学校、中川西小学校、荏田南中学校
2023 年度	3 箇所	大熊保育園、茅ヶ崎南保育園、みどり保育園





**1** 緑地保全制度による新規指定  
源流の森保存地区（茅ヶ崎東五丁目）



**2** 森の維持管理  
（ゆうばえのみち）



**10** 周辺環境に配慮した活動への支援  
牧草等による環境対策（折本町）



**11** 遊休農地の復元支援  
（東方町）



**17** 公共施設・公有地での緑の創出・育成  
（つづきの丘小学校コミュニティハウス）



**22** 地域緑のまちづくり  
（中川西地区）

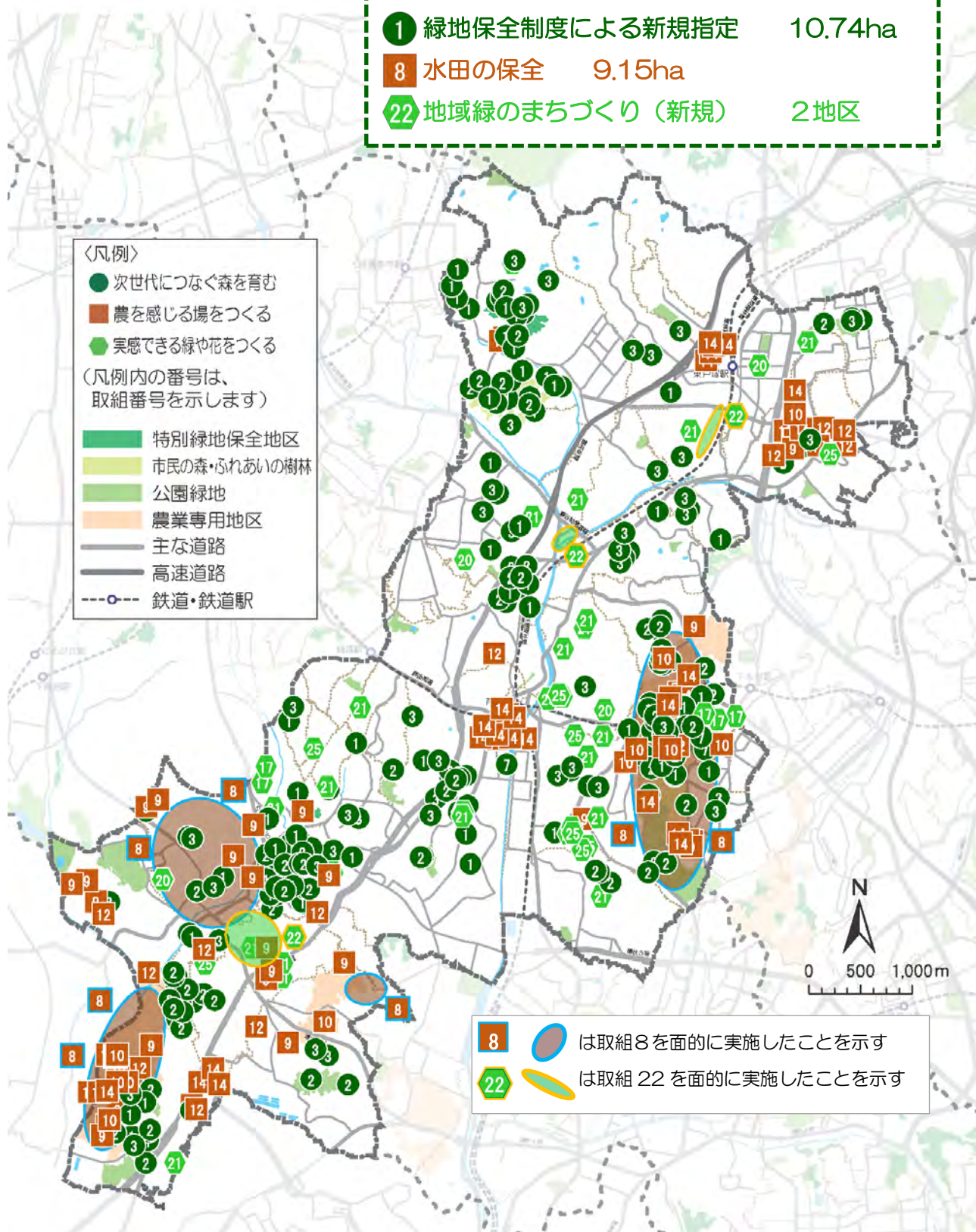
5 各区の実績  
都筑区



# 戸塚区

## 主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 10.74ha
- ⑧ 水田の保全 9.15ha
- ②② 地域緑のまちづくり（新規） 2地区



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 10.74ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2021年度 0.1ha 下永谷特別緑地保全地区（指定拡大）（※上柏尾町）

2022年度 2.0ha 名瀬町緑園特別緑地保全地区

2023年度 1.3ha 名瀬北特別緑地保全地区（指定拡大）

・市民の森等

2021年度 0.1ha 名瀬・上矢部市民の森（指定拡大）、舞岡ふるさとの森（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.4ha 上倉田町、上矢部町（3件）、汲沢五丁目、深谷町

2020年度 1.4ha 上倉田町、川上町、汲沢六丁目、戸塚町、深谷町

2021年度 0.2ha 戸塚町

2022年度 0.3ha 上矢部町

2023年度 0.6ha 柏尾町、戸塚町

・源流の森保存地区

2019年度 0.6ha 深谷町、東俣野町

2020年度 0.8ha 名瀬町、舞岡町

2021年度 1.3ha 汲沢町、名瀬町、東俣野町

2022年度 1.2ha 影取町、汲沢町、深谷町

2023年度 0.3ha 名瀬町、東俣野町

・その他

2020年度 0.01ha 汲沢四丁目

2021年度 0.03ha 舞岡ふるさとの森

2023年度 0.1ha 深谷市民の森、舞岡町

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 1地区 名瀬・上矢部特別緑地保全地区

2020年度 1地区 汲沢四丁目特別緑地保全地区

2023年度 1地区 名瀬町緑園特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 2地区 まさかりが淵市民の森、深谷市民の森

2020年度 2地区 深谷市民の森、舞岡ふるさとの森

2022年度 2地区 まさかりが淵市民の森、上矢部ふれあいの樹林

○保全した樹林地の整備		52 か所
2019年度	8か所	(仮称)名瀬・上矢部市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森(3か所)、上矢部ふれあいの樹林、東俣野町緑地
2020年度	5か所	東俣野特別緑地保全地区、(仮称)名瀬・上矢部市民の森、まさかりが淵市民の森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林
2021年度	13か所	名瀬・上矢部特別緑地保全地区、名瀬北特別緑地保全地区、東俣野町特別緑地保全地区、(仮称)名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森(2か所)、まさかりが淵市民の森(2か所)、舞岡ふるさとの森(3か所)、ウイトリッヒの森、上矢部ふれあいの樹林
2022年度	15か所	名瀬・上矢部特別緑地保全地区、名瀬北特別緑地保全地区、名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森(2か所)、まさかりが淵市民の森(2か所)、舞岡ふるさとの森(5か所)、ウイトリッヒの森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地
2023年度	11か所	名瀬北特別緑地保全地区、舞岡ふるさとの森(5か所)、名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、名瀬・上矢部特別緑地保全地区

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 76 箇所

・保全管理計画の策定（樹林地）

2019 年度 1 箇所 舞岡ふるさとの森

2020 年度 1 箇所 上矢部ふれあいの樹林

・保全管理計画の策定（公園）

2019 年度 1 箇所 小雀公園

2020 年度 1 箇所 舞岡公園

・維持管理（樹林地）

2019 年度 11 箇所 （仮称）名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地、名瀬北緑地、舞岡緑地、舞岡町緑地、俣野緑地

2020 年度 13 箇所 （仮称）名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林、下倉田緑地、富塚八幡緑地、名瀬北緑地、東俣野町緑地、舞岡緑地、舞岡町緑地、俣野緑地

2021 年度 11 箇所 名瀬北特別緑地保全地区、舞岡特別緑地保全地区、俣野特別緑地保全地区、（仮称）名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地、舞岡町緑地

2022 年度 13 箇所 下倉田町特別緑地保全地区、名瀬北特別緑地保全地区、東俣野町特別緑地保全地区、舞岡特別緑地保全地区、俣野特別緑地保全地区、名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地、舞岡町緑地

2023 年度 13 箇所 下倉田特別緑地保全地区、名瀬北特別緑地保全地区、東俣野町特別緑地保全地区、舞岡特別緑地保全地区、俣野特別緑地保全地区、名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地、舞岡町緑地

・維持管理（公園）

2019 年度 2 箇所 舞岡公園、舞岡下谷公園

2020 年度 3 箇所 小雀公園、舞岡下谷公園、宮谷西公園

2021 年度 1 箇所 舞岡下谷公園

2022 年度 2 箇所 戸塚公園、舞岡下谷公園

2023 年度 3 箇所 三王山公園、戸塚公園、舞岡公園

### 3 指定した樹林地における維持管理の支援

#### ○維持管理の助成 94 件

2019 年度	15 件	柏尾町、上倉田町（3件）、上矢部町、汲沢町、戸塚町（5件）、平戸三丁目、平戸町、深谷町、南舞岡四丁目
2020 年度	24 件	柏尾町（2件）、上倉田町、上柏尾町、上矢部町（2件）、川上町、汲沢町、小雀町、平戸町、名瀬町（3件）、深谷町、舞岡町（2件）、前田町、南舞岡四丁目、俣野町、戸塚町（5件）
2021 年度	17 件	秋葉町、柏尾町（2件）、上柏尾町、上矢部町（2件）、川上町、汲沢町、戸塚町（5件）、名瀬町、平戸三丁目、舞岡町、吉田町
2022 年度	16 件	柏尾町、上柏尾町、上倉田町（3件）、汲沢町（2件）、汲沢六丁目、戸塚町（4件）、東俣野町（2件）、平戸三丁目、深谷町
2023 年度	22 件	柏尾町、上倉田町、上矢部町（3件）、川上町（2件）、汲沢町、小雀町、戸塚町（4件）、名瀬町、東俣野町、平戸町、深谷町（3件）、舞岡町（3件）

### 7 森に関する情報発信

#### ○ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等

2019 年度	舞岡ふるさと村虹の家
2020 年度	舞岡ふるさと村虹の家
2021 年度	舞岡ふるさと村虹の家
2022 年度	舞岡ふるさと村虹の家
2023 年度	舞岡ふるさと村虹の家

## 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

### 8 水田の保全

#### ○水田保全面積 9.15ha

2019 年度	9.19ha	小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町、吉田町
2020 年度	9.36ha	小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町、吉田町
2021 年度	9.15ha	小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町、吉田町
2022 年度	9.15ha	小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町、吉田町
2023 年度	9.15ha	小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町、吉田町

#### ○水源・水路の確保 2 か所

2022 年度	1 か所	東俣野水利組合
2023 年度	1 か所	東俣野水利組合

**9** 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 25 件

2019 年度	1 件	上倉田町
2020 年度	1 件	原宿二丁目
2021 年度	2 件	汲沢四丁目、小雀町
2022 年度	8 件	平戸町、東俣野町（2 件）、深谷町（2 件）、舞岡町、俣野町（2 件）
2023 年度	13 件	汲沢町、小雀町、原宿二丁目、原宿三丁目、東俣野町、深谷町（5 件）、舞岡町、俣野町（2 件）

**10** 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 64.5ha

2019 年度	46.4ha	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合
2020 年度	46.0ha	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合
2021 年度	64.7ha	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合、東俣野中部かん水組合、東俣野南部かん水組合
2022 年度	64.6ha	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合、東俣野中部かん水組合、東俣野南部かん水組合
2023 年度	64.5ha	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合、東俣野中部かん水組合、東俣野南部かん水組合

・農地縁辺部への植栽 21 件

2019 年度	3 件	平戸農業専用地区協議会、横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、舞岡ふるさと村推進協議会
2020 年度	3 件	平戸農業専用地区協議会、横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、舞岡ふるさと村推進協議会
2021 年度	5 件	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、東俣野中部かん水組合、東俣野南部かん水組合、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合
2022 年度	5 件	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、平戸農業専用地区協議会、東俣野中部かん水組合、東俣野南部かん水組合、横浜市舞岡農業専用地区協議会
2023 年度	5 件	横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野中部かん水組合、東俣野南部かん水組合、平戸農業専用地区協議会



・井戸の改修 6 地区

2020 年度 1 地区 横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会

2021 年度 2 地区 東俣野中部かん水組合、東俣野農業専用地区協議会

2022 年度 2 地区 東俣野南部かん水組合、横浜市舞岡農業専用地区協議会

2023 年度 1 地区 横浜市舞岡農業専用地区協議会

・土砂流出防止対策 1 件

2020 年度 1 件 横浜市戸塚区舞岡土地改良区

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 2.01ha

2019 年度 0.30ha 影取町

2020 年度 0.25ha 影取町（2か所）

2021 年度 0.30ha 影取町（2か所）

2022 年度 0.50ha 影取町（2か所）、小雀町（3か所）、

2023 年度 0.66ha 影取町（2か所）、小雀町（2か所）

・たい肥化設備等の支援 1 件

2021 年度 1 件 東俣野町

## 12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 5.32ha

・収穫体験農園

2019 年度 0.15ha 東俣野町

2020 年度 0.28ha 平戸町、舞岡町

2021 年度 2.28ha 影取町、平戸町、舞岡町、俣野町

2022 年度 2.26ha 汲沢町、東俣野町、平戸町（5か所）、俣野町

2023 年度 0.11ha 影取町、小雀町

・市民農園

2022 年度 0.19ha 舞岡町、矢部町

2023 年度 0.05ha 俣野町

## 14 産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 35 件

・直売所・加工所

2020 年度 3 件 平戸町、舞岡町、名瀬町

2021 年度 3 件 影取町、舞岡町（2件）

2022 年度 5 件 影取町（2件）、東俣野町、平戸町、舞岡町

2023 年度 4 件 戸塚町（2件）、東俣野町、舞岡町

5 各区の実績  
戸塚区

・青空市・マルシェ等

2019年度	4件	JA横浜戸塚野菜直売所、戸塚区地産地消PR・直売コーナー、東戸塚市民朝市、舞岡ふるさと村・JA横浜ハマッ子直売所「舞岡や」
2020年度	4件	JA横浜戸塚野菜直売所、戸塚区地産地消PR・直売コーナー、東戸塚市民朝市、舞岡ふるさと村・JA横浜ハマッ子直売所「舞岡や」
2021年度	4件	JA横浜戸塚野菜直売所、戸塚区地産地消PR・直売コーナー、東戸塚市民朝市、舞岡ふるさと村・JA横浜ハマッ子直売所「舞岡や」
2022年度	4件	JA横浜戸塚野菜直売所、戸塚区地産地消PR・直売コーナー、東戸塚市民朝市、舞岡ふるさと村・JA横浜ハマッ子直売所「舞岡や」
2023年度	4件	JA横浜戸塚野菜直売所、戸塚区地産地消PR・直売コーナー、東戸塚市民朝市、舞岡ふるさと村・JA横浜ハマッ子直売所「舞岡や」

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の維持管理 8か所

2019年度	3か所	宇田川、下水道用地（名瀬町鷹の台地区）、舞岡ふるさと村虹の家
2020年度	2か所	宇田川、舞岡ふるさと村虹の家
2021年度	1か所	舞岡ふるさと村虹の家
2022年度	2か所	宇田川、舞岡ふるさと村虹の家

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○良好な維持管理

2019年度	桜木東戸塚線、国道1号（戸塚宿）ほか	計505本
2020年度	環状2号線（平戸町）、東戸塚西線	計530本
2021年度	俣野第314号線（ドリームハイツ）、国道1号線（戸塚宿）ほか	計319本
2022年度	俣野第314号線（ドリームハイツ）、東戸塚西線ほか	計348本
2023年度	環状2号線（平戸町～品濃町）、桜木東戸塚線ほか	計378本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 6件

2019年度	1件	上矢部町
2020年度	5件	品濃町、深谷町（3件）、吉田町

## 21 名木古木の保存

### ○名木古木の保存

#### ・新規指定

2019年度	1本	吉田町
2020年度	6本	上倉田町(2本)、上矢部町(4本)
2021年度	1本	戸塚町
2023年度	1本	汲沢町

#### ・維持管理の助成

2019年度	6本	影取町、汲沢町、品濃町、下倉田町、原宿二丁目、吉田町
2020年度	9本	下倉田町(2本)、原宿二丁目(6本)、吉田町
2021年度	7本	上倉田町(2本)、名瀬町、平戸町、前田町(3本)
2022年度	4本	汲沢町(2本)、戸塚町、原宿二丁目
2023年度	1本	吉田町

## 22 地域緑のまちづくり

### ○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 2地区

#### ・新規

2021年度	1地区	深谷町東山地区
2022年度	1地区	柏尾町地区

#### ・継続

2019年度	1地区	前田町桜の丘地区
2022年度	1地区	深谷町東山地区
2023年度	2地区	深谷町東山地区、柏尾町地区

## 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

### ○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	戸塚駅西口橋上デッキの植栽更新、地域団体への花苗等の支援
2020年度	阿久和川周辺における土壌整備・シバザクラ植栽、区内鉄道駅における花植えや植栽の維持管理
2021年度	区内鉄道駅における花植えや植栽の維持管理
2022年度	区内鉄道駅等における花植え等を行う団体への支援、柏尾川遊歩道沿いの花壇整備、名瀬川、阿久和川のシバザクラ再整備とハツユキカズラの植栽
2023年度	区内鉄道駅等における花植え等を行う団体への支援、柏尾川遊歩道沿いの花壇整備

### ○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗などの配布(平戸第二公園ほか9か所)
2020年度	球根などの配布(舞岡川遊水地公園ほか129か所)
2021年度	球根などの配布(秋葉台公園ほか141か所)
2022年度	球根などの配布(舞岡川遊水地公園ほか120か所)
2023年度	花壇講習会(弘法池公園)、球根などの配布(汲沢町公園ほか128か所)

5 各区の実績  
戸塚区

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 2,900 本

2019 年度 595 本

2020 年度 524 本

2021 年度 637 本

2022 年度 548 本

2023 年度 596 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 4 箇所

2019 年度 2 箇所 YMCA とつか保育園、原宿保育園

2020 年度 1 箇所 倉田小学校

2023 年度 1 箇所 倉田小学校

○緑の維持管理 11 箇所

2019 年度 2 箇所 倉田小学校、東戸塚小学校

2020 年度 3 箇所 倉田小学校、東戸塚小学校、汲沢中学校

2021 年度 2 箇所 倉田小学校、東戸塚小学校

2022 年度 3 箇所 倉田小学校、東戸塚小学校、平戸台小学校

2023 年度 1 箇所 東戸塚小学校



1 緑地保全制度による新規指定  
(名瀬北特別緑地保全地区)



3 樹林地の維持管理の助成  
(深谷町)



8 水田の保全  
(東俣野町)



12 収穫体験農園の開設  
(影取町)



23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり  
(弘法池公園)



25 小学校での緑の創出・育成  
(区内小学校)

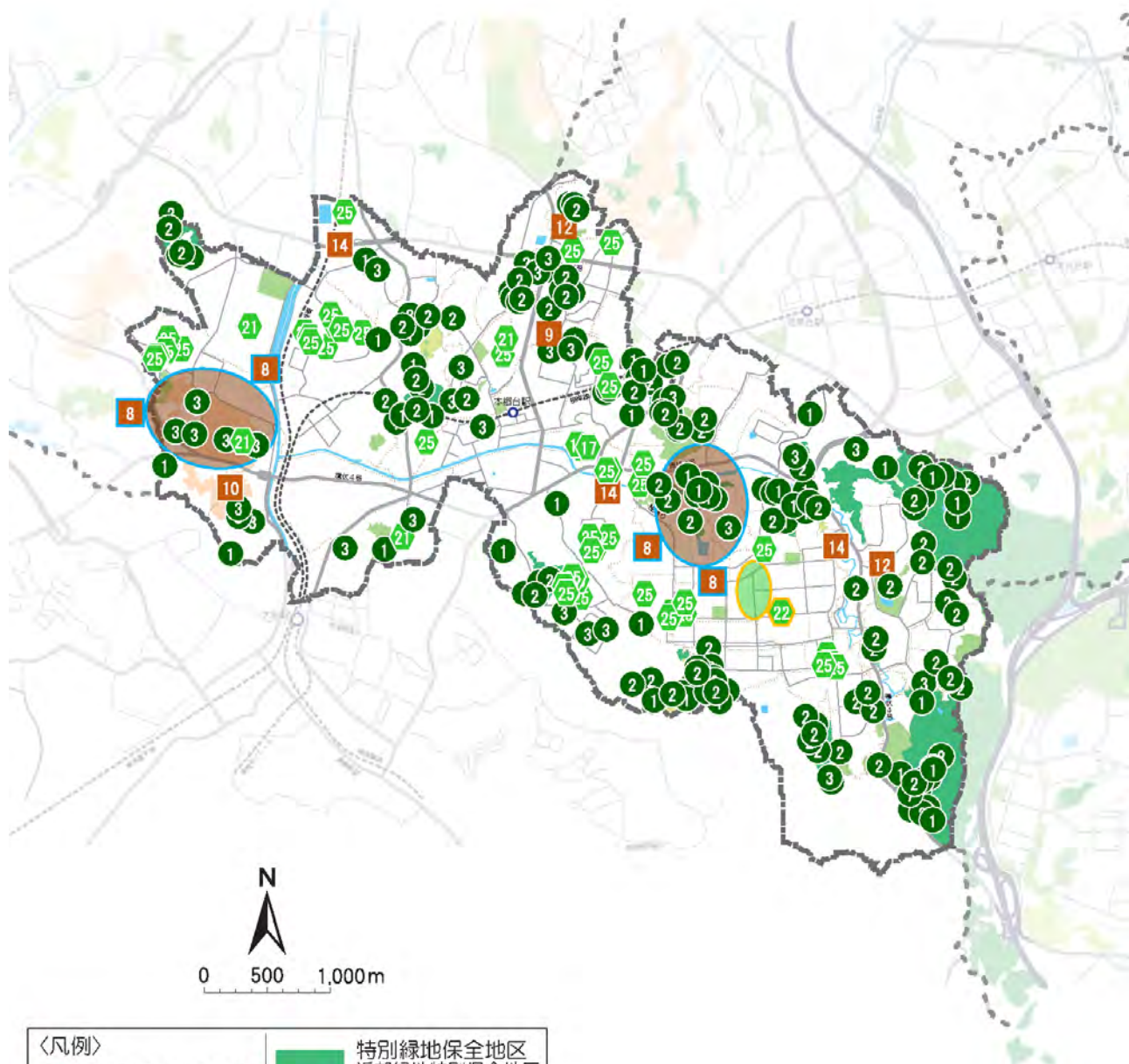
5 各区の実績  
戸塚区



# 栄区

## 主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 10.77ha
- ⑧ 水田の保全 2.95ha
- ②⑤ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 8か所



<p>〈凡例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 次世代につなぐ森を育む</li> <li>■ 農を感じる場をつくる</li> <li>● 臭感できる緑や花をつくる</li> </ul> <p>(凡例内の番号は、 取組番号を示します)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 特別緑地保全地区</li> <li>■ 近郊緑地特別保全地区</li> <li>■ 市民の森・ふれあいの樹林</li> <li>■ 公園緑地</li> <li>■ 農業専用地区</li> <li>— 主な道路</li> <li>---○--- 鉄道・鉄道駅</li> </ul>
---	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8</li> <li>● 22</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>は取組8を面的に実施したことを示す</li> <li>は取組22を面的に実施したことを示す</li> </ul>
---	---

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 10.77ha

・市民の森等

2020年度 0.05ha 鍛冶ヶ谷市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.7ha 上郷町、小菅ヶ谷三丁目

2020年度 0.6ha 飯島町、笠間五丁目、鍛冶ヶ谷二丁目、公田町

2023年度 0.1ha 長沼町

・源流の森保存地区

2019年度 6.3ha 公田町

2020年度 3.0ha 庄戸五丁目、田谷町、長尾台町

・その他

2021年度 0.02ha 飯島町

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 3地区 上郷・尾月特別緑地保全地区、上郷町瀬上特別緑地保全地区、上郷・中野特別緑地保全地区

2022年度 1地区 円海山近郊緑地特別保全地区

・市民の森等

2020年度 1地区 鍛冶ヶ谷市民の森

2022年度 1地区 鍛冶ヶ谷市民の森事業用地

○保全した樹林地の整備 35か所

2019年度 5か所 飯島町特別緑地保全地区、荒井沢市民の森、飯島市民の森（2か所）、上郷市民の森

2020年度 6か所 飯島町特別緑地保全地区、荒井沢市民の森（2か所）、鍛冶ヶ谷市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森

2021年度 10か所 飯島特別緑地保全地区、上郷・中野特別緑地保全地区、荒井沢市民の森（2か所）、鍛冶ヶ谷市民の森、上郷市民の森（2か所）、瀬上市民の森（2か所）、横浜自然観察の森

2022年度 8か所 上郷・中野特別緑地保全地区、荒井沢市民の森、飯島市民の森、上郷市民の森（2か所）、瀬上市民の森、横浜自然観察の森（2か所）

2023年度 6か所 上郷・中野特別緑地保全地区、大丸山近郊特別緑地保全地区、荒井沢市民の森、鍛冶ヶ谷市民の森、上郷市民の森、横浜自然観察の森



## 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

## ○森の維持管理 100 か所

## ・維持管理（樹林地）

2019年度 15 か所 横浜自然観察の森、荒井沢市民の森、飯島市民の森、鍛冶ケ谷市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森、飯島町緑地、金井緑地、上郷・中野緑地、公田緑地、公田・荒井沢緑地、小菅ケ谷緑地、小菅ケ谷四丁目緑地、庄戸二丁目緑地、野七里緑地

2020年度 15 か所 横浜自然観察の森、飯島町特別緑地保全地区、野七里特別緑地保全地区、荒井沢市民の森、飯島市民の森、鍛冶ケ谷市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森、金井緑地、上郷・中野緑地、公田緑地、公田・荒井沢緑地、小菅ケ谷緑地、小菅ケ谷四丁目緑地、庄戸二丁目緑地

2021年度 14 か所 横浜自然観察の森、金井特別緑地保全地区、上郷・中野特別緑地保全地区、公田特別緑地保全地区、公田・荒井沢特別緑地保全地区、野七里特別緑地保全地区、荒井沢市民の森、飯島市民の森、鍛冶ケ谷市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森、小菅ケ谷緑地、小菅ケ谷四丁目緑地、庄戸二丁目緑地

2022年度 15 か所 横浜自然観察の森、飯島町特別緑地保全地区、金井特別緑地保全地区、上郷・中野特別緑地保全地区、公田特別緑地保全地区、公田・荒井沢特別緑地保全地区、野七里特別緑地保全地区、荒井沢市民の森、飯島市民の森、鍛冶ケ谷市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森、小菅ケ谷緑地、小菅ケ谷四丁目緑地、庄戸二丁目緑地

2023年度 15 か所 横浜自然観察の森、飯島町特別緑地保全地区、金井特別緑地保全地区、上郷・中野特別緑地保全地区、公田特別緑地保全地区、公田・荒井沢特別緑地保全地区、野七里特別緑地保全地区、荒井沢市民の森、飯島市民の森、鍛冶ケ谷市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森、小菅ケ谷緑地、小菅ケ谷四丁目緑地、庄戸二丁目緑地

## ・維持管理（公園）

2019年度 3 か所 上郷一号緑地、上郷九号緑地、本郷ふじやま公園

2020年度 8 か所 上郷一号緑地、上郷二号緑地、上郷五号緑地、上郷七号緑地、上郷八号緑地、上郷九号緑地、小菅ケ谷北公園、本郷ふじやま公園

2021年度 5 か所 上郷六号緑地、上郷七号緑地、上郷九号緑地、小菅ケ谷北公園、本郷ふじやま公園

2022年度 4 か所 上郷五号緑地、上郷九号緑地、小菅ケ谷北公園、本郷ふじやま公園

2023年度 6 か所 上郷五号緑地、上郷六号緑地、上郷九号緑地、小菅ケ谷北公園  
小菅ケ谷二丁目緑地、本郷ふじやま公園

※過年度の報告書から本数を修正しました。

5 各区の実績  
栄区

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 48件

2019年度	7件	鍛冶ケ谷一丁目、上郷町、小菅ケ谷二丁目、小菅ケ谷三丁目・四丁目、田谷町（2件）、長尾台町
2020年度	14件	笠間二丁目、鍛冶ケ谷一丁目、亀井町、上郷町、公田町（4件）、小菅ケ谷二丁目（2件）、小菅ケ谷三丁目、小菅ケ谷四丁目、田谷町、長尾台町
2021年度	10件	鍛冶ケ谷二丁目、上郷町、公田町（3件）、小菅ケ谷四丁目、田谷町（3件）、長尾台町
2022年度	4件	鍛冶ケ谷一丁目、公田町（2件）、長尾台町
2023年度	13件	笠間五丁目、鍛冶ケ谷一丁目、上郷町（2件）、公田町（2件）、小菅ケ谷三丁目（2件）、小菅ケ谷四丁目、田谷町、長尾台町、長沼町、本郷台二丁目

7 森に関する情報発信

○ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等

2019年度	横浜自然観察の森自然観察センター
2020年度	横浜自然観察の森自然観察センター
2021年度	横浜自然観察の森自然観察センター
2022年度	横浜自然観察の森自然観察センター
2023年度	横浜自然観察の森自然観察センター

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 2.95ha

2019年度	2.92ha	上郷町、田谷町
2020年度	2.76ha	上郷町、田谷町
2021年度	2.95ha	上郷町、田谷町
2022年度	2.95ha	上郷町、田谷町
2023年度	2.95ha	上郷町、田谷町

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 1件

2022年度	1件	小菅ケ谷三丁目
--------	----	---------

## 10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 4.8ha

2019年度 4.8ha 横浜市栄区长尾台土地改良区

2020年度 4.8ha 横浜市栄区长尾台土地改良区

2021年度 4.8ha 横浜市栄区长尾台土地改良区

2022年度 4.8ha 横浜市栄区长尾台土地改良区

2023年度 4.8ha 横浜市栄区长尾台土地改良区

・農地縁辺部への植栽 1件

2023年度 1件 田谷耕地管理組合

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 0.30ha

2021年度 0.30ha 田谷町（2か所）

## 12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.09ha

・収穫体験農園

2020年度 0.02ha 上郷町

・市民農園

2022年度 0.07ha 小菅ヶ谷四丁目

## 14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 3件

・直売所・加工所

2019年度 2件 上郷町、公田町

2020年度 1件 長沼町

## 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

## 17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の維持管理 5か所

2019年度 1か所 栄区庁舎

2020年度 1か所 栄区庁舎

2021年度 1か所 栄区庁舎

2022年度 1か所 栄区庁舎

2023年度 1か所 栄区庁舎

5 各区の実績  
栄区

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○空き樹の補植

2023 年度 高木2本

○良好な維持管理

2019 年度 桂台通り、県道原宿六ツ浦（上郷町） 計468本

2020 年度 庄戸西線、飯島本郷台通りほか 計568本

2021 年度 湘南桂台通り、庄戸第121号線（上郷町） 計487本

2022 年度 湘南桂台通り、庄戸東線ほか 計727本

2023 年度 飯島本郷台通り、飯島第121号線・飯島第191号線（栄第一水再生センター前通り）ほか 計378本

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2021 年度 2本 小菅ヶ谷、笠間五丁目

2022 年度 2本 金井町、田谷町

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 1 地区

・新規

2022 年度 1 地区 フローラ桂台自治会周辺地区

・継続

2023 年度 1 地区 フローラ桂台自治会周辺地区

## 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

## ○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	イベント会場でのガーデンネックレス横浜のPR（本郷台アオソラマルシェほか）、いたち川の桜ライトアップ、公園愛護会への花苗等の支援、オープンガーデンの開催支援（新型コロナウイルス感染症の影響でイベント中止）
2020年度	いたち川の桜ライトアップ、公園愛護会への花苗等の支援、オープンガーデンの開催支援
2021年度	いたち川の桜ライトアップ、公園愛護会への花苗等の支援、オープンガーデンの開催支援
2022年度	いたち川の桜ライトアップ、公園愛護会への花苗等の支援、オープンガーデンの開催支援
2023年度	水辺愛護会と協力していたち川プロムナードの花植え、オープンガーデンの開催支援、区の木・区の花のPR

## ○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布（本郷台四丁目第二公園ほか23か所）
2020年度	球根などの配布（飯島町久保公園ほか47か所）
2021年度	花壇づくり講習会（いの山南公園）、球根などの配布（あさもや公園ほか55か所）
2022年度	花壇講習会（笠間町公園）、球根などの配布（花籠公園ほか50か所）
2023年度	球根などの配布（あさもや公園ほか57か所）

## 24 人生記念樹の配布

## ○人生記念樹の配布 1,068本

2019年度	186本
2020年度	208本
2021年度	246本
2022年度	226本
2023年度	202本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 8か所

2019年度 1か所 公田小学校

2020年度 4か所 公田小学校、西本郷小学校、本郷台小学校、桂台中学校

2021年度 2か所 公田小学校、豊田小学校

2022年度 1か所 上郷小学校

○緑の維持管理 40か所

2019年度 9か所 飯島保育園、桂台保育園、上郷保育園、公田保育園、飯島小学校、公田小学校、小山台小学校、千秀小学校、本郷小学校

2020年度 9か所 飯島保育園、桂台保育園、上郷保育園、公田保育園、飯島小学校、公田小学校、小山台小学校、千秀小学校、本郷小学校

2021年度 8か所 飯島保育園、桂台保育園、上郷保育園、公田保育園、飯島小学校、公田小学校、千秀小学校、本郷小学校

2022年度 9か所 飯島保育園、桂台保育園、上郷保育園、公田保育園、飯島小学校、公田小学校、千秀小学校、本郷小学校、本郷特別支援学校

2023年度 5か所 飯島保育園、公田保育園、公田小学校、千秀小学校、本郷特別支援学校



1 緑地保全制度による新規指定  
緑地保存地区（長沼町）



3 樹林地の維持管理の助成  
（小菅ヶ谷三丁目）



8 水田の保全  
（上郷町）



10 農景観を良好に維持する活動の支援  
（横浜市栄区长尾台土地改良区）



23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり  
（オープンガーデン）



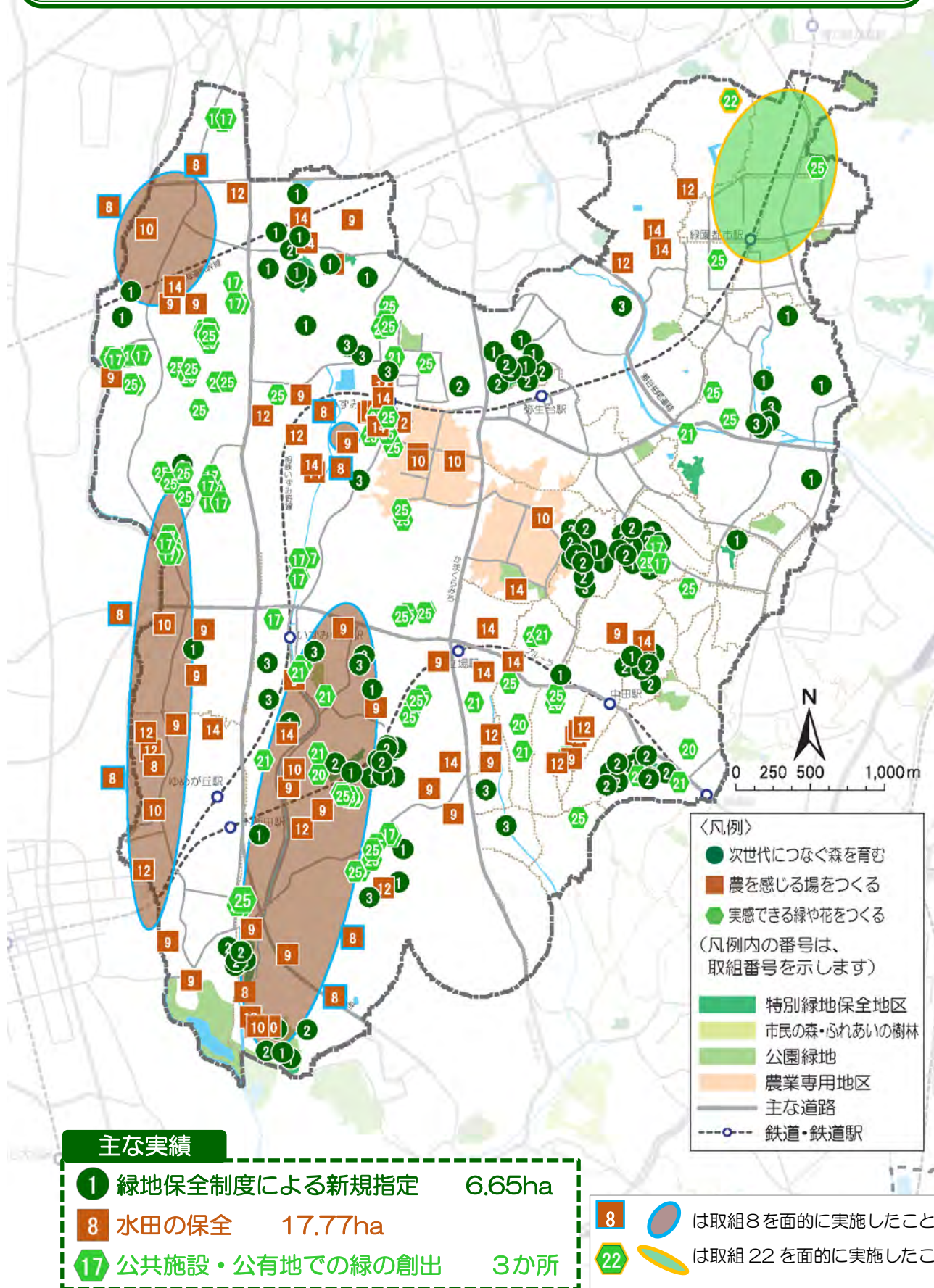
25 小学校での緑の創出・育成  
（区内小学校）

5 各区の実績  
栄区





泉区



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 6.65ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 0.1ha 和泉町早稲田特別緑地保全地区（指定拡大）

2020年度 0.2ha 岡津町金堀谷特別緑地保全地区（指定拡大）

2021年度 0.6ha 和泉町蟹沢特別緑地保全地区

2023年度 2.1ha 和泉町内林特別緑地保全地区、和泉町大坪特別緑地保全地区、和泉中央南二丁目特別緑地保全地区

・緑地保存地区

2019年度 0.2ha 上飯田町、中田北三丁目

2020年度 0.1ha 岡津町

2023年度 0.5ha 岡津町、中田北一丁目、和泉が丘三丁目

・源流の森保存地区

2019年度 1.1ha 和泉町、岡津町、下和泉四丁目

2020年度 0.9ha 和泉町（4か所）

2021年度 0.8ha 和泉町、上飯田町

・その他

2021年度 0.05ha 岡津町ふれあい公園

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 1地区 和泉町天王森特別緑地保全地区

2020年度 1地区 和泉町早稲田特別緑地保全地区

2021年度 1地区 和泉町早稲田特別緑地保全地区

2023年度 1地区 新橋市民の森

・市民の森等

2019年度 1地区 古橋市民の森

○保全した樹林地の整備 24 か所

2019年度	5か所	和泉町天王森特別緑地保全地区、新橋市民の森、中田宮の台市民の森、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林
2020年度	5か所	古橋市民の森、新橋市民の森（2か所）、中田宮の台市民の森、泉の森ふれあい樹林
2021年度	5か所	古橋市民の森、新橋市民の森（2か所）、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林
2022年度	5か所	古橋市民の森、新橋市民の森、泉の森ふれあい樹林（2か所）、中田ふれあいの樹林
2023年度	4か所	和泉町天王森特別緑地保全地区、和泉町早稲田特別緑地保全地区、中田宮の台市民の森、泉の森ふれあい樹林

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 42 か所

・保全管理計画の策定（樹林地）

2019年度 1か所 泉の森ふれあい樹林

・保全管理計画の策定（公園）

2019年度 1か所 天王森泉公園

・維持管理（樹林地）

2019年度 8か所 和泉町早稲田特別緑地保全地区、古橋市民の森、新橋市民の森、中田宮の台市民の森、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林、中田ふれあいの樹林、鯉ヶ久保緑地

2020年度 8か所 古橋市民の森、新橋市民の森、中田宮の台市民の森、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林、中田ふれあいの樹林、和泉町早稲田緑地、鯉ヶ久保緑地

2021年度 6か所 古橋市民の森、新橋市民の森、中田宮の台市民の森、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林、中田ふれあいの樹林

2022年度 6か所 古橋市民の森、新橋市民の森、中田宮の台市民の森、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林、鯉ヶ久保緑地

2023年度 6か所 古橋市民の森、新橋市民の森、中田宮の台市民の森、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林、中田ふれあいの樹林

・維持管理（公園）

2019年度 1か所 鍋屋の森

2020年度 2か所 鍋屋の森、天王森泉公園

2021年度 1か所 鍋屋の森

2022年度 1か所 鍋屋の森

2023年度 1か所 鍋屋の森

### 3 指定した樹林地における維持管理の支援

#### ○維持管理の助成 36件

2019年度	7件	和泉町（3件）、上飯田町（2件）、中田北三丁目、中田東二丁目
2020年度	14件	和泉町（7件）、和泉中央南三丁目、和泉中央南五丁目、岡津町（3件）、新橋町、中田西四丁目
2021年度	7件	和泉町（2件）、和泉中央南四丁目、和泉中央南五丁目、岡津町（2件）、下和泉四丁目、
2022年度	3件	和泉町（2件）、岡津町
2023年度	5件	和泉町（2件）、和泉中央南三丁目、岡津町、中田西四丁目

## 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

### 8 水田の保全

#### ○水田保全面積 17.77ha

2019年度	19.28ha	和泉町、上飯田町、下飯田町
2020年度	18.74ha	和泉町、上飯田町、下飯田町
2021年度	17.79ha	和泉町、上飯田町、下飯田町
2022年度	17.51ha	和泉町、上飯田町、下飯田町
2023年度	17.77ha	和泉町、上飯田町、下飯田町

#### ○水源・水路の確保 3か所

2020年度	1か所	泉区下飯田町水利組合
2022年度	2か所	下和泉農地利用組合（水源、水路）

### 9 特定農業用施設保全契約の締結

#### ○特定農業用施設保全契約の締結 29件

2019年度	8件	和泉中央南三丁目、和泉中央南四丁目、和泉町（2件）、上飯田町（2件）、下飯田町、中田西三丁目
2020年度	8件	和泉が丘一丁目、和泉が丘二丁目、和泉町（3件）、和泉中央南四丁目、中田東四丁目、上飯田町
2021年度	4件	和泉町、上飯田町（2件）、下飯田町
2022年度	5件	和泉町（3件）、下飯田町（2件）
2023年度	4件	和泉町、和泉中央南一丁目、上飯田町、中田南三丁目

## 10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

## ・ 集団農地維持 68.5ha

2019年度	68ha	柳明水利組合、下和泉農地利用組合、中下水利組合、泉区下飯田町水利組合、中田緑の大地を守る会
--------	------	---

2020年度	68.6ha	柳明水利組合、下和泉農地利用組合、中下水利組合、泉区下飯田町水利組合、中田緑の大地を守る会、蔵関水利組合
--------	--------	--

2021年度	68.4ha	柳明水利組合、下和泉農地利用組合、中下水利組合、泉区下飯田町水利組合、中田緑の大地を守る会、蔵関水利組合
--------	--------	--

2022年度	68.6ha	柳明水利組合、下和泉農地利用組合、中下水利組合、泉区下飯田町水利組合、中田緑の大地を守る会、蔵関水利組合
--------	--------	--

2023年度	68.5ha	柳明水利組合、下和泉農地利用組合、中下水利組合、泉区下飯田町水利組合、中田緑の大地を守る会、蔵関水利組合
--------	--------	--

## ・ 農地縁辺部への植栽 10件

2019年度	2件	中田緑の大地を守る会、横浜市泉区並木谷農業専用地区協議会
--------	----	------------------------------

2020年度	2件	中田緑の大地を守る会、横浜市泉区並木谷農業専用地区協議会
--------	----	------------------------------

2021年度	2件	中田緑の大地を守る会、横浜市泉区並木谷農業専用地区協議会
--------	----	------------------------------

2022年度	2件	中田緑の大地を守る会、横浜市泉区並木谷農業専用地区協議会
--------	----	------------------------------

2023年度	2件	中田緑の大地を守る会、横浜市泉区並木谷農業専用地区協議会
--------	----	------------------------------

## ・ 土砂流出防止対策 1件

2023年度	1件	中田緑の大地を守る会
--------	----	------------

○周辺環境に配慮した活動への支援

## ・ 牧草等による環境対策 4.15ha

2019年度	0.31ha	上飯田町（3か所）
--------	--------	-----------

2020年度	0.39ha	上飯田町（2か所）、下和泉四丁目
--------	--------	------------------

2021年度	1.53ha	和泉町（7か所）、上飯田町（2か所）
--------	--------	--------------------

2022年度	0.72ha	和泉町（3か所）、上飯田町（3か所）
--------	--------	--------------------

2023年度	1.21ha	和泉町（3か所）、上飯田町（5か所）
--------	--------	--------------------

## ・ たい肥化設備等の支援 1件

2023年度	1件	中田北一丁目
--------	----	--------

## 12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 1.69ha

・収穫体験農園

2019年度 0.39ha 和泉町（2か所）、下飯田町、中田南三丁目

2020年度 0.13ha 上飯田町、中田南三丁目

2021年度 0.07ha 中田南三丁目

2022年度 0.30ha 和泉町、下飯田町、中田南三丁目

2023年度 0.33ha 池の谷、和泉町、下飯田町、新橋町、中田南三丁目

・市民農園

2019年度 0.33ha 和泉町、中田西三丁目

2020年度 0.14ha 和泉町、下飯田町

## 14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 24件

・直売所・加工所

2019年度 3件 和泉町、中田町、中田西三丁目

2020年度 6件 和泉が丘二丁目、新橋町、和泉町（2件）、下飯田町、上飯田町

2021年度 3件 上飯田町（2件）、中田北一丁目

2022年度 3件 和泉町、新橋町、中田西二丁目

2023年度 4件 和泉町（3件）、新橋町

・青空市・マルシェ等

2019年度 1件 いずみ野即売会

2020年度 1件 いずみ野即売会

2021年度 1件 いずみ野即売会

2022年度 1件 いずみ野即売会

2023年度 1件 いずみ野即売会

## 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

## 17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

## ○緑の創出 3か所

2019年度 1か所 泉区民文化センター

2020年度 1か所 下和泉地区センター

2022年度 1か所 泉スポーツセンター

## ○緑の維持管理 32か所

2019年度 6か所 泉区庁舎、上飯田地区センター、日向山公園、市有地（いちよう小学校跡地）、市有地（上飯田団地入り口付近）、市有地（向ヶ丘自治会館横）

2020年度 6か所 泉区庁舎、上飯田地区センター、市有地（いちよう小学校跡地）、市有地（上飯田団地入り口付近）、市有地（向ヶ丘自治会館横）、日向山公園

2021年度 7か所 泉区庁舎、上飯田地区センター、下和泉地区センター、市有地（いちよう小学校跡地）、市有地（上飯田団地入り口付近）、市有地（向ヶ丘自治会館横）、日向山公園

2022年度 6か所 泉区庁舎、上飯田地区センター、市有地（いちよう小学校跡地）、市有地（上飯田団地入り口付近）、市有地（向ヶ丘自治会館横）、日向山公園

2023年度 7か所 泉区庁舎、泉スポーツセンター、上飯田地区センター、市有地（いちよう小学校跡地）、市有地（上飯田団地入り口付近）、市有地（向ヶ丘自治会館横）、日向山公園

## 18 街路樹による良好な景観の創出・育成

### ○良好な維持管理

2019年度	中田さちが丘線（緑園）、和泉町第33・88号線（和泉川沿い）ほか 計588本
2020年度	上飯田第112号線（弥生台）、中田さちが丘線（領家地区）ほか 計682本
2021年度	中田さちが丘線（緑園）、中田さちが丘線（領家地区）ほか 計452本
2022年度	中田さちが丘線（緑園）、上飯田126号線（上飯田小学校前通り）ほか 計693本
2023年度	中田さちが丘線（領家地区）、環状4号線（上飯田町）ほか 計399本

## 20 建築物緑化保全契約の締結

### ○建築物緑化保全契約の締結 5件

2019年度	4件	中田西二丁目（3件）、中田東一丁目
2020年度	1件	和泉町

## 21 名木古木の保存

### ○名木古木の保存

#### ・維持管理の助成

2019年度	3本	中田西二丁目、和泉中央南四丁目、和泉町
2020年度	3本	和泉町、中田南一丁目（2本）
2021年度	1本	和泉町
2022年度	8本	和泉町（2本）、岡津町、中田東三丁目（2本）、中田西二丁目（2本）、中田南一丁目
2023年度	2本	中田南一丁目（2本）

## 22 地域緑のまちづくり

### ○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 1地区

#### ・新規

2020年度	1地区	緑園都市地区
--------	-----	--------

#### ・継続

2021年度	1地区	緑園都市地区
2022年度	1地区	緑園都市地区
2023年度	1地区	緑園都市地区



## 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

### ○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	区内各駅における植栽設置、泉区庁舎前の花壇改修
2020年度	泉区庁舎・区内公園内・立場駅前の花壇整備
2021年度	区民利用施設における花壇整備
2022年度	区庁舎前花壇の植栽、区内公園内・立場駅前の花壇整備
2023年度	区庁舎前花壇の植栽、区内公園内・立場駅前の花壇整備、啓発物品の作成・配布

### ○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗などの配布（いずみ台公園ほか 30 か所）
2020年度	球根などの配布（泉が丘公園ほか 33 か所）
2021年度	球根などの配布（和泉アカシア公園ほか 43 か所）
2022年度	球根などの配布（和泉アカシア公園ほか 36 か所）
2023年度	花壇講習会（しらゆり公園）、花苗などの配布（いずみ台公園ほか 36 か所）

## 24 人生記念樹の配布

### ○人生記念樹の配布 1,192 本

2019年度	248 本
2020年度	222 本
2021年度	282 本
2022年度	241 本
2023年度	199 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 5か所

2019年度 2か所 中田小学校、上飯田小学校

2021年度 1か所 中和田南小学校

2022年度 2か所 小学館アカデミーりょくえんとし保育園、和泉小学校

○緑の維持管理 60か所

2019年度 8か所 和泉保育園、北上飯田保育園、飯田北いちよう小学校、伊勢山小学校、下和泉小学校、泉が丘中学校、上飯田中学校、中和田中学校

2020年度 20か所 和泉保育園、北上飯田保育園、飯田北いちよう小学校、和泉小学校、いずみ野小学校、伊勢山小学校、岡津小学校、上飯田小学校、葛野小学校、下和泉小学校、中田小学校、中和田南小学校、西が岡小学校、緑園東小学校、泉が丘中学校、いずみ野中学校、岡津中学校、上飯田中学校、中田中学校、中和田中学校

2021年度 9か所 和泉保育園、北上飯田保育園、飯田北いちよう小学校、いずみ野小学校、伊勢山小学校、上飯田小学校、下和泉小学校、泉が丘中学校、中和田中学校

2022年度 14か所 和泉保育園、北上飯田保育園、飯田北いちよう小学校、和泉小学校、いずみ野小学校、伊勢山小学校、上飯田小学校、下和泉小学校、中田小学校、中和田南小学校、西が岡小学校、泉が丘中学校、上飯田中学校、中和田中学校

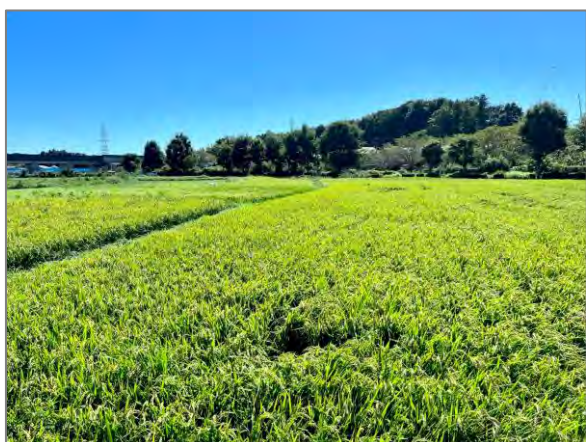
2023年度 9か所 和泉保育園、北上飯田保育園、飯田北いちよう小学校、いずみ野小学校、下和泉小学校、中和田南小学校、泉が丘中学校、上飯田中学校、中和田中学校



1 緑地保全制度による新規指定  
(和泉中央南二丁目特別緑地保全地区)



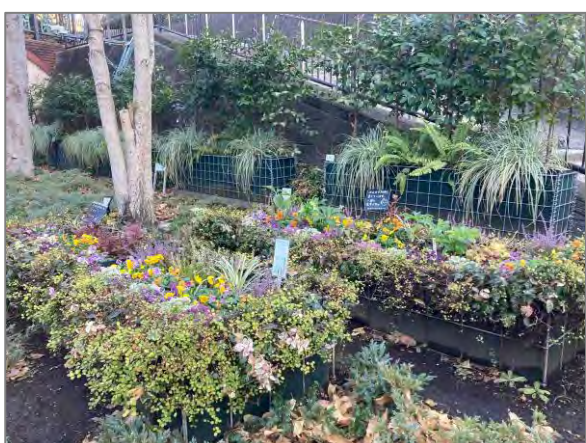
1 緑地保全制度による新規指定  
(和泉町内林特別緑地保全地区)



8 水田の保全  
(和泉町)



12 収穫体験農園の開設  
(和泉町)



22 地域緑のまちづくり  
(緑園都市地区)



23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり  
(しらゆり公園)

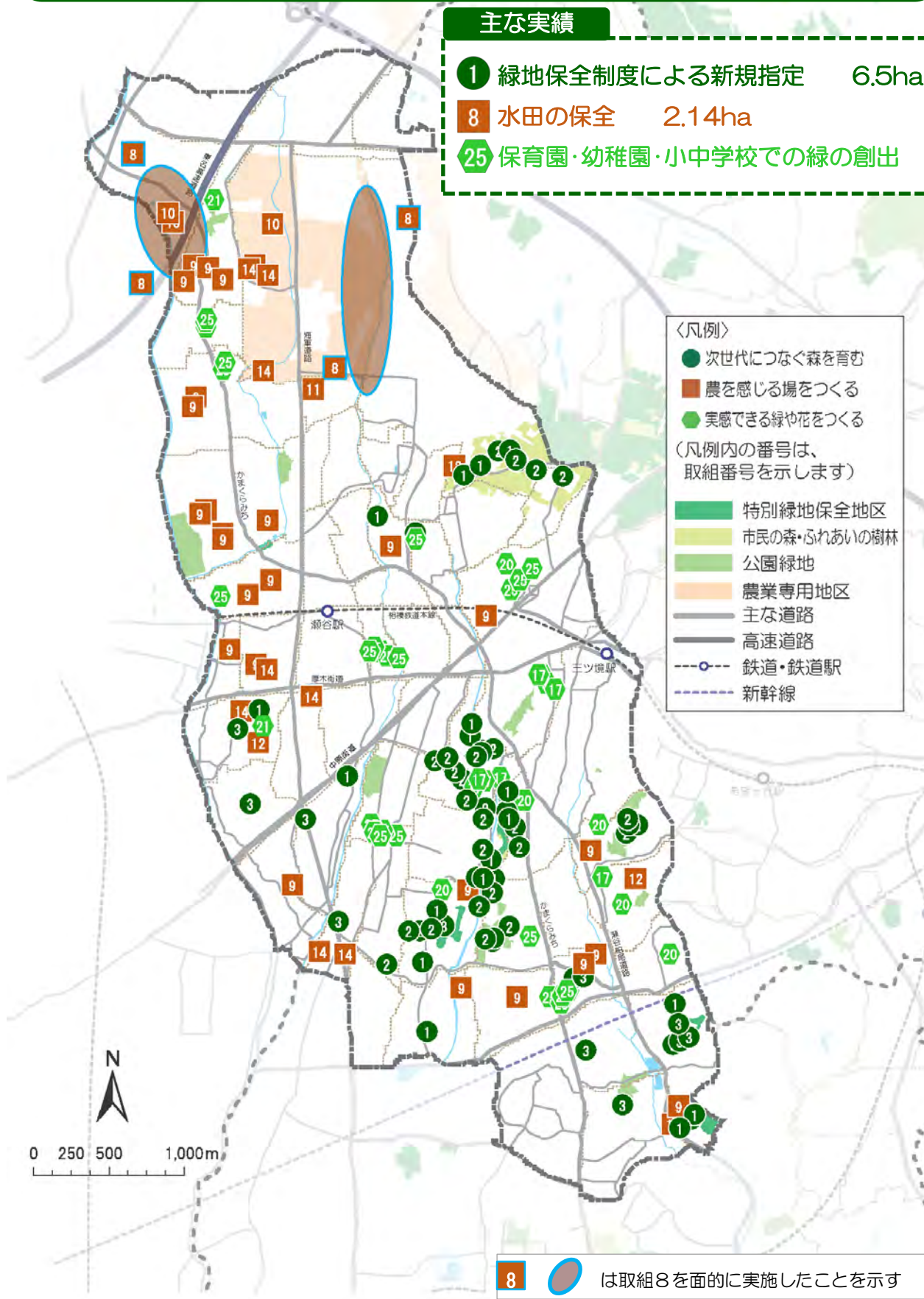
5 各区の実績  
泉区



# 瀬谷区

## 主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 6.5ha
- ⑧ 水田の保全 2.14ha
- ②⑤ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 3か所



## 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

### 1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

#### ○緑地保全制度による新規指定 6.5ha

##### ・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020年度 0.5ha 阿久和南一丁目藤ヶ谷特別緑地保全地区

2023年度 3.1ha 阿久和南一丁目特別緑地保全地区（指定拡大）、下瀬谷二丁目特別緑地保全地区

##### ・市民の森等

2022年度 0.1ha 瀬谷市民の森（指定拡大）

##### ・緑地保存地区

2020年度 0.1ha 橋戸三丁目

2021年度 0.2ha 相沢三丁目

##### ・源流の森保存地区

2020年度 0.3ha 宮沢三丁目

2023年度 2.2ha 阿久和南一丁目、宮沢四丁目

#### ○市による買取り

##### ・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2021年度 1地区 宮沢・蟹沢特別緑地保全地区

2022年度 2地区 阿久和南一丁目特別緑地保全地区、宮沢三丁目特別緑地保全地区

##### ・市民の森等

2022年度 1地区 瀬谷市民の森

#### ○保全した樹林地の整備 8か所

2019年度 1か所 宮沢三丁目特別緑地保全地区

2020年度 2か所 宮沢三丁目特別緑地保全地区、宮沢ふれあい樹林

2021年度 3か所 東山ふれあい樹林（2か所）、宮沢ふれあい樹林

2022年度 1か所 瀬谷市民の森

2023年度 1か所 宮沢三丁目特別緑地保全地区

## 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

## ○森の維持管理 38 箇所

## ・維持管理（樹林地）

2019 年度	5 箇所	瀬谷市民の森、東山ふれあい樹林、宮沢ふれあい樹林、宮沢緑地、宮沢・蟹沢緑地
2020 年度	5 箇所	瀬谷市民の森、東山ふれあい樹林、宮沢ふれあい樹林、宮沢緑地、宮沢・蟹沢緑地
2021 年度	6 箇所	宮沢特別緑地保全地区、宮沢・蟹沢特別緑地保全地区、宮沢三丁目特別緑地保全地区、瀬谷市民の森、東山ふれあい樹林、宮沢ふれあい樹林
2022 年度	6 箇所	宮沢特別緑地保全地区、宮沢・蟹沢特別緑地保全地区、宮沢三丁目特別緑地保全地区、瀬谷市民の森、東山ふれあい樹林、宮沢ふれあい樹林
2023 年度	6 箇所	宮沢特別緑地保全地区、宮沢・蟹沢特別緑地保全地区、宮沢三丁目特別緑地保全地区、瀬谷市民の森、東山ふれあい樹林、宮沢ふれあい樹林

## ・維持管理（公園）

2019 年度	2 箇所	長屋門公園、瀬谷貉窪公園
2020 年度	1 箇所	長屋門公園
2021 年度	2 箇所	長屋門公園、瀬谷貉窪公園
2022 年度	2 箇所	長屋門公園、瀬谷貉窪公園
2023 年度	2 箇所	長屋門公園、瀬谷貉窪公園

## 3 指定した樹林地における維持管理の支援

## ○維持管理の助成 15 件

2019 年度	2 件	阿久和南一丁目、宮沢三丁目
2020 年度	3 件	阿久和東四丁目、阿久和南一丁目、阿久和南二丁目
2021 年度	7 件	相沢三丁目、阿久和南一丁目、阿久和南三丁目、阿久和東四丁目、北新（2件）、橋戸三丁目
2022 年度	2 件	阿久和南一丁目、下瀬谷二丁目
2023 年度	1 件	下瀬谷一丁目

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 2.14ha

2019年度	3.20ha	瀬谷町、目黒町
2020年度	3.35ha	瀬谷町、目黒町
2021年度	2.79ha	瀬谷町、目黒町
2022年度	2.73ha	瀬谷町、目黒町
2023年度	2.14ha	瀬谷町、目黒町

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 29件

2019年度	8件	阿久和東一丁目、下瀬谷三丁目、瀬谷五丁目、瀬谷六丁目、二ツ橋町、本郷三丁目、宮沢三丁目、宮沢四丁目
2020年度	5件	相沢三丁目、阿久和西四丁目、上瀬谷町、中屋敷一丁目、本郷一丁目
2021年度	4件	本郷一丁目（2件）、本郷二丁目、本郷三丁目
2022年度	6件	阿久和南一丁目、上瀬谷町（2件）、中屋敷一丁目（2件）、本郷一丁目
2023年度	6件	阿久和東四丁目（2件）、上瀬谷町（3件）、本郷一丁目（1件）

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 81.6ha

2019年度	81.6ha	八幡耕地整理組合、上瀬谷農業専用地区協議会
2020年度	81.7ha	八幡耕地整理組合、上瀬谷農業専用地区協議会
2021年度	81.7ha	八幡耕地整理組合、上瀬谷農業専用地区協議会
2022年度	81.7ha	八幡耕地整理組合、上瀬谷農業専用地区協議会
2023年度	81.6ha	八幡耕地整理組合、上瀬谷農業専用地区協議会

・農地縁辺部への植栽 5件

2019年度	1件	八幡耕地整理組合
2020年度	1件	八幡耕地整理組合
2021年度	1件	八幡耕地整理組合
2022年度	1件	八幡耕地整理組合
2023年度	1件	八幡耕地整理組合



○周辺環境に配慮した活動への支援

- ・牧草等による環境対策 1.82ha

2019年度 0.77ha 下瀬谷一丁目、瀬谷町（3か所）、中屋敷三丁目、南瀬谷一丁目、南瀬谷二丁目（2か所）

2020年度 0.15ha 下瀬谷一丁目、南瀬谷一丁目、南瀬谷二丁目

2021年度 0.48ha 下瀬谷一丁目、瀬谷町（2か所）、南瀬谷一丁目、南瀬谷二丁目（2か所）

2022年度 0.27ha 下瀬谷一丁目、中屋敷三丁目、南瀬谷一丁目、南瀬谷二丁目

2023年度 0.15ha 下瀬谷一丁目、南瀬谷一丁目、南瀬谷二丁目

**11** 多様な主体による農地の利用促進

○遊休農地の復元支援 0.14ha

2022年度 0.14ha 中屋敷三丁目

**12** 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.77ha

- ・収穫体験農園

2020年度 0.05ha 橋戸三丁目

2021年度 0.07ha 瀬谷町

- ・市民農園

2022年度 0.10ha 阿久和南三丁目

- ・農園付公園

2019年度 0.55ha 阿久和富士見小金台公園

**14** 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 10件

- ・直売所・加工所

2019年度 2件 下瀬谷一丁目、橋戸三丁目

2020年度 1件 橋戸三丁目

2021年度 2件 下瀬谷一丁目、瀬谷五丁目

- ・青空市・マルシェ等

2019年度 1件 上瀬谷直売所グループ

2020年度 1件 上瀬谷直売所グループ

2021年度 1件 上瀬谷直売所グループ

2022年度 1件 上瀬谷直売所グループ

2023年度 1件 上瀬谷直売所グループ

### 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

#### 17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

##### ○緑の維持管理 9か所

2019年度	3か所	二ツ橋公園、宮沢ふれあいの水辺、阿久和消防出張所
2020年度	2か所	二ツ橋公園、宮沢ふれあいの水辺
2021年度	2か所	二ツ橋公園、宮沢ふれあいの水辺
2022年度	2か所	二ツ橋公園、宮沢ふれあいの水辺

#### 18 街路樹による良好な景観の創出・育成

##### ○良好な維持管理

2019年度	環状4号線（海軍道路）、環状4号線（瀬谷駅南口-下瀬谷）ほか	計574本
2020年度	環状4号線（海軍道路北部）、環状4号線（瀬谷駅南側）ほか	計362本
2021年度	環状4号線（海軍道路北部）、環状4号線（瀬谷駅南側）ほか	計490本
2022年度	環状4号線（八王子街道～中瀬谷消防）、環状4号（瀬谷駅南側）ほか	計424本
2023年度	環状4号線（瀬谷中学校～下瀬谷）、瀬谷第268号線（南台）ほか	計353本

#### 20 建築物緑化保全契約の締結

##### ○建築物緑化保全契約の締結 6件

2019年度	5件	阿久和西一丁目、阿久和東一丁目、阿久和東二丁目、二ツ橋町、宮沢三丁目
2020年度	1件	阿久和東三丁目

#### 21 名木古木の保存

##### ○名木古木の保存

##### ・維持管理の助成

2020年度	3本	上瀬谷町（3本）
2022年度	2本	橋戸三丁目（2本）

## 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

### ○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	区内小中学生と保護者を対象としたフラワーアレンジメント講座、二ツ橋公園におけるプランターの設置・植栽管理
2020年度	オープンガーデンの実施（会場の様子をオンラインで公開）、区内24公園における花苗支援、二ツ橋公園におけるプランター設置、旧上瀬谷通信施設でのイベント実施、たねダンゴワークショップの実施
2021年度	オープンガーデンの実施、区内の花・緑を紹介するガイドマップの制作、二ツ橋公園・楽老南公園におけるプランター設置、旧上瀬谷通信施設でのイベント実施、たねダンゴワークショップの実施
2022年度	オープンガーデンの実施、二ツ橋公園、楽老南公園におけるプランターの設置、たねダンゴワークショップの実施、三ツ境駅南口ペDESTリアンデッキ内の花壇の設置
2023年度	オープンガーデンの実施、二ツ橋公園の植栽、たねダンゴワークショップの実施、三ツ境駅南口ペDESTリアンデッキ内の花壇の設置

### ○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗の配布（瀬谷土橋公園ほか1か所）
2020年度	球根などの配布（相沢四丁目公園ほか36か所）
2021年度	球根などの配布（相沢四丁目公園ほか33か所）
2022年度	球根などの配布（相沢四丁目公園ほか35か所）
2023年度	球根などの配布（相沢四丁目公園ほか37か所）

## 24 人生記念樹の配布

### ○人生記念樹の配布 1,250本

2019年度	216本
2020年度	286本
2021年度	337本
2022年度	202本
2023年度	209本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 3か所

2019年度 1か所 大門小学校

2022年度 2か所 はらのこ原幼稚園、相沢小学校

○緑の維持管理 23か所

2019年度 5か所 瀬谷第二保育園、中屋敷保育園、原小学校、南瀬谷小学校、二つ橋高等特別支援学校

2020年度 5か所 瀬谷第二保育園、中屋敷保育園、原小学校、南瀬谷小学校、二つ橋高等特別支援学校

2021年度 5か所 瀬谷第二保育園、中屋敷保育園、原小学校、南瀬谷小学校、二つ橋高等特別支援学校

2022年度 4か所 瀬谷第二保育園、中屋敷保育園、原小学校、南瀬谷小学校

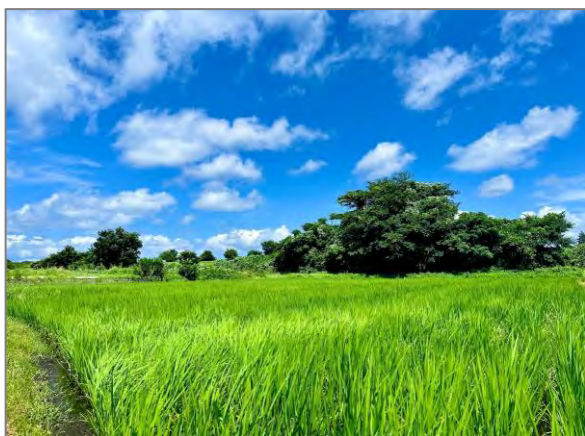
2023年度 4か所 瀬谷第二保育園、中屋敷保育園、原小学校、南瀬谷小学校



1 緑地保全制度による新規指定  
(阿久和南一丁目特別緑地保全地区)



1 緑地保全制度による新規指定  
(下瀬谷二丁目特別緑地保全地区)



8 水田の保全  
(瀬谷町)



14 青空市・マルシェ等  
(上瀬谷直売所グループ)



23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり  
(オープンガーデン)



25 幼稚園での緑の創出・育成  
(区内幼稚園)

5 各区の実績  
瀬谷区





2024年9月発行（第1版）  
横浜市みどり環境局戦略企画課  
横浜市中区本町 6-50-10  
電話 045-671-2644 FAX 045-550-4093



横浜みどりアップ計画

# 横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

5か年の実績 概要 (2019年度～2023年度の実績)



青葉区寺家町

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら、「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」を実施しました。

このリーフレットは、2019～2023年度に実施した事業の実績を概要としてまとめています。



横浜みどりアップ計画







計画の柱1

## 市民とともに次世代につなぐ森を育む

### 樹林地の保全が進んでいます

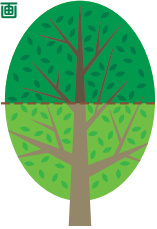
5か年で176.9ha、計画開始以降15年間で新たに1,082.5haの樹林地を緑地保全制度により指定しました。計画開始前は40年間で861.9ha指定しており、3倍以上のスピードで保全が進みました。

これまでのみどりアップ計画  
(2009～2018年度)

10年間 **905.6ha**

みどりアップ計画以前  
(1969～2008年度)

40年間 **861.9ha**



2019～2023年度  
**176.9ha**  
+ **1,082.5ha**

- ▶ 緑地保全制度による新規指定 **176.9ha**
- ▶ 市による買取り **75.6ha**



下瀬谷特別緑地保全地区／瀬谷区

### 森に親しむための機会が広がっています

森に親しむことができるように、市民の森などを整備したほか、ガイドマップの作成や子ども向けのイベントを開催しました。

- ▶ 保全した樹林地の整備 **381か所**
- ▶ 市内大学や関係団体と連携したイベント、区主催による森でのイベント **382回**



間伐材を活用したクラフト教室／鶴見区



森の中のプレイパーク／南図書館／南区

### 樹林地の維持管理や安全の確保を市民協働で進めています

樹林地を良好かつ安全に維持管理するとともに、樹林地所有者に対しての維持管理費用の助成を行いました。

- ▶ 森の維持管理 **樹林地811か所、公園196か所**
- ▶ 維持管理の助成 **688件**



保全管理計画や森づくりガイドラを活用した維持管理／泉区



樹林地所有者に対する維持管理支援作業前後／旭区



## 市民の森



～計画開始以降16か所の市民の森が開園～

横浜市では1971年に全国に先駆けて、緑地を保存しながら、その緑地を散策や憩いの場として公開する「市民の森」制度を創設しました。「市民の森」は計画開始前の27か所から16か所増え、現在43か所を公開しています。

～ボランティアの皆さんによる良好な森づくり～

市民の森では、愛護会や森づくり活動団体など、ボランティアの皆さんが、草刈り、間伐、生きもの調査や環境教育といった「森づくり活動」を行っています。

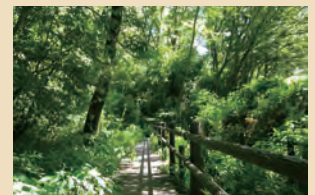


池辺市民の森／都筑区

### 「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」計画期間に開園した4か所の市民の森



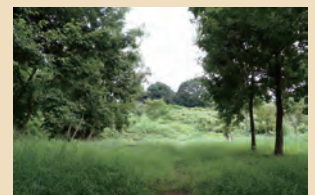
長津田宿市民の森／緑区  
2020年4月1日開園  
クヌギやコナラを主とした広葉樹林が残り、コゲラやエナガ、シジュウカラなどの様々な鳥が生息しています。



市沢市民の森／旭区  
2021年4月1日開園  
緑陰や水辺の風景を楽しみながら散策ができるほか、ホタルや鳥類などを観察することができます。



名瀬・上矢部市民の森／戸塚区  
2022年3月28日開園  
コナラなどの広葉樹林からなる雑木林で、山裾沿いには竹林がみられ、昔ながらの里山の自然景観を楽しむことができます。



今井・境木市民の森／保土ヶ谷区  
2022年4月1日開園  
クヌギやコナラなどの広葉樹林と、スギやヒノキなどの針葉樹林が広がり、尾根道を歩くことで四季折々の緑の風景を楽しむことができます。



## 計画の柱2

# 市民が身近に 農を感じる場をつくる

### 良好な農景観を保全しています

市内の水田面積の約9割を保全し、農地縁辺部の草刈りや植栽等、周辺環境と調和した良好な農景観を維持・形成しました。

▶ 水田保全面積 **111.1ha**



水田の保全／青葉区



土砂流出防止対策／都筑区

### 農とふれあう場や機会が増えています

気軽に農体験ができる収穫体験農園や、自分で考えた栽培プランで自由に野菜づくりを楽しむことができる認定市民菜園など、市民ニーズに合わせた農園の開設を進めるとともに、市民が農について学ぶイベントや講座を実施しました。

▶ 様々なニーズに合わせた農園の開設 **19.8ha**

▶ 横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施 **422回**



収穫体験農園／神奈川区



認定市民菜園／磯子区

### 地産地消が拡大しています

市民が身近なところで地産地消を実感できるよう、直売所・青空市等を支援しました。

▶ 直売所・青空市等の支援 **262件**



みなとみらい農家朝市／西区



柴シーサイド恵みの里直売所／金沢区



## 計画の柱3

# 市民が実感できる 緑や花をつくる

### 緑と花の空間づくりを進めています

公共施設や保育園など、市民の身近な場所で実感できる緑を創出・育成しました。

▶ 公共施設・公有地での緑の創出 **39か所**

▶ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 **203か所**



横浜子ども科学館／磯子区



保育園での緑の創出／港北区

### 緑や花で街の賑わいづくりを創出しています

多くの市民が集まる都心部等の公共空間などで、緑や花により街の魅力を向上させ、賑わいづくりを推進しました。

▶ 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくりと維持管理 **71か所**



横浜市児童遊園地／保土ヶ谷区



山下公園／中区

### 市民や企業の皆さんと緑と花の取組を全区で進めています

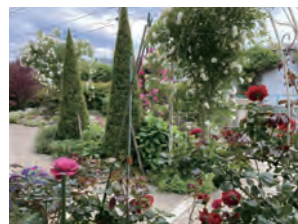
地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、実現していくための「地域緑のまちづくり」を推進しました。オープンガーデンなどの市民が緑や花に親しむ取組を各区で推進しました。

▶ 地域緑のまちづくり **23地区**

▶ 緑や花を身近に感じる各区の取組 **18区で推進**



地域の花いっぱいにつながる取組／港南区



緑や花を身近に感じる各区の取組／栄区

# 効果的な広報の展開

みどりに関するイベントへの出展や、「広報よこはま」等への記事掲載、SNSなど様々な手法を用いて、幅広い年齢層にみどりアップ計画の取組と成果を知っていただけるよう広報を展開しました。



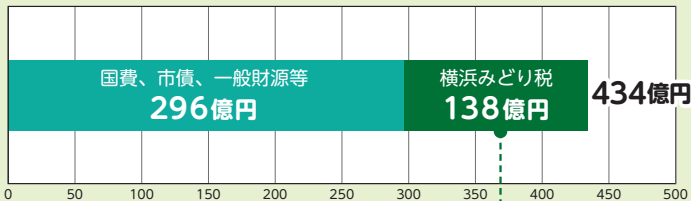
イベントでの広報



広報よこはま 令和6年3月号

## 計画の事業費と横浜みどり税 (5か年の累計)

5か年(2019~2023年度)の事業費  
(うち横浜みどり税)



緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、2019年度からの5か年の事業費434億円のうち、横浜みどり税を138億円充当し、市内の樹林地の買取り・維持管理等をはじめとした緑の保全・創出、育成に取り組みました。

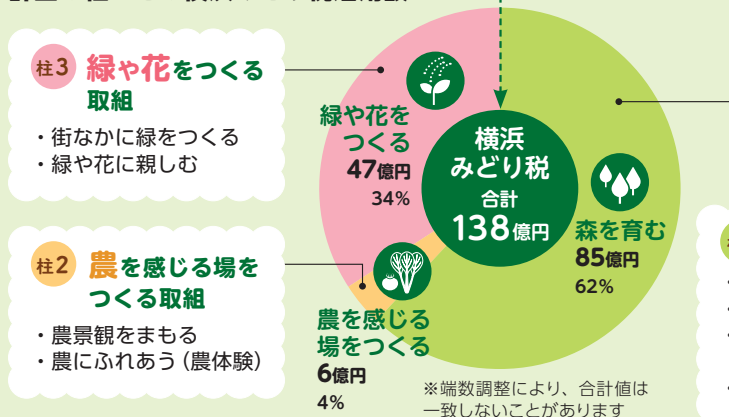
### 横浜みどり税の課税方式

【個人】市民税の均等割に年間900円上乗せ

※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く

【法人】市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ

### 計画の柱ごとの横浜みどり税活用額



### 柱1 森を育む取組

- ・森を残す(指定・買取り)
- ・森を育む(維持管理など)
- ・森を育む人材の育成(活動に対する支援)
- ・森に親しむ(きっかけづくり)

## 横浜みどりアップ計画 市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、公募市民や学識経験者などから構成されている附属機関です。横浜みどりアップ計画の取組の検証や、現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめたほか、広報誌「Yokohama みどりアップAction」を9号発行しました。



Yokohama  
みどりアップ  
Action



詳しくはHPを  
ご覧ください

実績報告書はHPを  
ご覧ください。  
区ごとの実績もご覧  
いただけます。



横浜みどりアップ計画 検索

お問合せ

「横浜みどりアップ計画」の広報について

みどり環境局戦略企画課

TEL 045-671-2712 FAX 045-550-4093

「横浜みどり税」について

【個人市民税】各区区役所税務課または財政局税務課

TEL 045-671-2253 FAX 045-641-2775

【法人市民税】財政局法人課税課

TEL 045-671-4481 FAX 045-210-0481



横浜みどりアップ 葉っぴー

令和6年10月発行 横浜市みどり環境局戦略企画課



GREEN × EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷

# 横浜 みどリアップ計画



横浜みどリアップ計画[2024-2028](概要版)



横浜みどリアップ計画



# 暮らしのなかに ふと気づけば緑があるということ

毎日の生活を豊かに、そして未来を担う子どもたちに、  
横浜の豊かな緑をつなげていくため  
市民の皆様とともに「横浜みどりアップ計画」を進めていきます。



暑さを和らげる



美しく潤いのある  
景観



環境教育・農体験

## 横浜 みどりアップ計画

「横浜みどりアップ計画」は、  
「横浜市水と緑の基本計画」の重点的な取組として  
策定された5か年計画です。  
緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を  
次世代に継承するため、  
「横浜みどり税」を財源の一部に  
活用し取組を推進しています。



健康づくり・  
レクリエーション



防災・減災



多様な生き物の  
すみか

# 暮らしを支え、豊かにする緑

緑は、都市環境を形成する主要な要素です。

暮らしに潤いを与えるだけでなく、防災・減災に資する機能をはじめとしたグリーンインフラとしての多様な機能を有しています。

そして、これらの機能が発揮されることで、地球温暖化対策や

SDGsの達成に寄与し、ネイチャーポジティブ※の実現にもつながっていきます。

## 防災・減災



雨を蓄えて浸水被害を抑えるほか、オープンスペースとして避難場所や火災延焼防止機能などの防災・減災につながっています。

## 地産地消

## 街の魅力向上・賑わいの創出

## 健康づくり・レクリエーション



散歩をはじめ、市民の身近な遊び場、憩いの場、健康づくりの場となっています。

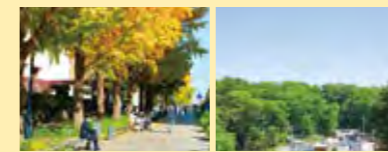
## 環境教育・農体験



自然とふれあう環境が身近にあることで、暮らしを取り巻く環境に対する興味や関心を持つきっかけとなっています。

## コミュニティ形成

## 暑さを和らげる



木陰の涼しさや、まとまった緑地が日中の気温上昇を抑えるなど、暑さを和らげる効果があります。

## 美しく潤いのある景観



快適で美しく潤いのある景観や、自然と歴史に基づく個性と風格のある景観をつくっています。

## 文化

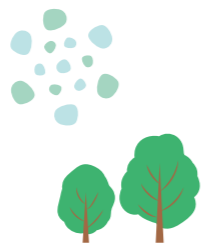
## 多様な生き物のすみか



樹林地や農地などが、健全に保たれ、まともなつながりを持つことで、多様な生き物のすみかとなっています。

※ネイチャーポジティブ:「生物多様性の損失を食い止め、反転させ、回復軌道に乗せる」ことを意味し、2022年の国連生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)で設定された新たな国際目標において、その方向性が明確に示されている。

# 緑とともにある 横浜の暮らし



横浜の中心市街地から少し郊外へ行くと、多様な生き物が暮らす豊かな森や、水田・畑地が広がる美しい農景観が保全され、緑が街を包みこんでいます。街なかに目を向けると、樹々や花が美しく彩られ、潤いと賑わい、街並みに風格をもたらしています。横浜には、市民・企業の皆様とともにまもり、つくり、育んできたかけがえのない緑が暮らしの身近な場所にあります。



## 横浜みどりアップ計画[2024-2028]の方向性

### 多様なコミュニティの形成や 市民活動の支援の拡充

全市域に広がっている緑や花に関する活動への支援を充実させ、さらに展開させることで、活発な市民活動が行われている姿を目指します。

地域で取り組む緑化活動



森を支える森づくりボランティア



### 市民が緑に関わる取組の さらなる展開

市民が緑にふれ、感じることができるよう、魅力的な空間づくりや体験イベントの開催をはじめ、これまで確保してきた緑のストックの一層の活用を進めます。

緑花による魅力ある空間づくり



農体験



地産地消にふれる機会



### 身近な緑の着実な確保と 維持管理による質の向上

引き続き身近な緑の場を保全・創出して良好な育成を進めることで、都市環境を形成する主要な要素である緑のもつ多様な機能を効果的に発揮させていきます。

まちなかでの緑の創出・育成

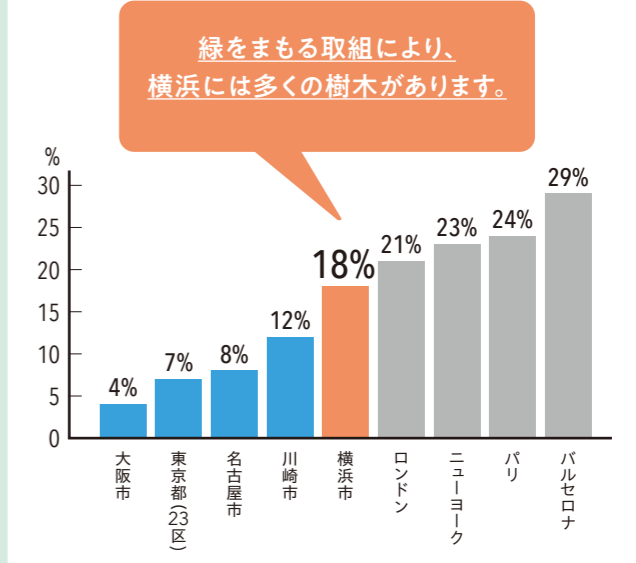


森の保全と良好な育成



取組の意義や成果、緑がもたらす効果を  
わかりやすく伝え、取組の共感と、  
緑のある暮らしの実感につながる広報を展開。

[都市別]  
樹木エリアの割合比率



Googleの温室効果ガス排出量推計ツール (EIE: Environmental Insights Explorer) より  
<https://insights.sustainability.google/>

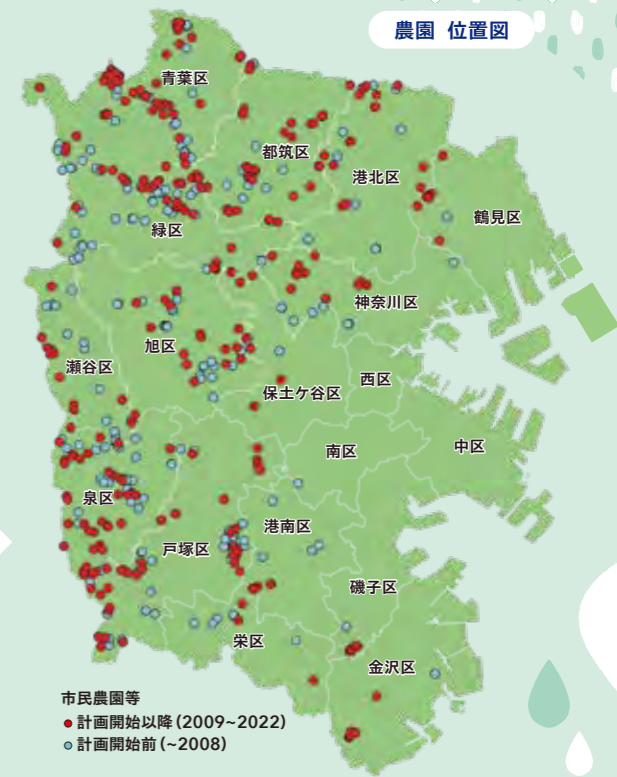


## 農に親しむ

—横浜の農園で収穫体験—

ココに  
横浜※  
みどり税

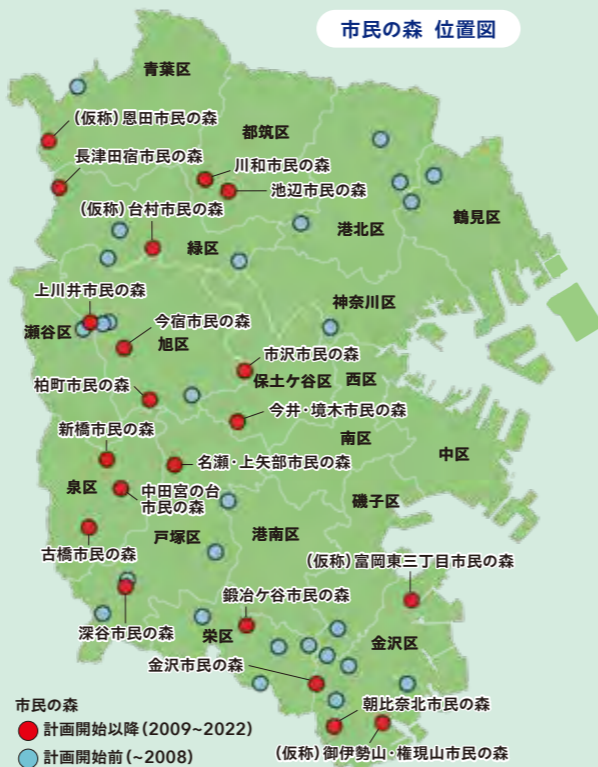
実は農業も盛んで、農地面積は県内ナンバー1。暮らしに身近な「農」が横浜の魅力です。市内には、野菜や果物の収穫を気軽に体験できる農園から、本格的な農作業ができる農園まで、多くの農園があります。農体験に参加したり、横浜で採れた旬の野菜や果物などを味わったり、横浜ならではの農の魅力を感じてみませんか。  
※収穫体験農園開設支援・農園付公園の整備



みどりアップ計画による  
体験・イベントスポットは  
こちら!



市民の森 位置図



## 森を愉しむ

—市民の森を散策—

市内には、散策が楽しめる市民の森が43か所あります。また、市内5か所には「ウェルカムセンター」があり、子どもから大人まで幅広い方々が、横浜の森を知って親しみ、楽しむことができるよう、情報の発信やイベントの開催をしています。横浜の森で自然を感じてみませんか。  
※市民の森の整備・維持管理

ココに  
横浜※  
みどり税





## 街なかで 緑や花を感じる

- 季節を感じる街歩き -

街を歩けば、地域で育まれた緑や花を感じることができます。横浜では、多くの市民力により、地域ならではの緑や花の空間が彩られています。地域で取り組む緑化活動は、人と人とのつながりを生むことも。緑や花に季節を感じながら、街歩きを楽しんでみませんか。

※地域緑のまちづくり事業

ココに  
横浜  
みどり税



## 横浜みどりアップ計画[2024-2028]の体系・5か年事業費

### 計画の理念

みんなで育む  
みどり豊かな美しい街  
横浜

### 5か年の目標

1

緑の減少に歯止めをかけ、  
総量の維持を目指します

2

地域特性に応じた  
緑の保全・創出・維持管理の  
充実により緑の質を高めます

3

市民と緑との関わりを増やし、  
緑とともにある  
豊かな暮らしを実現します

### 柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

事業費 303億円 (86億円)

#### 施策1

まとまりのある  
樹林地の保全・活用

事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	252億円 (37億円)
事業② 良好な森の育成	46億円 (46億円)
事業③ 森に関わる多様な機会の創出	5億円 (3億円)

### 柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

事業費 34億円 (10億円)

#### 施策1

農に親しむ  
取組の推進

事業① 良好な農景観の保全	11億円 (4億円)
事業② 農とふれあう場づくり	20億円 (7億円)

#### 施策2

「横浜農場」の  
展開による  
地産地消の推進

事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進	2億円 (-)
事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開	0.7億円 (-)

### 柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

事業費 77億円 (46億円)

#### 施策1

市民が実感できる  
緑や花の創出・育成

事業① まちなかでの緑の創出・育成	33億円 (26億円)
-------------------	-------------

#### 施策2

ガーデンシティ横浜  
の更なる推進

事業② 緑や花があふれる地域づくり	12億円 (6億円)
事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成	4億円 (0.8億円)
事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成	27億円 (14億円)

### 効果的な広報の展開

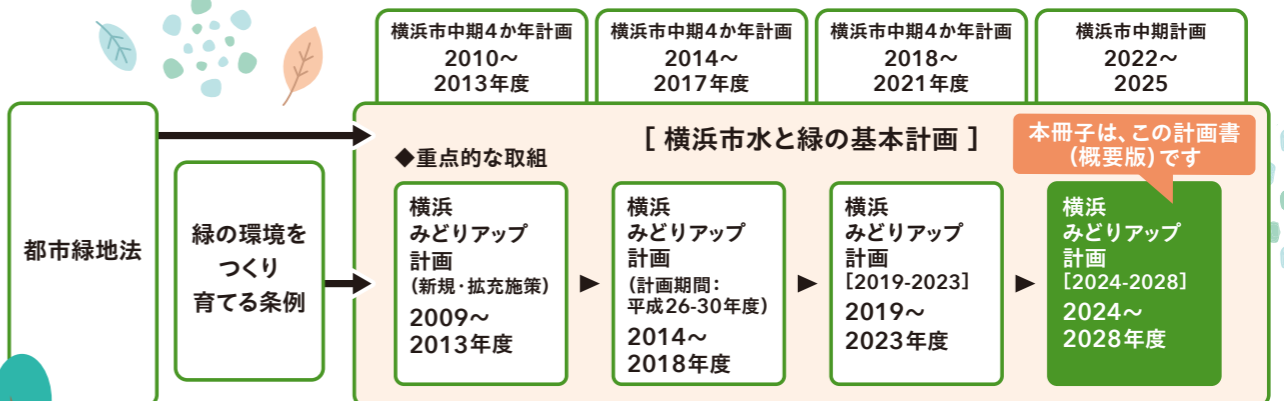
事業費 0.8億円 (-)

事業① 市民の理解を広げる広報の展開	0.8億円 (-)
--------------------	-----------

総事業費 415億円 (142億円)

※事業費の( )はうちみどり税を記載しています。端数調整により合計値が整合しない場合があります。

## 計画の位置付け



# 横浜みどりアップ計画[2024-2028]を進めるにあたって

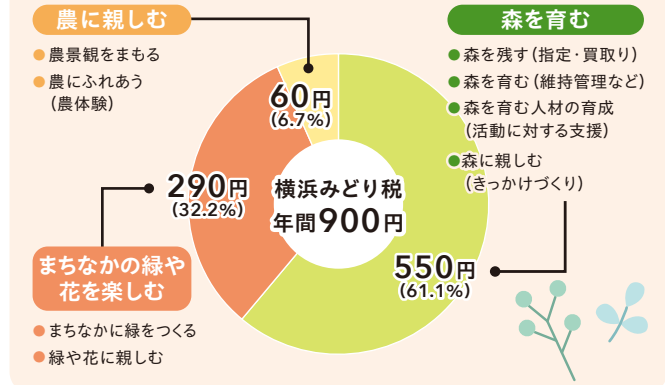
## 計画を進めるための財源について

横浜市では、緑の保全・創出に取り組むために必要な安定的な財源を確保するため、2009(H21)年度から市民の皆様にご負担いただいている「横浜みどり税」について、引き続き2024(R6)年度から2028(R10)年度までのご負担をお願いし、この計画の重要な財源の一部として活用していきます。

対象	税率
個人	市民税の均等割に年間900円上乗せ※
法人	市民税の年間均等割額の9%相当額

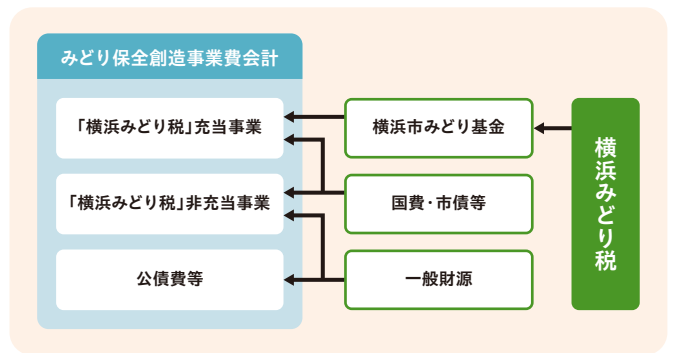
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除きます。

## 横浜みどり税(年間900円)の使いみち



## 横浜みどり基金と特別会計(みどり保全創造事業費会計)

横浜みどり税は、市民税の超過課税の形でご負担をお願いするものですが、その税収の使途は横浜みどりアップ計画に限定されます。そこで、この税収を管理する基金を設置することにより、他の一般財源から明確に分離するとともに、年度間の財源調整も行います。また、横浜みどり税の使途を明確にするためには、横浜みどり税を充当して実施する事業のみならず、横浜みどりアップ計画全体について、その内容や進捗状況を他の施策と分離して明らかにしていく必要があります。そこで、横浜みどり税非充当事業(既存事業費等)を含めた横浜みどりアップ計画全体を対象とする特別会計により、横浜みどり税の使途を明確にします。



## 横浜みどりアップ計画市民推進会議

「横浜みどりアップ計画」の推進に向け、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民の方への情報提供等を行うことを目的として、公募市民や学識経験者などからなる「横浜みどりアップ計画市民推進会議」が2009(H21)年に設置され、2012(H24)年からは

横浜市附属機関設置条例に基づく附属機関に位置付けられています。市民推進会議では、みどりアップ計画の取組の検証や現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめています。



全体会議



現地調査

市民推進会議についてはこちら



**お問合せ先** 「横浜みどりアップ計画」について:みどり環境局戦略企画課 TEL:045-671-4214 FAX:045-550-4093 mk-mimiplan@city.yokohama.lg.jp  
「横浜みどり税」について:財政局税務課 TEL:045-671-2229 FAX:045-641-2775 za-zeimu@city.yokohama.lg.jp

横浜みどりアップ計画[2024-2028]〈冊子〉は、次の場所で閲覧できます。

●各区役所の広報相談係 ●市民情報センター(市庁舎3階) ●みどり環境局ウェブサイト

横浜みどりアップ計画[2024-2028]概要版 令和6年6月発行  
編集・発行:みどり環境局戦略企画課

みどりアップ計画  
[2024-2028]は  
こちら



GREEN  
x  
EXPO  
2027  
YOKOHAMA JAPAN